

事業年度	令和8年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	小大工-7

課長	係長	検算	設計

工事名 可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。

積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市 教育委員会事務局 教育総務課

当初 設計書

工事番号	小大工-7	工事箇所	可児市 広見 地内	施設名	広見小学校
工事名	可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）				
理 由			工 事 概 要		
<p>本工事は広見小学校において、令和5年度に策定した「可児市小中学校トイレ改修計画」に基づき、経年により老朽化して環境が悪化したトイレの環境改善と共に、洋式化やバリアフリー化を図り、多様性へ十分配慮したトイレを整備するものである。</p>			<p>建築工事 一式 ・躯体改修工事 ・防水改修工事 ・建具改修工事 ・内装改修工事 ・塗装改修工事</p> <p>電気設備工事 一式 ・電灯設備工事 ・受変電設備工事</p> <p>機械設備工事 一式 ・換気設備工事 ・衛生器具設備工事 ・給水設備工事 ・排水通気設備工事</p>		
金 額		円	内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書					
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工事事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>2. 建設副産物有効利用及び適正処理について</p> <p>(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。</p> <p>(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。</p> <p>3. 使用材料</p> <p>(1) 生コンクリートについて 本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート(24N/mm²以上)については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート(21N/mm²以下)については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。</p> <p>4. 工事施工について</p> <p>(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。</p> <p>(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。</p> <p>5. 工事保険について 本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。</p> <p>6. ワンデーレスポンスの取組について</p> <p>(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。</p> <p>(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。</p> <p>(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。</p>					

7. 電子納品について
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。
8. 暴力団等による不当介入における通報義務について
(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。
9. 現場代理人の兼務について
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人を兼務することができる。
 1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
 2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
 3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
 4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
 5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 可児市公共基準点の保全について
公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鋸を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう十分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。
11. 法定外の労災保険の付保
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について
工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。
また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。
13. 統一の一斉休工の取組について
(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制モデル工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー(中部地区統一の一斉休工)」に取組むものとする。
なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。
(2) 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。
(巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く)
14. その他
(1) 学校の児童や先生、来校者への安全対策に配慮すること。また、学校運営に支障が無いようにするため、学校や教育委員会と事前に仮設計画や工程等に関する協議を行うこと。
(2) 工事共通仕様
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版
(3) 工事用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書
(条件明示)

工事名 可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 期間 (~)
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 期間 (~)
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ()
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ()	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
	<input type="checkbox"/> 8. 施工時期	<input type="checkbox"/> A. 施工時期 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 9. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 (小学校運営に支障がないよう配慮すること。)
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~ No.) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期() <input type="checkbox"/> C. 内容 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期() <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否()
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 () <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
公 害 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 騒音 (小学校運営に支障がないよう配慮すること。) <input checked="" type="checkbox"/> B. 振動 (小学校運営に支障がないよう配慮すること。) <input type="checkbox"/> C. 水質 () <input type="checkbox"/> D. その他 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり
	<input type="checkbox"/> 4. 土壌汚染対策法に関する届出	<input type="checkbox"/> A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 石綿含有に関する事前調査	<input checked="" type="checkbox"/> A. 発注者による含有調査(含有有り) <input type="checkbox"/> B. 受注者による含有調査 <input type="checkbox"/> C. 調査結果の報告(一定規模以上)
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. フロン回収あり <input type="checkbox"/> B. その他 ()
安 全 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input checked="" type="checkbox"/> C. 時間制限あり (登下校時間帯)
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 3. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間(No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間(No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 4. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり () <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ()
	<input type="checkbox"/> 5. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 (学校敷地内及び学校周囲通行時徐行)
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 () <input type="checkbox"/> C. 路面工 () <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 () <input type="checkbox"/> E. 構造 () <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 内容 ()
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生廃棄物係	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地(押土、敷均、締固等)必要 <input type="checkbox"/> D. 整地(押土)必要
	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地(押土、敷き均し、転圧)あり <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 () <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり(運搬距離 km) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋戻し <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 () <input type="checkbox"/> B. 場所 () <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可見市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票(マニフェスト) <input type="checkbox"/> B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コブリス <input checked="" type="checkbox"/> D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり(電気)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり(電話)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり(水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり(下水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり(ガス)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり(マンホール蓋、仕切り弁蓋等)	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 () <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ()
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり(その他)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期() <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他()
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法()
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他()
再生材使用	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. RC <input checked="" type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材(30%再生) <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材(100%再生) <input type="checkbox"/> D. 再生材を使用できない場合別途協議 <input type="checkbox"/> E.
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他()
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名() <input type="checkbox"/> B. 納入場所()
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名() <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所()
	<input type="checkbox"/> 3. 現場環境改善	<input type="checkbox"/> A. 仮設費() <input type="checkbox"/> B. 安全費() <input type="checkbox"/> C. 営繕費() <input type="checkbox"/> D. 地域連携()
	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 「可見市工品質証明実施要領」該当あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. 部分使用	<input type="checkbox"/> A. 範囲() <input type="checkbox"/> B. 時期()
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他()

記号	工 事 名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)						
A	建築工事		1.0	式			
E	電気設備工事		1.0	式			
M	機械設備工事		1.0	式			
I	直接工事費 計		1.0	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費 計						
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格 計						
V	消費税相当額		1.0	式			
	総 合 計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
(1)	北舎						
1	直接仮設工事		1	式			
2	躯体改修工事		1	式			
3	防水改修工事		1	式			
4	建具改修工事		1	式			
5	内装改修工事		1	式			
6	塗装改修工事		1	式			
7	撤去工事		1	式			
8	発生材積込・運搬		1	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し		1	式			別紙明細1-1
	養生		1	式			別紙明細1-2
	整理清掃後片付		1	式			別紙明細1-3
	内部足場		1	式			別紙明細1-4
	仮設間仕切		1	式			別紙明細1-5
	外部足場		1	式			別紙明細1-6
	災害防止		1	式			別紙明細1-7
	仮設材運搬		1	式			別紙明細1-8
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	躯体改修工事						
2.1	地業工事		1	式			
2.2	鉄筋工事		1	式			
2.3	コンクリート工事		1	式			
2.4	型枠工事		1	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	地業工事						
	再生砕石	t=100	0.1	m ³			
	防湿フィルム敷	t=0.15	1.0	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	鉄筋工事						
	異形鉄筋	D10 SD295A	0.1	t			
	異形鉄筋	D13 SD295A	0.1	t			
	鉄筋加工組立		1.0	人			
	鉄筋運搬費	4t車	0.1	t			
	鉄筋スクラップ	鉄筋 H2	-0.1	t			
	あと施工アンカー	金属系 D10 横向き	336	本			
	あと施工アンカー	金属系 D13 横向き	150	本			
	溶接金網	D6 100x100	96.1	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.3	コンクリート工事						
	コンクリート	FC=21 S-18	0.6	m3			
	床嵩上げ 軽量コンクリート	FC=18 S-18	6.0	m3			
	コンクリート打設手間		6.6	m3			
	ポンプ圧送		2	回			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水改修工事						
	シーリング MS-2 新設	10×10 ライニング取合押え	93.3	m			
	耐震スリット 打替	PS-2 30×40 バックアップ材共	6.6	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	建具改修工事						
	1AW-1 アルミ建具 改修	アルミパネル(換気扇用) 新設	1	か所			
	既設ガラス面隠しフィルム貼 新設	1AW-1	10.6	m ²			
	既設ガラス面隠しフィルム貼 新設	2AW-1	12.2	m ²			
	既設ガラス面隠しフィルム貼 新設	2AW-2	16.2	m ²			
	1WD-1 木製建具 新設	W710×H1800	4	か所			
	2LSD-1 軽量鋼製建具 新設	W1820(820)×H2000	3	か所			
	2LSD-2 軽量鋼製建具 新設	W700×H2000	3	か所			
	2SD-1 鋼製建具 (PS)	W450×H450 特定防火設備	3	か所			
	型板ガラス t=4		0.8	m ²			
	ガラスシーリング		12.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1	床						
	ビニル床シート t=2.0 新設	防滑性(抗菌)	97.0	m ²			
	コンクリート直均し	金ゴテ 張物下地	89.8	m ²			
	下地処理	既設の上 ビニル床シート 新設部	7.1	m ²			
	汚垂タイル 新設	t=6 600×3100	2	か所			
	汚垂タイル 新設	t=6 600×3010	3	か所			
	床:SUS沓摺 新設	W40	4.6	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2	巾木・壁						
	ソフト巾木 新設	H60	9.7	m			
	SUS巾木 新設	H60	160	m			
	耐水合板 t=12		21.3	m ²			
	グラスウール(24K)t=50	間仕切壁	37.8	m ²			
	GB-St=12.5	間仕切壁下地	108	m ²			
	不燃メラミン化粧板t=3.0	ボード下地 間仕切壁	108	m ²			
	GB-St=12.5	ふかし壁下地	101	m ²			
	不燃メラミン化粧板t=3.0	ボード下地 ふかし壁	101	m ²			
	耐水合板t=12	ライニング壁下地	30.8	m ²			
	GB-St=12.5	ライニング壁下地	25.8	m ²			
	不燃メラミン化粧板t=3.0	ボード下地 ライニング壁	25.8	m ²			
	GB-F t=21+21	2重貼 耐火壁下地	11.7	m ²			
	不燃メラミン化粧板t=3.0	ボード下地 耐火壁	11.7	m ²			
	不燃メラミン化粧板 t=3.0	直張	209	m ²			
	木三方枠 新設	WD	8.5	m			

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下地処理(既設タイル・モルタル面)	不陸調整共 不燃メラミン化粧板直張下地	113	m ²			
下地処理(既設塗装面)	下地調整(RA種)共 不燃メラミン化粧板直張下地	38.9	m ²			
下地処理(既設吹付面)	アスベスト含有建材 下地調整(RA種)共 不燃メラミン化粧板直張下地	57.4	m ²			
壁:LSG65 新設	間仕切壁下地	79.4	m ²			
壁:LSG65 新設	ふかし壁下地	142	m ²			
壁:LSG65 新設	ライニング壁下地	30.8	m ²			
壁:LSG65 新設	耐火壁下地	11.7	m ²			
壁下地開口補強		1	式			別紙明細1-9
施工数量調査	吹付,塗装	96.3	m ²			
自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	クラック補修(幅0.2mm~1.0mm)	0.7	m			
Uカットシール材充填工法	クラック補修(幅1.0mm以上)	2.2	m			
小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3	天井						
	化粧せつこうボード t=9.5 新設		144	m ²			
	廻り縁 新設	塩ビ製	245	m			
	天井:LGS下地 新設		144	m ²			
	天井点検口 新設	600角 アルミ製 額縁タイプ	1	か所			
	天井点検口 新設	450角 アルミ製 額縁タイプ	64	か所			
	天井下地開口補強		1	式			別紙明細1-10
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4	その他						
	1TB-1 トイレブース 新設	H1900	2	か所			
	1TB-2 トイレブース 新設	H1900	2	か所			
	1TB-3 トイレブース 新設	隔て板 H1900	2	か所			
	2TB-1 トイレブース 新設	H1900	3	か所			
	2TB-2 トイレブース 新設	H1900	3	か所			
	ポストフォーム面台 新設	t=20 W120 ライニング*	27.3	m			
	掃除用具掛 取外し再取付	木製700x120x20 SUSフック5個	2	か所			
	掃除用具掛 新設	木製600×100×20 SUSフック5個	4	か所			
	掃除用具掛 新設	木製500×100×20 SUSフック4個	6	か所			
	流し台(SUS) 新設	L1450 D500 H850	4	か所			
	流し台(SUS) 新設	L1355 D385 H850	6	か所			
	ピクトサイン 新設	平付型 アクリル板 200x200	10	か所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	塗装改修工事						
	SOP塗	B種 合板 素地ごしらえ共	17.6	m ²			
	EP-G塗替	B種 モルタル面	30.7	m ²			
	下地調整	RB種	30.7	m ²			
	SOP塗替 細幅	B種 木部	82.9	m			
	下地調整 細幅	RB種	82.9	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	撤去工事						
7.1	床 撤去		1	式			
7.2	巾木・壁 撤去		1	式			
7.3	天井 撤去		1	式			
7.4	その他 撤去		1	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.1	床 撤去						
	コンクリートスラブ 撤去(和便器)	t=120	0.5	m ³			
	土間コン 撤去(和便器)	t=120 砕石t=100共	0.1	m ³			
	コンクリートカッター		39.9	m			
	床:長尺塩ビシート t=2.8 撤去		13.6	m ²			
	床:SUS床見切 撤去	W40	6.6	m			
	床:テラゾーブロック 撤去	W120	4.2	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.2	巾木・壁 撤去						
	耐震スリット 撤去	30×40	6.6	m			
	CB壁 撤去	t=100	25.0	m ²			
	CB壁 撤去	t=100 上部 吹付部 アスベスト含有建材	2.8	m ²			
	ラインク壁 CB 撤去	t=100	34.7	m ²			
	壁:LGS65下地 撤去		4.0	m ²			
	壁:耐水合板t=12 撤去		6.0	m ²			
	壁:タイル 撤去	仕上のみ	160	m ²			
	ソフト巾木 撤去	H60	3.3	m			
	木巾木 撤去	H75	1.6	m			
	トイレブース 撤去		55.2	m ²			
	木製建具 撤去		13.3	m ²			
	鋼製建具 撤去		0.3	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.3	天井 撤去						
	天井:LGS下地 撤去		166	m ²			
	天井:化粧プラスチックボード t=9.5 撤去		30.4	m ²			
	天井:アスベストラックス t=4 撤去	アスベスト含有建材	136	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.4	その他 撤去						
	テラゾースクリーン 撤去 t=40		29.6	m ²			
	木下地組パーテーション 撤去	片面不燃ボード	11.7	m ²			
	アルミパーテーション(化粧合板) 撤去		12.3	m ²			
	ステンレス流し台 撤去	L1450 D450 H600	4	か所			
	ステンレス流し台 撤去	L1355 D430 H600	6	か所			
	掲示板 撤去	1800×1200	2	か所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	発生材積込・運搬						
	発生材積込・運搬		1	式			別紙明細1-11
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	別紙明細1-1 墨出し						
	墨出し	内部複合改修	166	m ²			
	小々計						
	別紙明細1-2 養生						
	養生	内部複合改修	166	m ²			
	小々計						
	別紙明細1-3 整理清掃後片付						
	整理清掃後片付	内部複合改修	166	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細1-4 内部足場						
	内部足場	脚立足場 0.5ヶ月	166	m ²			
	小々計						
	別紙明細1-5 仮設間仕切						
	仮設間仕切	B種 扉共(6か所)	86.3	m ²			
	小々計						
	別紙明細1-6 外部足場						
	外部足場	枠組本足場(W=900) 10m未満 1ヶ月	72.0	架m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細1-7 災害防止						
	災害防止	メッシュシート 1ヶ月	72.0	架㎡			
	小々計						
	別紙明細1-8 仮設材運搬						
	仮設材運搬	枠組本足場(W=900)	72.0	架㎡			
	仮設材運搬	シート・ネット類	72.0	架㎡			
	仮設材運搬	脚立足場(内部)3階建	166	㎡			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	別紙明細1-9 壁下地開口補強						
	壁:開口補強	LGS65 710×1800程度	4	か所			
	壁:開口補強	LGS65 820×2000程度	3	か所			
	壁:開口補強	LGS65 700×2000程度	3	か所			
	壁:開口補強	LGS65 450×450程度	3	か所			
	小々計						
	別紙明細1-10 天井下地開口補強						
	天井:開口補強	600×600 19形	1	か所			
	天井:開口補強	450×450 19形	64	か所			
	天井:開口補強	600×150 19形	3	か所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細1-11 発生材積込・運搬						
	発生材 積込	コンクリート	10.0	m3			
	発生材 積込	木材	3.3	m3			
	発生材 積込	ガラス・陶磁器くず	2.2	m3			
	発生材 積込	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 積込	石膏ボード	0.4	m3			
	発生材 積込	アスベスト(非飛散性)	0.6	m3			
	発生材 積込	金属くず	0.6	t			
	発生材 運搬	コンクリート	10.0	m3			
	発生材 運搬	木材	3.3	m3			
	発生材 運搬	ガラス・陶磁器くず	2.2	m3			
	発生材 運搬	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 運搬	石膏ボード	0.4	m3			
	発生材 運搬	アスベスト(非飛散性)	0.6	m3			
	発生材 運搬	金属くず	0.6	t			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し		1	式			別紙明細2-1
	養生		1	式			別紙明細2-2
	整理清掃後片付		1	式			別紙明細2-3
	内部足場		1	式			別紙明細2-4
	仮設間仕切		1	式			別紙明細2-5
	仮設材運搬		1	式			別紙明細2-6
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	躯体改修工事						
2.1	地業工事		1	式			
2.2	鉄筋工事		1	式			
2.3	コンクリート工事		1	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	地業工事						
	再生砕石	t=100	1.4	m ³			
	防湿フィルム敷	t=0.15	9.5	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	鉄筋工事						
	異形鉄筋	D10 SD295A	0.1	t			
	鉄筋加工組立		1.0	人			
	鉄筋運搬費	4t車	0.1	t			
	鉄筋スクラップ	鉄筋 H2	-0.1	t			
	あと施工アンカー	金属系 D10 横向き	66	本			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.3	コンクリート工事						
	コンクリート	FC=21 S-18	1.1	m3			
	コンクリート打設手間		1.1	m3			
	ポンプ圧送		1	回			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水改修工事						
	シーリング MS-2 新設	10×10 ライニング取合押え	10.2	m			
	耐震スリット 打替	PS-2 30×40 ハックアップ材共	1.2	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	内装改修工事						
4.1	床		1	式			
4.2	巾木・壁		1	式			
4.3	天井		1	式			
4.4	その他		1	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.1	床						
	ビニル床シート t=2.0 新設	防滑性(抗菌)	9.7	m ²			
	コンクリート直均し	金ゴテ 張物下地	9.7	m ²			
	SUS床見切 新設	W40	0.8	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2	巾木・壁						
	SUS巾木 新設	H60	12.4	m			
	GB-St=12.5	ふかし壁下地	7.8	m ²			
	不燃メラミン化粧板t=3.0	ボード下地 ふかし壁	7.8	m ²			
	耐水合板t=12	ライニング 壁下地	5.3	m ²			
	GB-St=12.5	ライニング 壁下地	5.3	m ²			
	不燃メラミン化粧板t=3.0	ボード下地 ライニング 壁	5.3	m ²			
	不燃メラミン化粧板 t=3.0	直張	12.9	m ²			
	下地処理(既設タイル・モルタル面)	不陸調整共 不燃メラミン化粧板直張下地	12.9	m ²			
	壁:LSG65 新設	ふかし壁下地	13.1	m ²			
	壁:LSG65 新設	ライニング壁下地	5.3	m ²			
	SUS三方枠 新設	W200	1	か所			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	施工数量調査	タイル	12.9	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.3	天井						
	化粧せつこうボード t=9.5 新設		9.7	m ²			
	廻り縁 新設	塩ビ製	9.4	m			
	天井:LGS下地 新設		9.7	m ²			
	天井点検口 新設	450角 アルミ製 額縁タイプ	6	か所			
	天井下地開口補強		1	式			別紙明細2-7
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.4	その他						
	7TB-1 トイレブース 新設	H1900	1	か所			
	7TB-2 トイレブース 新設	H1900	1	か所			
	ポストフォーム面台 新設	t=20 W120 ライニング*	2.8	m			
	ポストフォーム面台 新設	t=20 W290 ライニング*	2.4	m			
	掃除用具掛 新設	木製600×100×20 SUSフック5個	1	か所			
	ピクトサイン 新設	平付型 アクリル板 200x200	1	か所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
5	塗装改修工事						
	SOP塗替 細幅	B種 木部	10.5	m			
	下地調整 細幅	RB種	10.5	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	撤去工事						
6.1	床 撤去		1	式			
6.2	巾木・壁 撤去		1	式			
6.3	天井 撤去		1	式			
6.4	その他 撤去		1	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.1	床 撤去						
	土間コン 撤去	t=120 砕石t=100共	1.1	m3			
	コンクリートカッター		12.6	m			
	床:テラゾーブロック 撤去	W180	0.8	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.2	巾木・壁 撤去						
	耐震スリット 撤去	30×40	1.2	m			
	ラインク'壁 CB 撤去	t=100	5.9	m ²			
	トイレブース 撤去		6.4	m ²			
	木製建具 撤去		0.5	m ²			
	ステンレススクリーン 撤去		3.3	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.3	天井 撤去						
	天井:LGS下地 撤去		11.6	m ²			
	天井:アスベストラックス t=4 撤去	アスベスト含有建材	11.6	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.4	その他 撤去						
	テラゾースクリーン 撤去 t=40		8.8	m ²			
	室名札 撤去		1	か所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	発生材積込・運搬						
	発生材積込・運搬		1	式			別紙明細2-8
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細2-1 墨出し						
	墨出し	内部複合改修	11.6	m ²			
	小々計						
	別紙明細2-2 養生						
	養生	内部複合改修	11.6	m ²			
	小々計						
	別紙明細2-3 整理清掃後片付						
	整理清掃後片付	内部複合改修	11.6	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	別紙明細2-4 内部足場						
	内部足場	脚立足場 0.5ヶ月	11.6	m ²			
	小々計						
	別紙明細2-5 仮設間仕切						
	仮設間仕切	B種	2.9	m ²			
	小々計						
	別紙明細2-6 仮設材運搬						
	仮設材運搬	脚立足場(内部)1階建	11.6	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細2-8 発生材積込・運搬						
	発生材 積込	コンクリート	3.0	m3			
	発生材 積込	木材	0.3	m3			
	発生材 積込	ガラス・陶磁器くず	0.4	m3			
	発生材 積込	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 積込	アスベスト(非飛散性)	0.1	m3			
	発生材 積込	金属くず	0.1	t			
	発生材 運搬	コンクリート	3.0	m3			
	発生材 運搬	木材	0.3	m3			
	発生材 運搬	ガラス・陶磁器くず	0.4	m3			
	発生材 運搬	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 運搬	アスベスト(非飛散性)	0.1	m3			
	発生材 運搬	金属くず	0.1	t			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	屋外トイレ1						
1	直接仮設工事		1	式			
2	躯体改修工事		1	式			
3	内装改修工事		1	式			
4	撤去工事		1	式			
5	発生材積込・運搬		1	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	養生		1	式			別紙明細3-1
	整理清掃後片付		1	式			別紙明細3-2
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	躯体改修工事						
2.1	地業工事		1	式			
2.2	鉄筋工事		1	式			
2.3	コンクリート工事		1	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	地業工事						
	再生砕石	t=100	0.1	m ³			
	防湿フィルム敷	t=0.15	0.3	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	鉄筋工事						
	異形鉄筋	D10 SD295A	0.1	t			
	鉄筋加工組立		1.0	人			
	鉄筋運搬費	4t車	0.1	t			
	鉄筋スクラップ	鉄筋 H2	-0.1	t			
	あと施工アンカー	金属系 D10 横向き	16	本			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.3	コンクリート工事						
	コンクリート	FC=21 S-18	0.1	m3			
	コンクリート打設手間		0.1	m3			
	ポンプ圧送		1	回			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	内装改修工事						
3.1	床		1	式			
3.2	その他		1	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.1	床						
	モザイクタイル 新設復旧		0.3	m ²			
	タイル下地モルタル		0.3	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.2	その他						
	9TB-1 トイレブース 新設	H1900	1	か所			
	掃除用具掛 新設	木製600×100×20 SUSフック5個	1	か所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	撤去工事						
4.1	床 撤去		1	式			
4.2	巾木・壁 撤去		1	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.1	床 撤去						
	土間コン 撤去(和便器)	t=120 砕石t=100共	0.1	m3			
	コンクリートカッター		2.1	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2	巾木・壁 撤去						
	トイレブース 撤去		8.7	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材積込・運搬						
	発生材積込・運搬		1	式			別紙明細3-3
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細3-3 発生材積込・運搬						
	発生材 積込	コンクリート	0.1	m3			
	発生材 積込	木材	0.3	m3			
	発生材 積込	ガラス・陶磁器くず	0.1	m3			
	発生材 運搬	コンクリート	0.1	m3			
	発生材 運搬	木材	0.3	m3			
	発生材 運搬	ガラス・陶磁器くず	0.1	m3			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)	屋外トイレ2						
1	直接仮設工事		1	式			
2	躯体改修工事		1	式			
3	防水改修工事		1	式			
4	内装改修工事		1	式			
5	塗装改修工事		1	式			
6	撤去工事		1	式			
7	外構工事		1	式			
8	発生材積込・運搬		1	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し		1	式			別紙明細4-1
	養生		1	式			別紙明細4-2
	整理清掃後片付		1	式			別紙明細4-3
	内部足場		1	式			別紙明細4-4
	仮設材運搬		1	式			別紙明細4-5
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	躯体改修工事						
2.1	地業工事		1	式			
2.2	鉄筋工事		1	式			
2.3	コンクリート工事		1	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	地業工事						
	再生砕石	t=100	0.4	m ³			
	防湿フィルム敷	t=0.15	3.0	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	鉄筋工事						
	異形鉄筋	D10 SD295A	0.1	t			
	鉄筋加工組立		1.0	人			
	鉄筋運搬費	4t車	0.1	t			
	鉄筋スクラップ	鉄筋 H2	-0.1	t			
	あと施工アンカー	金属系 D10 横向き	40	本			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.3	コンクリート工事						
	コンクリート	FC=21 S-18	0.4	m3			
	コンクリート打設手間		0.4	m3			
	ポンプ圧送		1	回			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水改修工事						
	シーリング MS-2 新設	10×10 ライニング取合押え	5.6	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	内装改修工事						
4.1	床		1	式			
4.2	巾木・壁		1	式			
4.3	天井		1	式			
4.4	その他		1	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.1	床						
	ビニル床シート t=2.0 新設	防滑性(抗菌)	5.3	m ²			
	コンクリート直均し	金ゴテ 張物下地	3.7	m ²			
	下地処理	既設の上 ビニル床シート 新設部	1.6	m ²			
	汚垂タイル 新設	t=6 600×1000	1	か所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2	巾木・壁						
	SUS巾木 新設	H60	10.7	m			
	GB-St=12.5	ふかし壁下地	3.6	m ²			
	不燃メラミン化粧板t=3.0	ボード下地 ふかし壁	3.6	m ²			
	耐水合板t=12	ライニング 壁下地	1.9	m ²			
	GB-St=12.5	ライニング 壁下地	1.9	m ²			
	不燃メラミン化粧板t=3.0	ボード下地 ライニング 壁	1.9	m ²			
	不燃メラミン化粧板 t=3.0	直張	20.4	m ²			
	下地処理(既設タイル・モルタル面)	不陸調整共 不燃メラミン化粧板直張下地	11.8	m ²			
	下地処理(既設吹付面)	下地調整(RA種)共 不燃メラミン化粧板直張下地	8.7	m ²			
	壁:LSG65 新設	ふかし壁下地	4.8	m ²			
	壁:LSG65 新設	ライニング壁下地	1.9	m ²			
	施工数量調査	タイル	11.8	m ²			
	施工数量調査	吹付	8.7	m ²			
	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	クラック補修(幅0.2mm~1.0mm)	0.7	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.3	天井						
	トップ吹付(アクリル樹脂)	既設天井仕上の上 トップのみ	5.3	m ²			
	下地調整	既設天井仕上	5.3	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.4	その他						
	6TB-1 トイレブース 新設	H1900	1	か所			
	ポストフォーム面台 新設	t=20 W120 ライニング*	1.8	m			
	掃除用具掛 新設	木製600×100×20 SUSフック5個	1	か所			
	ピクトサイン 新設	平付型 アクリル板 200x200	1	か所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	塗装改修工事						
	SOP塗替 細幅	B種 木部	12.0	m			
	下地調整 細幅	RB種	12.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	撤去工事						
6.1	床 撤去		1	式			
6.2	巾木・壁 撤去		1	式			
6.3	その他 撤去		1	式			
6.4	外構 撤去		1	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.1	床 撤去						
	土間コン 撤去	t=120 砕石t=100共	0.4	m ³			
	コンクリートカッター		6.9	m			
	床:長尺塩ビシート t=2.8 撤去	アスベスト含有建材	1.6	m ²			
	床:SUS床見切 撤去	W40	0.8	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.2	巾木・壁 撤去						
	ラインク壁 CB 撤去	t=100 吹付部	0.8	m ²			
	トイレブース 撤去		5.5	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.3	その他 撤去						
	室名札 撤去		1	か所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.4	外構 撤去						
	土間コン 撤去	t=120 犬走り、碎石t=100共	0.2	m3			
	コンクリートカッター		4.7	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	外構工事	スロープ新設					
	再生砕石	t=100	0.1	m3			
	床:モルタルコテ	t=30	1.9	m ²			
	土間コンクリート	FC=21 S-18	0.2	m3			
	コンクリート打設手間 土間コン		0.2	m3			
	ホンプ圧送		1	回			
	異形鉄筋	D10 SD295A	0.1	t			
	鉄筋加工組立		1.0	人			
	鉄筋運搬費	4t車	0.1	t			
	鉄筋スクラップ	鉄筋 H2	-0.1	t			
	差筋アンカー	D10 横向き	12	本			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	発生材積込・運搬						
	発生材積込・運搬		1	式			別紙明細4-6
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細4-1 墨出し						
	墨出し	内部複合改修	4.1	m ²			
	小々計						
	別紙明細4-2 養生						
	養生	内部複合改修	5.9	m ²			
	小々計						
	別紙明細4-3 整理清掃後片付						
	整理清掃後片付	内部複合改修	5.9	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細4-6 発生材積込・運搬						
	発生材 積込	コンクリート	2.5	m3			
	発生材 積込	木材	0.2	m3			
	発生材 積込	ガラス・陶磁器くず	0.1	m3			
	発生材 積込	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 積込	アスベスト(非飛散性)	0.1	m3			
	発生材 積込	金属くず	0.1	t			
	発生材 運搬	コンクリート	2.5	m3			
	発生材 運搬	木材	0.2	m3			
	発生材 運搬	ガラス・陶磁器くず	0.1	m3			
	発生材 運搬	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 運搬	アスベスト(非飛散性)	0.1	m3			
	発生材 運搬	金属くず	0.1	t			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(5)	多目的トイレ工事						
1	直接仮設工事		1	式			
2	躯体改修工事		1	式			
3	防水改修工事		1	式			
4	建具改修工事		1	式			
5	内装改修工事		1	式			
6	塗装改修工事		1	式			
7	撤去工事		1	式			
8	外構工事		1	式			
9	発生材積込・運搬		1	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し		1	式			別紙明細5-1
	養生		1	式			別紙明細5-2
	整理清掃後片付		1	式			別紙明細5-3
	内部足場		1	式			別紙明細5-4
	仮設間仕切		1	式			別紙明細5-5
	仮設材運搬		1	式			別紙明細5-6
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	躯体改修工事						
2.1	地業工事		1	式			
2.2	鉄筋工事		1	式			
2.3	コンクリート工事		1	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	地業工事						
	再生砕石	t=100	0.1	m ³			
	防湿フィルム敷	t=0.15	1.3	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	鉄筋工事						
	異形鉄筋	D10 SD295A	0.1	t			
	鉄筋加工組立		1.0	人			
	鉄筋運搬費	4t車	0.1	t			
	鉄筋スクラップ	鉄筋 H2	-0.1	t			
	あと施工アンカー	金属系 D10 横向き	42	本			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.3	コンクリート工事						
	コンクリート	FC=21 S-18	0.2	m3			
	コンクリート打設手間		0.2	m3			
	ポンプ圧送		1	回			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水改修工事						
	シーリング MS-2 新設	10×10 ライニング取合押え	5.1	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	建具改修工事						
	5LSD-1 軽量鋼製建具 新設	W1980(900)×H2000	1	か所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	内装改修工事						
5.1	床		1	式			
5.2	巾木・壁		1	式			
5.3	天井		1	式			
5.4	その他		1	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1	床						
	ビニル床シート t=2.0 新設	防滑性(抗菌)	6.5	m ²			
	下地処理	ビニル床シート 新設部	6.5	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2	巾木・壁						
	ソフト巾木 新設	H60	12.3	m			
	SUS巾木 新設	H60	9.1	m			
	シナ合板 t=6		26.7	m ²			
	ガラスウール(24K)t=50	間仕切壁	19.8	m ²			
	GB-St=12.5	間仕切壁下地	42.6	m ²			
	不燃メラミン化粧板t=3.0	ボード下地 間仕切壁	19.8	m ²			
	耐水合板t=12	ライニング 壁下地	2.3	m ²			
	GB-St=12.5	ライニング 壁下地	2.3	m ²			
	不燃メラミン化粧板t=3.0	ボード下地 ライニング 壁	2.3	m ²			
	不燃メラミン化粧板 t=3.0	直張	6.2	m ²			
	下地処理(既設モルタル面)	不陸調整共 不燃メラミン化粧板直張下地	6.2	m ²			
	壁:LSG65 新設	間仕切壁下地	22.5	m ²			
	壁:LSG65 新設	ライニング壁下地	2.3	m ²			
	壁下地開口補強		1	式			別紙明細5-7

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3	天井						
	化粧せつこうボード t=9.5 新設		8.6	m ²			
	廻り縁 新設	塩ビ製	17.5	m			
	天井:LGS下地 新設		8.6	m ²			
	天井点検口 新設	450角 アルミ製 額縁タイプ	1	か所			
	天井下地開口補強		1	式			別紙明細5-8
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4	その他						
	ポストフォーム面台 新設	t=20 W150 ライニング*	2.6	m			
	ピコサイン 新設	平付型 アクリル板 250x250	1	か所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	塗装改修工事						
	SOP塗	B種 合板 素地ごしらえ共	26.7	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	撤去工事						
7.1	床 撤去		1	式			
7.2	巾木・壁 撤去		1	式			
7.3	天井 撤去		1	式			
7.4	外構 撤去		1	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.1	床 撤去						
	土間コン 撤去	t=120 砕石t=100共	0.2	m3			
	コンクリートカッター		6.8	m			
	床:長尺塩ビシート t=2.8 撤去	アスベスト含有建材	6.5	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.2	巾木・壁 撤去						
	壁:シタ合板t=6 撤去		9.3	m ²			
	木巾木 撤去	H75	3.2	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.3	天井 撤去						
	天井:LGS下地 撤去		8.6	m ²			
	天井:化粧プラスチックボード t=9.5 撤去		8.6	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.4	外構 撤去						
	土間コン 撤去	t=120 犬走り、碎石t=120共	0.2	m3			
	コンクリートカッター		6.0	m			
	U字溝 撤去	U300	0.5	m			
	アスファルト舗装 撤去		6.4	m ²			
	アスファルトカッター		22.9	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	外構工事						
	再生砕石	t=120	0.2	m ³			
	床:モルタルコテ	t=30	2.0	m ²			
	土間コンクリート	FC=21 S-18	0.2	m ³			
	コンクリート打設手間 土間コン		0.2	m ³			
	ホンプ圧送		1	回			
	異形鉄筋	D10 SD295A	0.1	t			
	鉄筋加工組立		1.0	人			
	鉄筋運搬費	4t車	0.1	t			
	鉄筋スクラップ	鉄筋 H2	-0.1	t			
	差筋アンカー	D10 横向き	34	本			
	U字溝 新設	U300	0.5	m			
	U字溝 捨コン	FC=18 S-18	0.1	m ³			
	U字溝 コンクリート打設手間 捨てコン		0.1	m ³			
	U字溝 再生砕石	t=100	0.1	m ³			
	アスファルト舗装 新設復旧	再生砕石t=100共	6.4	m ²			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	発生材積込・運搬						
	発生材積込・運搬		1	式			別紙明細5-9
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細5-1 墨出し						
	墨出し	内部複合改修	6.5	m ²			
	小々計						
	別紙明細5-2 養生						
	養生	内部複合改修	6.5	m ²			
	小々計						
	別紙明細5-3 整理清掃後片付						
	整理清掃後片付	内部複合改修	6.5	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細5-4 内部足場						
	内部足場	脚立足場 0.5ヶ月	6.5	m ²			
	小々計						
	別紙明細5-5 仮設間仕切						
	仮設間仕切	B種 扉共(1か所)	37.2	m ²			
	小々計						
	別紙明細5-6 仮設材運搬						
	仮設材運搬	脚立足場(内部)1階建	6.5	m ²			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細5-9 発生材積込・運搬						
	発生材 積込	コンクリート	0.8	m3			
	発生材 積込	木材	0.1	m3			
	発生材 積込	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 積込	石膏ボード*	0.1	m3			
	発生材 積込	アスベスト(非飛散性)	0.1	m3			
	発生材 積込	金属くず	0.1	t			
	発生材 積込	アスファルト	0.3	m3			
	発生材 運搬	コンクリート	0.8	m3			
	発生材 運搬	木材	0.1	m3			
	発生材 運搬	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 運搬	石膏ボード*	0.1	m3			
	発生材 運搬	アスベスト(非飛散性)	0.1	m3			
	発生材 運搬	金属くず	0.1	t			
	発生材 運搬	アスファルト	0.3	m3			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	発生材 処分 (北舎)						
	発生材 処分	コンクリート	10.0	m3			
	発生材 処分	木材	3.3	m3			
	発生材 処分	ガラス・陶磁器くず	2.2	m3			
	発生材 処分	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 処分	石膏ボード*	0.4	m3			
	発生材 処分	アスベスト(非飛散性)	0.6	m3			
	発生材 処分	金属くず	0.6	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	発生材 処分 (特別教室棟)						
	発生材 処分	コンクリート	3.0	m3			
	発生材 処分	木材	0.3	m3			
	発生材 処分	ガラス・陶磁器くず	0.4	m3			
	発生材 処分	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 処分	アスベスト(非飛散性)	0.1	m3			
	発生材 処分	金属くず	0.1	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	発生材 処分 (屋外トイレ1)						
	発生材 処分	コンクリート	0.1	m3			
	発生材 処分	木材	0.3	m3			
	発生材 処分	ガラス・陶磁器くず	0.1	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	発生材 処分 (屋外トイレ2)						
	発生材 処分	コンクリート	2.5	m3			
	発生材 処分	木材	0.2	m3			
	発生材 処分	ガラス・陶磁器くず	0.1	m3			
	発生材 処分	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 処分	アスベスト(非飛散性)	0.1	m3			
	発生材 処分	金属くず	0.1	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材 処分 (多目的トイレ)						
	発生材 処分	コンクリート	0.8	m3			
	発生材 処分	木材	0.1	m3			
	発生材 処分	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 処分	石膏ボード	0.1	m3			
	発生材 処分	アスベスト(非飛散性)	0.1	m3			
	発生材 処分	金属くず	0.1	t			
	発生材 処分	アスファルト	0.3	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)	北舎						
1	電灯設備	電灯幹線	1	式			
2	電灯設備	電灯分岐	1	式			
3	電灯設備	コンセント分岐	1	式			
4	受変電設備		1	式			
5	発生材処理	積込、運搬	1	式			
	計						
(2)	特別教室棟						
1	電灯設備	電灯分岐	1	式			
2	電灯設備	コンセント分岐	1	式			
3	発生材処理	積込、運搬	1	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	屋外トイレ1						
1	電灯設備	電灯分岐	1	式			
2	発生材処理	積込、運搬	1	式			
	計						
(4)	屋外トイレ2						
1	電灯設備	電灯分岐	1	式			
2	電灯設備	コンセント分岐	1	式			
3	発生材処理	積込、運搬	1	式			
	計						
(5)	多目的トイレ						
1	電灯設備	電灯分岐	1	式			
2	電灯設備	コンセント分岐	1	式			
3	火災報知設備	自動火災報知	1	式			
4	発生材処理	積込、運搬	1	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)-1	電灯設備	電灯幹線					
	電線		1	式			別紙明細書-1
	ケーブル		1	式			別紙明細書-2
	電線管		1	式			別紙明細書-3
	ボックス類		1	式			別紙明細書-4
	防火区画貫通処理等		1	式			別紙明細書-5
	はつり工事		1	式			別紙明細書-6
	小計						
	改め計						
(1)-2	電灯設備	電灯分岐					
	LED照明器具	LBF3MP/RP-2-06-LN	10.0	台			
	LED照明器具	LRS1-08-LN	16.0	台			
	LED照明器具	LRS1-13-LN	8.0	台			
	分電盤	L-1-1	1.0	面			
	分電盤	L-2-1	1.0	面			
	分電盤	L-3-1	1.0	面			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	照明制御装置	親機 人感センサ内蔵形	10.0	個			
	照明制御装置	子機 人感センサ内蔵形	17.0	個			
	照明制御装置	子機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用	10.0	個			
	照明制御装置	熱線式自動スイッチ 1P2Ax2 センサ別置形 OFF・自動・連続切替スイッチ付	10.0	組			
	配線器具		1	式			別紙明細書-7
	ケーブル		1	式			別紙明細書-8
	電線管		1	式			別紙明細書-9
	金属線ぴ		1	式			別紙明細書-10
	ボックス類		1	式			別紙明細書-11
	取外し再取付		1	式			別紙明細書-12
	撤去		1	式			別紙明細書-13
	小計						
	改め計						
(1)-3	電灯設備	コンセント分岐					
	配線器具		1	式			別紙明細書-14
	電線		1	式			別紙明細書-15

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ケーブル		1	式			別紙明細書-16
	電線管		1	式			別紙明細書-17
	ボックス類		1	式			別紙明細書-18
	防火区画貫通処理等		1	式			別紙明細書-19
	はつり工事		1	式			別紙明細書-20
	小計						
	改め計						
(1)-4	受変電設備						
	電線		1	式			別紙明細書-21
	電線管		1	式			別紙明細書-22
	接地工事		1	式			別紙明細書-23
	土工事		1	式			別紙明細書-24
	施工費		1	式			別紙明細書-25
	はつり工事		1	式			別紙明細書-26
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)-5	発生材処理	積込、運搬					
	発生材処理	積込、運搬	1	式			別紙明細書-27
	小計						
	改め計						
(2)-1	電灯設備	電灯分岐					
	LED照明器具	LBF3MP/RP-2-06-LN	1.0	台			
	LED照明器具	LRS1-13-LN	2.0	台			
	LED照明器具	LRS1-17-LN	4.0	台			
	照明制御装置	親機 人感センサ内蔵形	1.0	個			
	照明制御装置	子機 人感センサ内蔵形	1.0	個			
	照明制御装置	子機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用	1.0	個			
	照明制御装置	熱線式自動スイッチ 1P2Ax2 センサ別置形 OFF・自動・連続切替スイッチ付	1.0	組			
	配線器具		1	式			別紙明細書-28
	ケーブル		1	式			別紙明細書-29
	電線管		1	式			別紙明細書-30
	金属線ぴ		1	式			別紙明細書-31

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ボックス類		1	式			別紙明細書-32
	施工費		1	式			別紙明細書-33
	撤去		1	式			別紙明細書-34
	小計						
	改め計						
(2)-2	電灯設備	コンセント分岐					
	配線器具		1	式			別紙明細書-35
	電線		1	式			別紙明細書-36
	ケーブル		1	式			別紙明細書-37
	電線管		1	式			別紙明細書-38
	ボックス類		1	式			別紙明細書-39
	はつり工事		1	式			別紙明細書-40
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)-3	発生材処理	積込、運搬					
	発生材処理	積込、運搬	1	式			別紙明細書-41
	小計						
	改め計						
(3)-1	電灯設備	電灯分岐					
	LED照明器具	LBF3MP/RP-2-06-LN	6.0	台			
	施工費		1	式			別紙明細書-42
	撤去		1	式			別紙明細書-43
	小計						
	改め計						
(3)-2	発生材処理	積込、運搬					
	発生材処理	積込、運搬	1	式			別紙明細書-44
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)-1	電灯設備	電灯分岐					
	LED照明器具	LBF3MP/RP-2-06-LN	1.0	台			
	LED照明器具	LSS9MP/RP-2-14-LN	3.0	台			
	照明制御装置	親機 人感センサ内蔵形	1.0	個			
	照明制御装置	子機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用	1.0	個			
	照明制御装置	熱線式自動スイッチ 1P2Ax2 センサ別置形 OFF・自動・連続切替スイッチ付	1.0	組			
	照明制御装置用付属品	露出ボックス	2.0	個			
	配線器具		1	式			別紙明細書-45
	電線		1	式			別紙明細書-46
	電線管		1	式			別紙明細書-47
	ボックス類		1	式			別紙明細書-48
	塗装工事		1	式			別紙明細書-49
	施工費		1	式			別紙明細書-50
	撤去		1	式			別紙明細書-51
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)-2	電灯設備	コンセント分岐					
	配線器具		1	式			別紙明細書-52
	電線		1	式			別紙明細書-53
	電線管		1	式			別紙明細書-54
	ボックス類		1	式			別紙明細書-55
	塗装工事		1	式			別紙明細書-56
	はつり工事		1	式			別紙明細書-57
	小計						
	改め計						
(4)-3	発生材処理	積込、運搬					
	発生材処理	積込、運搬	1	式			別紙明細書-58
	小計						
	改め計						
(5)-1	電灯設備	電灯分岐					
	LED照明器具	LBF3MP/RP-2-06-LN	1.0	台			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	照明制御装置	親機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用	1.0	個			
	照明制御装置	熱線式自動スイッチ 1P2Ax2 センサ別置形 OFF・自動・連続切替スイッチ付	1.0	組			
	配線器具		1	式			別紙明細書-59
	ケーブル		1	式			別紙明細書-60
	電線管		1	式			別紙明細書-61
	ボックス類		1	式			別紙明細書-62
	取外し再取付		1	式			別紙明細書-63
	撤去		1	式			別紙明細書-64
	小計						
	改め計						
(5)-2	電灯設備	コンセント分岐					
	配線器具		1	式			別紙明細書-65
	電線		1	式			別紙明細書-66
	ケーブル		1	式			別紙明細書-67
	電線管		1	式			別紙明細書-68
	金属線ぴ		1	式			別紙明細書-69

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ホックス類		1	式			別紙明細書-70
	撤去		1	式			別紙明細書-71
	小計						
	改め計						
(5)-3	火災報知設備	自動火災報知					
	取外し再取付		1	式			別紙明細書-72
	小計						
	改め計						
(5)-4	発生材処理	積込、運搬					
	発生材処理	積込、運搬	1	式			別紙明細書-73
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(6)-1	発生材処分 北舎	金属類	0.10	t			
	発生材処分 北舎	廃プラスチック類	0.10	m ³			
	発生材処分 特別教室棟	金属類	0.10	t			
	発生材処分 特別教室棟	廃プラスチック類	0.10	m ³			
	発生材処分 屋外トイレ1	金属類	0.10	t			
	発生材処分 屋外トイレ2	金属類	0.10	t			
	発生材処分 屋外トイレ2	廃プラスチック類	0.10	m ³			
	発生材処分 多目的トイレ	金属類	0.10	t			
	発生材処分 多目的トイレ	廃プラスチック類	0.10	m ³			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	別紙明細書-1						
	電線 管内	EM-IE2.0mm	22.0	m			
	電線 管内	EM-IE5.5sq	66.0	m			
	電線 FEP管内	EM-IE5.5sq	31.0	m			
	電線 天井内	EM-IE5.5sq	30.0	m			
	電線 ヒット内	EM-IE5.5sq	9.0	m			
	小々計						
2	別紙明細書-2						
	ケーブル 管内	EM-CE8sq-3C	11.0	m			
	ケーブル 管内	EM-CET38sq	33.0	m			
	ケーブル FEP管内	EM-CET38sq	15.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-CET38sq	15.0	m			
	ケーブル ヒット内	EM-CET38sq	5.0	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	別紙明細書-3						
	電線管 隠蔽	(E31)	11.0	m			
	電線管 屋外露出	(G54-Z35)	31.0	m			
	小々計						
4	別紙明細書-4						
	プルボックス	ステンレス 防水 0.5㎡未満	0.48	㎡			
	プルボックス	ステンレス 防水 2.0㎡未満	1.68	㎡			
	プルボックス付属品	接地端子	2.0	個			
	小々計						
5	別紙明細書-5						
	防火区画区画貫通処理材	壁 (E63)	1.0	箇所			
	防火区画区画貫通処理材	床 (E31)	3.0	箇所			
	小々計						
6	別紙明細書-6						
	はつり工事	壁 88mm t=150	2.0	箇所			
	はつり工事	床 50mm t=150	3.0	箇所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	別紙明細書-7						
	配線器具 壁付コンセント	2P15Ax1 E.ET付	10.0	組			
	配線器具 カバープレート	角型 1連用	13.0	枚			
	小々計						
8	別紙明細書-8						
	ケーブル 管内	EM-EEF1.6mm-3C	11.0	m			
	ケーブル PF管内	EM-EEF1.6mm-2C	6.0	m			
	ケーブル PF管内	EM-EEF1.6mm-3C	46.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-EEF1.6mm-2C	142.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-EEF1.6mm-3C	225.0	m			
	小々計						
9	別紙明細書-9						
	電線管 隠蔽	(PF16)	30.0	m			
	電線管 隠蔽	(PF28)	16.0	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	別紙明細書-10						
	金属線ぴ 露出	(MM1-A)	11.0	m			
	金属線ぴ付属品	1個用ボックス MM1-A	7.0	個			
	小々計						
11	別紙明細書-11						
	アウトレットボックス	4-44 中浅	23.0	個			
	アウトレットボックス	4-54 中深	12.0	個			
	小々計						
12	別紙明細書-12						
	取外し再取付 LED照明器具	天井付(LRS1-05-LN相当品)	5.0	台			
	取外し再取付 LED照明器具	天井付(LRS1-17-LN相当品)	8.0	台			
	取外し再取付 LED照明器具	天井付(LSS9-2-30-LN相当品)	24.0	台			
	取外し再取付 照明制御装置	親機 人感センサ内蔵形	4.0	個			
	取外し再取付 照明制御装置	子機 人感センサ内蔵形	2.0	個			
	取外し再取付 照明制御装置	子機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用	1.0	個			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13	別紙明細書-13						
	撤去 配線器具 タンブラスイッチ	1P15Ax2	4.0	組			
	撤去 配線器具 タンブラスイッチ	1P15Ax1,3W15Ax1,確認表示灯x1	6.0	組			
	撤去 配線器具 壁付コンセント	2P15Ax1	9.0	組			
	撤去 壁付タイマー	24時間、週間	6.0	個			
	撤去 電線 管内	IV1.6mm	454.0	m			
	撤去 電線管 露出	(C19)	11.0	m			
	撤去 露出ボックス	角型 1個用 1方出 (C19)	6.0	個			
	小々計						
14	別紙明細書-14						
	配線器具 壁付コンセント	2P15Ax1 E.ET付	54.0	組			
	小々計						
15	別紙明細書-15						
	電線 PF管内	EM-IE1.6mm	17.0	m			
	電線 天井内	EM-IE1.6mm	8.0	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
16	別紙明細書-16						
	ケーブル 管内	EM-EEF2.0mm-3C	25.0	m			
	ケーブル PF管内	EM-EEF2.0mm-3C	414.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-EEF2.0mm-3C	551.0	m			
	小々計						
17	別紙明細書-17						
	電線管 隠蔽	(PF16)	17.0	m			
	電線管 隠蔽	(PF22)	414.0	m			
	小々計						
18	別紙明細書-18						
	アウトレットボックス	4-44 中浅	74.0	個			
	小々計						
19	別紙明細書-19						
	防火区画貫通処理材	壁 (E31)	4.0	箇所			
	防火区画貫通処理材	壁 (E39)	2.0	箇所			
	防火区画貫通処理材	壁 (E51)	2.0	箇所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
20	別紙明細書-20						
	はつり工事	壁 50mm t=150	4.0	箇所			
	はつり工事	壁 75mm t=150	2.0	箇所			
	はつり工事	壁 88mm t=150	2.0	箇所			
	小々計						
21	別紙明細書-21						
	電線 管内	EM-1E14sq	10.0	m			
	電線 ヒット内	EM-1E14sq	6.0	m			
	小々計						
22	別紙明細書-22						
	電線管 地中	(HIVE16)	10.0	m			
	小々計						
23	別紙明細書-23						
	接地工事	ED(ELCB)	1.0	箇所			
	接地埋設標		1.0	枚			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	別紙明細書-24						
	土工事	根切り 機械バックホウ0.13m ³	7.3	m ³			
	土工費	埋戻し 機械バックホウ0.13m ³	6.7	m ³			
	土工費	建設発生土処理 人力 場内敷き均し	0.6	m ³			
	土工費	砂利地業	0.6	m ³			
	土工費	土工機械運転 機械バックホウ0.13m ³	1.0	日			
	土工費	土工機械運転 タンパ60～80kg	1.0	日			
	土工費	運搬機械運転 トラック普通用2t積	1.0	日			
	小々計						
25	別紙明細書-25						
	施工費 既設受変電設備改設費	ED(ELCB)接地端子 新設	1.0	式			
	小々計						
26	別紙明細書-26						
	はつり工事	壁 32mm t=150	2.0	箇所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
27	別紙明細書-27						
	発生材処理 積込、運搬	金属類	0.100	t			
	発生材処理 積込、運搬	廃プラスチック類	0.100	m3			
	小々計						
28	別紙明細書-28						
	配線器具 壁付コンセント	2P15Ax1 E.ET付	1.0	組			
	配線器具 カバープレート	角型 1連用	2.0	枚			
	小々計						
29	別紙明細書-29						
	ケーブル PF管内	EM-EEF1.6mm-2C	1.0	m			
	ケーブル PF管内	EM-EEF1.6mm-3C	4.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-EEF1.6mm-2C	9.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-EEF1.6mm-3C	16.0	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
30	別紙明細書-30						
	電線管 隠蔽	(PF16)	3.0	m			
	電線管 隠蔽	(PF28)	1.0	m			
	小々計						
31	別紙明細書-31						
	金属線ぴ付属品	1個用ボックス MM1-A	1.0	個			
	小々計						
32	別紙明細書-32						
	アウトレットボックス	4-44 中浅	2.0	個			
	アウトレットボックス	4-54 中深	1.0	個			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
33	別紙明細書-33						
	施工費 ランプ再生資源化	FL20W	3.0	本			
	施工費 ランプ再生資源化	FL40W	2.0	本			
	施工費 ランプ再生資源化	積込、運搬	1.0	式			
	施工費 廃ランプ類処理費	同上差額	1.0	式			
	施工費 PCB含有試験	蛍光灯高力率型安定器	2.0	検体			
	小々計						
34	別紙明細書-34						
	撤去 照明器具	壁付 露出型 FL20Wx1 GL	3.0	台			
	撤去 照明器具	天井付 露出型 FL40Wx1 RH	2.0	台			
	撤去 配線器具 タンブラスイッチ	IP15Ax1	3.0	組			
	撤去 配線器具 タンブラスイッチ	1P15Ax1,1P15Ax1(確認表示灯付)	1.0	組			
	撤去 配線器具 天井付コンセント	2P15Ax1	1.0	組			
	撤去 電線 管内	IV1.6mm	66.0	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
35	別紙明細書-35						
	配線器具 壁付コンセント	2P15Ax1 E.ET付	4.0	組			
	小々計						
36	別紙明細書-36						
	電線 管内	EM-IE2.0mm	78.0	m			
	電線 PF管内	EM-IE1.6mm	3.0	m			
	電線 天井内	EM-IE1.6mm	1.0	m			
	小々計						
37	別紙明細書-37						
	ケーブル 管内	EM-EEF2.0mm-2C	2.0	m			
	ケーブル 管内	EM-EEF2.0mm-3C	2.0	m			
	ケーブル PF管内	EM-EEF2.0mm-3C	22.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-EEF2.0mm-2C	8.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-EEF2.0mm-3C	26.0	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
38	別紙明細書-38						
	電線管 隠蔽	(PF16)	3.0	m			
	電線管 隠蔽	(PF22)	22.0	m			
	電線管 屋外露出	(G16-Z35)	12.0	m			
	電線管 屋外露出	(G22-Z35)	14.0	m			
	小々計						
39	別紙明細書-39						
	プルボックス	ステンレス 防水 0.2㎡未満	0.32	㎡			
	プルボックス	ステンレス 防水 0.3㎡未満	0.22	㎡			
	プルボックス付属品	接地端子	3.0	個			
	アウトレットボックス	4-44 中浅	4.0	個			
	小々計						
40	別紙明細書-40						
	はつり工事	壁 32mm t=150	5.0	箇所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
41	別紙明細書-41						
	発生材処理 積込、運搬	金属類	0.100	t			
	発生材処理 積込、運搬	廃プラスチック類	0.100	m3			
	小々計						
42	別紙明細書-42						
	施工費 ランプ再生資源化	FDL27W	6.0	本			
	施工費 廃ランプ類処理費	同上差額	1.0	式			
	施工費 ランプ再生資源化	積込、運搬	1.0	式			
	小々計						
43	別紙明細書-43						
	撤去 照明器具	壁付 露出型 FDL27Wx1	6.0	台			
	小々計						
44	別紙明細書-44						
	発生材処理 積込、運搬	金属類	0.100	t			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
45	別紙明細書-45						
	配線器具 壁付コンセント	2P15Ax1 E.ET付	1.0	組			
	配線器具 カバープレート	角型 1連用	2.0	枚			
	小々計						
46	別紙明細書-46						
	電線 管内	EM-IE1.6mm	46.0	m			
	小々計						
47	別紙明細書-47						
	電線管 露出	(E19)	6.0	m			
	電線管 露出	(E25)	5.0	m			
	小々計						
48	別紙明細書-48						
	露出ボックス 角型	1個用 1方出 (E19)	1.0	個			
	露出ボックス 角型	1個用 1方出 (E25)	1.0	個			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
49	別紙明細書-49						
	塗装工事	(E19)	6.0	m			
	塗装工事	(E25)	5.0	m			
	小々計						
50	別紙明細書-50						
	施工費 ランプ再生資源化	FL20W	2.0	本			
	施工費 ランプ再生資源化	FL40W	1.0	本			
	施工費 廃ランプ類処理費	同上差額	1.0	式			
	施工費 ランプ再生資源化	積込、運搬	1.0	式			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
51	別紙明細書-51						
	撤去 照明器具	壁付 露出型 FL20Wx1 GL	1.0	台			
	撤去 照明器具	天井付 露出型 FL20Wx1 GL	1.0	台			
	撤去 照明器具	天井付 露出型 FL40Wx1 RH	1.0	台			
	撤去 配線器具 タンブラスイッチ	IP15Ax1	1.0	組			
	撤去 配線器具 タンブラスイッチ	1P15Ax3	1.0	組			
	撤去 配線器具 壁付コンセント	2P15Ax1	1.0	組			
	撤去 電線 管内	IV1.6mm	34.0	m			
	小々計						
52	別紙明細書-52						
	配線器具 壁付コンセント	2P15Ax1 E.ET付	2.0	組			
	小々計						
53	別紙明細書-53						
	電線 管内	EM-IE1.6mm	5.0	m			
	電線 管内	EM-IE2.0mm	58.0	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
54	別紙明細書-54						
	電線管 露出	(E19)	20.0	m			
	電線管 屋外露出	(G16-Z35)	5.0	m			
	小々計						
55	別紙明細書-55						
	プルボックス	ステンレス 防水 0.2㎡未満	0.16	㎡			
	プルボックス付属品	接地端子	1.0	個			
	露出ボックス 角型	1個用 1方出 (E19)	3.0	個			
	露出ボックス 丸型	3方出 (E19)	1.0	個			
	露出ボックス 丸型	4方出 (E19)	1.0	個			
	小々計						
56	別紙明細書-56						
	塗装工事	(E19)	20.0	m			
	小々計						
57	別紙明細書-57						
	はつり工事	壁 32mm t=150	1.0	箇所			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
58	別紙明細書-58						
	発生材処理 積込、運搬	金属類	0.100	t			
	発生材処理 積込、運搬	廃プラスチック類	0.100	m3			
	小々計						
59	別紙明細書-59						
	配線器具 タンプラスイッチ	1P15Ax3	1.0	組			
	配線器具 カバープレート	角型 1連用	1.0	枚			
	小々計						
60	別紙明細書-60						
	ケーブル PF管内	EM-EEF1.6mm-2C	6.0	m			
	ケーブル PF管内	EM-EEF1.6mm-3C	3.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-EEF1.6mm-2C	9.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-EEF1.6mm-3C	19.0	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
61	別紙明細書-61						
	電線管 隠蔽	(PF16)	2.0	m			
	電線管 隠蔽	(PF22)	2.0	m			
	電線管 隠蔽	(PF28)	2.0	m			
	小々計						
62	別紙明細書-62						
	アウトレットボックス	4-44 中浅	3.0	個			
	アウトレットボックス	4-54 中深	2.0	個			
	小々計						
63	別紙明細書-63						
	取外し再取付 LED照明器具	天井付(LRS3-4-65-LN相当品)	4.0	台			
	小々計						
64	別紙明細書-64						
	撤去 配線器具 タンブラスイッチ	1P15Ax3	1.0	組			
	撤去 電線 PF管内	IV1.6mm	46.0	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
65	別紙明細書-65						
	配線器具 壁付コンセント	2P15Ax2	2.0	組			
	配線器具 壁付コンセント	2P15Ax1 E.ET付	3.0	組			
	小々計						
66	別紙明細書-66						
	電線 PF管内	EM-IE1.6mm	3.0	m			
	電線 天井内	EM-IE1.6mm	1.0	m			
	小々計						
67	別紙明細書-67						
	ケーブル 管内	EM-EEF2.0mm-2C	2.0	m			
	ケーブル 管内	EM-EEF2.0mm-3C	2.0	m			
	ケーブル PF管内	EM-EEF2.0mm-2C	2.0	m			
	ケーブル PF管内	EM-EEF2.0mm-3C	17.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-EEF2.0mm-2C	5.0	m			
	ケーブル 天井内	EM-EEF2.0mm-3C	31.0	m			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
68	別紙明細書-68						
	電線管 隠蔽	(PF16)	3.0	m			
	電線管 隠蔽	(PF22)	19.0	m			
	小々計						
69	別紙明細書-69						
	金属線ぴ 露出	(MM1-A)	2.0	m			
	金属線ぴ付属品	1個用ボックス MM1-A	1.0	個			
	小々計						
70	別紙明細書-70						
	アウトレットボックス	4-44 中浅	4.0	個			
	小々計						
71	別紙明細書-71						
	撤去 配線器具 壁付コンセント	2P15Ax2	1.0	組			
	小々計						
72	別紙明細書-72						
	取外し再取付 スポット型感知器	差動式 2種 露出型	1.0	個			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	有圧扇	F-01	11.0	台			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛け便器	C-1	24.0	組			
	壁掛小便器	U-1	20.0	組			
	掃除流し	SK-2	10.0	組			
	手洗い水栓	F-1	12.0	組			
	手洗い水栓	F-2	18.0	組			
	L型手すり	TR-1	10.0	組			
	小便器用手すり	TR-4	5.0	組			
	化粧鏡	M-1	30.0	組			
	撤去工事		1.0	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 20	53.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 25	83.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 32	15.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 40	6.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 50	8.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 65	31.0	m			
	弁類	執務並行改修 BFV-65	7.0	個			
	コア抜き		1.0	式			
	あと施工アンカー	M10上打	98.0	箇所			
	既設管切断	執務並行改修 鋼管 65A	5.0	箇所			
	保温工事		1.0	式			
	総合調整費		196.0	m			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 50	10.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 75	10.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 100	4.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 FDVD VP 50	50.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 FDVD VP 65	15.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 FDVD VP 75	47.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 FDVD VP 100	65.0	m			
	通気管(便所配管)	執務並行改修 FDVD VP 50	28.0	m			
	通気管(便所配管)	執務並行改修 FDVD VP 65	16.0	m			
	通気管(便所配管)	執務並行改修 FDVD VP 100	12.0	m			
	掃除口兼満水試験継手	COS100	4.0	個			
	床上掃除口	COA65	4.0	個			
	床上掃除口	COA80	4.0	個			
	床上掃除口	COA100	15.0	個			
	既設管切断	執務並行改修 樹脂管 50A	11.0	箇所			
	既設管切断	執務並行改修 樹脂管 65A	3.0	箇所			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既設管切断	執務並行改修 樹脂管 75A	5.0	箇所			
	既設管切断	執務並行改修 樹脂管 100A	5.0	箇所			
	既設撤去後穴埋		63.0	箇所			
	コア抜き		1.0	式			
	あと施工アンカー	M10上打	257.0	箇所			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材積込・運搬						
	発生材積込・運搬	ガラス・陶磁器くず	6.2	m3			
	発生材積込・運搬	廃プラスチック	4.5	m3			
	発生材積込・運搬	金属くず	0.6	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	有圧扇	F-02	1.0	台			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛け便器	C-2	2.0	組			
	洗面カウンター	ML-2	1.0	組			
	掃除流し	SK-2	1.0	組			
	L型手すり	TR-1	1.0	組			
	化粧鏡	M-1	2.0	組			
	撤去工事		1.0	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 20	4.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 50	3.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 HIVP 20	6.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 HIVP 25	4.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 HIVP 32	4.0	m			
	あと施工アンカー	M10上打	10.0	箇所			
	既設管切断	執務並行改修 鋼管 50A	1.0	箇所			
	保温工事		1.0	式			
	総合調整費		21.0	m			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 50	3.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 65	2.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 75	5.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 100	3.0	m			
	床上掃除口	COA100	1.0	個			
	既設管切断	執務並行改修 樹脂管 75A	2.0	箇所			
	既設管切断	執務並行改修 樹脂管 100A	1.0	箇所			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材積込・運搬						
	発生材積込・運搬	ガラス・陶磁器くず	0.5	m3			
	発生材積込・運搬	廃プラスチック	0.3	m3			
	発生材積込・運搬	金属くず	0.1	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	衛生器具設備						
	腰掛け便器	C-6	1.0	組			
	壁掛洗面器	L-3	1.0	組			
	化粧鏡	M-1	1.0	組			
	撤去工事		1.0	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	給水設備						
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 20	1.0	m			
	あと施工アンカー	M10上打	2.0	箇所			
	既設管切断	執務並行改修 鋼管 20A	1.0	箇所			
	保温工事		1.0	式			
	総合調整費		1.0	m			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	排水通気設備						
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 75	1.0	m			
	既設管切断	執務並行改修 樹脂管 75A	1.0	箇所			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	発生材積込・運搬						
	発生材積込・運搬	ガラス・陶磁器くず	0.1	m3			
	発生材積込・運搬	廃プラスチック	0.1	m3			
	発生材積込・運搬	金属くず	0.1	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	有圧扇	F-02	1.0	台			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛け便器	C-2	1.0	組			
	壁掛小便器	U-1	1.0	組			
	洗面カウンター	ML-1	1.0	組			
	L型手すり	TR-1	1.0	組			
	小便器用手すり	TR-4	1.0	組			
	化粧鏡	M-1	1.0	組			
	撤去工事		1.0	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 20	4.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 25	2.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 32	1.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 40	2.0	m			
	あと施工アンカー	M10上打	4.0	箇所			
	既設管切断	執務並行改修 鋼管 40A	1.0	箇所			
	保温工事		1.0	式			
	総合調整費		9.0	m			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 50	2.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 75	1.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 100	2.0	m			
	床上掃除口	COA100	1.0	個			
	既設管切断	執務並行改修 樹脂管 100A	1.0	箇所			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材積込・運搬						
	発生材積込・運搬	ガラス・陶磁器くず	0.1	m3			
	発生材積込・運搬	廃プラスチック	0.1	m3			
	発生材積込・運搬	金属くず	0.1	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	有圧扇	FV-02	1.0	台			
	換気ダクト	スパイラルダクト φ200	2.0	m			
	コア抜き		1.0	式			
	あと施工アンカー	M10上打	2.0	箇所			
	保温工事		1.0	式			
	総合調整費		2.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛け便器	C-8	1.0	組			
	壁掛洗面器	L-2	1.0	組			
	フィッティングボード	FB-1	1.0	組			
	背もたれ	BR-2	1.0	組			
	L型手すり	TR-2	1.0	組			
	はね上げ手すり	TR-3	1.0	組			
	化粧鏡	M-2	1.0	組			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 20	11.0	m			
	給水管(便所配管)	執務並行改修 JWWAK-116 SGP-VB 25	19.0	m			
	弁類	執務並行改修 GV-25	1.0	個			
	あと施工アンカー	M10上打	15.0	箇所			
	既設管分岐	執務並行改修 鋼管 25A	1.0	箇所			
	保温工事		1.0	式			
	総合調整費		30.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 40	3.0	m			
	排水管(便所配管)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 75	2.0	m			
	排水管(屋外埋設)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 40	1.0	m			
	排水管(屋外埋設)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 75	3.0	m			
	排水管(屋外埋設)	執務並行改修 JIS-K-6741 VP 100	5.0	m			
	プラスチック柵(A)	800H 200-100	4.0	個			
	塩ビ柵要望後蓋	200φ T14	4.0	個			
	コア抜き		1.0	式			
	保温工事		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	発生材 処分 (北舎)						
	発生材 処分	ガラス・陶磁器くず	6.2	m3			
	発生材 処分	廃プラスチック類	4.5	m3			
	発生材 処分	金属くず	0.6	t			
	小計						
	改め計						
2	発生材 処分 (特別教室棟)						
	発生材 処分	ガラス・陶磁器くず	0.5	m3			
	発生材 処分	廃プラスチック類	0.3	m3			
	発生材 処分	金属くず	0.1	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	発生材 処分 (屋外トイレ1)						
	発生材 処分	ガラス・陶磁器くず	0.1	m3			
	発生材 処分	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 処分	金属くず	0.1	t			
	小計						
	改め計						
4	発生材 処分 (屋外トイレ2)						
	発生材 処分	ガラス・陶磁器くず	0.1	m3			
	発生材 処分	廃プラスチック類	0.1	m3			
	発生材 処分	金属くず	0.1	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	共通仮設費						
	仮囲い	パネルフェンス H=1,800	90	m			
	クロスゲート	W=3,000(H=1,800)	1	台			
	仮設トイレ	水洗式 6か月	6	台			
	仮設手洗い	水洗式 6か月	2	台			
	現場工作物	単管小屋	43	m ²			
	仮囲い	パネルフェンス H=1,800	27	m			
	グラウンドチェッカー	D300*W300*H13mm	258	枚			
	小計						
	改め計						

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)

設計図

図面リスト					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	建築改修工事 特記仕様書(1)	E-01	電気設備工事 特記仕様書	M-01	機械設備工事 特記仕様書(1)
A-02	建築改修工事 特記仕様書(2)	E-02	配置図、案内図 改修後 電灯(電灯幹線)、受変電設備 配線図	M-02	機械設備工事 特記仕様書(2)
A-03	建築改修工事 特記仕様書(3)	E-03	階高図-1(北舎) (参考図)	M-03	機械設備工事 特記仕様書(3)
A-04	建築改修工事 特記仕様書(4)	E-04	階高図-2(南舎) (参考図)	M-04	給排水設備 衛生器具表(改修後)
A-05	建築改修工事 特記仕様書(5)	E-05	階高図-3(特別教室棟、屋外トイレ2) (参考図)	M-05	給排水設備 衛生器具表(撤去)・換気機器表(改修後・撤去)
A-06	建築改修工事 特記仕様書(6)	E-06	階高図-4(屋外トイレ1、屋内運動場) (参考図)	M-06	給排水設備 系統図(改修前・後)
A-07	建築改修工事 特記仕様書(7)	E-07	改修前 北舎、南舎 1階 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-07	給排水設備 配置図
A-08	案内図、配置図 兼 全体仮設計画図(参考図)	E-08	改修前 北舎、南舎 2階 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-08	給排水設備 北舎・南舎 1階平面図
A-09	改修前 平面図 兼 仮設計画参考図(北舎・南舎1階)	E-09	改修前 北舎 3階 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-09	給排水設備 北舎・南舎 2階平面図
A-10	改修前 平面図 兼 仮設計画参考図(北舎・南舎2階)	E-10	改修後 北舎、南舎 1階 電灯設備 配線図	M-10	給排水設備 北舎 3階・R階平面図
A-11	改修前 平面図 兼 仮設計画参考図(北舎3階)	E-11	改修後 北舎、南舎 2階 電灯設備 配線図	M-11	給排水設備 屋内運動場・屋外トイレ1 平面図
A-12	改修前 平面図 兼 仮設計画参考図(屋内運動場)(屋外トイレ1)	E-12	改修後 北舎 3階 電灯設備 配線図	M-12	給排水設備 平面詳細図(北舎 東 1階)
A-13	改修後 平面図(北舎・南舎1階)	E-13	改修前、改修後 北舎 1階 東便所 電灯設備(電灯分岐) 配線図	M-13	給排水設備 平面詳細図(北舎 東 2階)
A-14	改修後 平面図(北舎・南舎2階)	E-14	改修前、改修後 北舎 2階 東便所 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-14	給排水設備 平面詳細図(北舎 東 3階)
A-15	改修後 平面図(北舎3階)	E-15	改修前、改修後 北舎 3階 東便所 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-15	給排水設備 平面詳細図(北舎 西 1階)
A-16	改修後 平面図(屋内運動場)(屋外トイレ1)	E-16	改修前、改修後 北舎 1階 西便所 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-16	給排水設備 平面詳細図(北舎 西 2階)
A-17	改修前 平面詳細図、展開図(北舎 東 2階)	E-17	改修前、改修後 北舎 2階 西便所 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-17	給排水設備 平面詳細図(北舎 西 3階)
A-18	改修後 平面詳細図、展開図(北舎 東 2階)	E-18	改修前、改修後 北舎 3階 西便所 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-18	給排水設備 平面詳細図(南舎 新設多目的トイレ)
A-19	改修前 平面詳細図、展開図(北舎 東 3階)	E-19	改修前、改修後 特別教室棟 1階 便所 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-19	給排水設備 平面詳細図(屋内運動場)(屋外トイレ1)
A-20	改修後 平面詳細図、展開図(北舎 東 3階)	E-20	改修前、改修後 屋外トイレ1 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-20	給排水設備 平面詳細図(特別教室棟)(屋外トイレ2)
A-21	改修前 平面詳細図、展開図(北舎 西 1階)	E-21	改修前、改修後 屋外トイレ2 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-21	換気設備 北舎・南舎 1階平面図(改修前)
A-22	改修後 平面詳細図、展開図(北舎 西 1階)	E-22	改修前、改修後 多目的トイレ 電灯設備(電灯分岐、コンセント分岐) 配線図	M-22	換気設備 北舎・南舎 2階平面図(改修前)
A-23	改修前 平面詳細図、展開図(北舎 西 2、3階)	E-23	改修前、改修後 多目的トイレ 火災報知設備(自動火災報知) 配線図	M-23	換気設備 北舎 3階・R階平面図(改修前)
A-24	改修後 平面詳細図、展開図(北舎 西 2、3階)	E-24	新設 分電盤 単線接続図-1	M-24	換気設備 屋内運動場・屋外トイレ1 平面図(改修前)
A-25	改修前 平面詳細図、展開図(南舎 新設多目的トイレ)	E-25	新設 分電盤 単線接続図-2	M-25	換気設備 北舎・南舎 1階平面図(改修後)
A-26	改修後 平面詳細図、展開図(南舎 新設多目的トイレ)	E-26	新設 分電盤 単線接続図-3	M-26	換気設備 北舎・南舎 2階平面図(改修後)
A-27	改修前 平面詳細図、展開図(特別教室棟)(屋外トイレ2)	E-27	新設 分電盤 単線接続図-4(参考図)	M-27	換気設備 北舎 3階・R階平面図(改修後)
A-28	改修後 平面詳細図、展開図(特別教室棟)(屋外トイレ2)	E-28	新設 分電盤 単線接続図-5(参考図)	M-28	換気設備 屋内運動場・屋外トイレ1 平面図(改修後)
A-29	改修前・後 平面詳細図、展開図(屋外トイレ1)				
A-30	改修前 天井伏図				
A-31	改修後 天井伏図				
A-32	改修前・後 建具表(1)				
A-33	改修前・後 建具表(2)				
A-34	改修後 建具表(1)				
A-35	改修後 建具表(2)				
A-36	部分詳細図(1)				
A-37	部分詳細図(2)				
A-38	部分詳細図(3)				

II 建築改修工事仕様	章 項目	特記事項																																																																																													
工事概要 工事名称 可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期） 主要用途 小学校 工事種別 改修 敷地 可児市広見94番地 敷地面積 35,040.51㎡ 都市計画法等 都市計画区域 ○ 都市計画区域内（市街化区域・市街化調整区域○その他） 用途地域 ・ 第一種中高層住居専用地域 防火地域 ・ 防火地域 ・ 準防火地域 ○ 指定なし その他の指定 ・ 22条指定区域内 ○ 22条指定区域外 ・ 建築基準法 道路 ・ 国道 ○ 県道 ・ 市道 ・ 町道 ・ 村道 ・ 私道 幅員 9m（2以上の道路に接する場合は、広い方の道路幅員を記入） 指定の建ぺい率 60.0% 指定の容積率 200.0% 工事建物の概要 1 北舎：RC造・3階建て 延べ床面積 2,808.95㎡ 2 南舎：RC造・2階建て 延べ床面積 1,845.15㎡ 3 特別教室棟：RC造・2階建て 延べ床面積 417.94㎡ 4 屋内運動場：RC、S造・2階建て 延べ床面積 904.92㎡ 5 屋外トイレ1：CB造・1階建て 延べ床面積 14.25㎡ 6 屋外トイレ2：RC造・1階建て 延べ床面積 6.62㎡ 工事の範囲 ○建築工事（トイレ改造に伴う内装、建具等） ○電気設備工事（トイレ改造に伴う幹線、電灯設備等） ○機械設備工事（トイレ改修に伴う換気、衛生、給排水設備等） ○外構工事一式 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ・構造特記仕様書 ・外構工事特記仕様書 ・植栽工事特記仕様書 ○解体工事特記仕様書 ・電気設備工事特記仕様書 ・機械設備工事特記仕様書 ○可児市建設工事特記仕様書 別途工事 ・ 1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。 なお、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「標準仕様書」という。)による。 (2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。 (3) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査(同法第7条の3の定めによる中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。 2. 本特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の[] 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策強化地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する性情(臨時)が気象庁から出された場合には、工事中の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全措置を講じなければならない。 上記事項が発生した場合は、契約書第26条(臨時的措置)の規定による。 (5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それが関係法令の改正等により(条例等を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。	⑧ 発生材の処理等 ⑨ 埋戻し及び盛土 ⑩ 砂利地業 ⑪ 環境への配慮 ⑫ 材料の品質等 ⑬ 特別な材料の工法 ⑭ 施工調査	※引渡しを要するもの(・金属類 ※PCB含有物) (1.3.12) ・特別管理産業廃棄物(※廃石綿)) ・現場において再利用を図るもの() ・再生資材の活用を図るもの() ・アスベスト成形板としての処理を要するもの ※改修標準仕様書の9章 環境配慮改修工事による ・PCB含有シーリング材の分析調査 ・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う 採取箇所数(計 箇所) 採取場所(※図示) ・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う 分析個数(計 個) ・除去処理工事 撤去工法 「標準施工要領書(日本シーリング工業共同組合連合会/日本シーリング工業会)」による 除去範囲(※図示) ※再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書の提出 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出するものとする。 なお、計画書及び報告書は「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成したものとす。 種別 ・ A種 ○B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [3.2.3][表3.2.1] ※再生クラッシュラン [6] ・ 切込砂利又は切込砕石 [4.6.2] [6] 印は「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」(以下「グリーン購入法」という。)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針の変更(平成31年2月8日閣議決定)」に定める特定調達物品等を示す。原則としてグリーン購入法における特定調達品目の使用に努める。(1.4.1) 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のi)からiv)を満たすものとする。 i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDFパーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 iii) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。 iv) i)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次のi)又はii)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次のiii)又はiv)に該当する材料を指す。 i) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド放散建築材料以外の材料 ii) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 iii) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド放散建築材料 iv) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。(1.4.2) 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料等を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が実施する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断に基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁 平成18年2月15日)に準拠した証明書を監督員へ提出する。 改修標準仕様書、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 ※施工計画調査 (1.5.1~3) 本工事該当部位及び関連部位について既存施設(埋設配管等を含む)について、施工計画作成のための事前調査、情報収集を行う。 報告書 監督員に2部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付 調査業者 防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。 ・埋設配管の試掘 範囲、復旧方法 ※図示) ・施工数量調査(外壁改修) (1.5.2、3) 調査範囲 ※外壁改修範囲 図示 調査内容 ひび割れの幅及び長さを調査する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びひびく落部を調査する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひびく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示) ・既存塗膜の付着力試験 試験箇所及び箇所数については、監督員と協議の上決定する																																																																																													
1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。 なお、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「標準仕様書」という。)による。 (2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。 (3) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査(同法第7条の3の定めによる中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。 2. 本特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の[] 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策強化地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する性情(臨時)が気象庁から出された場合には、工事中の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全措置を講じなければならない。 上記事項が発生した場合は、契約書第26条(臨時的措置)の規定による。 (5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それが関係法令の改正等により(条例等を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。	① 共通事項 ② 工事写真 23 設計GL ④ 建設機械 ⑤ 設備工事との取り合い ⑥ 事故報告 ⑦ 養生その他 ⑧ 完成写真 ⑨ 建設発生土の処理 ⑩ 書類の書式等 ⑪ 概成工期 ⑫ 下請施工業務 ⑬ 産業廃棄物の適正処理 ⑭ 下請業者等 ⑮ その他	・施工数量調査(防水改修) (1.5.2、3) 調査範囲 ※防水改修範囲 図示 調査方法 図示) 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示) ※適用する 適用する技能士 (1.6.2) <table border="1"><thead><tr><th>工事種目</th><th>技能士検定職種</th><th>技能検定作業</th></tr></thead><tbody><tr><td>仮設工事</td><td>とび</td><td>○とび作業</td></tr><tr><td>鉄筋工事</td><td>鉄筋施工</td><td>○鉄筋組立作業</td></tr><tr><td>コンクリート工事</td><td>型枠施工</td><td>○型枠工事作業</td></tr><tr><td></td><td>コンクリート圧送施工</td><td>○コンクリート圧送工事作業</td></tr><tr><td>石工事</td><td>石材施工</td><td>・石張り作業</td></tr><tr><td>木工事</td><td>建築大工</td><td>・大工工事作業</td></tr><tr><td>金属工事</td><td>内装仕上施工</td><td>○鋼製下地工事作業</td></tr><tr><td></td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr><tr><td>防水改修工事</td><td>防水施工</td><td>・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ポリウレタン防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・改質777防水工事作業 ・FRP防水工事作業</td></tr><tr><td>屋根及びとい改修工事</td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr><tr><td>外壁改修工事</td><td>樹脂接着剤注入施工</td><td>・樹脂接着剤注入工事作業</td></tr><tr><td></td><td>左官</td><td>・左官作業</td></tr><tr><td></td><td>タイル張り</td><td>・タイル張り作業</td></tr><tr><td>建具改修工事</td><td>サッシ施工</td><td>○ビル用サッシ施工作業</td></tr><tr><td></td><td>ガラス施工</td><td>○ガラス工事作業</td></tr><tr><td></td><td>自動ドア施工</td><td>・自動ドア工事作業</td></tr><tr><td>内装改修工事</td><td>建築大工</td><td>・大工工事作業</td></tr><tr><td></td><td>内装仕上施工</td><td>○鋼製下地工事作業</td></tr><tr><td></td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr><tr><td></td><td>内装仕上施工</td><td>○777系床仕上げ工事作業 ・カーペット床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業</td></tr><tr><td></td><td>表装</td><td>・壁装作業</td></tr><tr><td></td><td>左官</td><td>○左官作業</td></tr><tr><td></td><td>タイル張り</td><td>・タイル張り作業</td></tr><tr><td>塗装改修工事</td><td>塗装</td><td>○建築塗装作業</td></tr><tr><td>耐震改修工事</td><td>型枠施工</td><td>・型枠工事作業</td></tr><tr><td></td><td>鉄筋施工</td><td>・鉄筋組立作業</td></tr><tr><td></td><td>コンクリート圧送施工</td><td>・コンクリート圧送工事作業</td></tr><tr><td>排水工事</td><td>配管</td><td>・建築配管作業</td></tr><tr><td>舗装工事</td><td>路面標示施工</td><td>・溶融舗装工事作業</td></tr><tr><td>補修工事</td><td>造園</td><td>・造園工事作業</td></tr></tbody></table> 16 技能資格者 (1.6.3) ・溶接技能者(一社)日本溶接協会が検定した技能資格を有する者) ・圧接技量資格者(JIS Z 3881(ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準)による技量を有する者) ⑬ 施工の検査等 (1.6.5、6) ○監督員の指示による ⑭ 施工の立会い (1.6.7) ○監督員の指示による ⑮ 化学物質の濃度測定 (1.6.9) 1) 着工前及び着工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 2) 測定対象室及び測定箇所数は次による。 測定対象室() 測定箇所数() 測定方法 ※パッシブ採取による蒸気拡散式分析法 ・厚生労働省の標準法 測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 学校のみパラジクロロベンゼンを追加 換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押入れ等を含む。)を開放し30分換気する。 閉鎖 測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は、開放したままとする。 測定 測定は、「閉鎖」の状態のまま行う。 測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定(10時30分~18時30分)とする。 測定位置は、室中央付近の床から1.2m~1.5mの高さとする。 ⑯ 完成時の提出書類 (1.8.1~3)(表1.8.1) ○完成図(施工図、施工計画書を除く) ※新規に作成 ・既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。 可児市建設工事における取扱書類一覧により整理し提出する。 ※提出完成図(A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部) ○保全に関する資料 提出 ※1部) ○施工図(・監督員の指示による) 提出 ※A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部) ○施工計画書(・監督員の指示による) 提出 ※1部) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。 製作図等が原図として提出が出来ないものは、原因に代わるものとしてよい。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式及びPDF形式又はTIFF形式(解像度300DPI程度)	工事種目	技能士検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	○とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	○型枠工事作業		コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業	石工事	石材施工	・石張り作業	木工事	建築大工	・大工工事作業	金属工事	内装仕上施工	○鋼製下地工事作業		建築板金	・内外装板金作業	防水改修工事	防水施工	・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ポリウレタン防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・改質777防水工事作業 ・FRP防水工事作業	屋根及びとい改修工事	建築板金	・内外装板金作業	外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業		左官	・左官作業		タイル張り	・タイル張り作業	建具改修工事	サッシ施工	○ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	○ガラス工事作業		自動ドア施工	・自動ドア工事作業	内装改修工事	建築大工	・大工工事作業		内装仕上施工	○鋼製下地工事作業		建築板金	・内外装板金作業		内装仕上施工	○777系床仕上げ工事作業 ・カーペット床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業		表装	・壁装作業		左官	○左官作業		タイル張り	・タイル張り作業	塗装改修工事	塗装	○建築塗装作業	耐震改修工事	型枠施工	・型枠工事作業		鉄筋施工	・鉄筋組立作業		コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業	排水工事	配管	・建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	・溶融舗装工事作業	補修工事	造園	・造園工事作業
工事種目	技能士検定職種	技能検定作業																																																																																													
仮設工事	とび	○とび作業																																																																																													
鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業																																																																																													
コンクリート工事	型枠施工	○型枠工事作業																																																																																													
	コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業																																																																																													
石工事	石材施工	・石張り作業																																																																																													
木工事	建築大工	・大工工事作業																																																																																													
金属工事	内装仕上施工	○鋼製下地工事作業																																																																																													
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																													
防水改修工事	防水施工	・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ポリウレタン防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・改質777防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																																																																													
屋根及びとい改修工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																																													
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業																																																																																													
	左官	・左官作業																																																																																													
	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																													
建具改修工事	サッシ施工	○ビル用サッシ施工作業																																																																																													
	ガラス施工	○ガラス工事作業																																																																																													
	自動ドア施工	・自動ドア工事作業																																																																																													
内装改修工事	建築大工	・大工工事作業																																																																																													
	内装仕上施工	○鋼製下地工事作業																																																																																													
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																													
	内装仕上施工	○777系床仕上げ工事作業 ・カーペット床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業																																																																																													
	表装	・壁装作業																																																																																													
	左官	○左官作業																																																																																													
	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																													
塗装改修工事	塗装	○建築塗装作業																																																																																													
耐震改修工事	型枠施工	・型枠工事作業																																																																																													
	鉄筋施工	・鉄筋組立作業																																																																																													
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業																																																																																													
排水工事	配管	・建築配管作業																																																																																													
舗装工事	路面標示施工	・溶融舗装工事作業																																																																																													
補修工事	造園	・造園工事作業																																																																																													

章 項目	特記事項
① 共通事項 ② 工事写真 23 設計GL ④ 建設機械 ⑤ 設備工事との取り合い ⑥ 事故報告 ⑦ 養生その他 ⑧ 完成写真 ⑨ 建設発生土の処理 ⑩ 書類の書式等 ⑪ 概成工期 ⑫ 下請施工業務 ⑬ 産業廃棄物の適正処理 ⑭ 下請業者等 ⑮ その他	国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による工事写真撮影ガイドブック(令和5年版)及び国土交通大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。 ※設計GL=Bm+ mm(現状地盤高は図示) 1) 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成13年4月9日国土交通省告示第487号)に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 2) 本工事においては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日国総施第215号、最終改正 平成23年7月13日国総環第1号)」に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。 本工事の施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※電動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通知するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならぬ補修する。 ※粉じん対策 粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。 工事車両の洗車及び道路の清掃をすること。 搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。 工事車両の出入口及び出入部分に透明板の仮囲い又は赤色灯を設置すること。 ・騒音対策 隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。 ・夜間照明 仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。 ⑧ 完成写真 撮影箇所数 ※ () 箇所 ・航空写真() 箇所 ○監督員の指示による 本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ※電子データ 1部 画素：長辺で2880PIX以上 記録方式：RGB(フルカラー)、JPEG最高画質 記録媒体：CD-R(ISO) ・カラープリント キヤビネ紙()部 アルバム(黒表紙文字300mm×300mm程度) ※無し ・有り ・四つ切 ()枚 ※アルミ銀線 ・印刷用紙：A4縦 ・半切 ()枚 ※アルミ銀線 ・撮影内容：監督員の指示による ・全紙 ()枚 ※アルミ銀線 ・提出部数：監督員の指示による [3.2.5] 「建設発生土情報交換システム」(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 可児市建設発生土処理基準に基づき適正に処分すること。 ・場外指定場所に搬出する。 ・搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 ・場内指定場所に敷き均し() ・場内指定場所に堆積() ・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。 本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する様式に基づき作成する。 総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定するまたる営業所を含む。)を有する者の中から選定するよう努めること。 産業廃棄物が搬出される工事にあつては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。 下請業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。 初回打合せ時に設計図の製本を2部提出すること。

章 項目	特記事項																																																																																													
① 共通事項 ② 工事写真 23 設計GL ④ 建設機械 ⑤ 設備工事との取り合い ⑥ 事故報告 ⑦ 養生その他 ⑧ 完成写真 ⑨ 建設発生土の処理 ⑩ 書類の書式等 ⑪ 概成工期 ⑫ 下請施工業務 ⑬ 産業廃棄物の適正処理 ⑭ 下請業者等 ⑮ その他	・施工数量調査(防水改修) (1.5.2、3) 調査範囲 ※防水改修範囲 図示 調査方法 図示) 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示) ※適用する 適用する技能士 (1.6.2) <table border="1"><thead><tr><th>工事種目</th><th>技能士検定職種</th><th>技能検定作業</th></tr></thead><tbody><tr><td>仮設工事</td><td>とび</td><td>○とび作業</td></tr><tr><td>鉄筋工事</td><td>鉄筋施工</td><td>○鉄筋組立作業</td></tr><tr><td>コンクリート工事</td><td>型枠施工</td><td>○型枠工事作業</td></tr><tr><td></td><td>コンクリート圧送施工</td><td>○コンクリート圧送工事作業</td></tr><tr><td>石工事</td><td>石材施工</td><td>・石張り作業</td></tr><tr><td>木工事</td><td>建築大工</td><td>・大工工事作業</td></tr><tr><td>金属工事</td><td>内装仕上施工</td><td>○鋼製下地工事作業</td></tr><tr><td></td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr><tr><td>防水改修工事</td><td>防水施工</td><td>・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ポリウレタン防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・改質777防水工事作業 ・FRP防水工事作業</td></tr><tr><td>屋根及びとい改修工事</td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr><tr><td>外壁改修工事</td><td>樹脂接着剤注入施工</td><td>・樹脂接着剤注入工事作業</td></tr><tr><td></td><td>左官</td><td>・左官作業</td></tr><tr><td></td><td>タイル張り</td><td>・タイル張り作業</td></tr><tr><td>建具改修工事</td><td>サッシ施工</td><td>○ビル用サッシ施工作業</td></tr><tr><td></td><td>ガラス施工</td><td>○ガラス工事作業</td></tr><tr><td></td><td>自動ドア施工</td><td>・自動ドア工事作業</td></tr><tr><td>内装改修工事</td><td>建築大工</td><td>・大工工事作業</td></tr><tr><td></td><td>内装仕上施工</td><td>○鋼製下地工事作業</td></tr><tr><td></td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr><tr><td></td><td>内装仕上施工</td><td>○777系床仕上げ工事作業 ・カーペット床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業</td></tr><tr><td></td><td>表装</td><td>・壁装作業</td></tr><tr><td></td><td>左官</td><td>○左官作業</td></tr><tr><td></td><td>タイル張り</td><td>・タイル張り作業</td></tr><tr><td>塗装改修工事</td><td>塗装</td><td>○建築塗装作業</td></tr><tr><td>耐震改修工事</td><td>型枠施工</td><td>・型枠工事作業</td></tr><tr><td></td><td>鉄筋施工</td><td>・鉄筋組立作業</td></tr><tr><td></td><td>コンクリート圧送施工</td><td>・コンクリート圧送工事作業</td></tr><tr><td>排水工事</td><td>配管</td><td>・建築配管作業</td></tr><tr><td>舗装工事</td><td>路面標示施工</td><td>・溶融舗装工事作業</td></tr><tr><td>補修工事</td><td>造園</td><td>・造園工事作業</td></tr></tbody></table> 16 技能資格者 (1.6.3) ・溶接技能者(一社)日本溶接協会が検定した技能資格を有する者) ・圧接技量資格者(JIS Z 3881(ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準)による技量を有する者) ⑬ 施工の検査等 (1.6.5、6) ○監督員の指示による ⑭ 施工の立会い (1.6.7) ○監督員の指示による ⑮ 化学物質の濃度測定 (1.6.9) 1) 着工前及び着工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 2) 測定対象室及び測定箇所数は次による。 測定対象室() 測定箇所数() 測定方法 ※パッシブ採取による蒸気拡散式分析法 ・厚生労働省の標準法 測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 学校のみパラジクロロベンゼンを追加 換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押入れ等を含む。)を開放し30分換気する。 閉鎖 測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は、開放したままとする。 測定 測定は、「閉鎖」の状態のまま行う。 測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定(10時30分~18時30分)とする。 測定位置は、室中央付近の床から1.2m~1.5mの高さとする。 ⑯ 完成時の提出書類 (1.8.1~3)(表1.8.1) ○完成図(施工図、施工計画書を除く) ※新規に作成 ・既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。 可児市建設工事における取扱書類一覧により整理し提出する。 ※提出完成図(A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部) ○保全に関する資料 提出 ※1部) ○施工図(・監督員の指示による) 提出 ※A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部) ○施工計画書(・監督員の指示による) 提出 ※1部) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。 製作図等が原図として提出が出来ないものは、原因に代わるものとしてよい。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式及びPDF形式又はTIFF形式(解像度300DPI程度)	工事種目	技能士検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	○とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	○型枠工事作業		コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業	石工事	石材施工	・石張り作業	木工事	建築大工	・大工工事作業	金属工事	内装仕上施工	○鋼製下地工事作業		建築板金	・内外装板金作業	防水改修工事	防水施工	・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ポリウレタン防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・改質777防水工事作業 ・FRP防水工事作業	屋根及びとい改修工事	建築板金	・内外装板金作業	外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業		左官	・左官作業		タイル張り	・タイル張り作業	建具改修工事	サッシ施工	○ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	○ガラス工事作業		自動ドア施工	・自動ドア工事作業	内装改修工事	建築大工	・大工工事作業		内装仕上施工	○鋼製下地工事作業		建築板金	・内外装板金作業		内装仕上施工	○777系床仕上げ工事作業 ・カーペット床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業		表装	・壁装作業		左官	○左官作業		タイル張り	・タイル張り作業	塗装改修工事	塗装	○建築塗装作業	耐震改修工事	型枠施工	・型枠工事作業		鉄筋施工	・鉄筋組立作業		コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業	排水工事	配管	・建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	・溶融舗装工事作業	補修工事	造園	・造園工事作業
工事種目	技能士検定職種	技能検定作業																																																																																												
仮設工事	とび	○とび作業																																																																																												
鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業																																																																																												
コンクリート工事	型枠施工	○型枠工事作業																																																																																												
	コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業																																																																																												
石工事	石材施工	・石張り作業																																																																																												
木工事	建築大工	・大工工事作業																																																																																												
金属工事	内装仕上施工	○鋼製下地工事作業																																																																																												
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																												
防水改修工事	防水施工	・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・777防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ポリウレタン防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・改質777防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																																																																												
屋根及びとい改修工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																																												
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業																																																																																												
	左官	・左官作業																																																																																												
	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																												
建具改修工事	サッシ施工	○ビル用サッシ施工作業																																																																																												
	ガラス施工	○ガラス工事作業																																																																																												
	自動ドア施工	・自動ドア工事作業																																																																																												
内装改修工事	建築大工	・大工工事作業																																																																																												
	内装仕上施工	○鋼製下地工事作業																																																																																												
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																												
	内装仕上施工	○777系床仕上げ工事作業 ・カーペット床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業																																																																																												
	表装	・壁装作業																																																																																												
	左官	○左官作業																																																																																												
	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																												
塗装改修工事	塗装	○建築塗装作業																																																																																												
耐震改修工事	型枠施工	・型枠工事作業																																																																																												
	鉄筋施工	・鉄筋組立作業																																																																																												
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業																																																																																												
排水工事	配管	・建築配管作業																																																																																												
舗装工事	路面標示施工	・溶融舗装工事作業																																																																																												
補修工事	造園	・造園工事作業																																																																																												

章 項目	特記事項
① 共通事項 ② 工事写真 23 設計GL ④ 建設機械 ⑤ 設備工事との取り合い ⑥ 事故報告 ⑦ 養生その他 ⑧ 完成写真 ⑨ 建設発生土の処理 ⑩ 書類の書式等 ⑪ 概成工期 ⑫ 下請施工業務 ⑬ 産業廃棄物の適正処理 ⑭ 下請業者等 ⑮ その他	国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による工事写真撮影ガイドブック(令和5年版)及び国土交通大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。 ※設計GL=Bm+ mm(現状地盤高は図示) 1) 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成13年4月9日国土交通省告示第487号)に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 2) 本工事においては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日国総施第215号、最終改正 平成23年7月13日国総環第1号)」に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。 本工事の施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※電動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通知するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならぬ補修する。 ※粉じん対策 粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。 工事車両の洗車及び道路の清掃をすること。 搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。 工事車両の出入口及び出入部分に透明板の仮囲い又は赤色灯を設置すること。 ・騒音対策 隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。 ・夜間照明 仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。 ⑧ 完成写真 撮影箇所数 ※ () 箇所 ・航空写真() 箇所 ○監督員の指示による 本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ※電子データ 1部 画素：長辺で2880PIX以上 記録方式：RGB(フルカラー)、JPEG最高画質 記録媒体：CD-R(ISO) ・カラープリント キヤビネ紙()部 アルバム(黒表紙文字300mm×300mm程度) ※無し ・有り ・四つ切 ()枚 ※アルミ銀線 ・印刷用紙：A4縦 ・半切 ()枚 ※アルミ銀線 ・撮影内容：監督員の指示による ・全紙 ()枚 ※アルミ銀線 ・提出部数：監督員の指示による [3.2.5] 「建設発生土情報交換システム」(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 可児市建設発生土処理基準に基づき適正に処分すること。 ・場外指定場所に搬出する。 ・搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 ・場内指定場所に敷き均し() ・場内指定場所に堆積() ・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。 本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する様式に基づき作成する。 総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定するまたる営業所を含む。)を有する者の中から選定するよう努めること。 産業廃棄物が搬出される工事にあつては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。 下請業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。 初回打合せ時に設計図の製本を2部提出すること。

教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)		
種別	建築改修工事特記仕様書(1)	図面番号	A-01
縮尺	—	作成年月日	令和6年10月
設計者	株式会社 山田建築事務所		
氏名印	管理技術者 一級建築士77890号 大塚 俊和		

① 共通事項	③⑥ 軽微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。																																																																																														
	③⑦ 事故防止策	安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を遵守するほか次のとおり講じなければならない。 1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 2) 墜落制止用器具は一連の作業において親綱の架け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照）の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2) 当該工事内容等の周知徹底 3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4) 当該工事における災害対策訓練 5) その他、安全・訓練等として必要な事項 https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishuu.html																																																																																														
	③⑧ 工事着手前協議	受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を確認し、受注者及び発注者側が現場状況を把握の上、設計と現場との整合性及び問題点を整理した後に、工事前協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。																																																																																														
	③⑨ 県産材の利用	「公共施設県産材利用推進方針」（岐阜県）に基づいて県産材利用促進に取り組む。																																																																																														
② 仮設工事	④⑩ 用語の読み替え	「日本工業規格」を「日本産業規格」に読み替える。 「改正工業標準化法（平成16年6月9日公布 法律第95号）」、「工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日公布 法律95号）」、「改正工業標準化法（平成16年6月）をそれぞれ「産業標準化法」に読み替える。 適用日を令和元年7月1日とする。																																																																																														
	④⑪ その他	ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について 1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。 2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。																																																																																														
	①騒音・粉じん等対策	(2.1.3) ・防音パネル ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・足場全面 ○粉じん飛散防止対策（仮設間仕切り）																																																																																														
	②足場等	(2.2.1)(表2.2.1) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同表の(2)の手すり掘削方式又は(3)の手すり専用足場方式により行う。 外部足場 ○設置する（設置範囲 ○工事に必要な範囲） ○設置しない 防護シート ○設置する（設置範囲 ○工事に必要な範囲） ○設置しない 内部足場 ○設置する（※脚立、足場板等） ○設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別（・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ○E種） C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ）																																																																																														
③ 監督職員事務所	③既存部分の養生	(2.3.1) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																																																																																														
	④仮設間仕切り	(2.3.2)(表2.3.1) 1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 2) 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>○せつこうボード(9.5mm) 種類() 支柱・木材 ○軽量鉄骨材</td> <td>○片面 ○なし</td> <td>グラスウール 厚さ()mm</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>支柱・木材 ○軽量鉄骨材 合板(9.0mm) 材種() 支柱・木材 ・軽量鉄骨材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	・A種	○せつこうボード(9.5mm) 種類() 支柱・木材 ○軽量鉄骨材	○片面 ○なし	グラスウール 厚さ()mm	○B種	支柱・木材 ○軽量鉄骨材 合板(9.0mm) 材種() 支柱・木材 ・軽量鉄骨材			・C種	防炎シート																																																																																
	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																																																																																												
	・A種	○せつこうボード(9.5mm) 種類() 支柱・木材 ○軽量鉄骨材	○片面 ○なし	グラスウール 厚さ()mm																																																																																												
○B種	支柱・木材 ○軽量鉄骨材 合板(9.0mm) 材種() 支柱・木材 ・軽量鉄骨材																																																																																															
・C種	防炎シート																																																																																															
⑤監督職員事務所	(2.4.1) ・構内既存建物の一部を使用する。 ・構内に新設する。 規模(m ² 程度) ・10 ・20 ※35 ・65 ・100																																																																																															
⑥	③⑥ 仮設工事	⑥工事用水 構内既存の施設 ※利用できる（※有償 ・無償） ・利用できない ⑦工事電力 構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる（※有償 ・無償） 8 確認済の表示 建築基準法第89条に基づく「確認があった旨」の表示をする。 ※適用する 9 イー・アップ 工事概要及びイメージバースを印刷した看板を 簡所設置する。 なお、内容、設置位置については監督員と協議する。 10 建設現場環境改善対象工事 ・担い手確保のための建設現場環境改善対象工事 「岐阜県都市建設部公共建築課発注の建設現場環境改善モデル工事実施要領」に基づき、「快適トイレ」を設置すること。																																																																																														
⑦	③⑦ 防水改修工事	①一般事項 防水工事は、専門業者の責任施工とする。 受注者は、防水材料製作所及び防水施工者と連名で年限保証する。 なお、防水の保証年限は、10年とする。 2 既存防水の処理 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (3.2.3~6) ・行う（・M4S ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X） 3 既存下地の処理 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 (3.2.6) 4 アスファルト防水 屋根露出防水 (3.1.4)(3.3.2~5) 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.1~6) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td>図示</td> <td></td> <td>※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上</td> <td>※乾式保護材 ・コンクリート ・押え ・れんが押え</td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1 ※B-2 ・B-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2A1</td> <td>・A1-1 ・A1-2 ・A1-3</td> <td></td> <td>(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA（スキン層付き） (厚さmm) ・25 ・50</td> <td>※フラットヤーンクロス 70g/m²程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1B1 ・T1B1</td> <td>※B1-2 ・B1-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・乾式保護材 ・窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様）厚さ()mm 幅()mm ・窯業系パネルⅡ類（一般地仕様）厚さ()mm 幅()mm 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ発生したもの ・金属複合板 厚さ()mm 幅()mm 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの 屋根露出防水 (3.1.4)(3.3.2~5) 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.7~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td>図示</td> <td></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・POD</td> <td>・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td></td> <td></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>・有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td> <td>・D1-1 ※D1-2</td> <td>改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50</td> <td></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>・有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </table> 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 個 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 [S]：高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。[G] 屋内防水 (3.1.4)(3.3.2~5)(表3.1.1)(表3.3.10) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・P1E ・P2E</td> <td>・E-1 ・E-2</td> <td></td> <td>・設ける ・設けない</td> </tr> </table> ・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 図示	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示		※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	※乾式保護材 ・コンクリート ・押え ・れんが押え	・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3					・P2A1	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3		(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA（スキン層付き） (厚さmm) ・25 ・50	※フラットヤーンクロス 70g/m ² 程度		・P1B1 ・T1B1	※B1-2 ・B1-3					工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2	改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	工法	種別	施工箇所	保護層	・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		・設ける ・設けない																												
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																											
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示		※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	※乾式保護材 ・コンクリート ・押え ・れんが押え																																																																																											
・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3																																																																																															
・P2A1	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3		(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA（スキン層付き） (厚さmm) ・25 ・50	※フラットヤーンクロス 70g/m ² 程度																																																																																												
・P1B1 ・T1B1	※B1-2 ・B1-3																																																																																															
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考																																																																																										
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																										
・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																										
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2	改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																										
工法	種別	施工箇所	保護層																																																																																													
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		・設ける ・設けない																																																																																													
③	⑤改質アスファルト防水 (3.1.4)(3.4.2~4)	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.4.1~3) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水の適用</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td>・M4AS</td> <td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td> <td>図示</td> <td></td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3AS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POAS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3ASI ・M4ASI ・POASI</td> <td>・ASI-T1 ・ASI-J1</td> <td>改修標準仕様書3.4.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50</td> <td></td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </table> 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類、設置数量 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 個 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート（・設置する ・設置しない） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 [S]：高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。[G] 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.5.1~2) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・POS ・S4S</td> <td>・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td> <td>図示</td> <td></td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・S3S</td> <td>・S-F1 ・S-F2</td> <td></td> <td></td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M4S</td> <td>・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td> <td></td> <td></td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td> <td>・SI-F1 ・SI-F2</td> <td>改修標準仕様書3.5.2(3)(a)(種類) (厚さmm) ・25 ・50</td> <td></td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・SI-M1 ・SI-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 分 類 ※非歩行 ・軽歩行 [S]：高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。[G] 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 機械的固定方法に使用するピンの長さについては、監督職員立会いのもとピンの引き抜き試験（1箇所/200m）を行い、協議の上決定する。 ・S-M2の場合で立上りが接着工法の場合 立上り面のシート厚さ ※1.5mm ・S1-M1及びS1-M2の場合における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない 屋内防水 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.5.1~2) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル塗り</th> <th>立上り部の</th> </tr> <tr> <td>・S-C1</td> <td>図示</td> <td>・床塗り工法 ・下地モルタル塗り</td> <td>保護モルタル厚 ※7mm以下</td> </tr> </table> 床塗りの場合の床の目地 目地割り（※2m程度 最大目地間隔3m程度） 目地の種類（※押し目地） 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板 脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 個 接着工法の目地処理 プレキャストコンクリート下地（ ） ・行う（・図示 ） ・行わない	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	図示		改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1	改修標準仕様書3.4.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考	・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示		・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・S3S	・S-F1 ・S-F2			・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない	・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1 ・SI-F2	改修標準仕様書3.5.2(3)(a)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない		・SI-M1 ・SI-M2						種別	施工箇所	保護層		平場のモルタル塗り	立上り部の	・S-C1	図示	・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	保護モルタル厚 ※7mm以下
工法	種別	施工箇所					断熱材	仕上塗料			高日射反射率防水の適用	備考																																																																																				
			種類	使用量																																																																																												
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	図示		改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																									
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																									
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																									
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1	改修標準仕様書3.4.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																									
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考																																																																																										
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示		・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																										
・S3S	・S-F1 ・S-F2			・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																										
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																										
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1 ・SI-F2	改修標準仕様書3.5.2(3)(a)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・ルーフィングシートの製造所の仕様による ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																										
	・SI-M1 ・SI-M2																																																																																															
種別	施工箇所	保護層																																																																																														
		平場のモルタル塗り	立上り部の																																																																																													
・S-C1	図示	・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	保護モルタル厚 ※7mm以下																																																																																													
③	⑦塗膜防水	入隅部の増張り プレキャストコンクリート部材（種別S-F1、SI-F1の場合） ・行う（・図示 ） ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 (3.1.4)(3.6.2~4) (表3.1.1)(表3.6.1) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・POX</td> <td>※X-1 ・X-2</td> <td>図示</td> <td>・製造所の仕様による ※製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・L4X</td> <td>・X-1 ・X-2</td> <td></td> <td>・製造所の仕様による ※製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> </table> ウレタンゴム系塗膜防水X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 個 [S]：高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。[G] (表3.1.1)(表3.6.2) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>各工程数及び各工程の使用量</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・PIY</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様による</td> <td>・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様による</td> <td>・設ける ・設けない</td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考	・POX	※X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による ※製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・L4X	・X-1 ・X-2		・製造所の仕様による ※製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない	工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層	・PIY	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない	・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない																																																													
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考																																																																																											
・POX	※X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による ※製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																											
・L4X	・X-1 ・X-2		・製造所の仕様による ※製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない																																																																																											
工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層																																																																																												
・PIY	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない																																																																																												
・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない																																																																																												
⑧ シリーング	⑨	シリーング改修工法の種類 (3.1.4)(3.7.2~8) ・シリーング充填工法 ○シリーング再充填工法 ・拡幅シリーング再充填工法 ・ブリッジ工法 ポンドブローカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シリーング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.11による。(表3.7.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シリーング材の種類（記号）</th> </tr> <tr> <td>ラニング取合い</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>耐震スリット</td> <td>PS-2</td> </tr> </table> シリーング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)(7)~(9)による シリーング材の接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験	施工箇所	シリーング材の種類（記号）	ラニング取合い	MS-2	耐震スリット	PS-2																																																																																								
	施工箇所	シリーング材の種類（記号）																																																																																														
	ラニング取合い	MS-2																																																																																														
	耐震スリット	PS-2																																																																																														
⑩	とい といその他の材種 (3.8.2、3) ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレイン ルーフトレインの材種その他 (表3.8.1) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材種</th> <th>張掛け幅</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用（・縦型 ・横型）</td> <td></td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> </table> とい受金物及び足金物の材種、形状及び取り付け間隔 ※標準仕様書表3.8.2により溶融亜鉛メッキを行ったもの 多雪地域の軒とい取付間隔 ・適用する ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.4による	種別	材種	張掛け幅	・ろく屋根用（・縦型 ・横型）		・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー用		・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー中継用		・100mm以上 ・50mm以上																																																																																			
種別	材種	張掛け幅																																																																																														
・ろく屋根用（・縦型 ・横型）		・100mm以上 ・50mm以上																																																																																														
・バルコニー用		・100mm以上 ・50mm以上																																																																																														
・バルコニー中継用		・100mm以上 ・50mm以上																																																																																														
⑪	アルミニウム製笠木 (表3.9.1)(3.9.2、3) 種類 ・オープン形式（ ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形） ・押出175形 ・板材折曲げ形（ ・オープン形式 ・シール形式） 本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm ・ mm） 表面処理 種別 ・AB-1種 ※BB-1種 ・BB-2種 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ） ・行わない 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 [13.2.2、3][表13.2.1~3]																																																																																															
⑫	長尺金属板葺 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺形式</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td></td> <td></td> <td>・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺</td> </tr> </table> 下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 ・一級タイプ ・複層タイプ ・粘着層付タイプ 工法 建築基準法に基づき定まる（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 止め ・設置する（施工箇所 ・図示 ）	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式		※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺																																																																																					
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式																																																																																												
	※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺																																																																																												
⑬	教育委員会事務局 教育総務課 <table border="1"> <tr> <th>工事名</th> <td colspan="3">可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）</td> </tr> <tr> <th>種別</th> <td>建築改修工事特記仕様書（2）</td> <td>図面番号</td> <td>A-02</td> </tr> <tr> <th>縮尺</th> <td>—</td> <td>作成年月日</td> <td>令和6年10月</td> </tr> <tr> <th>設計者</th> <td colspan="3">株式会社 山田建築事務所</td> </tr> <tr> <th>氏名印</th> <td colspan="3">管理技術者 一級建築士77890号 大塚 俊和</td> </tr> </table>	工事名	可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）			種別	建築改修工事特記仕様書（2）	図面番号	A-02	縮尺	—	作成年月日	令和6年10月	設計者	株式会社 山田建築事務所			氏名印	管理技術者 一級建築士77890号 大塚 俊和																																																																													
工事名	可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）																																																																																															
種別	建築改修工事特記仕様書（2）	図面番号	A-02																																																																																													
縮尺	—	作成年月日	令和6年10月																																																																																													
設計者	株式会社 山田建築事務所																																																																																															
氏名印	管理技術者 一級建築士77890号 大塚 俊和																																																																																															

① 共通事項	③⑥ 軽微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。																																																																		
	③⑦ 事故防止策	安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を遵守するほか次のとおり講じなければならない。 1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 2) 墜落制止用器具は一連の作業において親綱の架け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照）の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2) 当該工事内容等の周知徹底 3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4) 当該工事における災害対策訓練 5) その他、安全・訓練等として必要な事項 https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishuu.html																																																																		
	③⑧ 工事着手前協議	受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を確認し、受注者及び発注者側が現場状況を把握の上、設計と現場との整合性及び問題点を整理した後に、工事前協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。																																																																		
	③⑨ 県産材の利用	「公共施設県産材利用推進方針」（岐阜県）に基づいて県産材利用促進に取り組む。																																																																		
② 仮設工事	④⑩ 用語の読み替え	「日本工業規格」を「日本産業規格」に読み替える。 「改正工業標準化法（平成16年6月9日公布 法律第95号）」、「工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日公布 法律95号）」、「改正工業標準化法（平成16年6月）をそれぞれ「産業標準化法」に読み替える。 適用日を令和元年7月1日とする。																																																																		
	④⑪ その他	ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について 1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。 2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。																																																																		
	①騒音・粉じん等対策	(2.1.3) ・防音パネル ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・足場全面 ○粉じん飛散防止対策（仮設間仕切り）																																																																		
	②足場等	(2.2.1)(表2.2.1) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同表の(2)の手すり掘削方式又は(3)の手すり専用足場方式により行う。 外部足場 ○設置する（設置範囲 ○工事に必要な範囲） ○設置しない 防護シート ○設置する（設置範囲 ○工事に必要な範囲） ○設置しない 内部足場 ○設置する（※脚立、足場板等） ○設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別（・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ○E種） C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ）																																																																		
③ 監督職員事務所	③既存部分の養生	(2.3.1) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																																																																		
	④仮設間仕切り	(2.3.2)(表2.3.1) 1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 2) 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>○せつこうボード(9.5mm) 種類() 支柱・木材 ○軽量鉄骨材</td> <td>○片面 ○なし</td> <td>グラスウール 厚さ()mm</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>支柱・木材 ○軽量鉄骨材 合板(9.0mm) 材種() 支柱・木材 ・軽量鉄骨材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	・A種	○せつこうボード(9.5mm) 種類() 支柱・木材 ○軽量鉄骨材	○片面 ○なし	グラスウール 厚さ()mm	○B種	支柱・木材 ○軽量鉄骨材 合板(9.0mm) 材種() 支柱・木材 ・軽量鉄骨材			・C種	防炎シート																																																				
	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																																																																
	・A種	○せつこうボード(9.5mm) 種類() 支柱・木材 ○軽量鉄骨材	○片面 ○なし	グラスウール 厚さ()mm																																																																
○B種	支柱・木材 ○軽量鉄骨材 合板(9.0mm) 材種() 支柱・木材 ・軽量鉄骨材																																																																			
・C種	防炎シート																																																																			
⑤監督職員事務所	(2.4.1) ・構内既存建物の一部を使用する。 ・構内に新設する。 規模(m ² 程度) ・10 ・20 ※35 ・65 ・100																																																																			
⑥	③⑥ 仮設工事	⑥工事用水 構内既存の施設 ※利用できる（※有償 ・無償） ・利用できない ⑦工事電力 構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる（※有償 ・無償） 8 確認済の表示 建築基準法第89条に基づく「確認があった旨」の表示をする。 ※適用する 9 イー・アップ 工事概要及びイメージバースを印刷した看板を 簡所設置する。 なお、内容、設置位置については監督員と協議する。 10 建設現場環境改善対象工事 ・担い手確保のための建設現場環境改善対象工事 「岐阜県都市建設部公共建築課発注の建設現場環境改善モデル工事実施要領」に基づき、「快適トイレ」を設置すること。																																																																		
⑦	③⑦ 防水改修工事	①一般事項 防水工事は、専門業者の責任施工とする。 受注者は、防水材料製作所及び防水施工者と連名で年限保証する。 なお、防水の保証年限は、10年とする。 2 既存防水の処理 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (3.2.3~6) ・行う（・M4S ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X） 3 既存下地の処理 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 (3.2.6) 4 アスファルト防水 屋根露出防水 (3.1.4)(3.3.2~5) 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.1~6) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td>図示</td> <td></td> <td>※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上</td> <td>※乾式保護材 ・コンクリート ・押え ・れんが押え</td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1 ※B-2 ・B-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2A1</td> <td>・A1-1 ・A1-2 ・A1-3</td> <td></td> <td>(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA（スキン層付き） (厚さmm) ・25 ・50</td> <td>※フラットヤーンクロス 70g/m²程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1B1 ・T1B1</td> <td>※B1-2 ・B1-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・乾式保護材 ・窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様）厚さ()mm 幅()mm ・窯業系パネルⅡ類（一般地仕様）厚さ()mm 幅()mm 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ発生したもの ・金属複合板 厚さ()mm 幅()mm 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの 屋根露出防水 (3.1.4)(3.3.2~5) 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.7~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td>図示</td> <td></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・POD</td> <td>・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td></td> <td></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>・有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td> <td>・D1-1 ※D1-2</td> <td>改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50</td> <td></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>・有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </table> 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 個 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 [S]：高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。[G] 屋内防水 (3.1.4)(3.3.2~5)(表3.1.1)(表3.3.10) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・P1E ・P2E</td> <td>・E-1 ・E-2</td> <td></td> <td>・設ける ・設けない</td> </tr> </table> ・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 図示	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示		※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	※乾式保護材 ・コンクリート ・押え ・れんが押え	・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3					・P2A1	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3		(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA（スキン層付き） (厚さmm) ・25 ・50	※フラットヤーンクロス 70g/m ² 程度		・P1B1 ・T1B1	※B1-2 ・B1-3					工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2	改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	工法	種別	施工箇所	保護層	・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		・設ける ・設けない
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																																															
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示		※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	※乾式保護材 ・コンクリート ・押え ・れんが押え																																																															
・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3																																																																			
・P2A1	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3		(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA（スキン層付き） (厚さmm) ・25 ・50	※フラットヤーンクロス 70g/m ² 程度																																																																
・P1B1 ・T1B1	※B1-2 ・B1-3																																																																			
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考																																																														
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																														
・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																														
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2	改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																														
工法	種別	施工箇所	保護層																																																																	
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		・設ける ・設けない																																																																	
③	⑤改質アスファルト防水 (3.1.4)(3.4.2~4)	防水層の種類 (表3.1.1)(表3.4.1~3) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水の適用</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td>・M4AS</td> <td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td> <td>図示</td> <td></td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3AS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POAS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td> <td></td> <td></td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3ASI ・M4ASI ・POASI</td> <td>・ASI-T1 ・ASI-J1</td> <td>改修標準仕様書3.4.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50</td> <td></td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有 ※無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </table> 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類、設置数量 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 個 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート（・設置する ・設置しない） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 [S]：高日射反射率防水を示し、近赤外線における反射率が50.0%以上である	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	図示		改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1	改修標準仕様書3.4.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																								
工法	種別	施工箇所					断熱材	仕上塗料			高日射反射率防水の適用	備考																																																								
			種類	使用量																																																																
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	図示		改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																													
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																													
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																													
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1	改修標準仕様書3.4.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																													

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3	防水改修工事	<p>12 折板葺</p> <p>[13.2.2][13.3.2、3][表13.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山嵩、山ピッチ</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td>・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形</td> <td></td> <td>山嵩、山ピッチ 山嵩、山ピッチ</td> <td>()種</td> <td>※鋼板製 ・アルミニウム合金板製</td> <td></td> <td>・有り ・無し</td> <td>・30分 ・無し</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () タイフフレーム にJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 標準仕様書表14.2.2による ・E種 ・F種 断熱材 ・有り(種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間) 無し 工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)の風圧力に対応した工法 折板のけらば納め ※けらば包みによる方法</p>	施工箇所	形式	山嵩、山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能	・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形		山嵩、山ピッチ 山嵩、山ピッチ	()種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し	4-2	3 浮き部改修工法	<p>(4.1.4)(4.2.2)(4.4.4)(4.4.4、10~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m²)</th> <th rowspan="2">注入量(mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>○アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p> <p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験：1箇所/浮き部100m²かつ4面行うこと 引張強度：1.2N/mm²以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調査材料 ・既調査材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	○アンカーピンニング	※16	※25	—	—	※25	部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・	・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※25	全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・	・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	・	※注入口付アンカーピンニング	※16	※16	—	—	※25	部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・	・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※25	全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・	・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	・	・充填工法	—	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	4-3	4-3 外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験：1箇所/浮き部100m²かつ4面行うこと 引張強度：1.2N/mm²以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調査材料 ・既調査材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p> <p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.2)(4.5.5)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ幅(mm)</th> <th rowspan="2">注入口間隔(mm)</th> <th colspan="2">注入量(m³/m)</th> </tr> <tr> <th>自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</th> <th>手動式エポキシ樹脂注入工法</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> <td></td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>・リカットシール材充填工法 (4.5.6) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.3)(4.5.7)</p> <p>・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 (4.5.8) 張替え用材料 ・接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 ・張付けモルタル(・現場調査材料 ・既調査モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書 表4.5.1による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験(表4.5.2) ・行わない</p> <p>3 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.4)(4.5.9~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m²)</th> <th rowspan="2">注入量(mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m ³ /m)		自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	手動式エポキシ樹脂注入工法	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120		手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40			0.3以上~0.5未満	100~200	70		機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130		工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング	※16	※25	—	—	※25	部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・	・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※25	全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・	・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	・	※注入口付アンカーピンニング	※16	※16	—	—	※25	部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・	・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※25	全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・	・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	・	※注入口付アンカーピンニング	※16	※16	—	—	※25	エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・	5	5 目地改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.16) <p>・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>5 タイルの形状、寸法等 (4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="2">役割</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> <tr> <td>タイル(玄関)</td> <td>タイル</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル(廊下)</td> <td>タイル</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル(浴室)</td> <td>タイル</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役割は一体成形とする 試験張り ・行わない 見本焼き ・行わない</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			役割		色	耐凍害性	耐滑り性	備考	I	II	III	有	無	タイル(玄関)	タイル	○										タイル(廊下)	タイル	○										タイル(浴室)	タイル	○										6	6 網戸等 (5.2.3) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>外部に面する建具(枠見込み70mmのみ)には、脱落防止装置付又は完全内はずし式とし、見本(模型など)又は施工図を提出して監督員の承諾をうける。(5.2.2)(5.3.2~5)</p>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm	7	7 樹脂製建具 (5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5) <p>性能値等 外部に面する建具の種類 ・A種(建具符号: ※建具表による)) ・B種(建具符号: ※建具表による)) ・C種(建具符号: ※建具表による)) 枠の見込み寸法 ※建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・T-1 T-2) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・H-4 H-5 H-6)</p> <p>表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス</p>	8	8 鋼製建具 (5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5) <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: ※建具表による)) ○適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号: ※建具表による)) ・S-5(建具符号: ※建具表による)) ・S-6(建具符号: ※建具表による))</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・)) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・)) 耐震ドア 面内変形追随性の等級(・))</p> <p>鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p>	9	9 鋼製軽量建具 (5.2.2)(5.5.2~6)(表5.5.1、2) <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: ※建具表による))</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・)) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・)) 耐震ドア 面内変形追随性の等級(・))</p> <p>鋼板の種類 ○亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板</p> <p>鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">教育委員会事務局 教育総務課</th> </tr> <tr> <td>工事名</td> <td>可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)</td> <td>図面番号</td> <td>A-03</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>建築改修工事特記仕様書(3)</td> <td>作成年月日</td> <td>令和6年10月</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>株式会社 山田建築事務所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>氏名印</td> <td>管理技術者 一級建築士 77890号 大塚 俊和</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	教育委員会事務局 教育総務課				工事名	可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	図面番号	A-03	種別	建築改修工事特記仕様書(3)	作成年月日	令和6年10月	縮尺	—			設計者	株式会社 山田建築事務所			氏名印	管理技術者 一級建築士 77890号 大塚 俊和		
施工箇所	形式	山嵩、山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形		山嵩、山ピッチ 山嵩、山ピッチ	()種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○アンカーピンニング	※16	※25	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
※注入口付アンカーピンニング	※16	※16	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m ³ /m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	手動式エポキシ樹脂注入工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	0.3以上~0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・アンカーピンニング	※16	※25	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・アンカーピンニング	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
※注入口付アンカーピンニング	※16	※16	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全面エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・注入口付アンカーピンニング	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
※注入口付アンカーピンニング	※16	※16	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			役割		色	耐凍害性	耐滑り性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			I	II	III	有	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
タイル(玄関)	タイル	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タイル(廊下)	タイル	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タイル(浴室)	タイル	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種類	材質	線径	網目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
教育委員会事務局 教育総務課																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
工事名	可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	図面番号	A-03																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種別	建築改修工事特記仕様書(3)	作成年月日	令和6年10月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
縮尺	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
設計者	株式会社 山田建築事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
氏名印	管理技術者 一級建築士 77890号 大塚 俊和																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Rows include 10 防霉・防蟻処理, 11 軽量鉄骨天井, 12 軽量鉄骨壁, 13 ニル床シート, 14 ニル床タイル, 15 特殊機能床, 16 ニル床幅木, 17 ゴム床タイル, 18 カーベツト敷き.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Rows include 19 合成樹脂塗床, 20 フローリング張り, 21 畳敷き, 22 セッコウボード.

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Rows include 23 壁紙張り, 24 モルタル塗り, 25 タイル張り, 26 セルフレベリング材塗り, 27 ①材料, 28 ②下地調整, 29 ③錆止め塗料塗り.

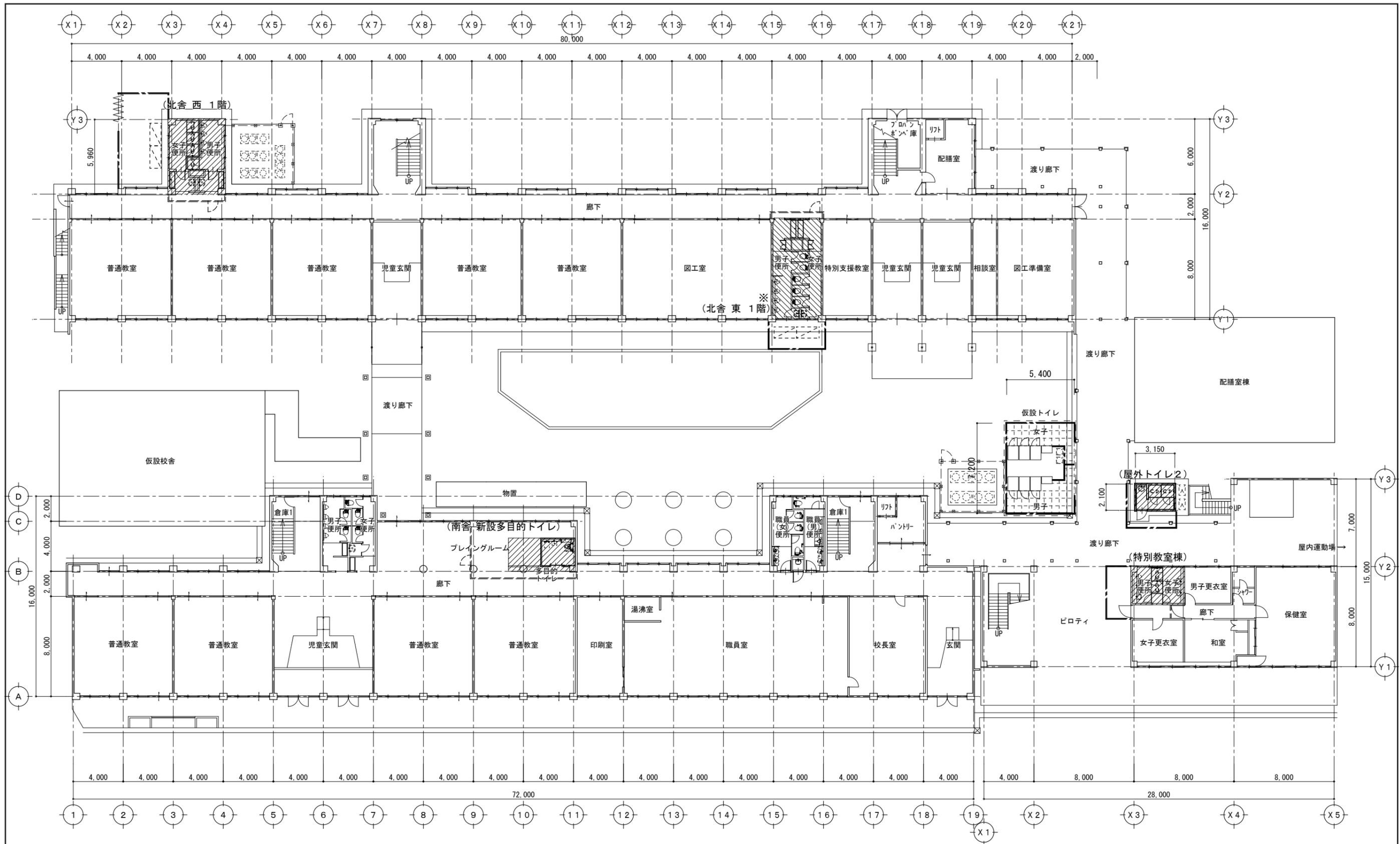
Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Rows include ④塗装, ⑤ 塗り仕上げ改修, ⑥ ②下地調整塗材, ⑦ ③仕上塗材仕上げ, ⑧ ④その他. Includes detailed tables for painting types and specifications.

Table for project information: 教育委員会事務局 教育総務課. Includes project name (可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事), scale (縮尺), and designer (山田建築事務所).

<p>⑧ ユニユニット及びその他工事</p> <p>1 フリーアクセスフロア [20. 2. 2]</p> <p>2 可動間仕切 [20. 2. 3]</p> <p>3 移動間仕切 [20. 2. 4]</p> <p>④ トイレブース [20. 2. 4]</p> <p>5 階段滑り止め [20. 2. 6]</p> <p>6 手すり</p> <p>7 黒板及びホワイトボード [20. 2. 8]</p>	<p>特記事項</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上材</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)～(c)による</p> <p>パネルの長さ ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>パネルの平面形状(角度) ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>フリーアクセスフロアの高さ ※±0.5mm以内</p> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性(α_{500Hz})</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>・スタッド ・パネル</td> <td>・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具・あり(※図示)・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放数量 JIS A 6512によるF☆☆☆☆以上</p> <table border="1"> <tr> <th>走行方向</th> <th>操作方法による種類</th> <th>パネル圧接装置の操作方法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>パネル表面材</th> <th>遮音性(α_{500Hz})</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td></td> <td>・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。</p> <p>ランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。</p> <p>(品質・性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>○幅木タイプ ・アジャスター</td> <td>○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドル ・木調樹脂成型品</td> <td>・クリアコート ・HL ・SOP ・DP</td> <td>・35 ・34</td> <td>・図示 ・階段室</td> </tr> </table> <p>黒板及びホワイトボード [20. 2. 8]</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろろ黒板 色 ※緑 ホワイトボード 	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(α _{500Hz})	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スタッド ・パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃	走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性(α _{500Hz})	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	表面材の材料	脚部	ドアエッジ	○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	○幅木タイプ ・アジャスター	○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドル ・木調樹脂成型品	・クリアコート ・HL ・SOP ・DP	・35 ・34	・図示 ・階段室	<p>⑧表示 [20. 2. 10]</p> <p>9 煙突ライニング [20. 2. 11]</p> <p>10 ブラインド [20. 2. 12]</p> <p>11 ロールスクリーン [20. 2. 13]</p> <p>12 カーテン [20. 2. 14]</p> <p>13 カーテンレール [20. 2. 14]</p> <p>14 ブラインドボックス及びカーテンボックス</p> <p>⑮天井点検口</p> <p>⑯床点検口</p> <p>特記事項</p> <p>・衝突防止表示 形状・寸法(・30φ・) 材質(・ステンレス製・)</p> <p>案内用記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示 ・適用する(※消防法に適合する市販品) ・適用しない 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※図示 その他の表示 ※図示</p> <p>煙突用成形ライニング材 種類 ・ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材 適用安全使用温度(上限温度) ・400℃ ・650℃ 適用安全使用温度(下限温度) ・ (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃の場合) 品質・性能及び試験方法 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃以外の場合) 品質・性能等</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>幅・高さ</th> </tr> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製 [G]</td> <td>※25</td> <td>※鋼製 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム合金製 ・図示</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする。</p> <p>操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 幅・高さ ※図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ・引分け ・電動</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>(略)</td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする。 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p> <p>材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押し成型材 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p> <p>溝型×深さ(mm) ・150×80 ・120×80 ・120×150 ・180×150 ・図示 材質 ・集成材(仕上げ: ・アルミニウム製 押し成型材(市販品) 表面処理 種別(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 色合い ・鋼製(仕上げ:)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製</td> <td>○450×450 ・600×600</td> <td>○一般形 ○屋内外用 ○屋内用</td> <td>○縁線タイプ ○目地タイプ</td> <td>○縁線タイプ ○目地タイプ</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ○600×600</td> <td>・一般形 ○密閉形 ○屋内用</td> <td>・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したもとの (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	幅・高さ	・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 [G]	※25	※鋼製 ・図示	・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製 ・図示	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(略)	材種	寸法	形式	外枠	内枠	○アルミニウム製	○450×450 ・600×600	○一般形 ○屋内外用 ○屋内用	○縁線タイプ ○目地タイプ	○縁線タイプ ○目地タイプ	材種	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ○600×600	・一般形 ○密閉形 ○屋内用	・鍵付き	<p>⑧ ユニユニット及びその他工事</p> <p>17 止水板 [20. 2. 10]</p> <p>18 エキスパンジョイント金物</p> <p>19 くつきマット</p> <p>20 流し台ユニット</p> <p>21 旗竿</p> <p>22 旗竿受金物</p> <p>23 車止めさく</p> <p>24 プレキャストコンクリート [20. 3. 3, 4]</p> <p>25 間知石及びコンクリート間知ブロック積み [20. 4. 2, 3]</p> <p>⑨排水工事</p> <p>1 屋外雨水排水 [21. 2. 1, 2][表21. 2. 1, 2]</p> <p>2 錆鉄製ふた [21. 2. 1]</p> <p>特記事項</p> <p>形状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>クリアランス(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> <td>・50 ・100 ・150</td> <td>・有り() ・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>外部は防水型とする</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ステンレス鋼(SUS304)製</td> <td>・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table> <p>品質・性能 (1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 (2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ(mm)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・アーバー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table> <p>材質 ・ステンレス製(SUS 304)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式傾内蔵式 ・スプリング式</td> <td>・標準品 ・ステンレス製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリートの設計基準強度 ・図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 図示 取付け方法 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石 ・コンクリート 間知ブロック</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示 ・伸縮目地 伸縮調整目地 材質 ※図示 厚さ ※図示</p> <p>材料 [21. 2. 1, 2][表21. 2. 1, 2]</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>外圧管(1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・VP ・VU ・RS-VU [G]</td> <td>・図示 ・図示 ・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ※図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側溝の形状及び寸法 ※図示 換水機の種類 ※図示 砂利地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュ [G] ・切込砂利又は切込砕石 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm² ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A ・現場打ちの場合の足掛け金物 ※標準仕様書21.2.2(6)(イ) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>錆鉄製 マンホール ふた ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による</td> </tr> </table>	材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り() ・無し		材種	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金		材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・アーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式傾内蔵式 ・スプリング式	・標準品 ・ステンレス製			材種	種類	質量区分	備考	・間知石 ・コンクリート 間知ブロック	・花こう岩 ・凝灰岩	・A ・B		材種	種類・記号	形状	呼び径	・遠心力鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管	外圧管(1種)	・B形管	・図示		・VP ・VU ・RS-VU [G]	・図示 ・図示 ・図示		名称	種類	適用荷重	鍵	備考	錆鉄製 マンホール ふた ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による	<p>⑨排水工事</p> <p>3 グレーチング [21. 2. 1]</p> <p>⑩その他(舗装工事)</p> <p>1 路床 [22. 2. 2, 3, 5][表22. 2. 1]</p> <p>②路盤 [22. 2. 2, 3, 5][表22. 3. 1]</p> <p>③アスファルト舗装 [22. 4. 2~6][表 22. 4. 4]</p> <p>特記事項</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>垂鉛めっき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製 ・ステンレス製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定 ・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目 ・普通目 ・細目</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・凹凸形 ・平形 ・凹凸形 ・平形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び荷重試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>街きよ、緑石、及び側溝 [21. 3. 1, 2][表21. 3. 1]</p> <p>街きよ、緑石、側溝</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた</td> <td>※図示 ※図示 ※図示 ※図示</td> </tr> </table> <p>砂利地業に用いる材料 ○再生クラッシュラン [G] ・切込砂利又は切込砕石 砂利地業の厚さ ※100 (mm) ※図示 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm² 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・行う ○行わない</p> <p>※B種</p> <p>路床の材料 [22. 2. 2, 3, 5][表22. 2. 1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土 ・凍上抑制層 ・フィルター層</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂</td> <td>※図示 ※図示 ※図示</td> </tr> </table> <p>路床安定処理 安定処理の方法 ・置換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 ・ kg/m³(目標CBR ・3以上) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・ 1.5×10⁻⁶cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 路床締め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤の厚さ ※図示 路盤材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>・クラッシュラン ・粒度調整砕石 再生材 ○クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> </table> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルト [G] (・60~80 ・80~100) ・ストリートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 [G]</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F) シールコートの乳剤の種類 ・PK-1 ・PK-2 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">教育委員会事務局 教育総務課</th> </tr> <tr> <td>工事名</td> <td>可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>建築改修工事特記仕様書(6) 図面番号 A-06</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>作成年月日 令和6年10月</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>株式会社 山田建築事務所</td> </tr> <tr> <td>氏名印</td> <td>管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊和</td> </tr> </table>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき(付着量)	上面形状	・鋼製 ・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目	・ ・ ・	・凹凸形 ・平形 ・凹凸形 ・平形	種類	形状、寸法	・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた	※図示 ※図示 ※図示 ※図示	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土 ・凍上抑制層 ・フィルター層	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	※図示 ※図示 ※図示	種類	・クラッシュラン ・粒度調整砕石 再生材 ○クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]	教育委員会事務局 教育総務課		工事名	可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)	種別	建築改修工事特記仕様書(6) 図面番号 A-06	縮尺	作成年月日 令和6年10月	設計者	株式会社 山田建築事務所	氏名印	管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊和
施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材																																																																																																																																																																																																						
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																																																																																																																																																																																																						
構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(α _{500Hz})	防火性能																																																																																																																																																																																																								
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スタッド ・パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																																																																																																																																																																																								
走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性(α _{500Hz})																																																																																																																																																																																																							
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																																																																																																																																																																																																							
表面材の材料	脚部	ドアエッジ																																																																																																																																																																																																										
○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	○幅木タイプ ・アジャスター	○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																																																																																																																																																																																																										
材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所																																																																																																																																																																																																									
・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドル ・木調樹脂成型品	・クリアコート ・HL ・SOP ・DP	・35 ・34	・図示 ・階段室																																																																																																																																																																																																									
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	幅・高さ																																																																																																																																																																																																							
・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 [G]	※25	※鋼製 ・図示																																																																																																																																																																																																							
・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製 ・図示																																																																																																																																																																																																							
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																							
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(略)																																																																																																																																																																																																							
材種	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																																								
○アルミニウム製	○450×450 ・600×600	○一般形 ○屋内外用 ○屋内用	○縁線タイプ ○目地タイプ	○縁線タイプ ○目地タイプ																																																																																																																																																																																																								
材種	寸法	形式	備考																																																																																																																																																																																																									
・アルミニウム製 ○ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ○600×600	・一般形 ○密閉形 ○屋内用	・鍵付き																																																																																																																																																																																																									
材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考																																																																																																																																																																																																									
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り() ・無し																																																																																																																																																																																																										
材種	受け枠	備考																																																																																																																																																																																																										
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金																																																																																																																																																																																																											
材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																							
・アルミニウム合金製	・アーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																																								
形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																																																																																																																									
・上下式傾内蔵式 ・スプリング式	・標準品 ・ステンレス製																																																																																																																																																																																																											
材種	種類	質量区分	備考																																																																																																																																																																																																									
・間知石 ・コンクリート 間知ブロック	・花こう岩 ・凝灰岩	・A ・B																																																																																																																																																																																																										
材種	種類・記号	形状	呼び径																																																																																																																																																																																																									
・遠心力鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管	外圧管(1種)	・B形管	・図示																																																																																																																																																																																																									
	・VP ・VU ・RS-VU [G]	・図示 ・図示 ・図示																																																																																																																																																																																																										
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																																																																																																																																																																																																								
錆鉄製 マンホール ふた ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による																																																																																																																																																																																																								
材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき(付着量)	上面形状																																																																																																																																																																																																						
・鋼製 ・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目	・ ・ ・	・凹凸形 ・平形 ・凹凸形 ・平形																																																																																																																																																																																																						
種類	形状、寸法																																																																																																																																																																																																											
・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた	※図示 ※図示 ※図示 ※図示																																																																																																																																																																																																											
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																										
・盛土 ・凍上抑制層 ・フィルター層	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	※図示 ※図示 ※図示																																																																																																																																																																																																										
種類																																																																																																																																																																																																												
・クラッシュラン ・粒度調整砕石 再生材 ○クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																																																																												
教育委員会事務局 教育総務課																																																																																																																																																																																																												
工事名	可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)																																																																																																																																																																																																											
種別	建築改修工事特記仕様書(6) 図面番号 A-06																																																																																																																																																																																																											
縮尺	作成年月日 令和6年10月																																																																																																																																																																																																											
設計者	株式会社 山田建築事務所																																																																																																																																																																																																											
氏名印	管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊和																																																																																																																																																																																																											

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																											
12	1 石綿含有建材の除去工事	<p>(9.1.1、3~5)</p> <p>施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲 (○) 内部改修範囲 (●) 図示 貸与資料 (なし)</p> <p>分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数()</td> <td>・箇所数()</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速 1 m/s以下の位置 計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 6</td> <td></td> <td>処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 9</td> <td>1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 4</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 ○石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 (○) 図示 除去工法 ※9.1.3 (2) (7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ○埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 (○) 図示 除去工法 ・破碎して除去 ・手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○石綿含有成型板の除去 除去対象範囲 (○) 図示 除去した石綿含有成型板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成型板 ○埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 (○) 図示</p>	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4				・箇所数()	・箇所数()				・箇所数()	・箇所数()				・箇所数()	・箇所数()				・箇所数()	・箇所数()			適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)		測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点		測定 2		調査対象室外部の付近	計 点		測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点		測定 4		セキュリティゾーン入口	計 点		測定 5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1 m/s以下の位置 計 点		測定 6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界			測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点		測定 8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点		測定 9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点	測定名称	測定方法	・測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	・測定 4	25	5	30	・測定 5				・	47	10	120	・	47	10	240	・				2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.2~3)	3 外断熱改修工事 (9.3.2~4)	3 ガラス改修工事 (9.4.2、3)	4 断熱・防露改修工事 (9.5.2~4)	5 屋上緑化改修工事 (9.6.2、3)	6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.7.2~5、9)
材 料 名	定性分析方法			定量分析方法																																																																																																															
	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4																																																																																																																	
	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																	
	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																	
	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																	
	・箇所数()	・箇所数()																																																																																																																	
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																																																															
	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																																																															
	測定 2		調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																															
	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																																																																																															
	測定 4		セキュリティゾーン入口	計 点																																																																																																															
	測定 5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1 m/s以下の位置 計 点																																																																																																															
	測定 6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界																																																																																																																
	測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点																																																																																																															
	測定 8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点																																																																																																															
	測定 9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																															
測定名称	測定方法																																																																																																																		
・測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																		
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																																
・測定 4	25	5	30																																																																																																																
・測定 5																																																																																																																			
・	47	10	120																																																																																																																
・	47	10	240																																																																																																																
・																																																																																																																			
環境配慮改修工事	環境配慮改修工事	環境配慮改修工事	環境配慮改修工事	環境配慮改修工事	環境配慮改修工事	環境配慮改修工事																																																																																																													

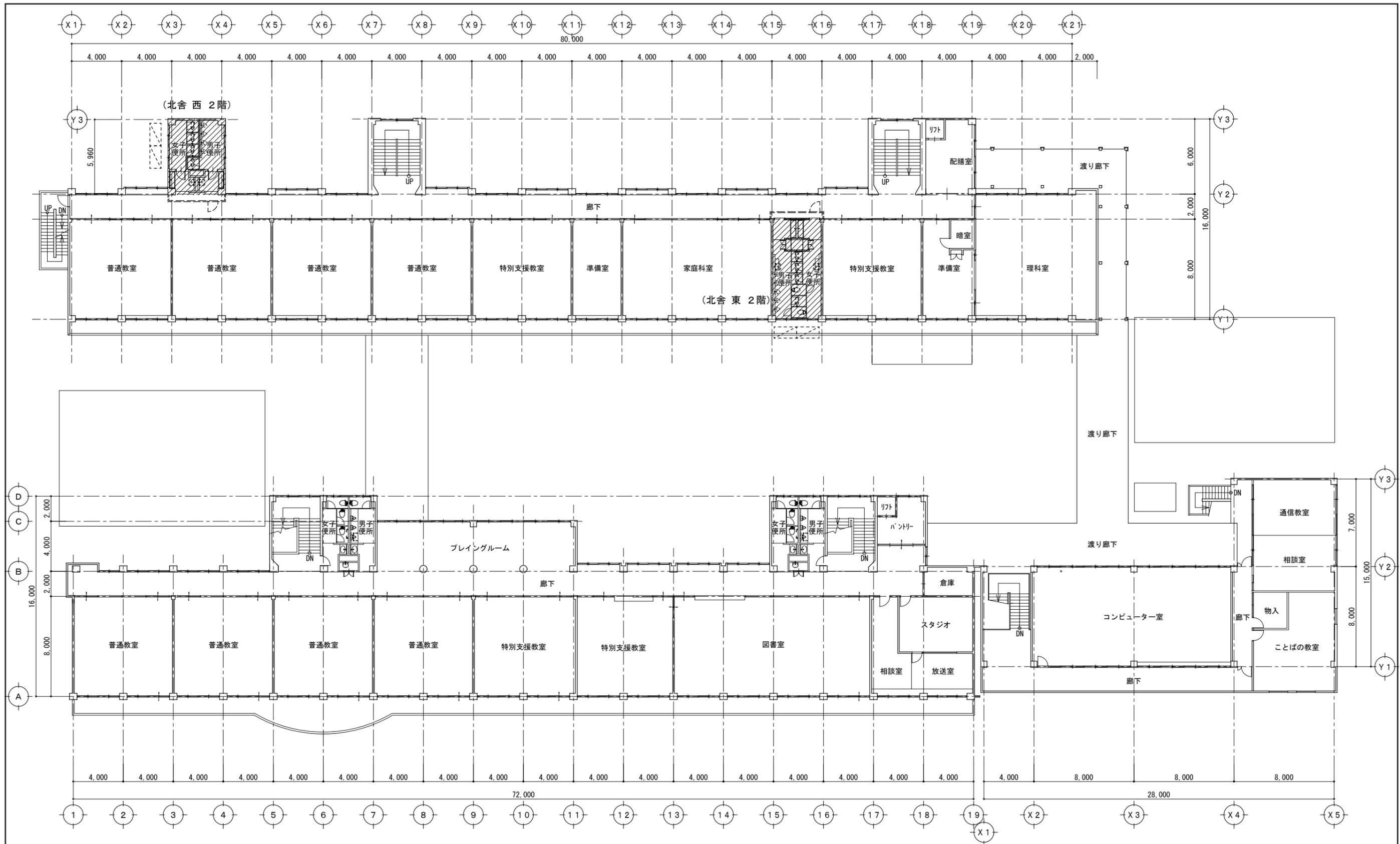
教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事 (Ⅱ期)		
種 別	建築改修工事特記仕様書 (7)	図面番号	A-07
縮 尺	—	作成年月日	令和6年10月
設計者	株式会社 山田建築事務所		
氏名印	管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊和		



凡例			
	工事対象箇所を示す		仮囲い パネル高さ H=1,800
	工事対象箇所を示す ※上階工事に伴う一部改修		枠組本足場 (W=900)、昇降階段設置
			仮設間仕切 B種
			仮設扉
			※窓から搬出入不可能な資材等は、 学校と協議し経路計画すること

改修前 平面図 S=1/200





改修前 平面図 S=1/200



凡例	
	工事対象箇所を示す
	仮設足場を示す 枠組本足場(W=900)、昇降階段設置
	※窓から搬出入不可能な資材等は、 学校と協議し経路計画すること
	仮設間仕切 B種
	仮設扉

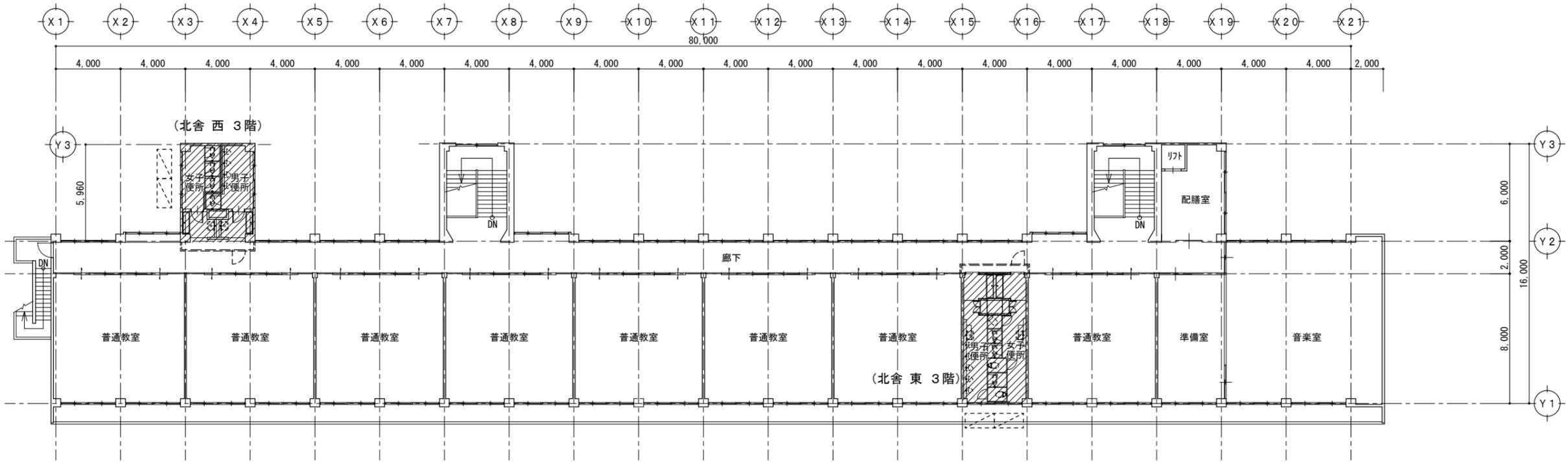
株式会社 山田建築事務所
YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士77890号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE
A2 : S=1/200
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)
改修前 平面図 兼 仮設計画参考図 (北舎・南舎2階)

SHEET NO.
A-10



凡例	
	工事対象箇所を示す
	仮設足場を示す 枠組本足場 (W=900)、昇降階段設置
	※窓から搬出入不可能な資材等は、 学校と協議し経路計画すること
	仮設間仕切 B種
	仮設扉

改修前 平面図 S=1/200

株式会社 山田建築事務所

YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW

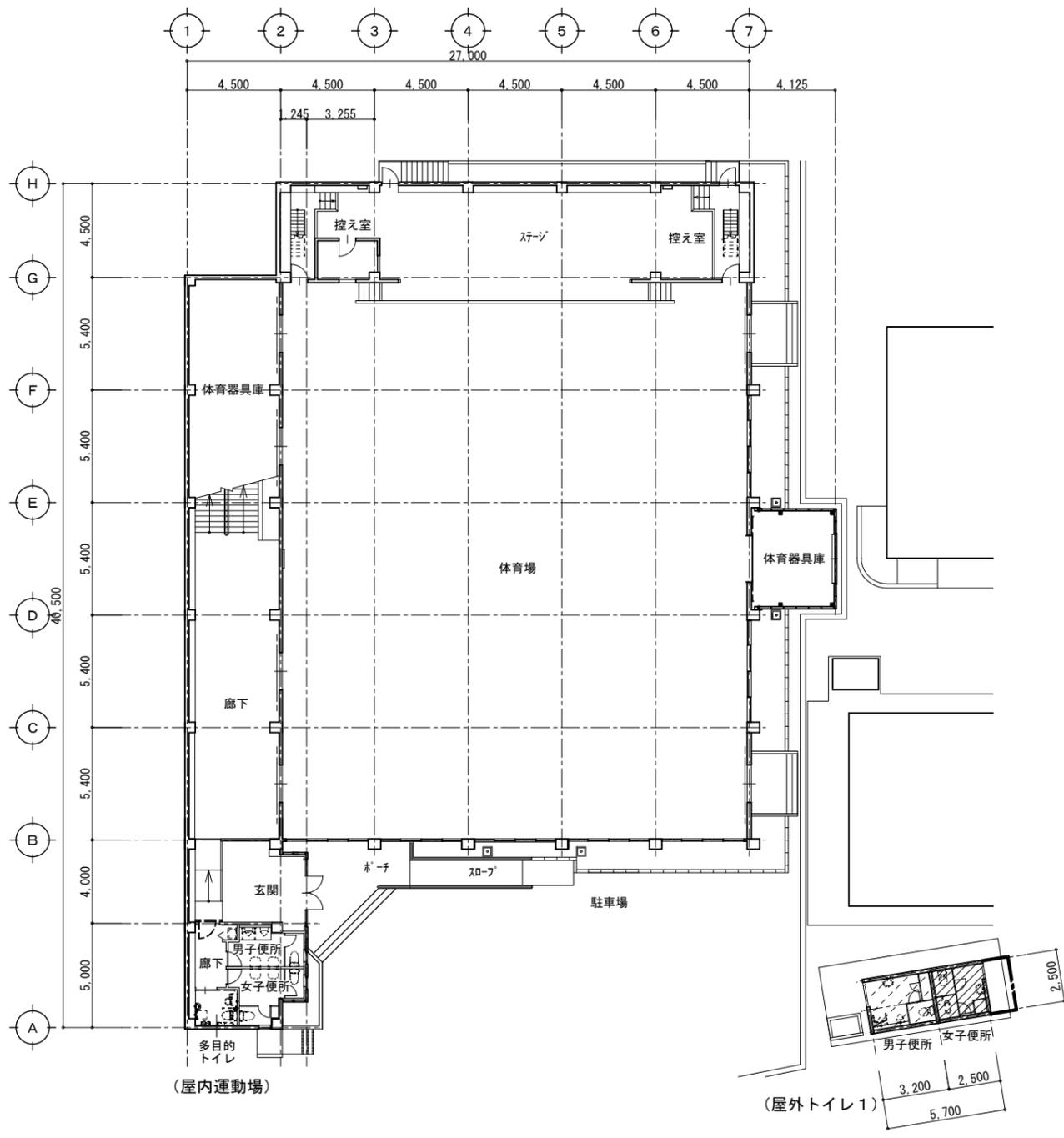
SCALE
A2 : S=1/200
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)

改修前 平面図 兼 仮設計画参考図 (北舎 3階)

SHEET NO.

A-11



改修前 平面図 S=1/200



凡例	
	工事対象箇所を示す
	建築工事対象外箇所を示す (電気設備 照明工事のみ)
	仮囲い ハ' 柵フェンス H=1,800
	仮設間仕切 B種
	仮設扉

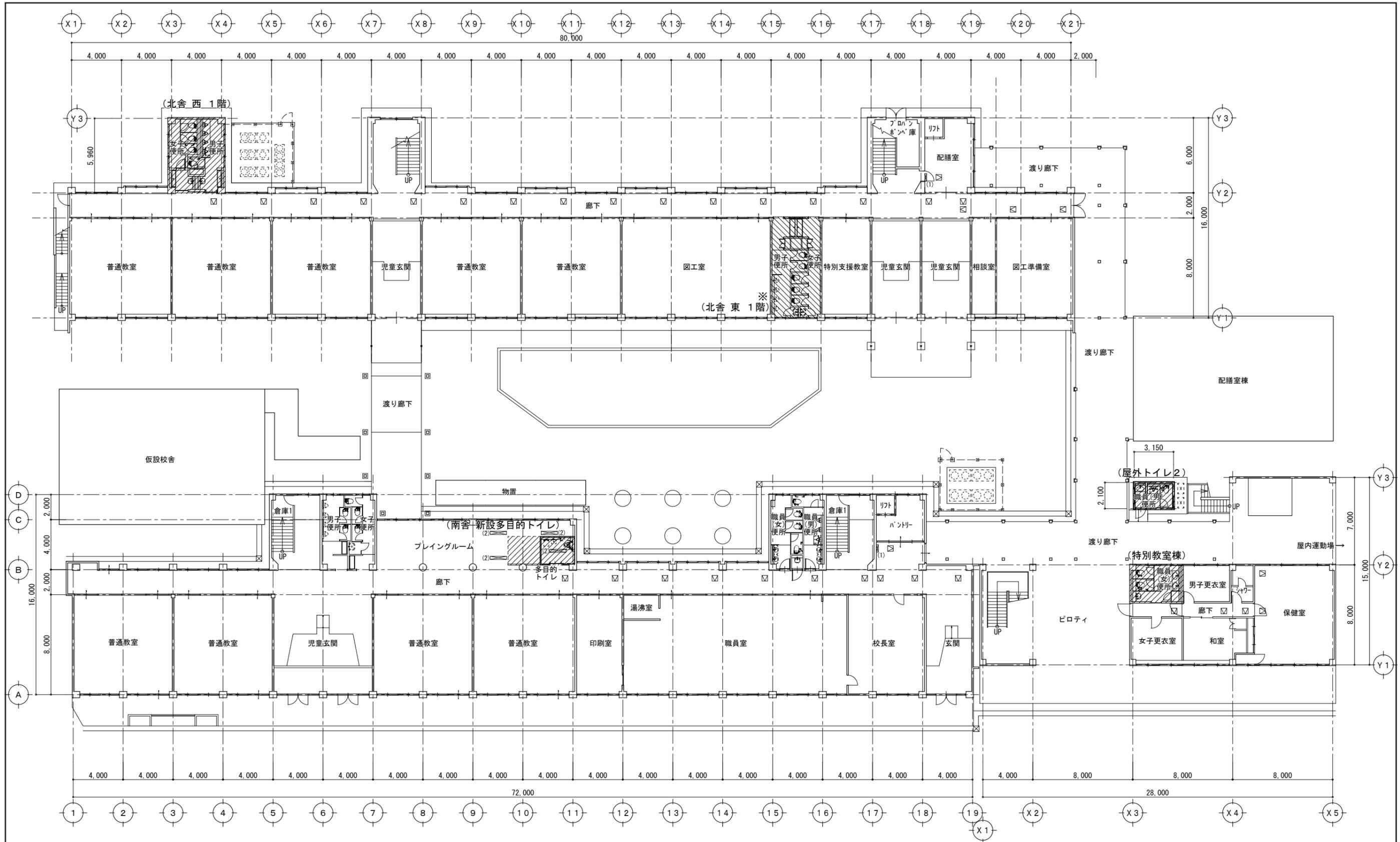
株式会社 山田建築事務所
 YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊 和

CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE
A2 : S=1/200
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (II期)
 改修前 平面図 兼 仮設計画参考図 (屋内運動場) (屋外トイレ1)

SHEET NO.
A-12



改修後 平面図 S=1/200



凡例	
	工事対象箇所を示す
	工事対象箇所を示す ※上階工事に伴う一部改修

凡例 設備改修による天井点検口等 (現場調整にて位置決定すること)	
	天井点検口 新設を示す (450角) 対象部 天井 既設仕上
	天井開口補強 を示す (W600×D150) 北舎: プラスチック t=9 EP
	天井開口補強 を示す (W255×D1,300) 南舎: 化粧プラスチック t=9
	特別教室棟: 化粧プラスチック t=12

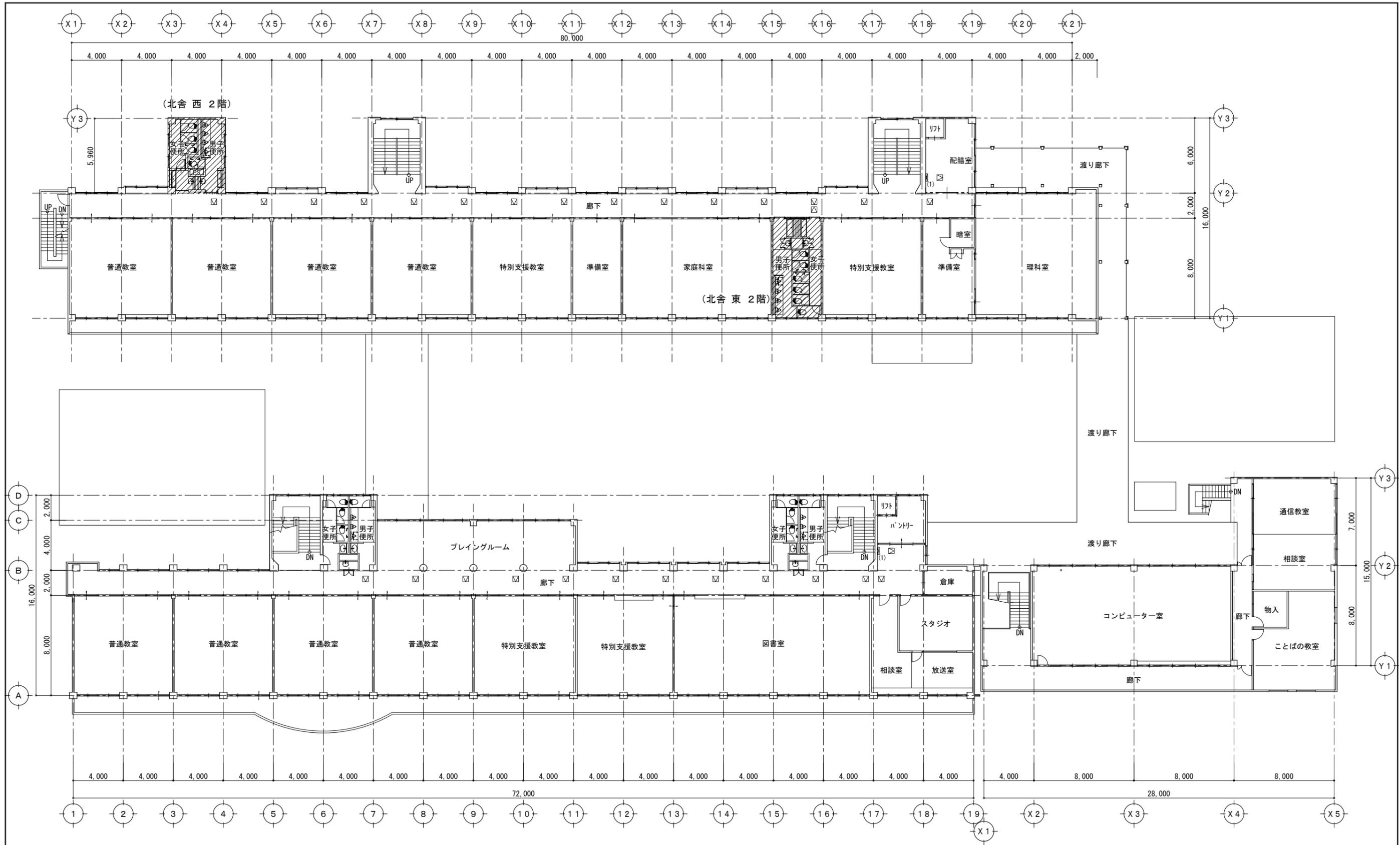
株式会社 山田建築事務所
YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE
A2: S=1/200
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事 (Ⅱ期)
改修後 平面図 (北舎・南舎1階)

SHEET NO.
A-13

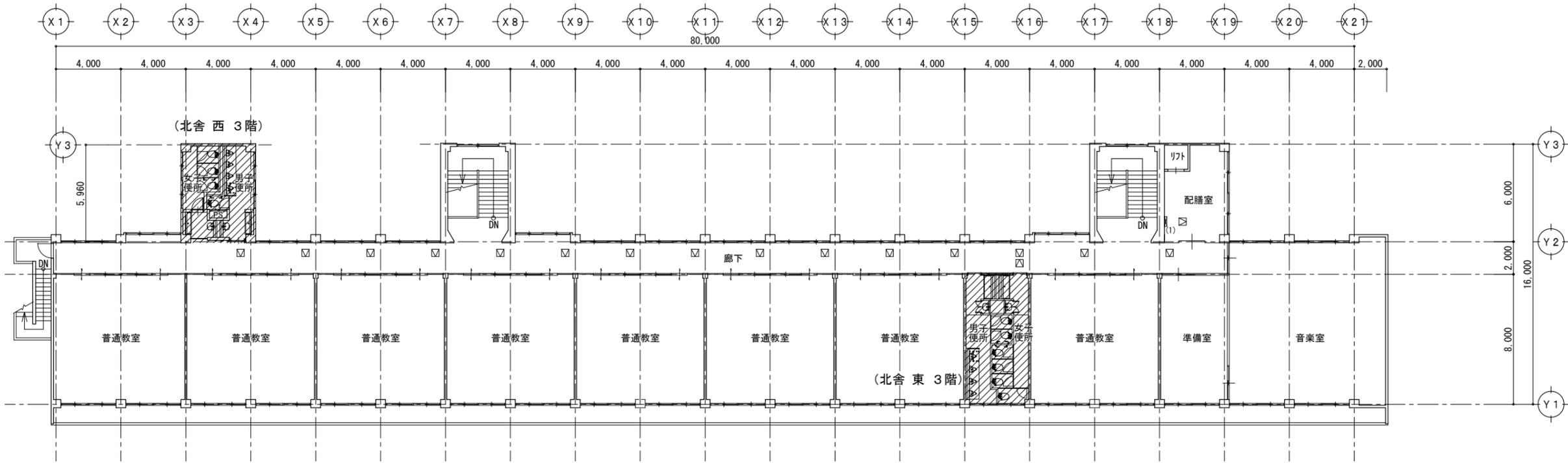


改修後 平面図 S=1/200

凡例	工事対象箇所を示す

凡例	設備改修による天井点検口等 (現場調整にて位置決定すること)
	天井点検口 新設を示す (450角)
	天井開口補強を示す (W600×D150)
	対象部 天井 既設仕上 北舎: プラスチックボード t=9 EP 南舎: 化粧プラスチックボード t=9





凡例	
	工事対象箇所を示す

凡例		設備改修による天井点検口等 (現場調整にて位置決定すること)	
	天井点検口 新設を示す (450角)	対象部	天井 既設仕上
	天井開口補強 を示す (W600×D150)	北舎	: プラスチック t=9 EP
		南舎	: 化粧プラスチック t=9

改修後 平面図 S=1/200

株式会社 山田建築事務所

YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士778990号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW

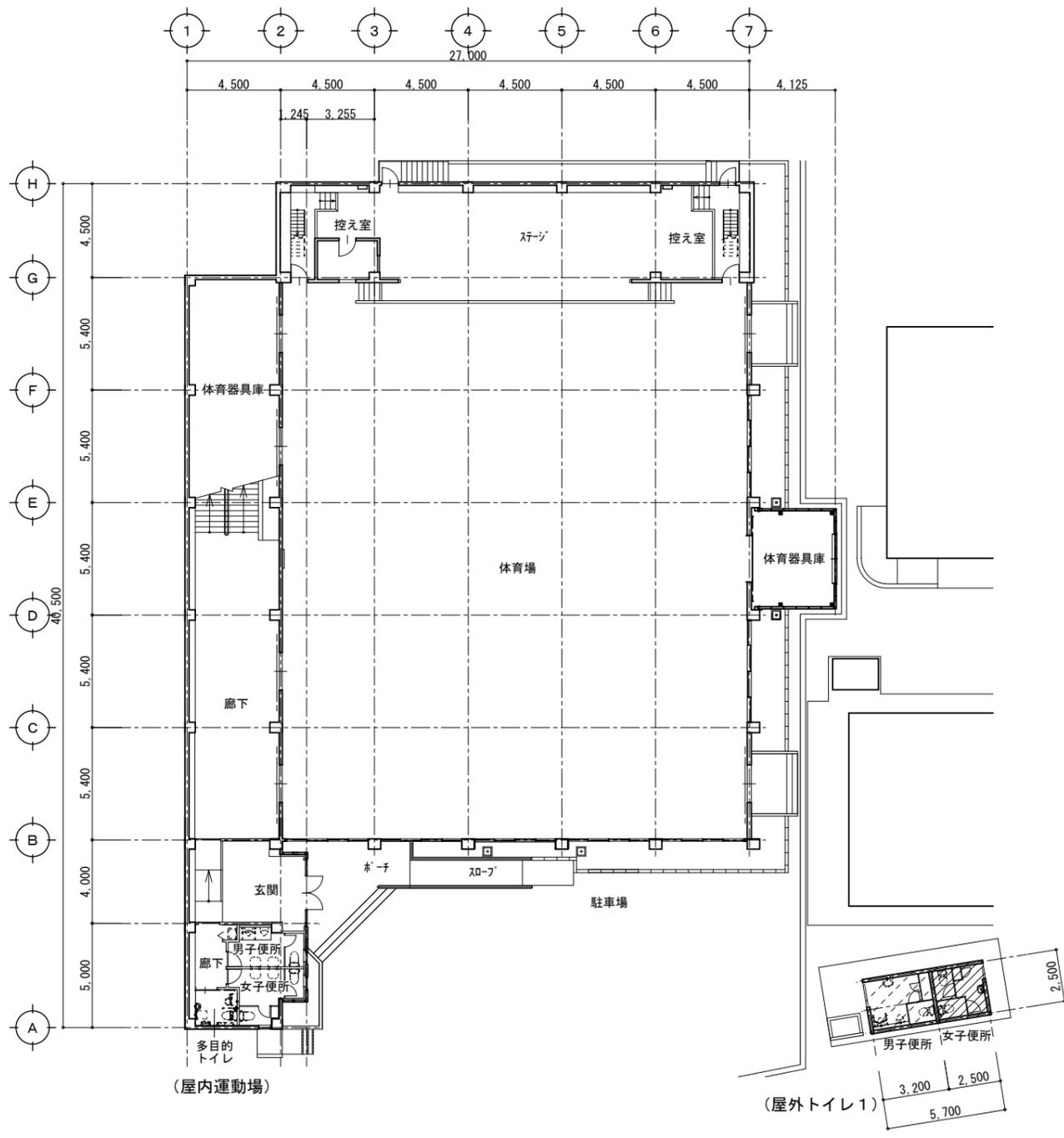
SCALE
A2 : S=1/200
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事 (Ⅱ期)

改修後 平面図 (北舎3階)

SHEET NO.

A-15



改修後 平面図 S=1/200

凡例	
	工事対象箇所を示す
	建築工事対象外箇所を示す (電気設備 照明工事のみ)

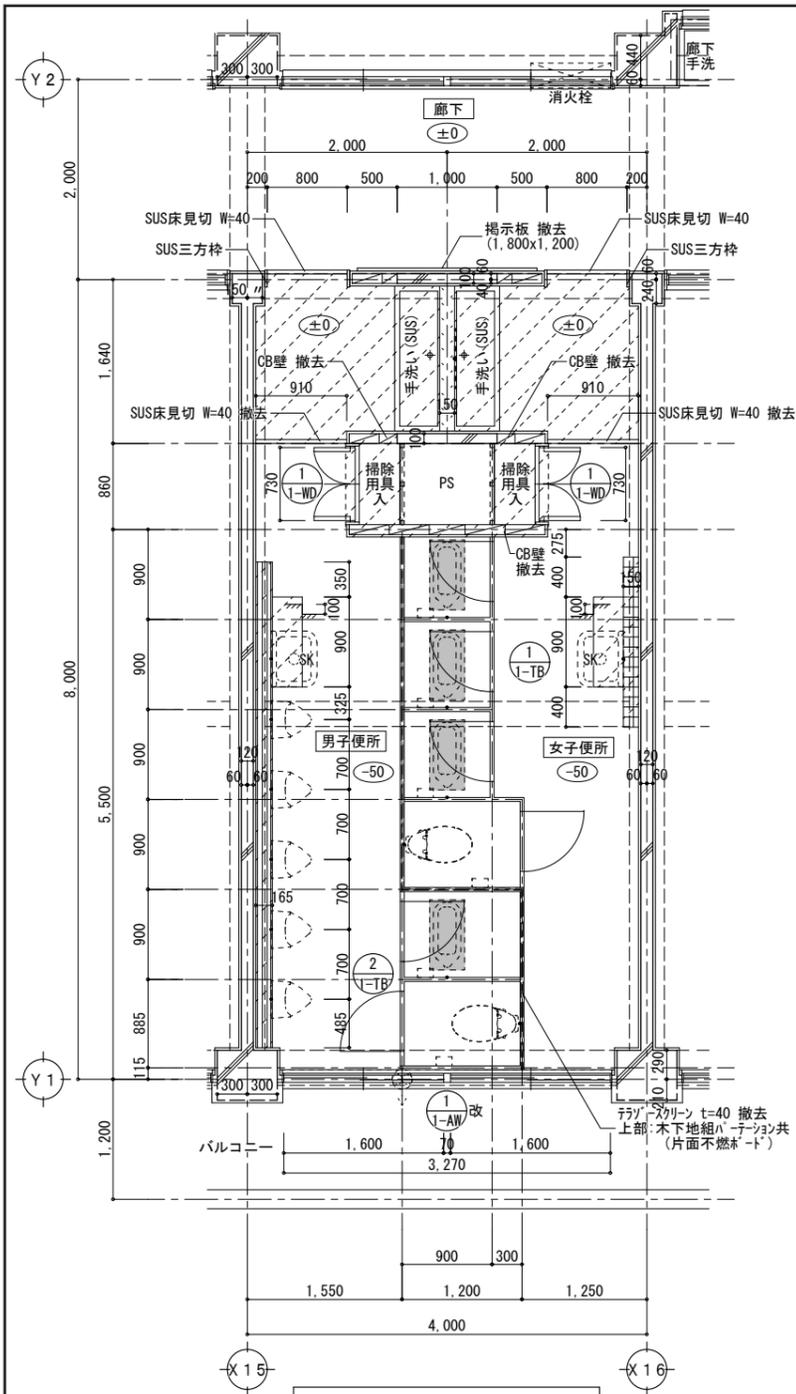
株式会社 山田建築事務所
YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊 和

CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE
A2 : S=1/200
DATE
令和6年10月

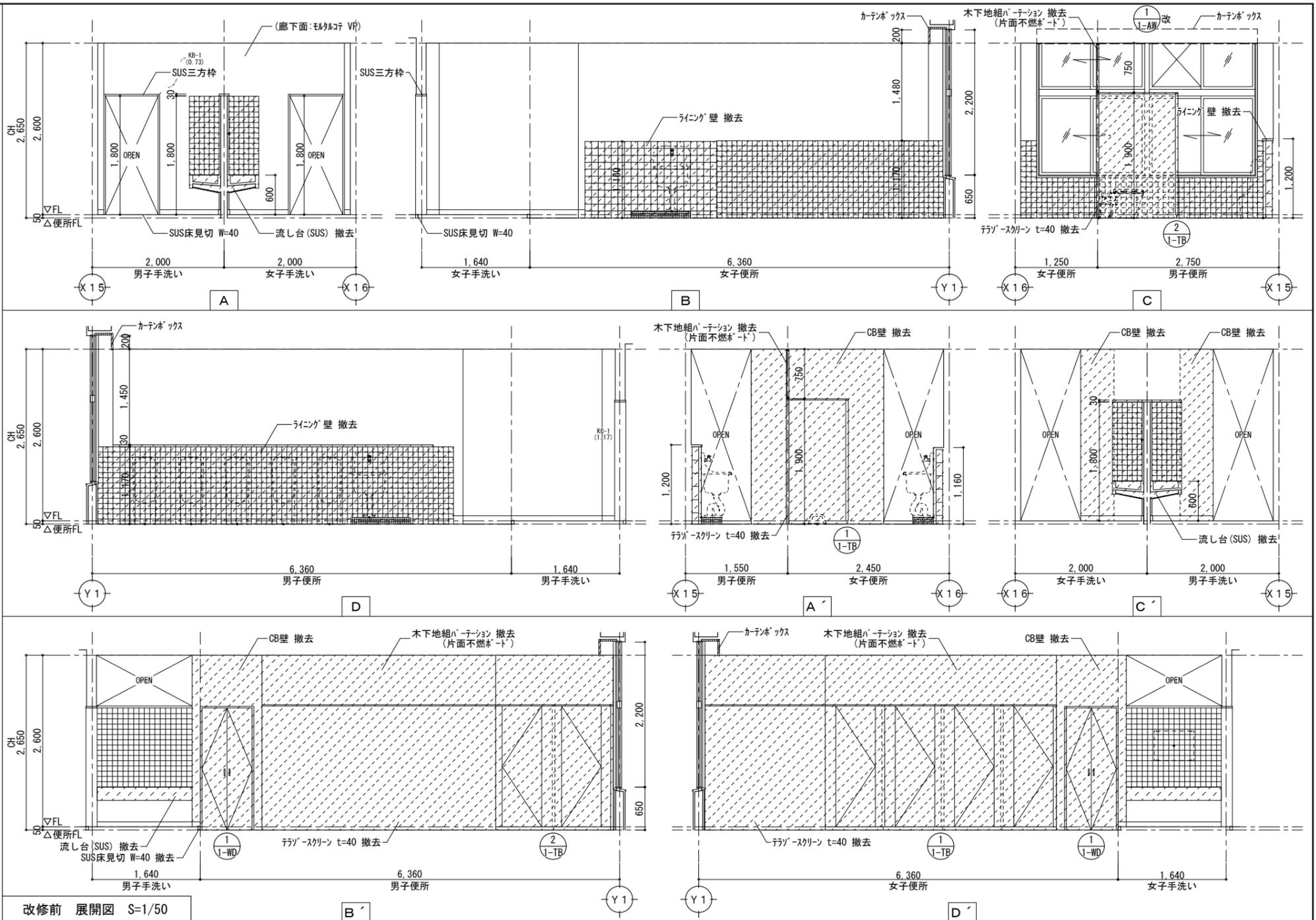
可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)
改修後 平面図 (屋内運動場) (屋外トイレ1)

SHEET NO.
A-16



改修前 平面詳細図 S=1/50

凡例	改修前
(±0)	FLからの現況レベル高さを示す
---	梁位置を示す
///	撤去範囲を示す
■	コンクリートスラブ撤去範囲を示す(仕上共)
■	周囲コンクリートカッター 350×700



改修前 展開図 S=1/50

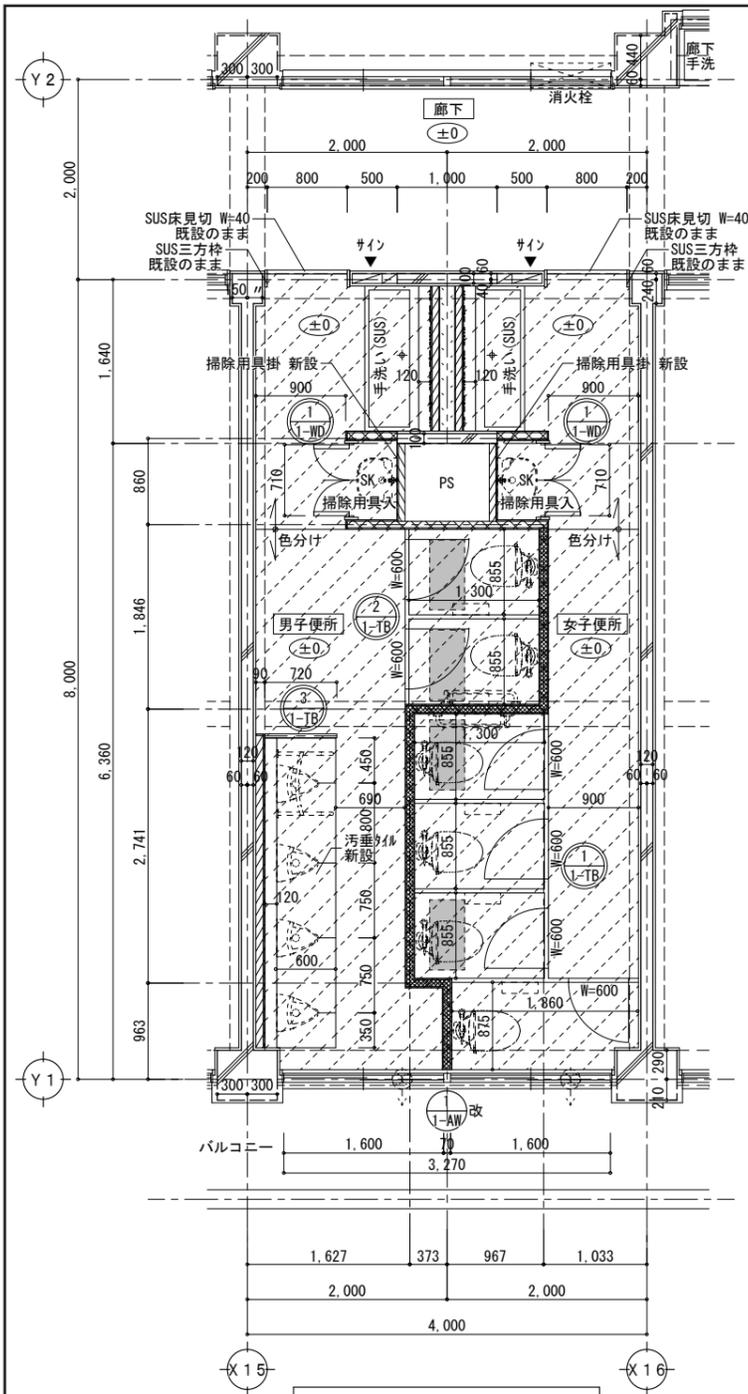
改修前 内部仕上表		参考数量	
北舎 東 2階	男子便所 女子便所	床	壁
床	セラミックタイル <残置> 手洗い: 長尺塩ビシート t=2.8 <仕上のみ撤去>	塗装	WX
巾木	手洗い: モルタル VP <残置>	H	75
壁	上部: モルタル下地 吹付仕上 <下地調整> 《※》 腰壁: 75角タイル, 100角タイル <タイル仕上のみ撤去> 手洗い: モルタル VP <下地調整> CB壁: モルタル VP (CB t=100共) <撤去> ライニング壁: 75角タイル (CB t=100共) <撤去>	天井	2,650 塩ビ 2,600 塩ビ
天井	アスベストラスク t=4 EP <撤去> 《※》 手洗い: アスベストラスク t=4 EP <撤去> 《※》 (LGS下地共)	家具等	トイレアス 撤去 WD 撤去 AW 改修
備考	カテン等	カテン等	カテンボックス: スペア OP
	サイン等	サイン等	サイン: ー
	衛生器具等	衛生器具等	掲示板 撤去(廊下側) (建築工事) 和式便器 撤去 (機械設備工事) 洋式便器・小便器・SK・鏡 撤去

劣化項目	内壁劣化数量 [参考数量]						
	タイル浮き (㎡)	モルタル浮き (㎡)	タイル欠損 (枚)	ひび割れ (枚) タイル面	ひび割れ (m) 幅0.2未満	ひび割れ (m) 幅0.2~1.0未満	ひび割れ (m) 幅1.0以上
補修方法	タイル仕上撤去	アンカー・ライニング部分にエポキシ樹脂注入工法	タイル仕上撤去	タイル仕上撤去	シール工法 (エポキシ樹脂)	樹脂注入工法	Uカットシール材充填工法
A面	—	—	—	—	—	0.73	—
B面	—	—	—	—	—	—	—
C面	—	—	—	—	—	—	—
D面	—	—	—	—	—	—	1.17
合計	撤去範囲該当	—	撤去範囲該当	撤去範囲該当	—	0.73	1.17

※実施数量については、現地調査の結果にて協議すること。

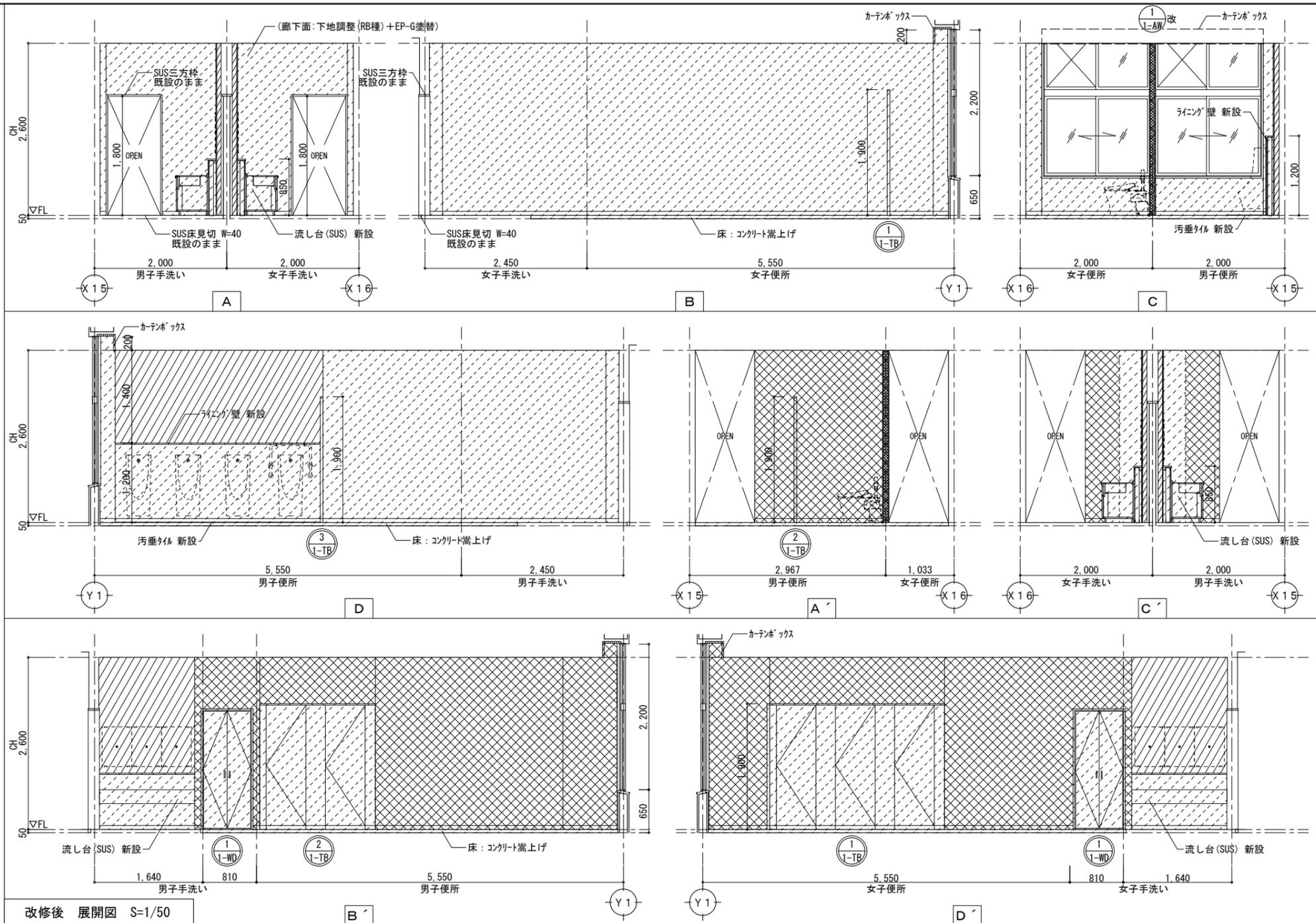
凡例	改修前
///	撤去範囲を示す

《※》… 既設仕上 アスベスト含有建材を示す
アスベスト含有建材は適法に撤去・処分すること。



改修後 平面詳細図 S=1/50

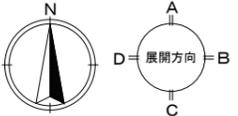
凡例	改修後
(±0)	FLからの改修後の高さを示す
---	既設梁位置を示す
////	改修範囲を示す
■	既設和便器部 開口閉塞 (部分詳細図参照)
■	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃マニ化化粧板t=3.0両面
■	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃マニ化化粧板t=3.0

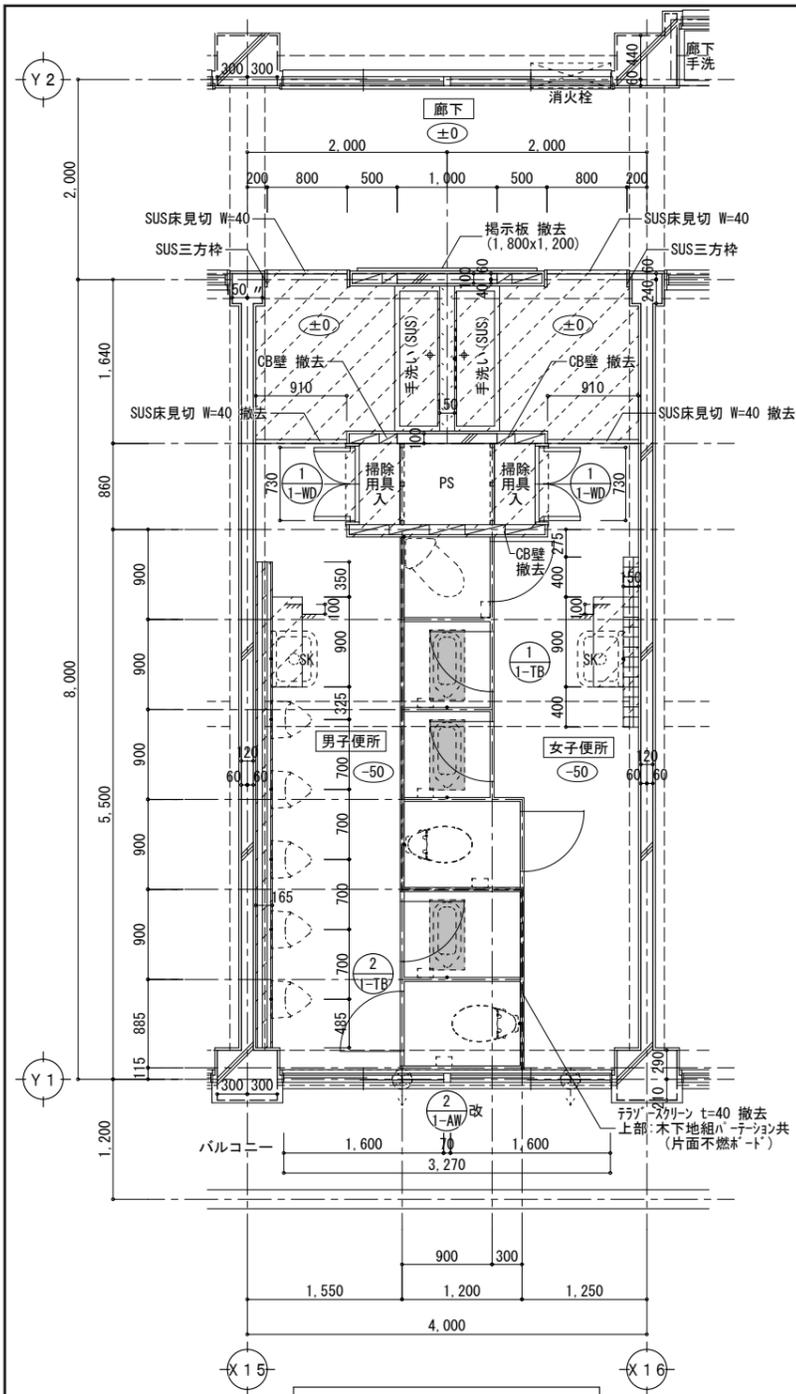


改修後 展開図 S=1/50

改修後 内部仕上表		塗装	H	天井高	廻縁
北舎 東 2階	男子便所 女子便所				
床	コンクリート嵩上げ+ビニル床シート t=2.0 <新設> 手洗い：下地処理+ビニル床シート t=2.0 <新設>	---			
巾木	SUS巾木 <新設> 手洗い：SUS巾木 <新設>	---	60 60		
壁	既設の上、 下地処理+不燃マニ化化粧板 t=3.0 直張 <新設> LGS65、GB-St=12.5 下地 不燃マニ化化粧板t=3.0 <新設> ライオン壁 (不燃マニ化化粧板t=3.0) <新設>	---			
天井	廊下側：珪藻土面 下地調整 (RB種) +EP-G塗替 化粧せつこうボード t=9.5 <新設> 手洗い：化粧せつこうボード t=9.5 <新設> (LGS下地共)	---		2,600 2,600	塩ビ 塩ビ
家具等	トイレース 新設 流し台 (SUS) 新設 汚垂り皿 t=6 新設	WD 新設			AW 改修 掃除用具掛 新設
カーテン等	カーテンボックス 新設 カーテンボックス：下地調整 (RB種) +SOP塗替				
サイン等	サイン 新設				
衛生器具等	(機械設備工事) 洋式便器・小便器・SK・鏡・手摺 新設 換気扇 新設 (女子便所)				

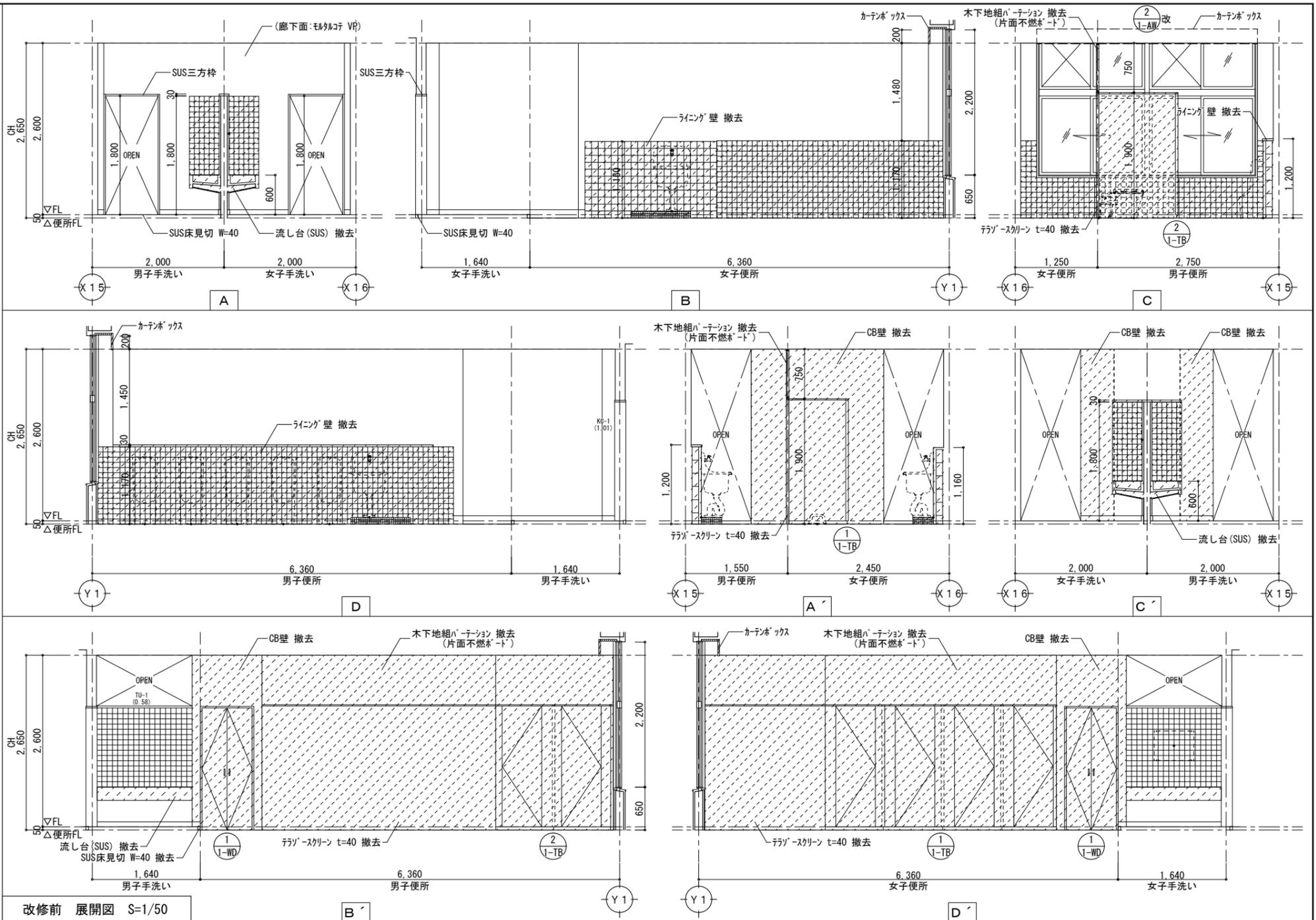
凡例	改修後
////	改修範囲を示す
■	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃マニ化化粧板t=3.0両面
■	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃マニ化化粧板t=3.0





改修前 平面詳細図 S=1/50

凡例	改修前
(±0)	FLからの現況階高を示す
---	梁位置を示す
///	撤去範囲を示す
■	コンクリートスラブ撤去範囲を示す(仕上共)
■	周囲コンクリートカッター 350×700



改修前 展開図 S=1/50

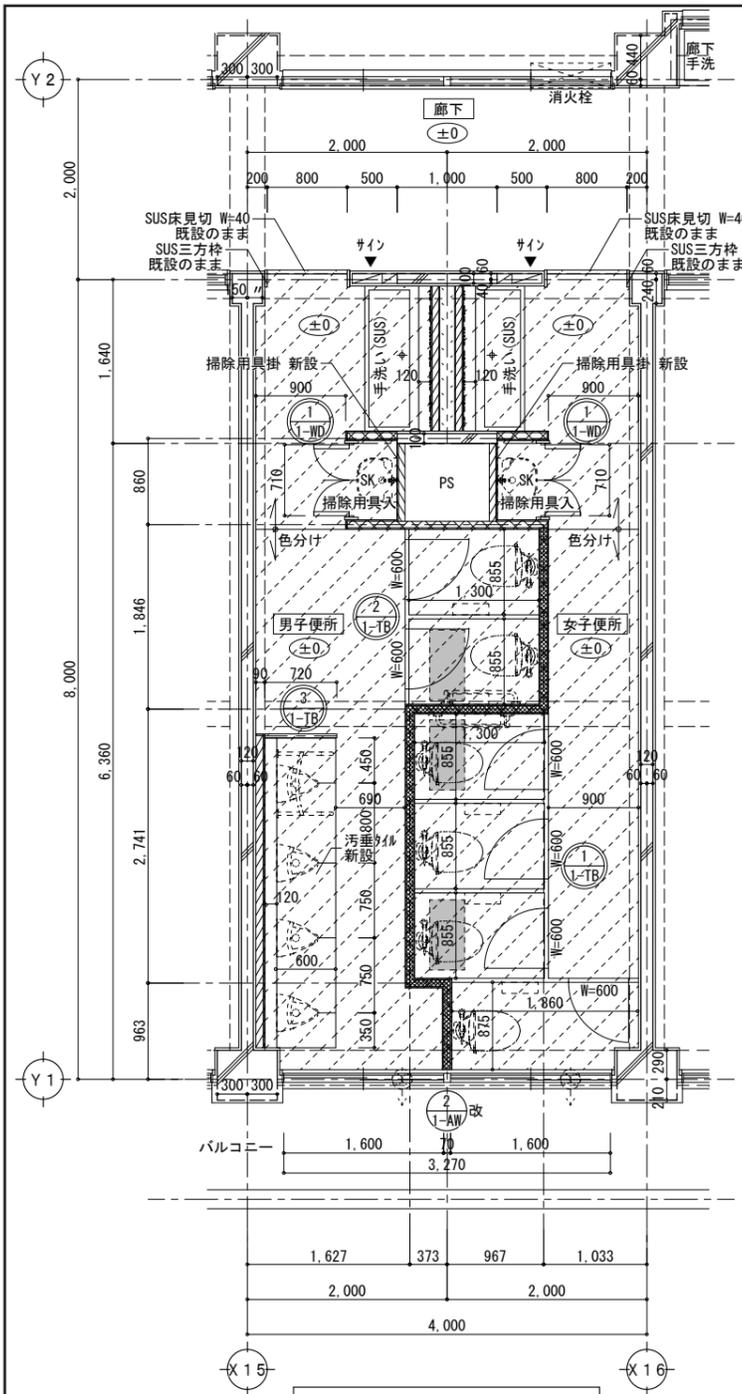
改修前 内部仕上表		参考数量	
北舎 東 3階	男子便所 女子便所	床	壁
床	セラミックタイル <残置> 手洗い: 長尺塩ビシート t=2.8 <仕上のみ撤去>	塗装	H
巾木	手洗い: モルタル VP <残置>	天井高	廻縁
壁	上部: モルタル下地 吹付仕上 <下地調整> 《※》 腰壁: 75角タイル, 100角タイル <タイル仕上のみ撤去> 手洗い: モルタル VP <下地調整> CB壁: モルタル VP (CB t=100共) <撤去> ライニング壁: 75角タイル (CB t=100共) <撤去>	天井	塩ビ 塩ビ
天井	アスベストラス t=4 EP <撤去> 《※》 手洗い: アスベストラス t=4 EP <撤去> 《※》 (LGS下地共)	家具等	トイレノズ 撤去 流し台(SUS) 撤去 AW 改修
備考	カテン等	カテン等	カテンボックス: スペア OP
	サイン等	サイン等	サイン: ー 掲示板 撤去(廊下側)
	衛生器具等	衛生器具等	(建築工事) 和式便器 撤去 (機械設備工事) 洋式便器・小便器・SK・鏡 撤去

劣化項目	内壁劣化数量 [参考数量]						
	タイル浮き(m)	モルタル浮き(m)	タイル欠損(枚)	ひび割れ(枚) タイル面	ひび割れ(m) 幅0.2未満	ひび割れ(m) 幅0.2~1.0未満	ひび割れ(m) 幅1.0以上
補修方法	タイル仕上撤去	アンカー・コンクリート部分に樹脂注入工法	タイル仕上撤去	タイル仕上撤去	シール工法(エポキシ樹脂)	樹脂注入工法	Uカット・シール材充填工法
A面	—	—	—	—	—	—	—
B面	0.58	—	—	—	—	—	—
C面	—	—	—	—	—	—	—
D面	—	—	—	—	—	—	1.01
合計	0.58	—	撤去範囲該当	撤去範囲該当	—	—	1.01

※実施数量については、現地調査の結果にて協議する。

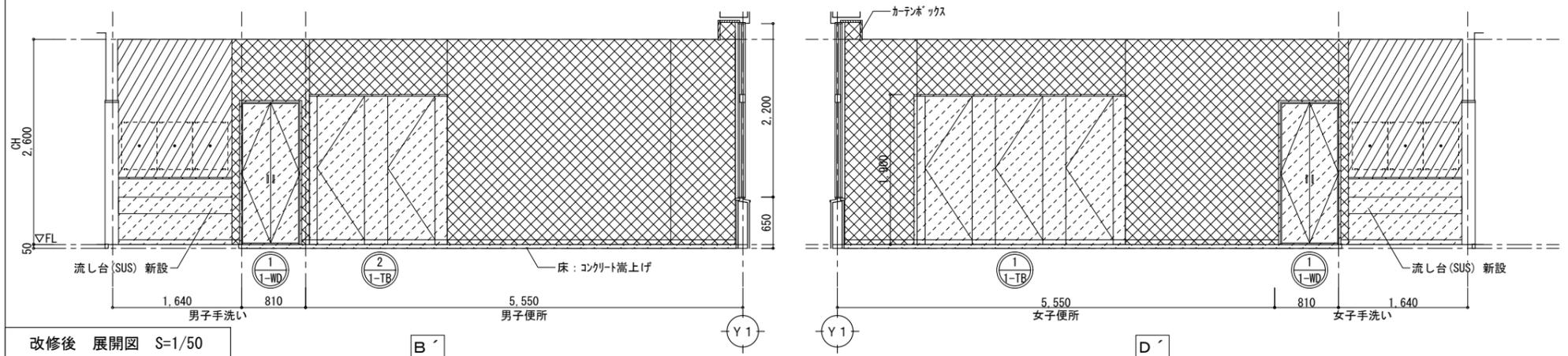
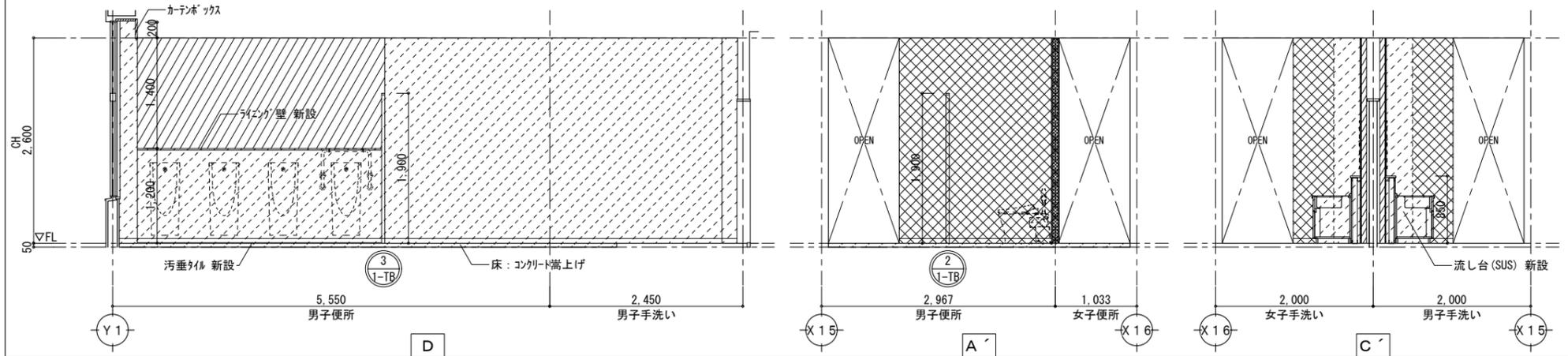
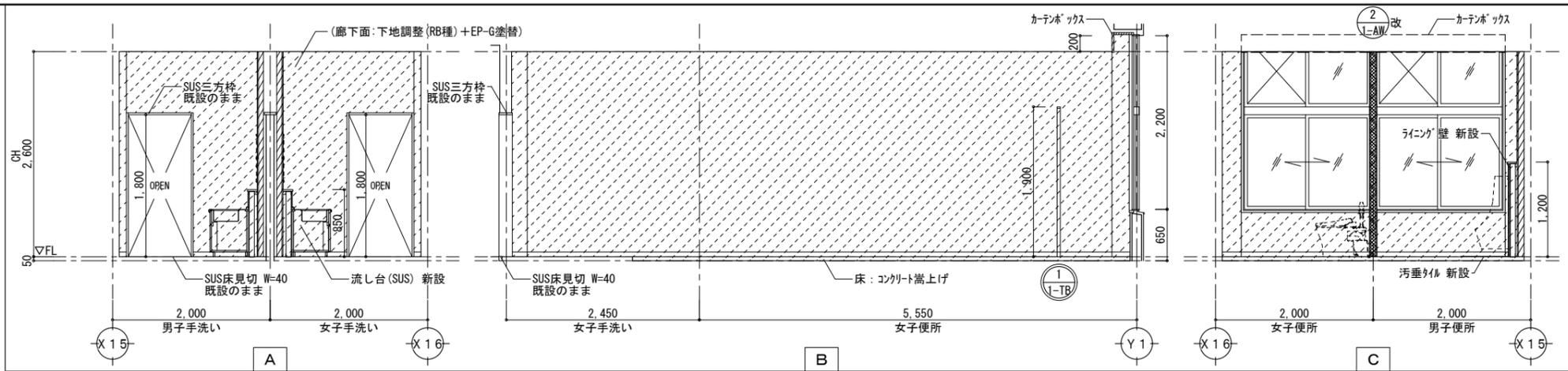
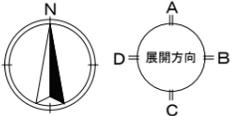
凡例	改修前
///	撤去範囲を示す

《※》… 既設仕上 アスベスト含有建材を示す
アスベスト含有建材は適法に撤去・処分すること。



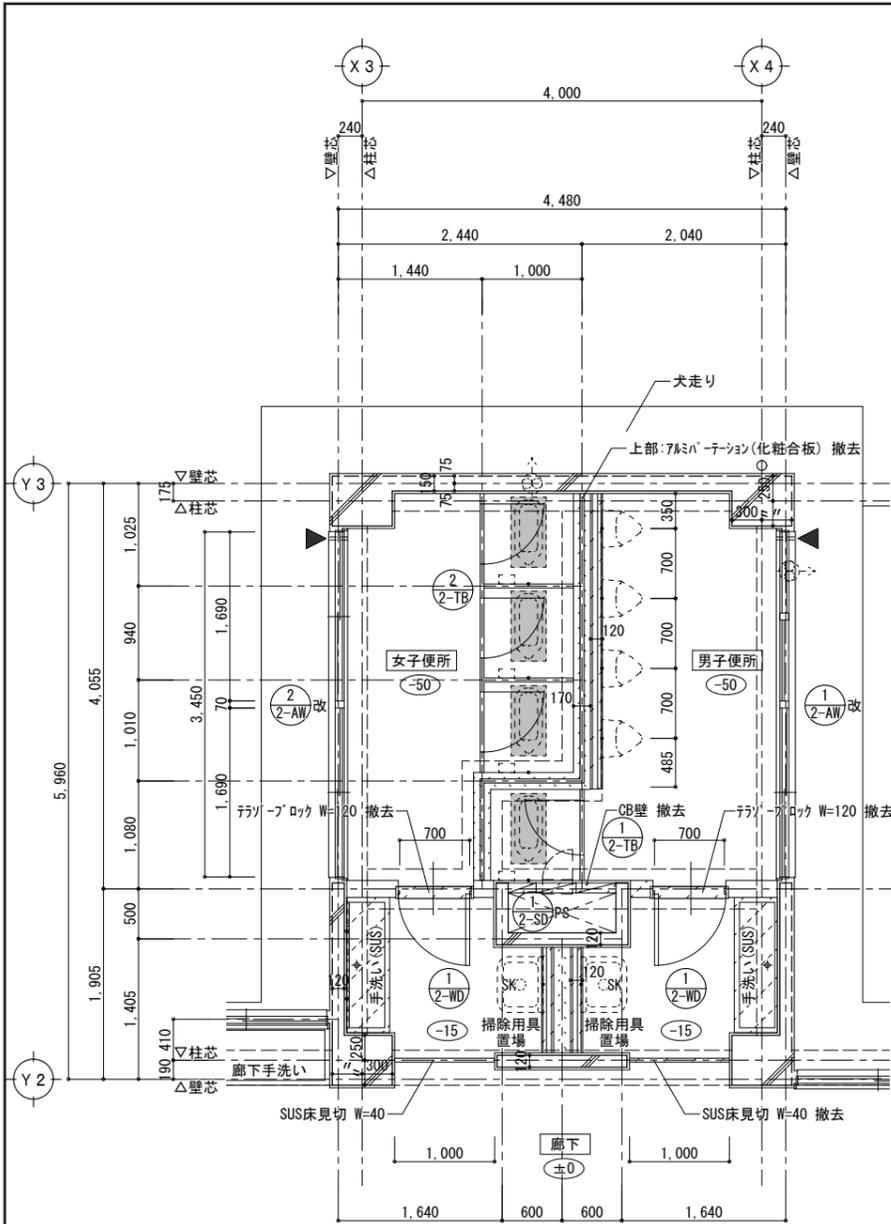
改修後 平面詳細図 S=1/50

凡例	改修後
(±0)	FLからの改修後の高さを示す
---	既設梁位置を示す
///	改修範囲を示す
■	既設和便器部 開口閉塞 (部分詳細図参照)
■	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃マニ化化粧板t=3.0両面
■	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃マニ化化粧板t=3.0

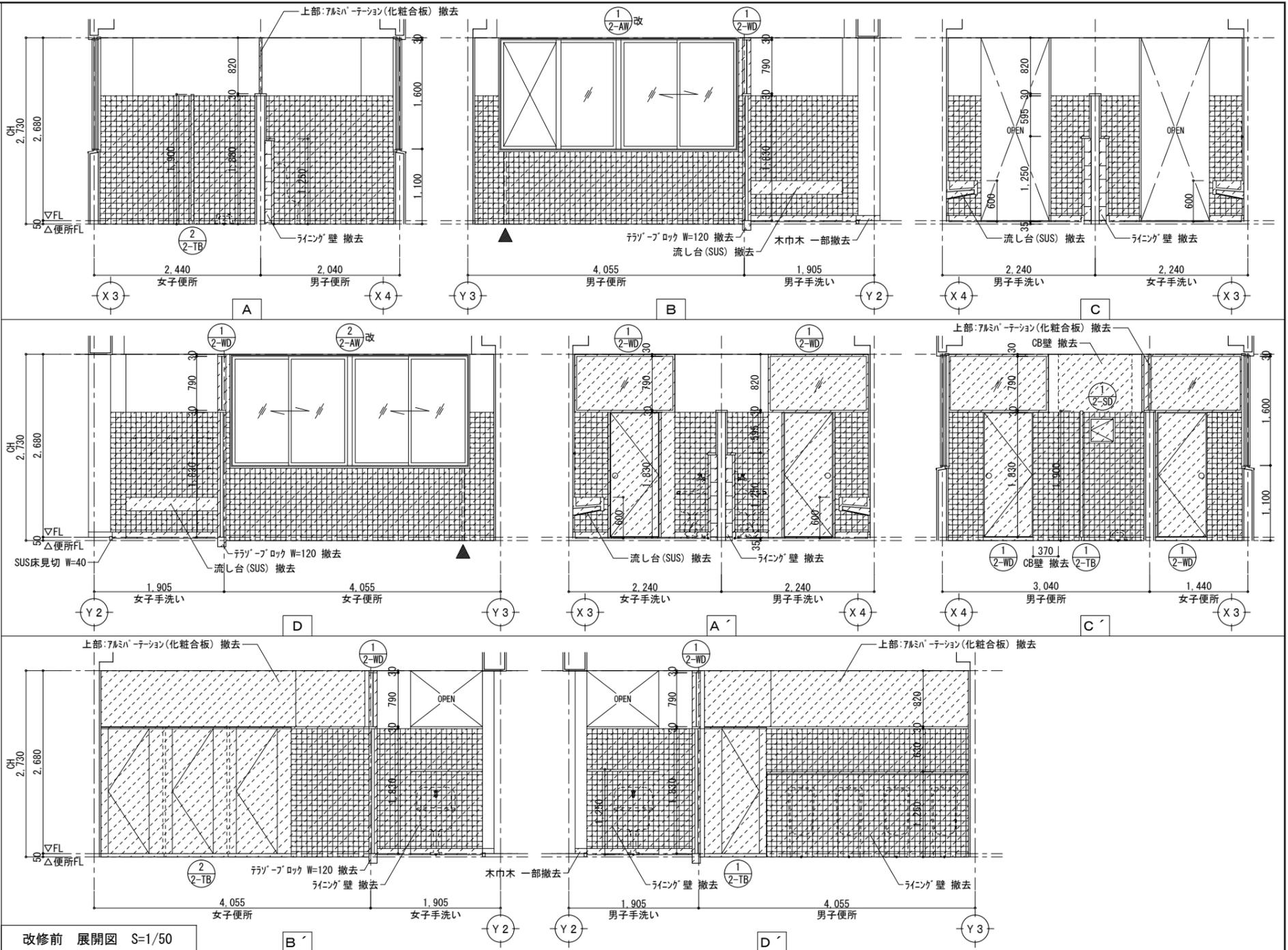


改修後 内部仕上表	
北舎 東 3階	男子便所 女子便所
床	コンクリート嵩上げ+ビニル床シート t=2.0 <新設> 手洗い：下地処理+ビニル床シート t=2.0 <新設>
巾木	SUS巾木 <新設> 手洗い：SUS巾木 <新設>
壁	既設の上、 下地処理+不燃マニ化化粧板 t=3.0 直張 <新設> LGS65、GB-St=12.5 下地 不燃マニ化化粧板t=3.0 <新設> ライオン壁 (不燃マニ化化粧板t=3.0) <新設>
天井	廊下側：珪藻土面 下地調整 (RB種) +EP-G塗替 化粧せつこうボード t=9.5 <新設> 手洗い：化粧せつこうボード t=9.5 <新設> (LGS下地共)
家具等	トイレース 新設 WD 新設 AW 改修 流し台 (SUS) 新設 汚垂り皿 t=6 新設 掃除用具掛 新設
カーテン等	カーテンボックス：下地調整 (RB種) +SOP塗替
サイン等	サイン 新設
衛生器具等	(機械設備工事) 洋式便器・小便器・SK・鏡・手摺 新設

凡例	改修後
///	改修範囲を示す
■	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃マニ化化粧板t=3.0両面
■	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃マニ化化粧板t=3.0



改修前 平面詳細図 S=1/50



改修前 展開図 S=1/50

凡例 改修前

±0	FLからの現況レベル高さを示す
---	地中梁位置を示す(梁天端GL-100)
▨	撤去範囲を示す
▨	土間コンクリート撤去範囲を示す(仕上共)
▨	周囲コンクリートカッター 350×700
▨	土間コンクリート t=120
▨	土間シート t=0.1、砕石 t=100
▶	既設耐震リット位置を示す

改修前 内部仕上表

北舎西1階	男子便所	女子便所	仕上	塗装	H	天井高	廻縁
床	モザイクタイル<残置> 手洗い:人研ぎ仕上<残置>		---	---	---	---	---
巾木	手洗い:人研ぎ<撤去> 廊下側:木巾木 OP<一部撤去>		---	---	75	75	---
壁	上部:モザイク下地 リン吹付<下地調整>《※》 腰壁:75角タイル<タイル仕上のみ撤去> 廊下側:モザイク VP CB壁:75角タイル、リン吹付《※》(CB t=100共)<撤去> ライニング壁:75角タイル(CB t=100共)<撤去>		---	---	---	---	---
天井	7 スチラス t=4 EP<撤去>《※》 手洗い:7 スチラス t=4 EP<撤去>《※》 (LGS下地共)		---	---	---	2.730 2.680	塩ビ 塩ビ
家具等	トイレ>ス 撤去	WD、SD 撤去	AW 既設のまま				
カーテン等	---						
サッシ等	サッシ:---						
衛生器具等	(建築工事)和式便器 撤去 (機械設備工事)小便器・SK・鏡 撤去						

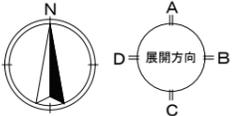
内壁劣化数量 [参考数量]

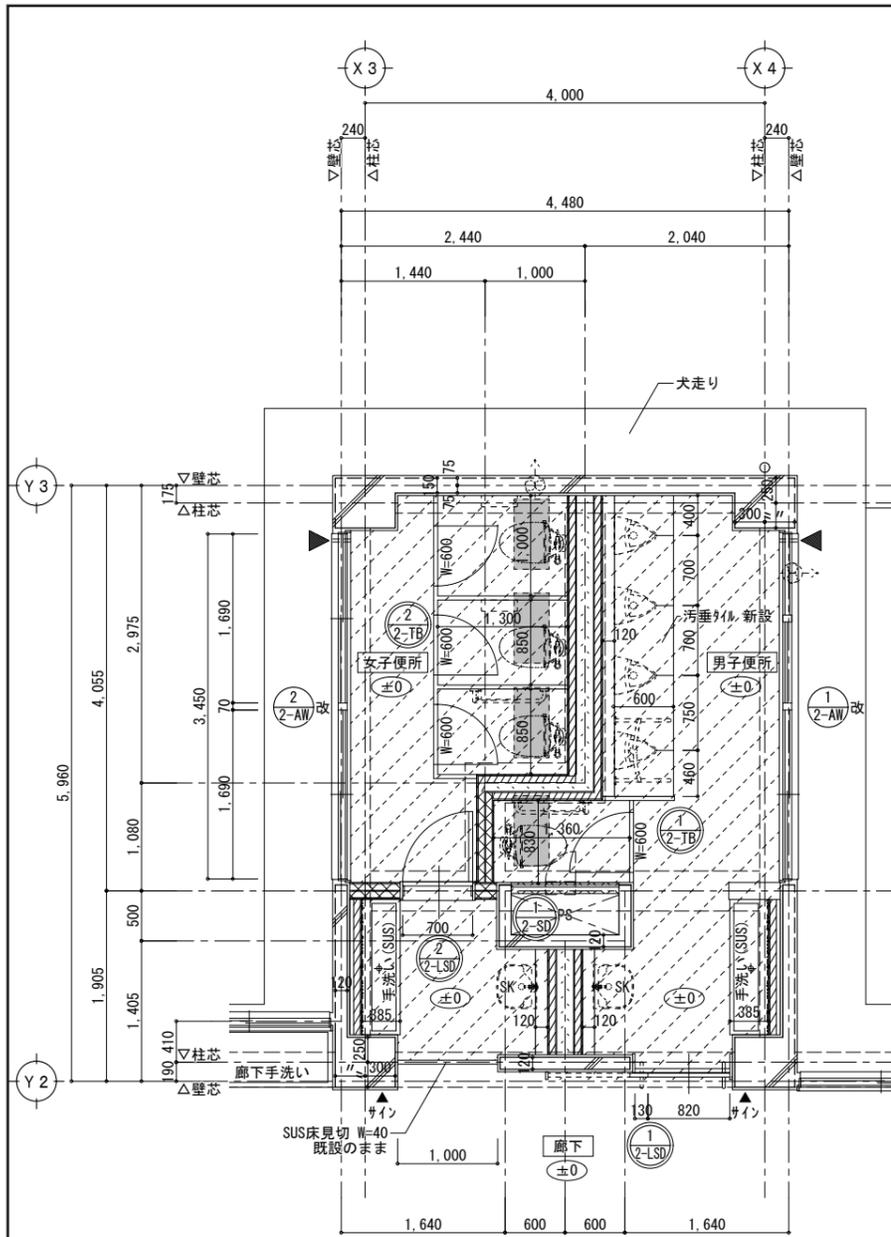
劣化項目	タイル浮き (㎡)	モザイク浮き (㎡)	タイル欠損 (枚)	ひび割れ (枚) タイル面	ひび割れ (m) 幅0.2未満	ひび割れ (m) 幅0.2~1.0未満	ひび割れ (m) 幅1.0以上
補修方法	タイル仕上撤去	アンカーピンニング 部分モザイク樹脂 注入工法	タイル仕上撤去	タイル仕上撤去	---	---	---
A面	---	---	---	---	---	---	---
B面	---	---	---	---	---	---	---
C面	---	---	---	---	---	---	---
D面	---	---	---	---	---	---	---
合計	全て撤去範囲	---	全て撤去範囲	全て撤去範囲	---	---	---

※実施数量については、現地調査の結果にて協議する。

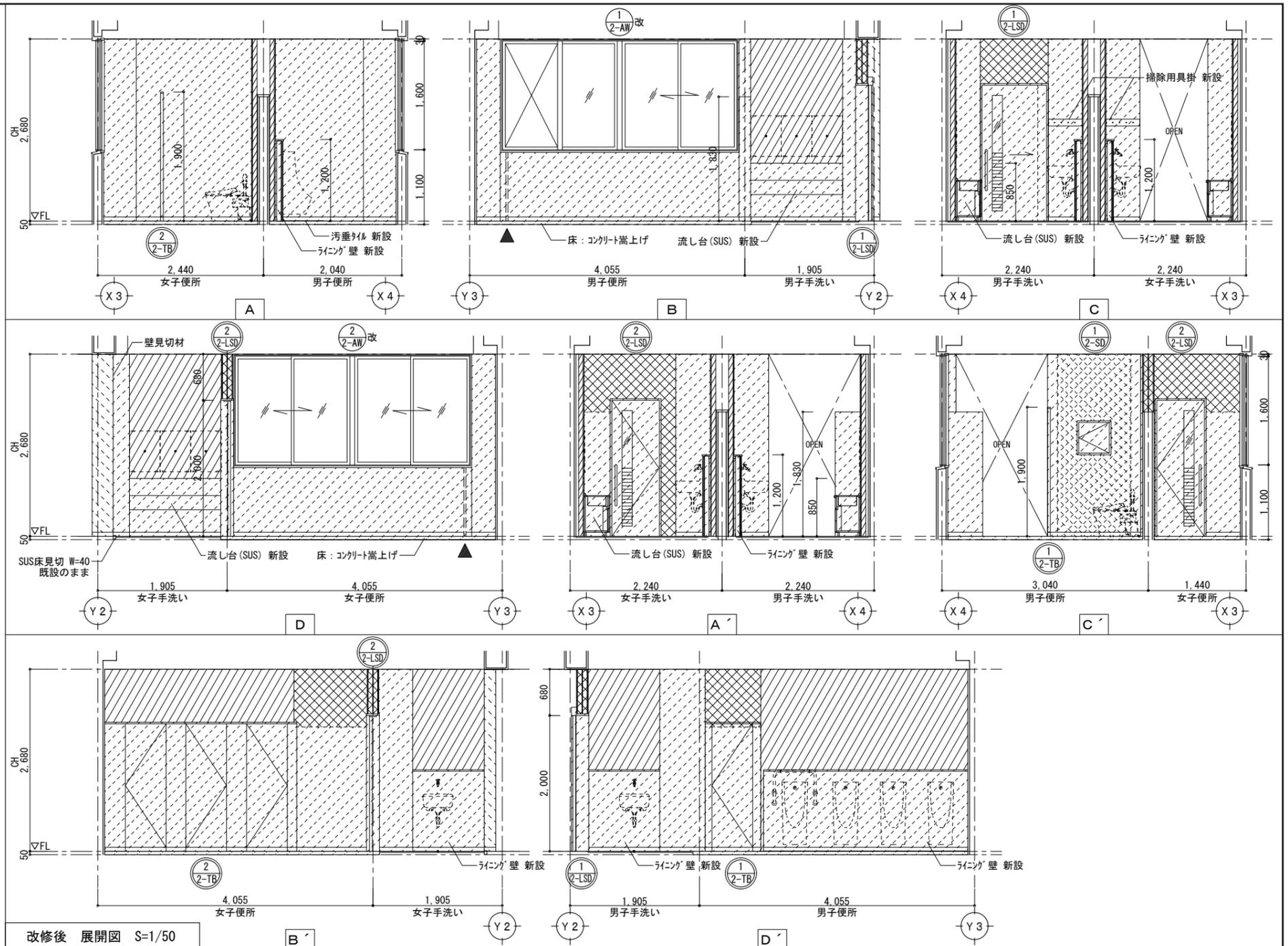
凡例 改修前

▨	撤去範囲を示す
▶	既設耐震リット位置を示す





改修後 平面詳細図 S=1/50

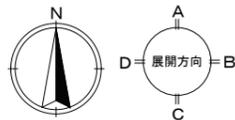


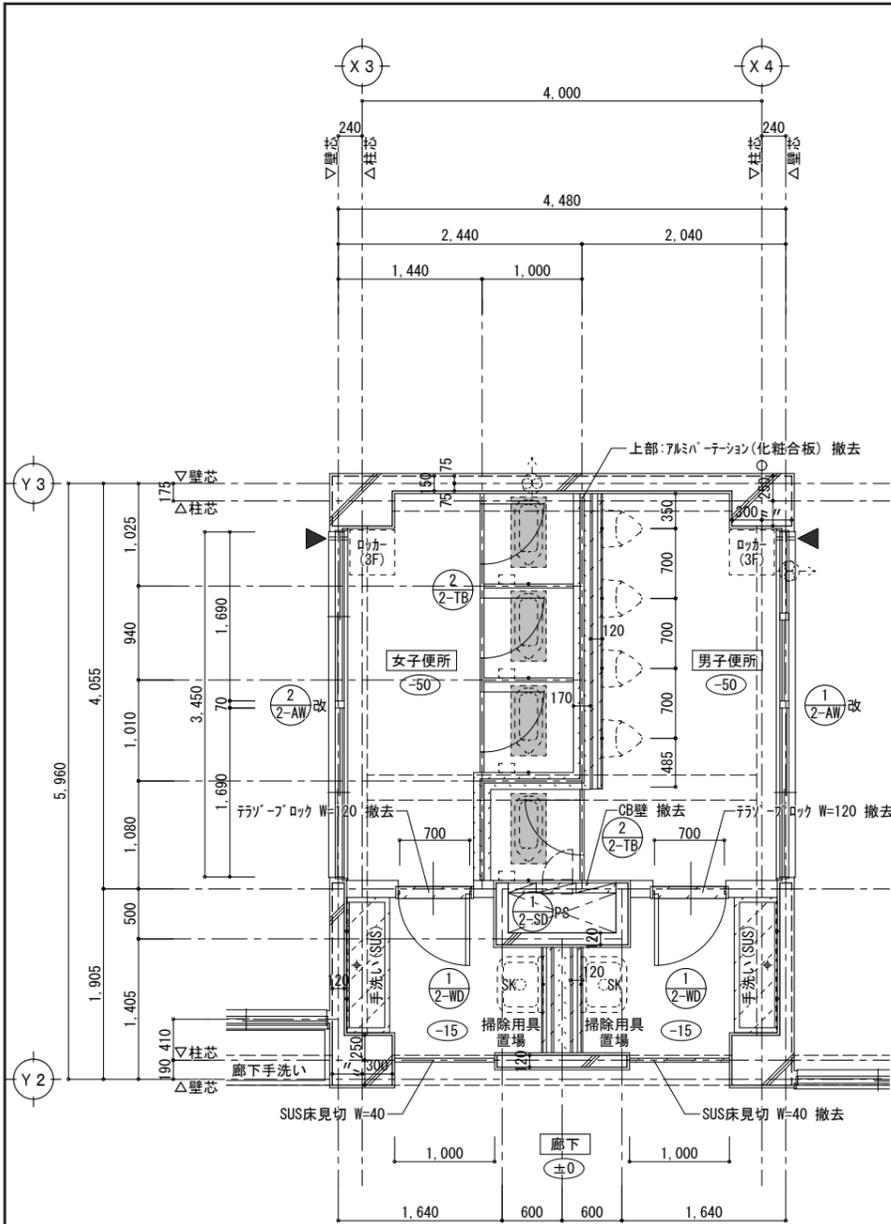
改修後 展開図 S=1/50

凡例	改修後
(±0)	FLからの改修後レベル高さを示す
---	既設地中梁位置を示す
▨	改修範囲を示す
■	既設和便器部 開口閉塞 土間コンクリートt=120 D10@200(9730共) 周囲あと施工アールD10@200 防湿フィルムt=0.15、再生砕石t=100
▶	耐震シット 打替え (部分詳細図参照)
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃マシ化化粧板t=3.0両面
▨	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃マシ化化粧板t=3.0
▨	耐火壁 新設 (LGS65、GB-Ft=21+21片面) 不燃マシ化化粧板t=3.0片面

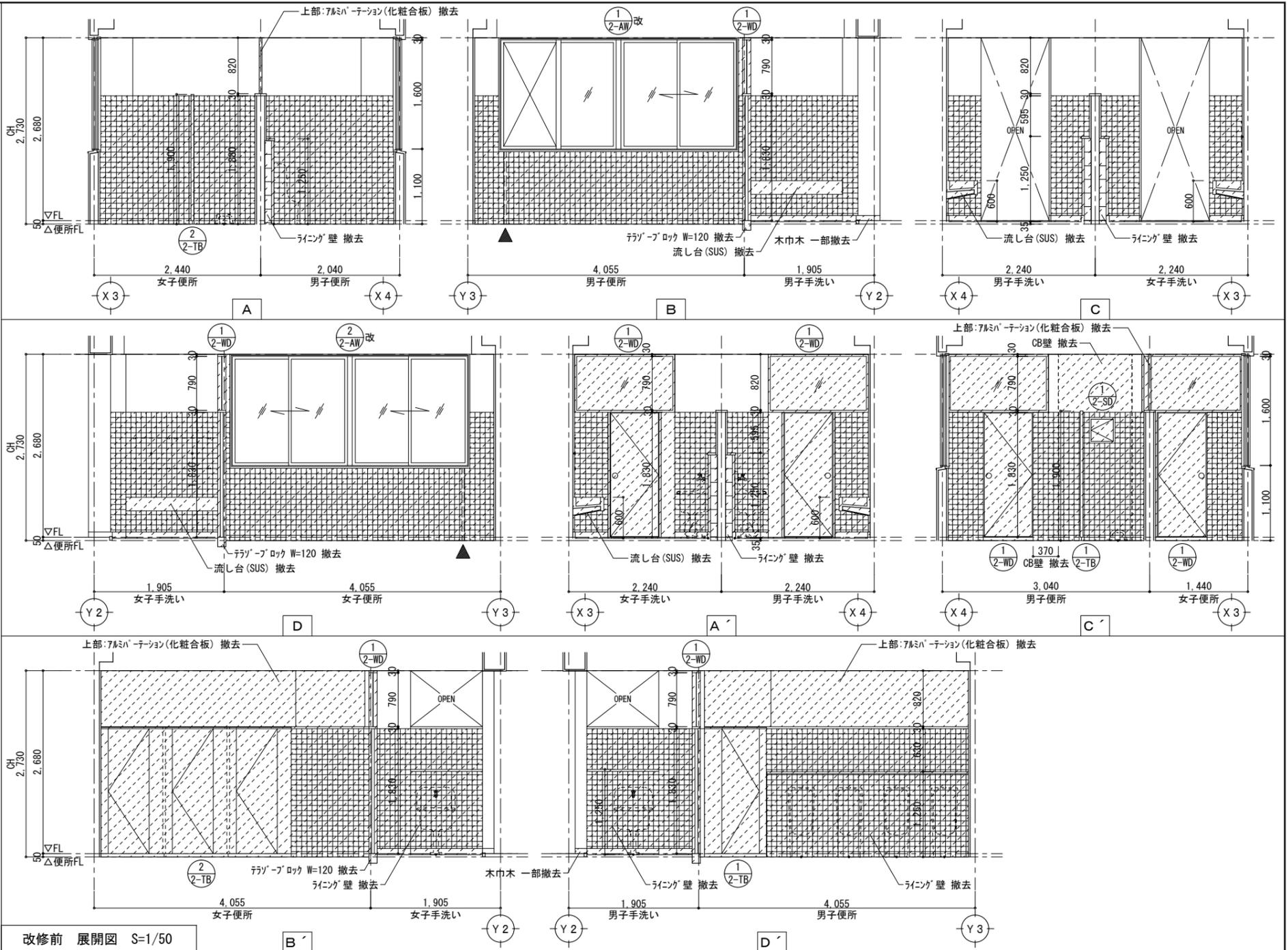
改修後 内部仕上表		男子便所		女子便所	
北舎西1階	仕上	塗装	H	天井高	廻縁
床	コンクリート嵩上げ+ビニール床シート t=2.0 <新設> 手洗い: //	—	—	—	—
巾木	SUS巾木 <新設> 手洗い: SUS巾木 <新設>	—	60	—	—
壁	上部: 既設の上、腰壁: 既設タイル撤去の上、 下地処理+不燃マシ化化粧板 t=3.0 直張 <新設> LGS65、GB-St=12.5 下地 不燃マシ化化粧板t=3.0 <新設> ライニング壁 (不燃マシ化化粧板t=3.0) <新設>	—	—	—	—
天井	廊下側: 既存面 下地調整(RB種)+EP-G塗替 化粧せっこうボード t=9.5 <新設> 手洗い: 化粧せっこうボード t=9.5 <新設> (LGS下地共)	—	—	2.680 2.680	塩ビ 塩ビ
家具等	トイレース 新設	LSD、SD 新設	AW 清掃程度		
カーテン等	—	汚垂タイルt=6 新設	掃除用具掛 新設		
サッシ等	サッシ 新設				
衛生器具等	(機械設備工事) 洋式便器・小便器・SK・鏡・手摺 新設				

凡例	改修後
▨	改修範囲を示す
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃マシ化化粧板t=3.0両面
▨	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃マシ化化粧板t=3.0
▨	耐火壁 新設 (LGS65、GB-Ft=21+21片面) 不燃マシ化化粧板t=3.0片面
▨	塗替範囲を示す
▶	耐震シット 打替え





改修前 平面詳細図 S=1/50



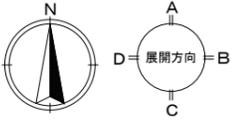
改修前 展開図 S=1/50

改修前 内部仕上表		塗装	H	天井高	廻縁
北舎西2階	男子便所	---	---	---	---
北舎西3階	女子便所	---	---	---	---
床	モザイクタイル<残置> 手洗い:人研ぎ仕上<残置>	---	---	---	---
巾木	手洗い:人研ぎ<撤去> 廊下側:木巾木 OP<一部撤去> 上部:モザイク下地 リン吹付<下地調整>《※》 腰壁:75角タイル<タイル仕上のみ撤去> 廊下側:モザイク VP	---	75 75	---	---
壁	CB壁:75角タイル,リン吹付《※》(CB t=100共)<撤去> ライニング壁:75角タイル(CB t=100共)<撤去>	---	---	---	---
天井	7 ス ラス t=4 EP<撤去>《※》 手洗い:7 ス ラス t=4 EP<撤去>《※》	---	---	2.730 2.680	塩ビ 塩ビ
家具等	トイレ ス 撤去	WD, SD 撤去	AW 既設のまま	---	---
	洗面台(SUS) 撤去	---	---	---	---
カーテン等	---	---	---	---	---
サッシ等	サッシ:---	---	---	---	---
衛生器具等	(建築工事)和式便器 撤去 (機械設備工事)小便器・SK・鏡 撤去	---	---	---	---

劣化項目	内壁劣化数量 [参考数量]						
	タイル浮き (㎡)	モザイク浮き (㎡)	タイル欠損 (枚)	ひび割れ (枚) タイル面	ひび割れ (m) 幅0.2未満	ひび割れ (m) 幅0.2~1.0未満	ひび割れ (m) 幅1.0以上
補修方法	タイル仕上撤去	アンカーピンニング部分モザイク樹脂注入工法	タイル仕上撤去	タイル仕上撤去	---	---	---
A面	---	---	---	---	---	---	---
B面	---	---	---	---	---	---	---
C面	---	---	---	---	---	---	---
D面	---	---	---	---	---	---	---
合計	全て撤去範囲	---	全て撤去範囲	全て撤去範囲	---	---	---

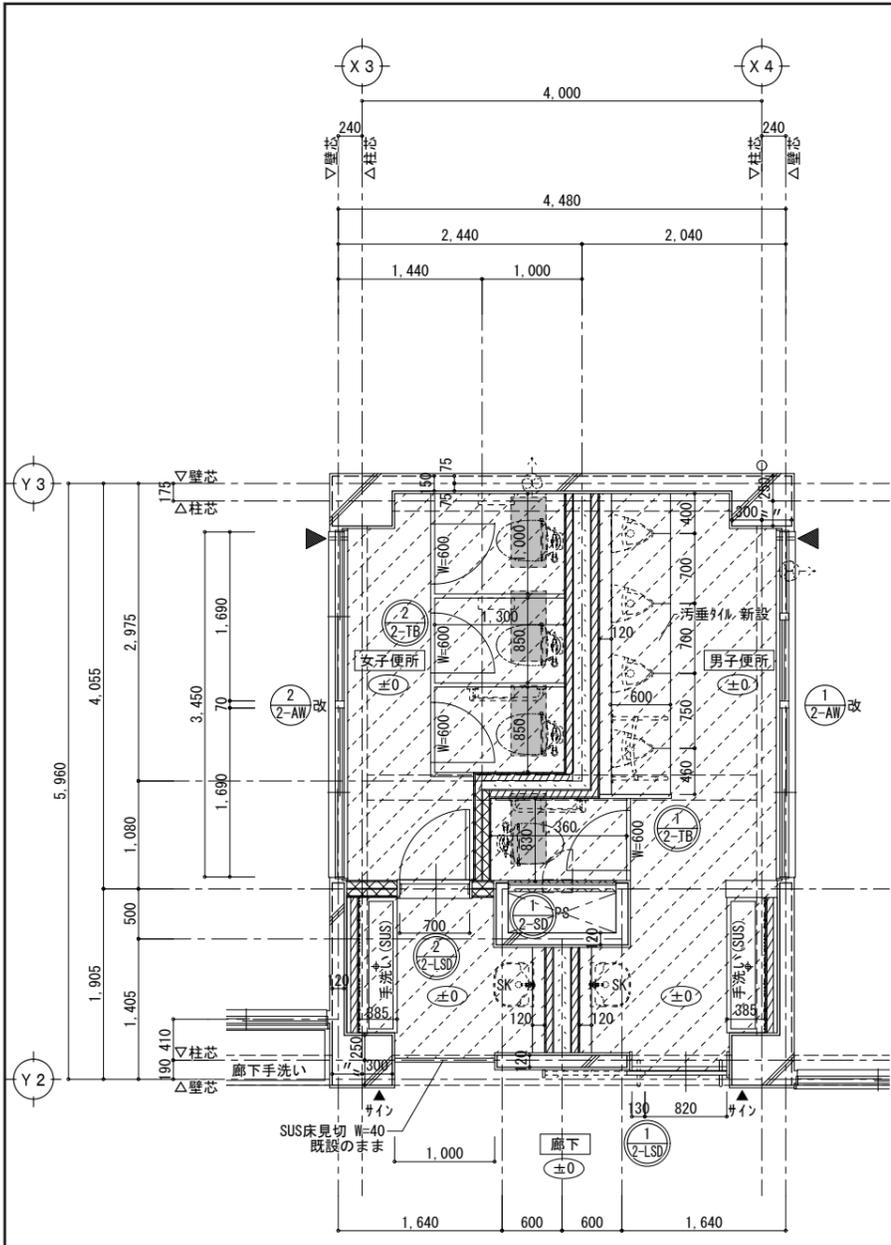
※実施数量については、現地調査の結果にて協議する。

凡例	改修前
	撤去範囲を示す
	既設耐震スリット位置を示す

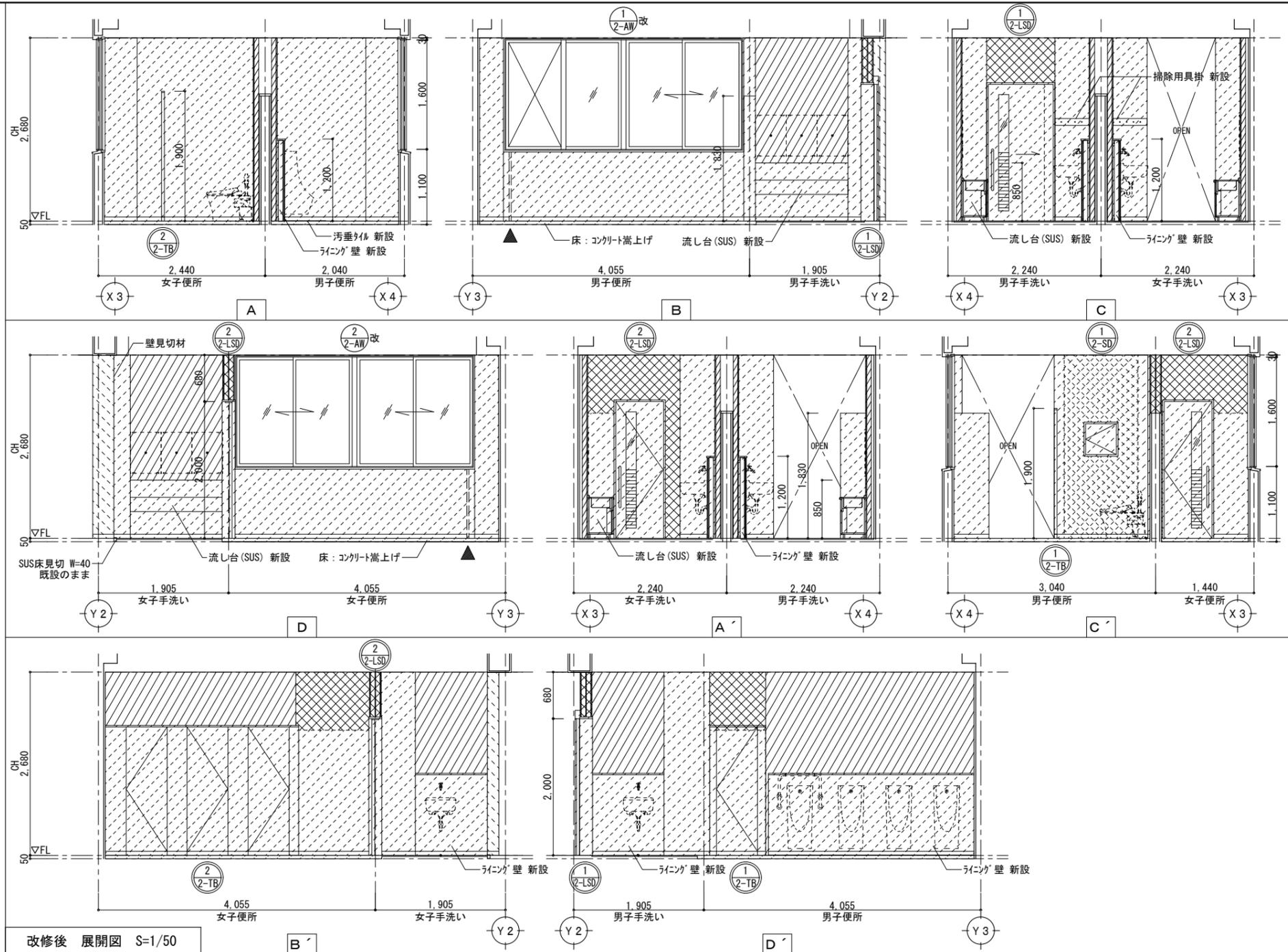


凡例	改修前
±0	FLからの現状バ 高さを示す
---	梁位置を示す
	撤去範囲を示す
	コンクリート 撤去範囲を示す(仕上共)
	周囲コンクリート 350×700
	既設耐震スリット位置を示す

《※》… 既設仕上 7 ス ラス含有建材を示す
7 ス ラス含有建材は適法に撤去・処分すること。



改修後 平面詳細図 S=1/50

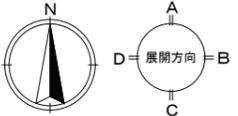


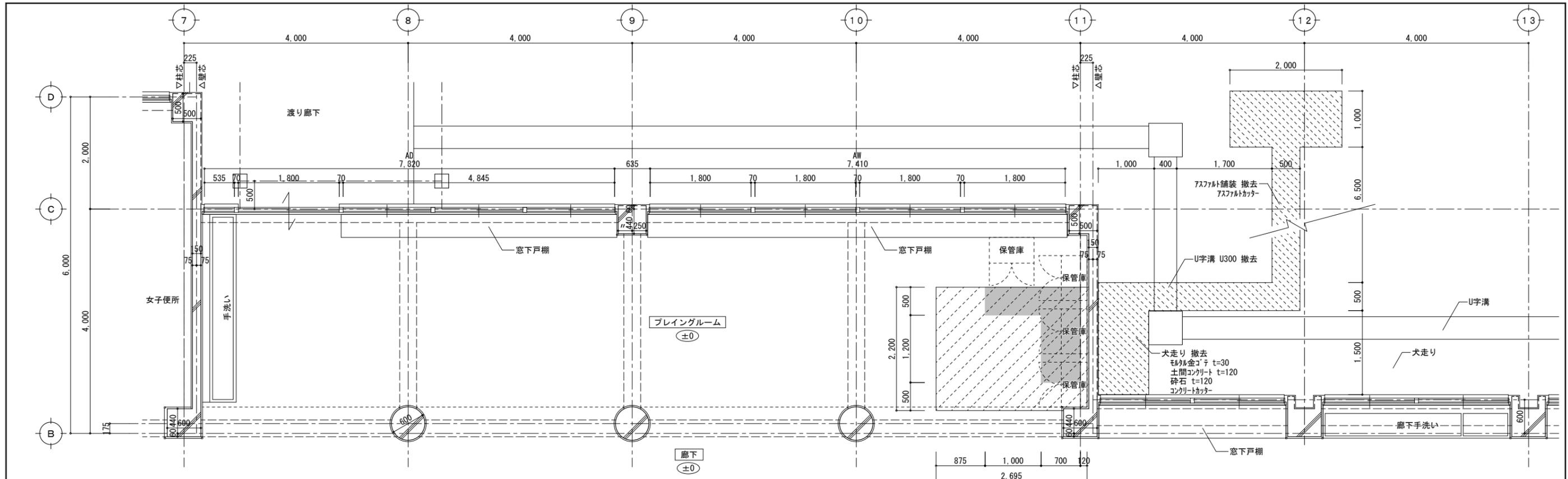
改修後 展開図 S=1/50

凡例	改修後
(±0)	FLからの改修後レベル高さを示す
---	既設梁位置を示す
▨	改修範囲を示す
■	既設和便器部 開口閉塞 (部分詳細図参照)
▶	耐震リット 打替え (部分詳細図参照)
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃マシ化化粧板t=3.0両面
▨	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃マシ化化粧板t=3.0
▨	耐火壁 新設 (LGS65、GB-Ft=21+21片面) 不燃マシ化化粧板t=3.0片面

改修後 内部仕上表	
北舎 西 2階	男子便所 女子便所
北舎 西 3階	仕上
床	コンクリート嵩上げ+ビニール床シート t=2.0 <新設> 手洗い: // 巾木: SUS巾木 <新設> 手洗い: SUS巾木 <新設>
壁	上部: 既設の上、腰壁: 既設タイル撤去の上、 下地処理+不燃マシ化粧板 t=3.0 直張 <新設> LGS65、GB-St=12.5 下地 不燃マシ化粧板t=3.0 <新設> ライニング壁 (不燃マシ化粧板t=3.0) <新設>
天井	廊下側: 既存面 下地調整 (RB種) + EP-G塗替 化粧せつこうボード t=9.5 <新設> 手洗い: 化粧せつこうボード t=9.5 <新設> (LGS下地共)
家具等	トイレース 新設 LSD、SD 新設 AW 清掃程度 流し台 (SUS) 新設 汚垂タイルt=6 新設 掃除用具掛 新設
カーテン等	-
サッシ等	サッシ 新設
衛生器具等	(機械設備工事) 洋式便器・小便器・SK・鏡・手摺 新設

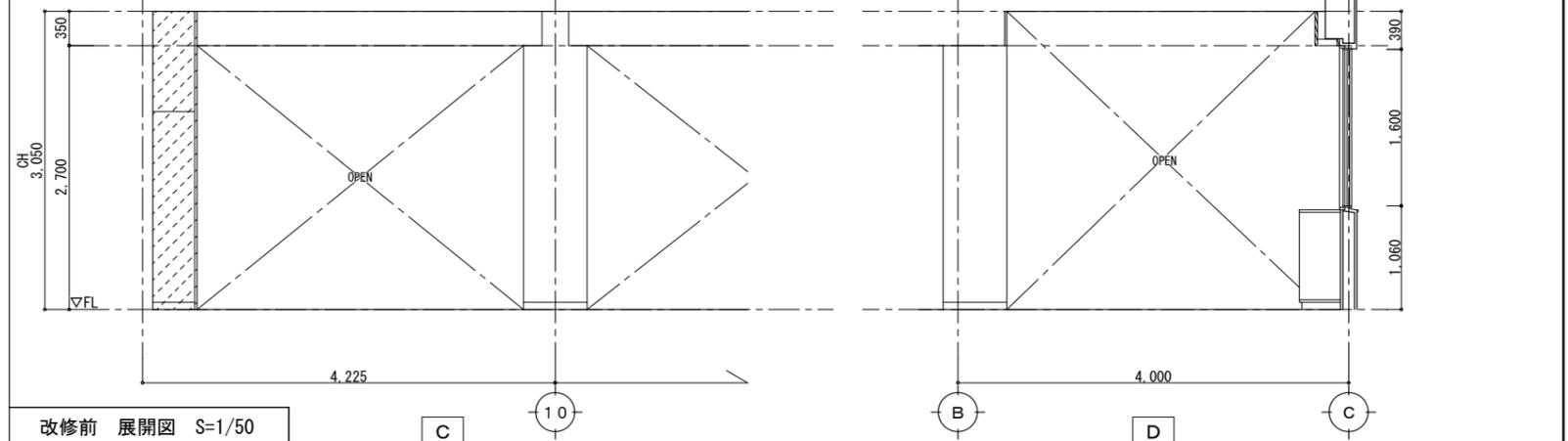
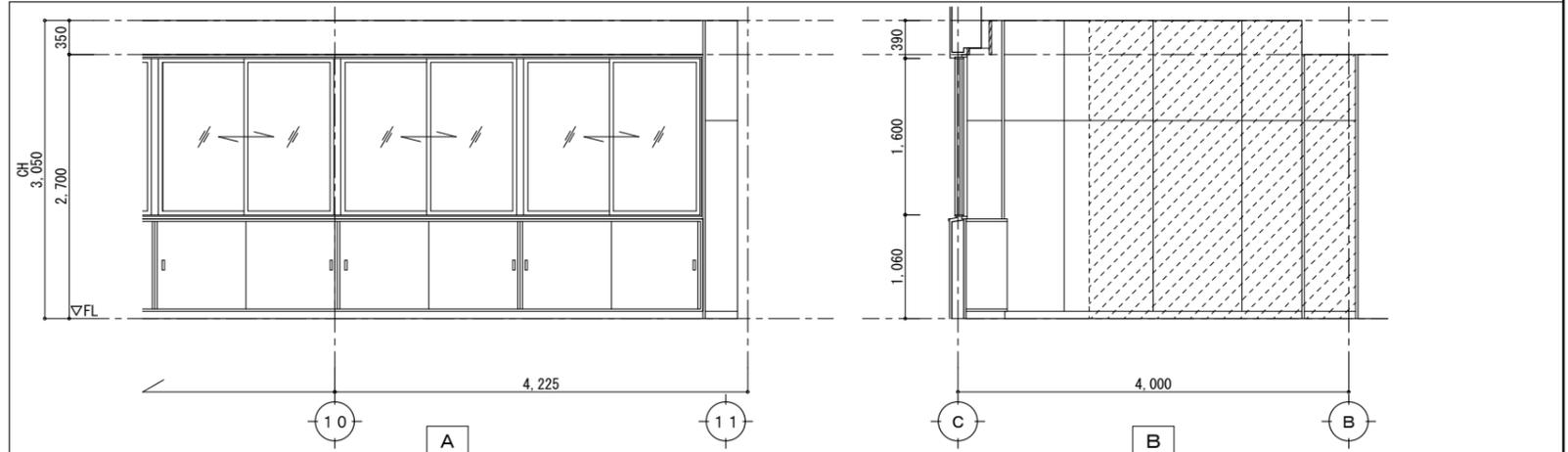
凡例	改修後
▨	改修範囲を示す
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃マシ化粧板t=3.0両面
▨	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃マシ化粧板t=3.0
▨	耐火壁 新設 (LGS65、GB-Ft=21+21片面) 不燃マシ化粧板t=3.0片面
▨	塗替範囲を示す
▶	耐震リット 打替え





改修前 平面詳細図 S=1/50

凡例	改修前
(±0)	FLからの現況レベル高さを示す
---	地中梁位置を示す(梁天端GL±0)
///	撤去範囲を示す
■	土間コンクリート撤去範囲を示す(仕上共) 周囲コンクリートカッター 土間コンクリート t=120 土間シート t=0.1、砕石 t=100
□	外構 撤去範囲を示す (範囲は現地確認及び設備工事と協議の上決定すること)

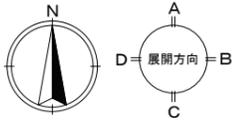
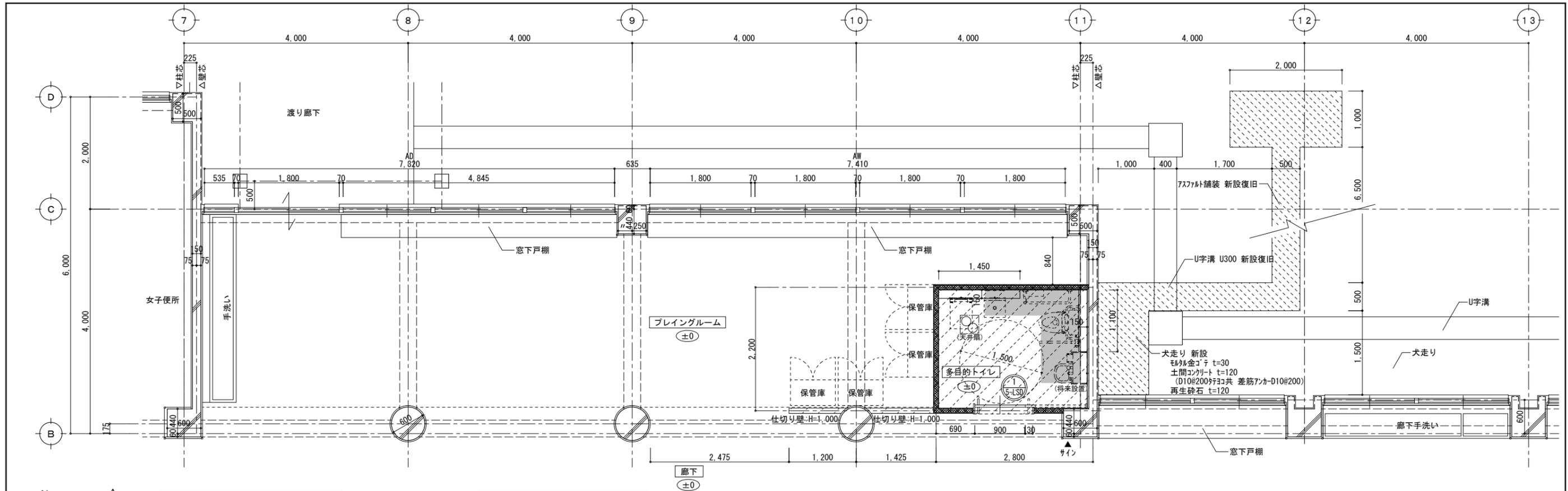


改修前 内部仕上表	
南舎 1階	プレイングルーム
床	長尺塩ビシート t=2.8 <仕上のみ一部撤去> 《※》
巾木	木巾木 SOP <一部撤去>
壁	珪合板 t=6 SOP <一部撤去>
天井	化粧プラスチックボード t=9 <一部撤去> (LGS下地共)
家具等	AW 既設のまま 保管庫 移設(工事外)
カーテン等	—
サイン等	—
衛生器具等	—

凡例	改修前
///	撤去範囲を示す

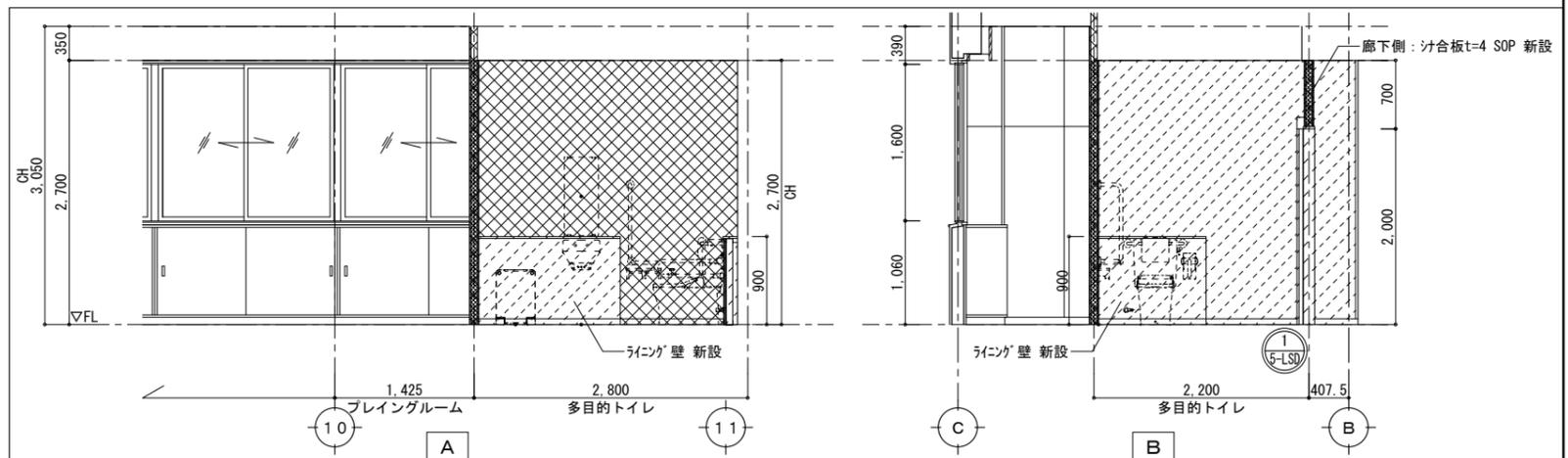
《※》… 既設仕上 77ベシ含有建材を示す 77ベシ含有建材は適法に撤去・処分すること。

改修前 展開図 S=1/50



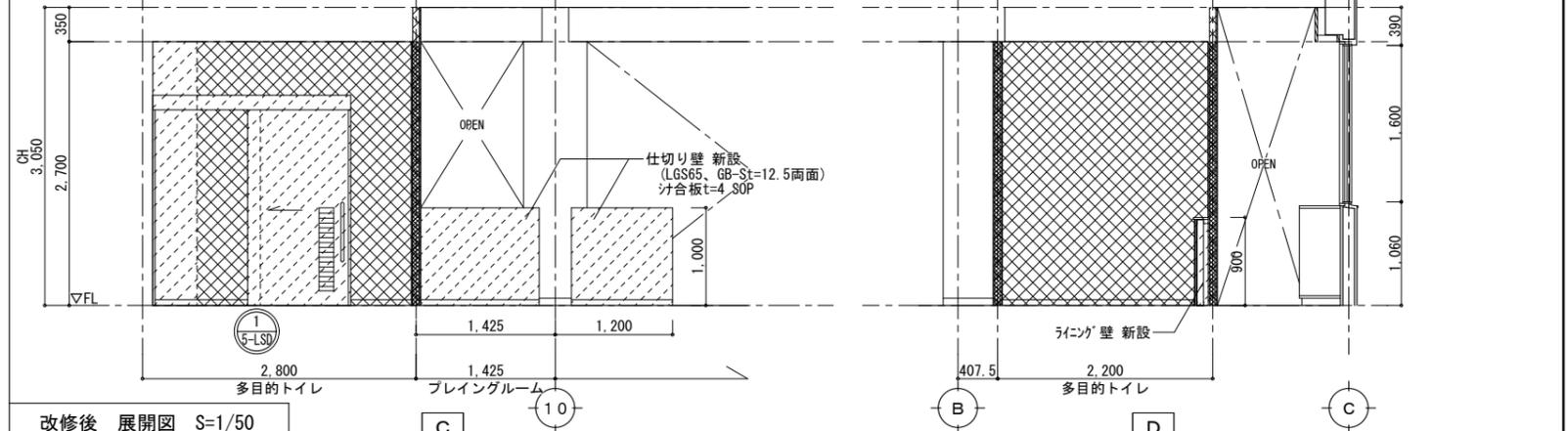
凡例	改修後
(±0)	FLからの改修後レベル高さを示す
---	既設梁位置を示す
▨	改修範囲を示す
■	土間コンクリート新設範囲を示す 土間コンクリート-t=120 D10@200 (好コ共) 周囲あと施工アソコ-D10@200 防湿フィルム-t=0.15、再生砕石-t=100
▨	外構 新設復旧範囲を示す (範囲は現地確認及び設備工事と協議の上決定すること)
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃マシミン化粧板-t=3.0片面 グラスカール(24K)t=50

改修後 平面詳細図 S=1/50

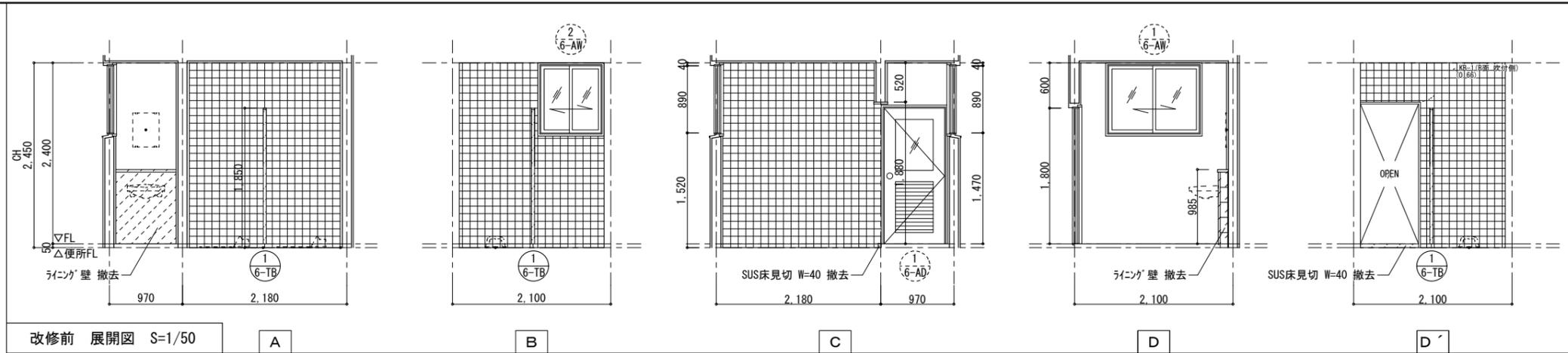
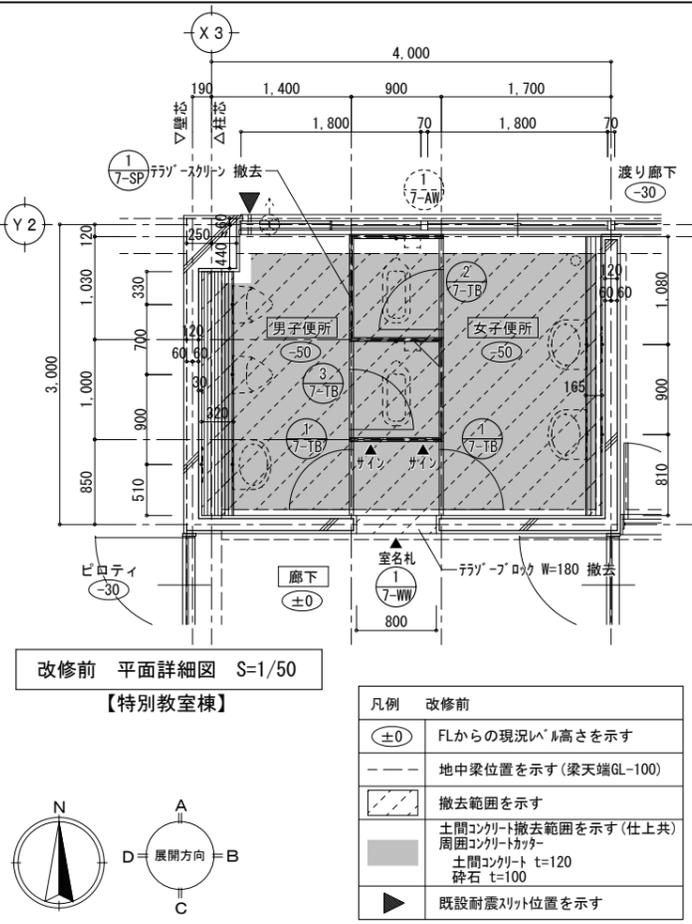
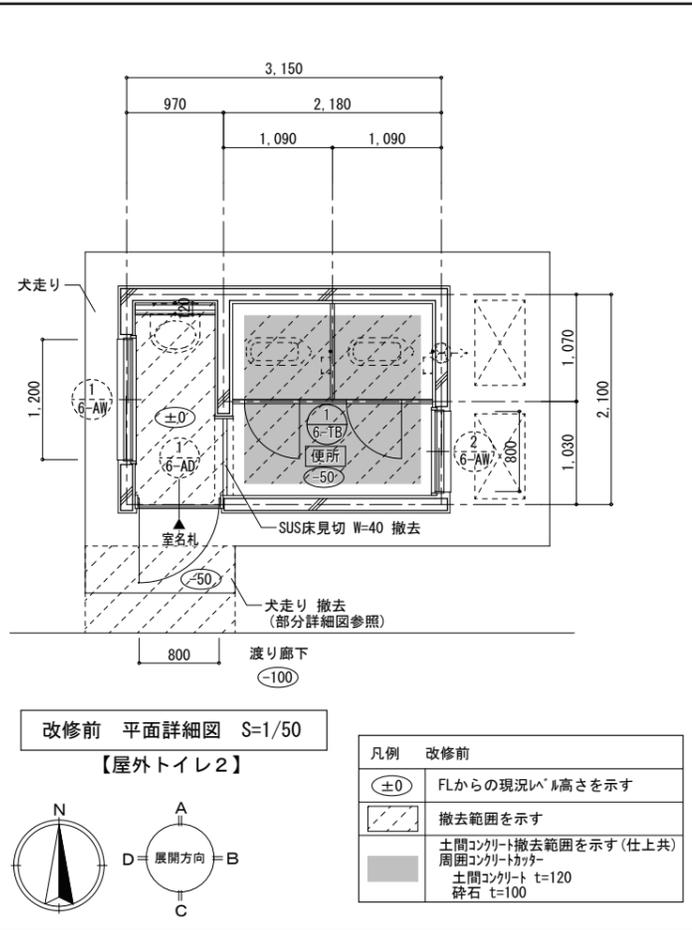


改修後 内部仕上表					
南舎 1階	多目的トイレ				
床	下地処理+ビニル床シート t=2.0 <新設>	塗装	H	天井高	廻縁
巾木	SUS巾木 <新設> 廊下側：ソフト巾木 <新設>	---	60	60	---
壁	既設の上、 下地処理+不燃マシミン化粧板 t=3.0 直張 <新設> LGS65、GB-St=12.5 下地 不燃マシミン化粧板-t=3.0 <新設> ライニング壁(不燃マシミン化粧板-t=3.0) <新設>	---	---	---	---
天井	廊下側：仕合板-t=4 SOP <新設> 化粧せつこうボード t=9.5 <新設> (LGS下地共)	---	---	2.700	塩ビ
家具等	AW 清掃程度 LSD 新設	保管庫 移設(工事外)	---	---	---
カーテン等	---	---	---	---	---
備考	サイン等 サイン 新設 衛生器具等 (機械設備工事)	腰掛便器(背もたれ付)・L型手摺・はね上げ手摺 壁掛洗面器・鏡(350x800)・フィッティングボード 新設 (将来設置) 拭拭機 換気扇 新設	---	---	---

凡例	改修後
▨	改修範囲を示す
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃マシミン化粧板-t=3.0片面 グラスカール(24K)t=50



改修後 展開図 S=1/50



改修前 内部仕上表

屋外トイレ2	便所	仕上	塗装	H	天井高	廻縁
床	モザイクタイル <土間コンクリート共撤去> 手洗い: 長尺塩ビシート t=2.8 <仕上のみ撤去>《※》	---	---	---	---	---
巾木	---	---	---	---	---	---
壁	100角タイル <残置> 手洗い: モザイク下地 吹付仕上 <下地調整> ライニング壁 吹付仕上 (CB t=100共) <撤去>	---	---	---	2.400 2.450	---
天井	吹付仕上 手洗い: 吹付仕上	---	---	---	---	---
家具等	トイレアス 撤去	AD 既設のまま	---	---	---	---
カーテン等	---	---	---	---	---	---
サイン等	室名札: 撤去	---	---	---	---	---
衛生器具等	(建築工事) 和式便器 撤去 (機械設備工事) 洗面器・鏡 撤去	---	---	---	---	---

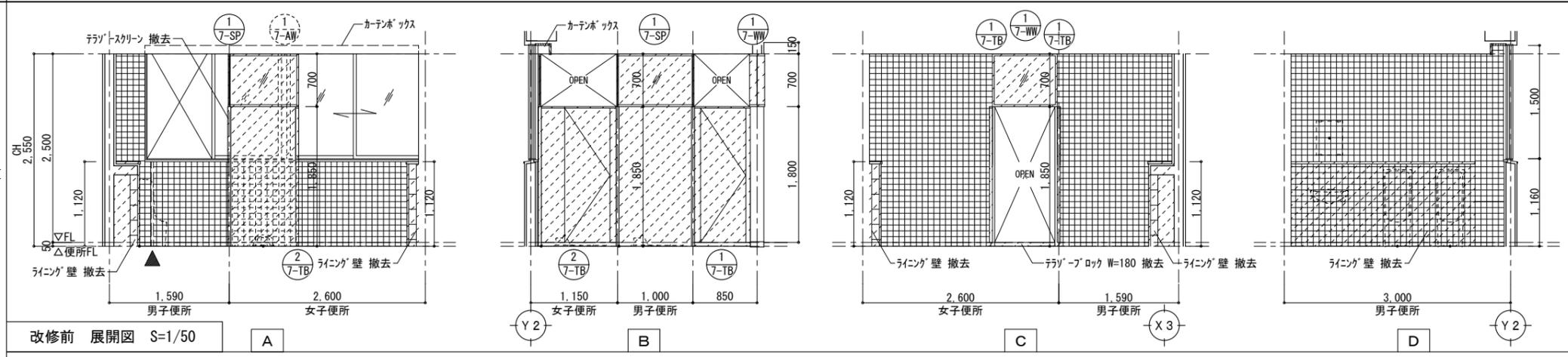
内壁劣化数量 [参考数量]

劣化項目	タイル浮き (㎡)	モザイク浮き (㎡)	タイル欠損 (枚)	ひび割れ (枚) タイル面	ひび割れ (m) 幅0.2未満	ひび割れ (m) 幅0.2~1.0未満	ひび割れ (m) 幅1.0以上
補修方法	タイル仕上撤去	アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂 注入工法	タイル仕上撤去	タイル仕上撤去	シール工法 (エポキシ樹脂)	樹脂注入工法	ウレタン材 充填工法
A面	---	---	---	---	---	---	---
B面	---	---	---	---	---	0.66	---
C面	---	---	---	---	---	---	---
D面	---	---	---	---	---	---	---
合計	---	---	---	---	---	0.66	---

※実施数量については、現地調査の結果にて協議する。

凡例 改修前

	撤去範囲を示す
	既設耐震スリット位置を示す



改修前 内部仕上表

特別教室棟	男子便所	女子便所	仕上	塗装	H	天井高	廻縁
床	モザイクタイル <土間コンクリート共撤去>	---	---	---	---	---	---
巾木	---	---	---	---	---	---	---
壁	75角タイル <残置> ライニング壁 75角タイル (CB t=100共) <撤去>	---	---	---	---	---	---
天井	75角タイル t=4 EP <撤去> 《※》 (LGS下地共)	---	---	---	2.550	塩ビ	---
家具等	トイレアス 撤去	WW 撤去	---	---	---	---	---
カーテン等	カーテンボックス: スリット OP	---	---	---	---	---	---
サイン等	サイン: 撤去 (ガラスブロック面) 室名札: 撤去	---	---	---	---	---	---
衛生器具等	(建築工事) 和式便器 撤去 (機械設備工事) 小便器・洗面器・鏡 撤去	---	---	---	---	---	---

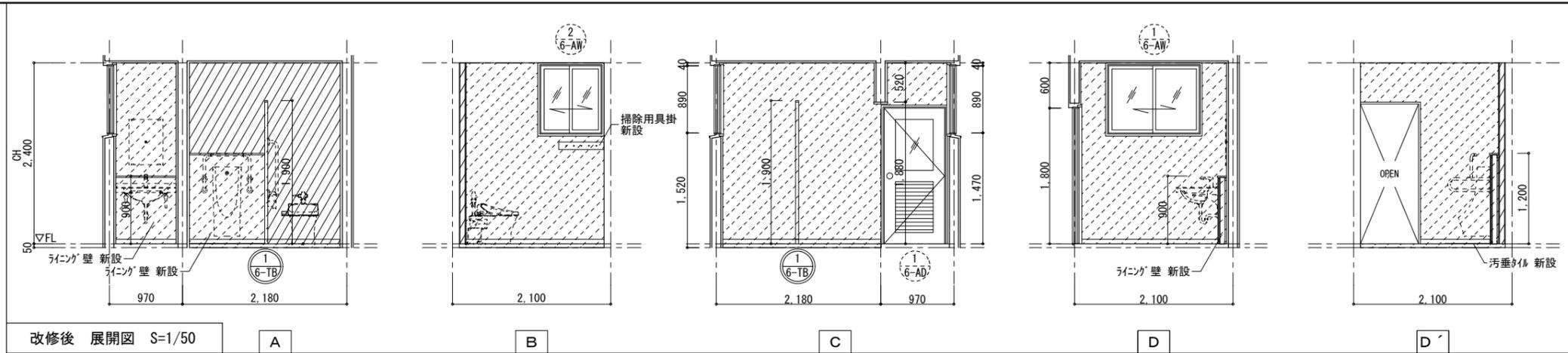
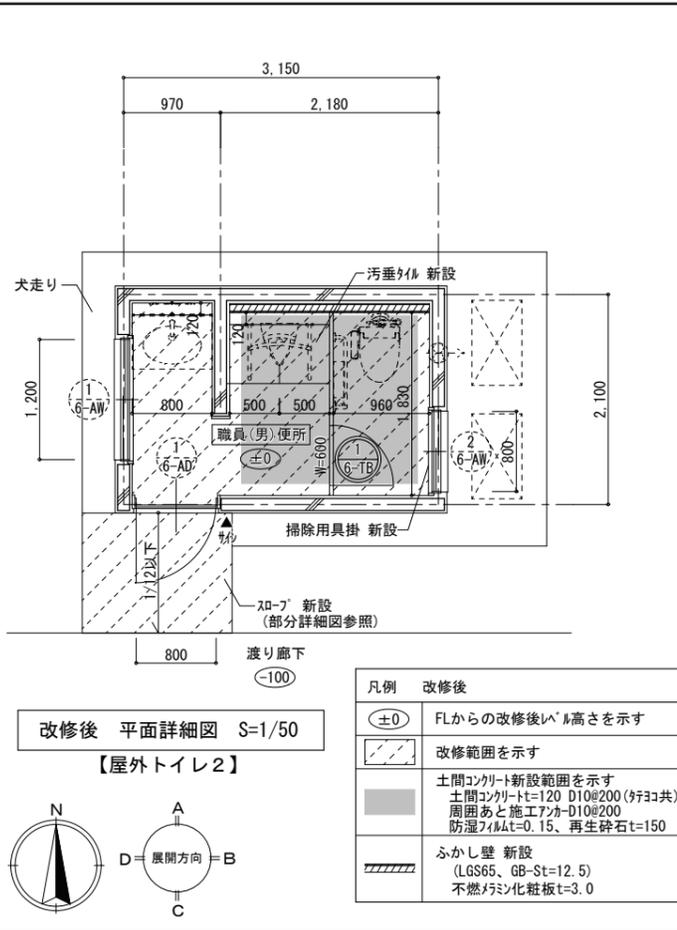
内壁劣化数量 [参考数量]

劣化項目	タイル浮き (㎡)	モザイク浮き (㎡)	タイル欠損 (枚)	ひび割れ (枚) タイル面	ひび割れ (m) 幅0.2未満	ひび割れ (m) 幅0.2~1.0未満	ひび割れ (m) 幅1.0以上
補修方法	タイル仕上撤去	アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂 注入工法	タイル仕上撤去	タイル仕上撤去	シール工法 (エポキシ樹脂)	樹脂注入工法	ウレタン材 充填工法
A面	---	---	---	---	---	---	---
B面	---	---	---	---	---	---	---
C面	---	---	---	---	---	---	---
D面	---	---	---	---	---	---	---
合計	---	---	---	---	---	---	---

※実施数量については、現地調査の結果にて協議する。

凡例 改修前

	撤去範囲を示す
	既設耐震スリット位置を示す

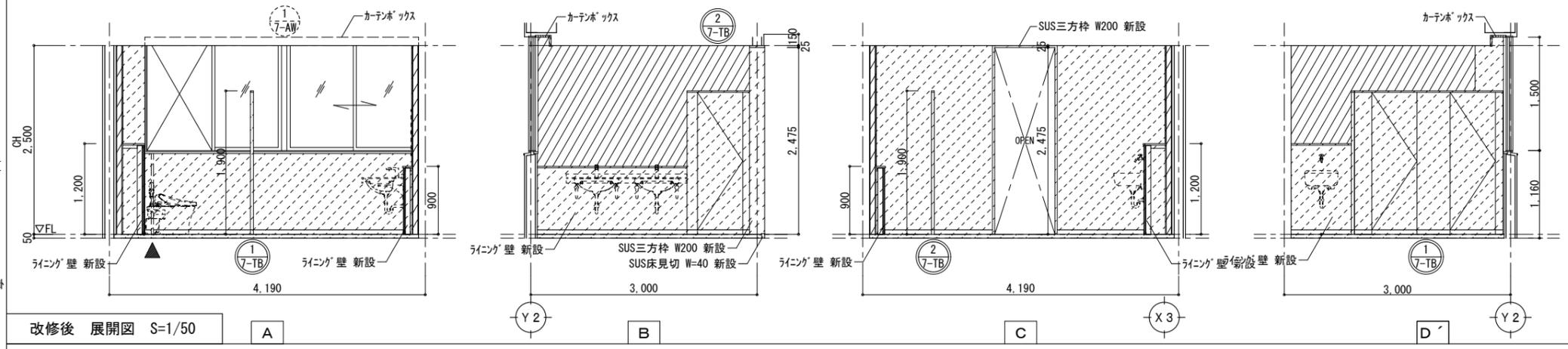
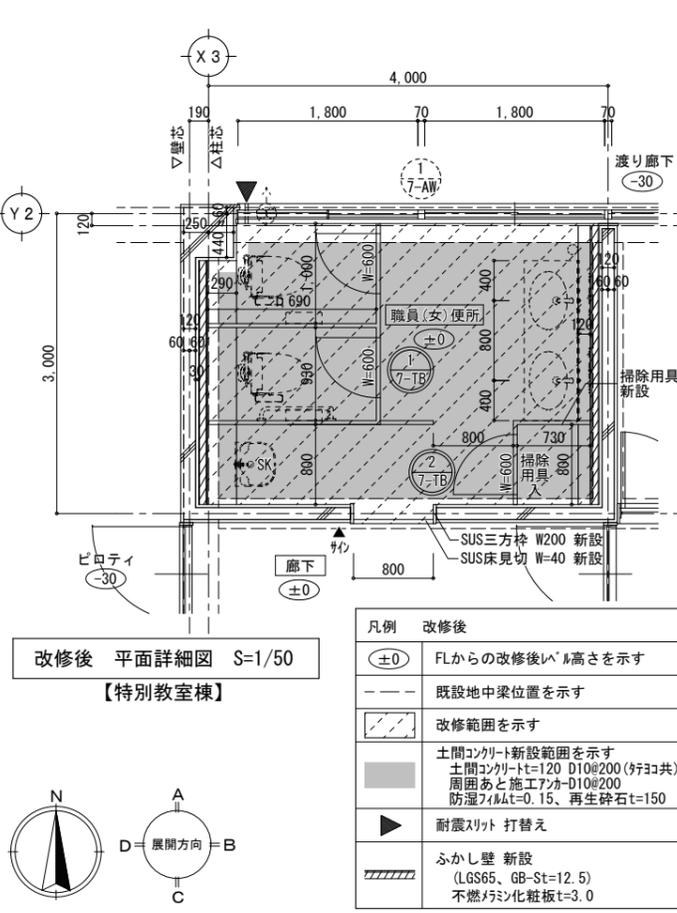


改修後 内部仕上表

屋外トイレ2	職員(男)便所	仕上	塗装	H	天井高	廻縁
床	土間コンクリート新設+ビニル床シート t=2.0 <新設> 手洗い: 下地処理+ビニル床シート t=2.0 <新設>	—	—	—	—	—
巾木	SUS巾木 <新設> 手洗い: SUS巾木 <新設>	—	—	60	—	—
壁	既設の上 下地処理+不燃珪藻土化粧板 t=3.0 直張 <新設> LGS65、GB-St=12.5 下地 不燃珪藻土化粧板 t=3.0 <新設> ライニング壁 (不燃珪藻土化粧板 t=3.0) <新設>	—	—	—	—	—
天井	下地調整+トップのみ吹付 (アクリル樹脂) 手洗い: 下地調整+トップのみ吹付 (アクリル樹脂)	—	—	—	2,400	—
家具等	トイレース 新設	AD 清掃程度	AW 清掃程度	—	—	—
カーテン等	—	汚垂タイル t=6 新設	掃除用具掛 新設	—	—	—
サイン等	サイン 新設	—	—	—	—	—
衛生器具等	(機械設備工事) 洋式便器・小便器・カンテラ洗面・鏡・手摺 新設					

凡例 改修後

	改修範囲を示す
	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃珪藻土化粧板 t=3.0

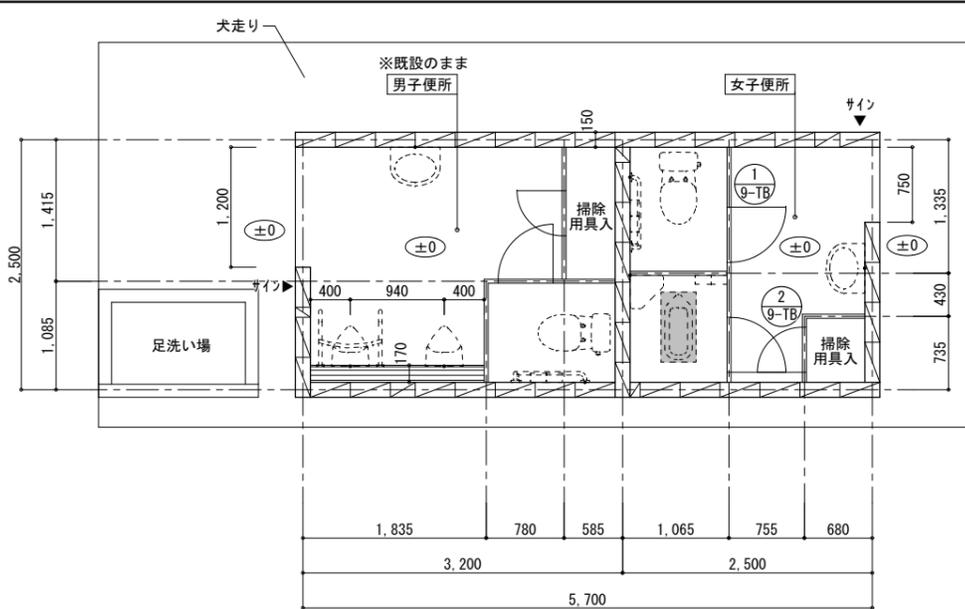


改修後 内部仕上表

特別教室棟	職員(女)便所	仕上	塗装	H	天井高	廻縁
床	土間コンクリート新設+ビニル床シート t=2.0 <新設>	—	—	—	—	—
巾木	SUS巾木 <新設>	—	—	60	—	—
壁	既設の上、 下地処理+不燃珪藻土化粧板 t=3.0 直張 <新設> LGS65、GB-St=12.5 下地 不燃珪藻土化粧板 t=3.0 <新設> ライニング壁 (不燃珪藻土化粧板 t=3.0) <新設>	—	—	—	—	—
天井	化粧せっこうボード t=9.5 <新設> (LGS下地共)	—	—	—	2,500	塩ビ
家具等	トイレース 新設	AW 清掃程度	掃除用具掛 新設	—	—	—
カーテン等	カーテンボックス: 下地調整 (RB種) + SOP塗替	—	—	—	—	—
サイン等	サイン 新設	—	—	—	—	—
衛生器具等	(機械設備工事) 洋式便器・カンテラ洗面・SK・鏡・手摺 新設					

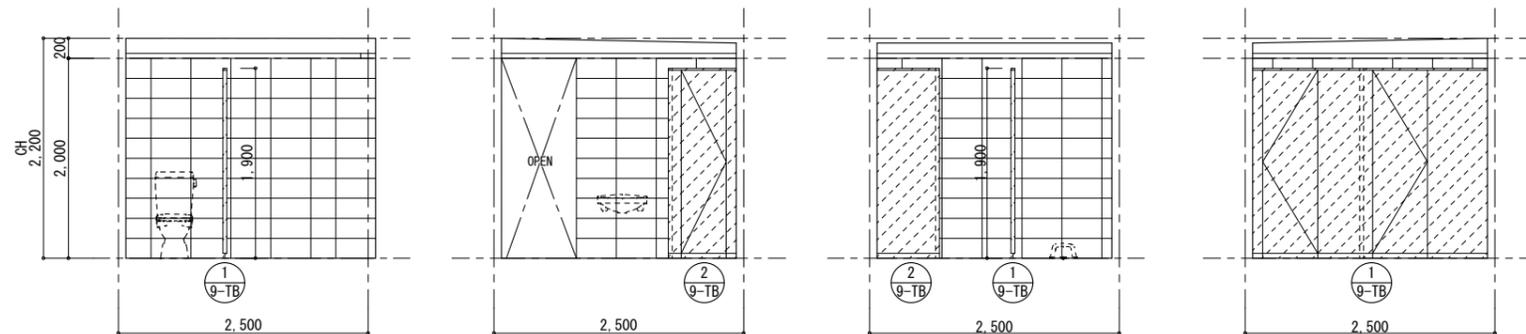
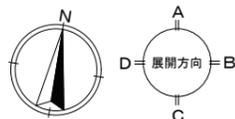
凡例 改修後

	改修範囲を示す
	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃珪藻土化粧板 t=3.0
	耐震スリット 打替え



改修前 平面詳細図 S=1/50
【屋外トイレ1】

凡例 改修前	
(±0)	FLからの現況レベル高さを示す
	撤去範囲を示す
	土間コンクリート撤去範囲を示す(仕上共) 周囲コンクリートカッター 350×700 土間コンクリート t=120 砕石 t=100



改修前 展開図 S=1/50

A

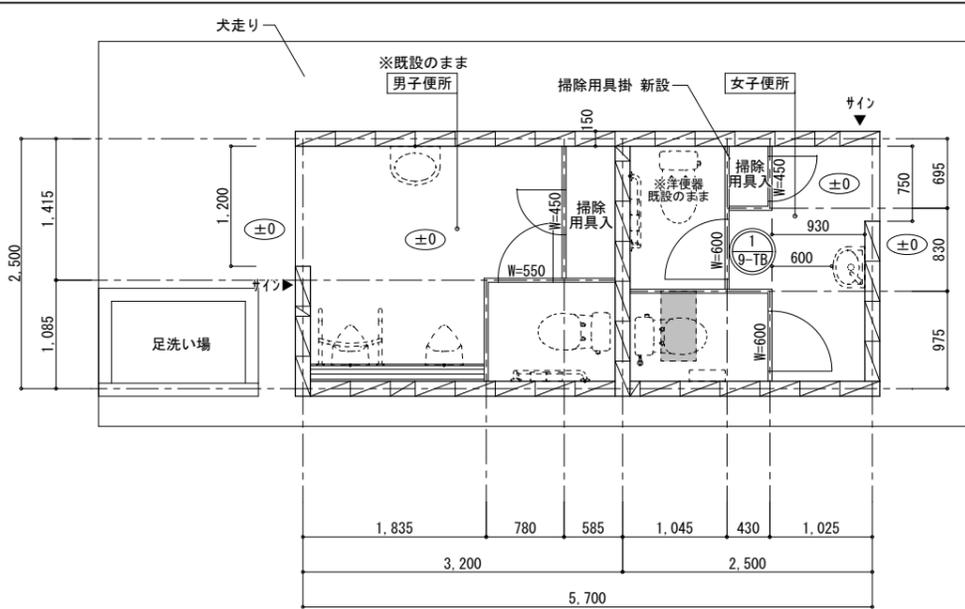
B

C

D

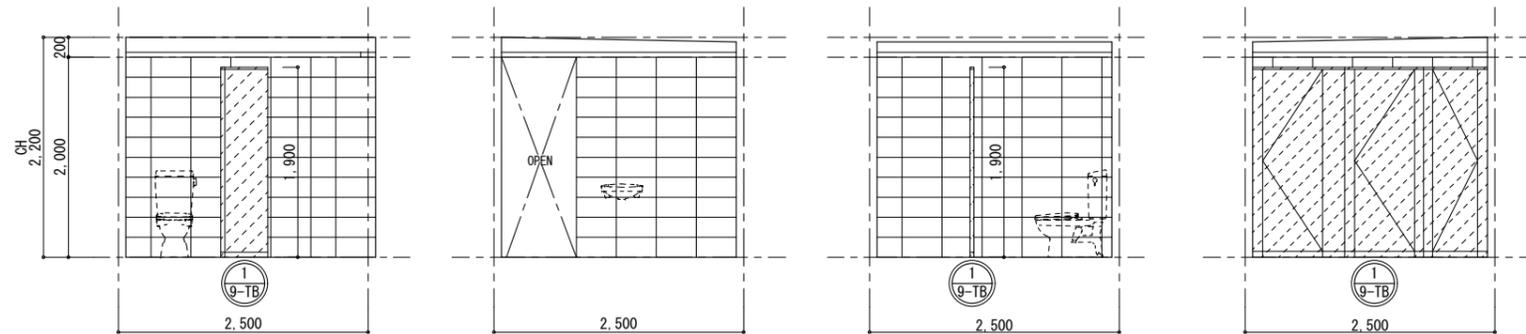
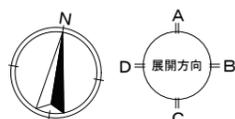
改修前 内部仕上表						
屋外トイレ1	女子便所	仕上	塗装	H	天井高	廻縁
床	セラミック <残置>		-	-	-	-
巾木	-		-	-	-	-
壁	CB壁 吹付仕上 <既設のまま>		-	-	-	-
天井	折版表し へつ貼 <既設のまま>		-	-	表し	-
備考	家具等	トイレス 撤去				
	カーン等	-				
	サイン等	サイン: 既設のまま				
	衛生器具等	(建築工事) 和式便器 撤去 (機械設備工事) 洗面器 撤去				

凡例 改修前	
	撤去範囲を示す



改修後 平面詳細図 S=1/50
【屋外トイレ1】

凡例 改修後	
(±0)	FLからの改修後レベル高さを示す
	改修範囲を示す
	既設和便器部 開口閉塞 土間コンクリートt=120 D10@200(9730共) 周囲あと施工アッカD10@200 防湿フィルムt=0.15、再生砕石t=100



改修後 展開図 S=1/50

A

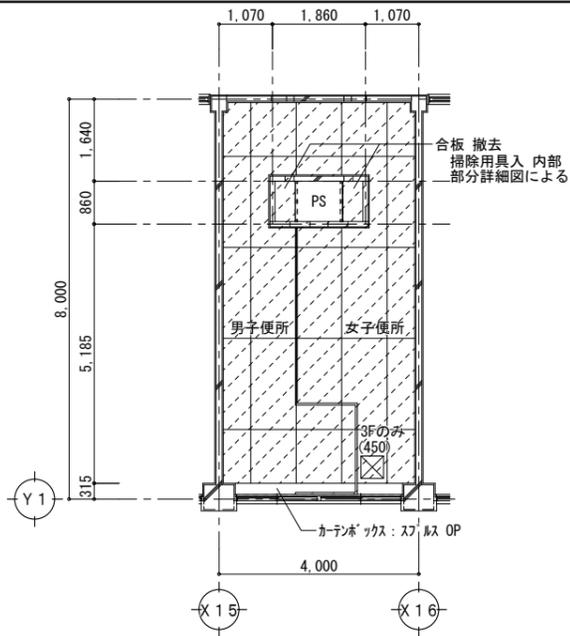
B

C

D

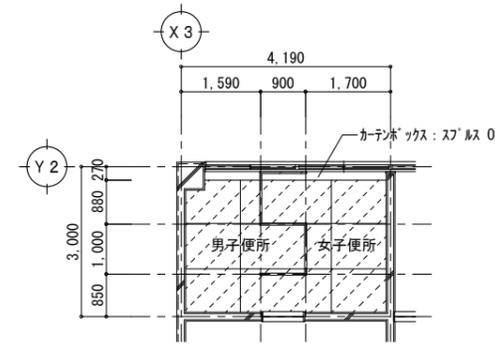
改修後 内部仕上表						
屋外トイレ1	女子便所	仕上	塗装	H	天井高	廻縁
床	既設のまま 和便器撤去部 復旧		-	-	-	-
巾木	-		-	-	-	-
壁	既設のまま		-	-	-	-
天井	既設のまま		-	-	既設	-
備考	家具等	トイレス 新設	掃除用具掛 新設			
	カーン等	-				
	サイン等	サイン: 既設のまま				
	衛生器具等	(機械設備工事) 洋式便器・洗面器 新設				

凡例 改修後	
	改修範囲を示す



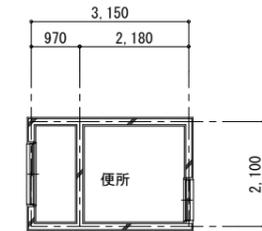
【北舎 東 2階】
【北舎 東 3階】

改修前 天井仕上
7スレストラック t=4 EP <撤去> 《※》
手洗い: 7スレストラック t=4 EP <撤去> 《※》
(LGS下地共)
(塩ビ 廻縁共)



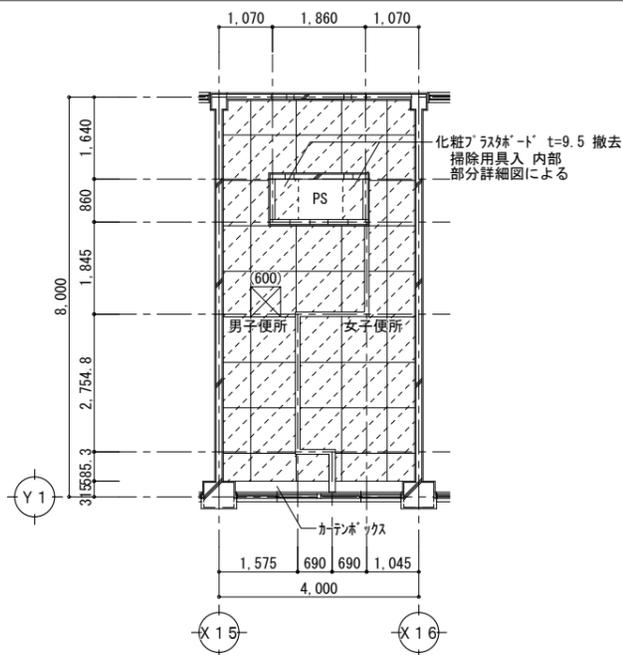
【特別教室棟】

改修前 天井仕上
7スレストラック t=4 EP <撤去> 《※》
(LGS下地共)
(塩ビ 廻縁共)



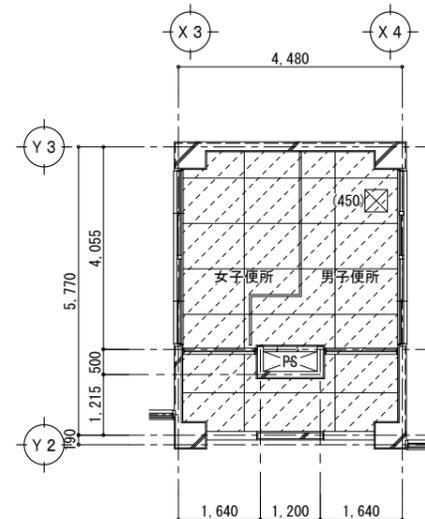
【屋外トイレ2】

改修前 天井仕上
吹付仕上
手洗い: 吹付仕上



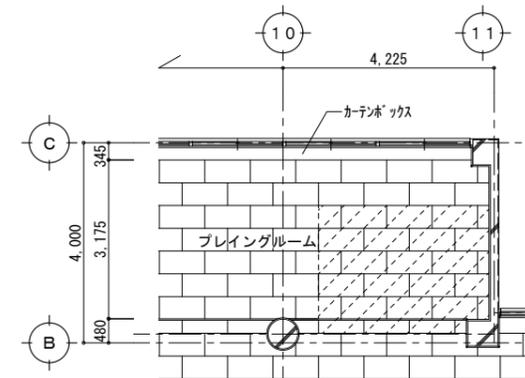
【北舎 東 1階】
※上階工事に伴う一部改修

改修前 天井仕上
化粧ガラス t=9.5 <撤去>
手洗い: 化粧ガラス t=9.5 <撤去>
(LGS下地共)
(塩ビ 廻縁共)



【北舎 西 1階】
【北舎 西 2、3階】

改修前 天井仕上
7スレストラック t=4 EP <撤去> 《※》
手洗い: 7スレストラック t=4 EP <撤去> 《※》
(LGS下地共)
(塩ビ 廻縁共)



【南舎 新設多目的トイレ】

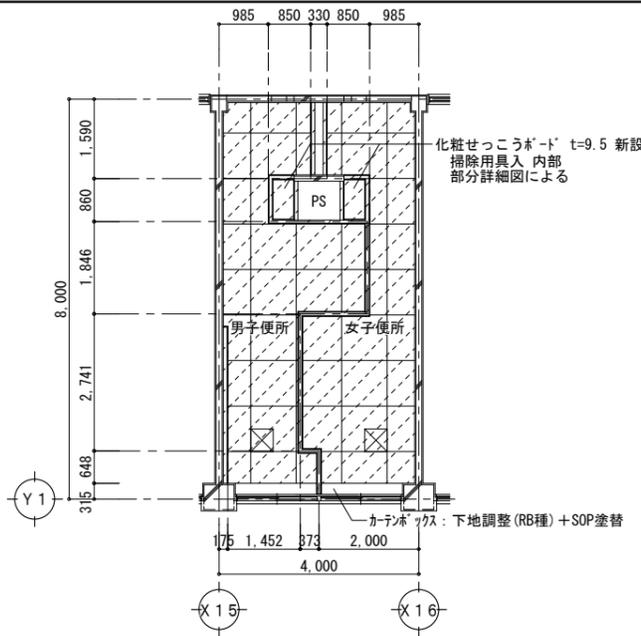
改修前 天井仕上
化粧ガラス t=9 <一部撤去>
(LGS下地共)
(塩ビ 廻縁共)

既設のまま

【屋外トイレ1】

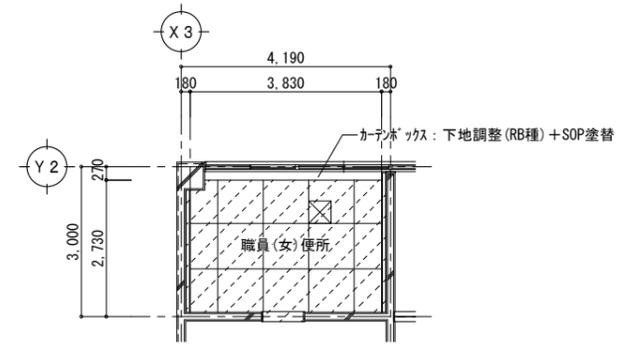
凡例	改修前
	撤去範囲を示す
	既設天井点検口を示す (***)は450角・600角 図示 天井撤去に伴い撤去

※ 最上階天井裏 打込木毛板は既設のままとする。



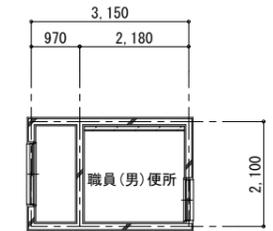
【北舎 東 2階】
【北舎 東 3階】

改修後 天井仕上
化粧せつこうボード t=9.5 <新設>
手洗い：化粧せつこうボード t=9.5 <新設>
(LGS下地共)
(塩ビ 廻縁共)



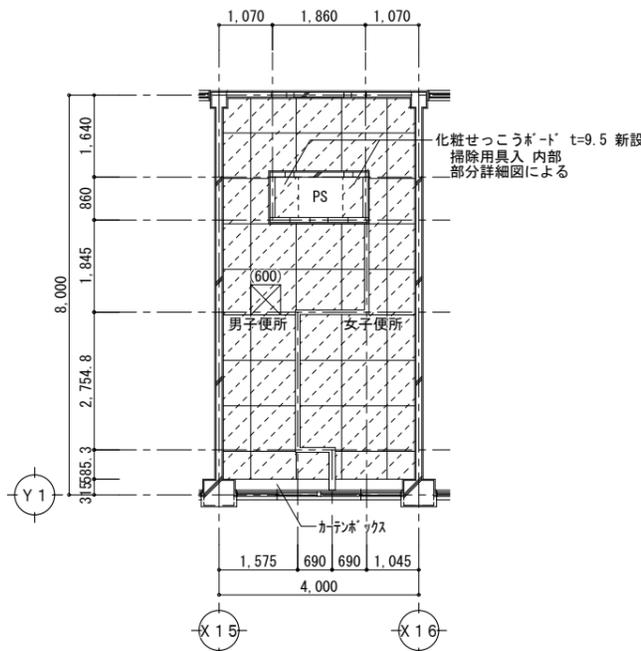
【特別教室棟】

改修後 天井仕上
化粧せつこうボード t=9.5 <新設>
(LGS下地共)
(塩ビ 廻縁共)



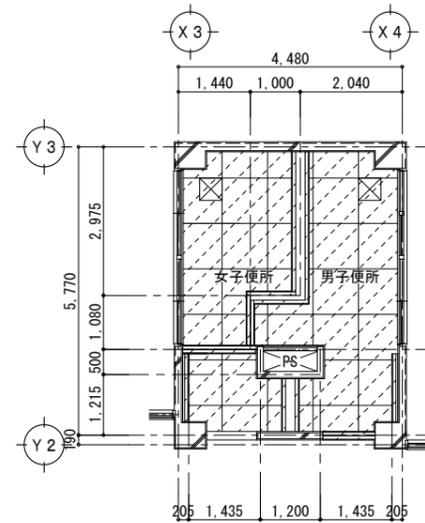
【屋外トイレ2】

改修後 天井仕上
下地調整+トップのみ吹付(7カール樹脂)
手洗い：下地調整+トップのみ吹付(7カール樹脂)



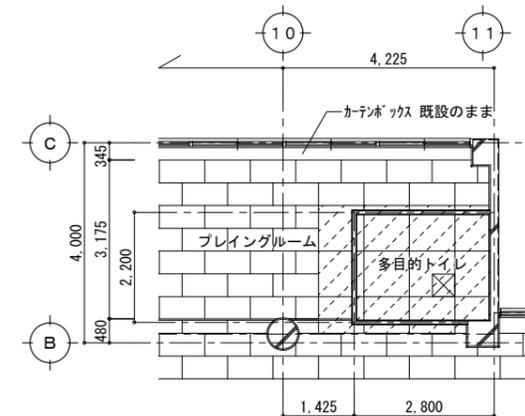
【北舎 東 1階】
※上階工事に伴う一部改修

改修後 天井仕上
化粧せつこうボード t=9.5 <新設>
手洗い：化粧せつこうボード t=9.5 <新設>
(LGS下地共)
(塩ビ 廻縁共)



【北舎 西 1階】
【北舎 西 2、3階】

改修後 天井仕上
化粧せつこうボード t=9.5 <新設>
手洗い：化粧せつこうボード t=9.5 <新設>
(LGS下地共)
(塩ビ 廻縁共)



【南舎 新設多目的トイレ】

改修後 天井仕上
化粧せつこうボード t=9.5 <新設>
(LGS下地共)
(塩ビ 廻縁共)

既設のまま

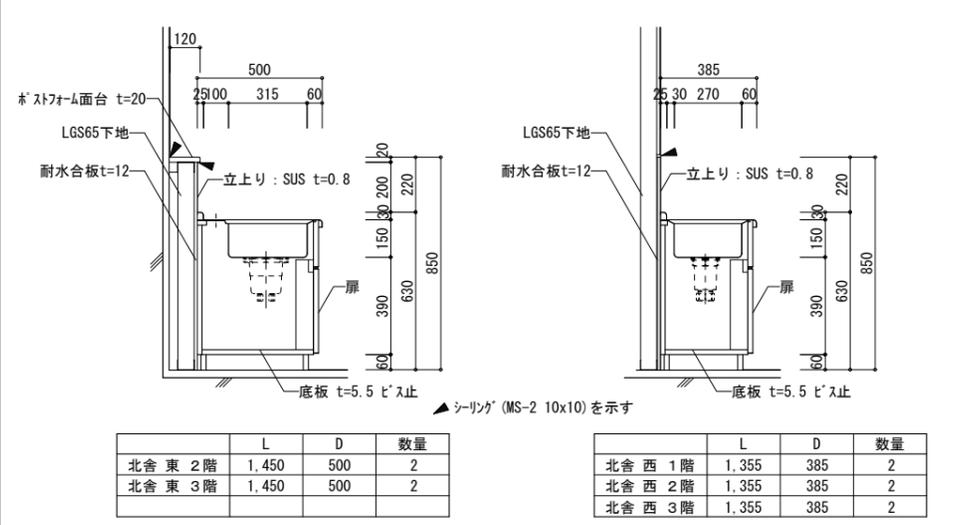
【屋外トイレ1】

凡例	改修後
	新設範囲を示す
	天井点検口 新設を示す 特記なき限り 450角 7カール製 額縁タイプ (現場調整にて位置決定すること)

記号・個数	①改 1-AW	【北舎 東 2階】 男子便所・女子便所	1	②改 1-AW	【北舎 東 3階】 男子便所・女子便所	1	①改 1-WD	【北舎 東 2階】 【北舎 東 3階】 男子便所・女子便所	4	①改 1-TB	【北舎 東 2階】 【北舎 東 3階】 女子便所	2	②改 1-TB	【北舎 東 2階】 【北舎 東 3階】 男子便所	2			
図面																		
形式・見込	(既設) 7&S段窓2連引違い窓			(既設) 7&S段窓2連引違い窓			両開きフラッシュ7			トレブ-ス			トレブ-ス					
硝子	(既設) 透明ガラス t=3			(既設) 透明ガラス t=3			—			—			—					
金物	(既設) 引手、クレント			(既設) 引手、クレント			引手、付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式					
仕上	(既設) 電解着色			(既設) 電解着色			*リ化粧板			*リ化粧板			*リ化粧板					
備考	改修: ガラス目隠しフィルム貼 新設、7&Sハル(換気扇用) 新設 木額縁 下地調整 (RB種) + SOP塗替			改修: ガラス目隠しフィルム貼 新設 木額縁 下地調整 (RB種) + SOP塗替			木三方枠 SOP SUS省摺 (W=40)			—			—					
記号・個数	①改 2-AW	【北舎 西 1階】 【北舎 西 2、3階】 男子便所	3	②改 2-AW	【北舎 西 1階】 【北舎 西 2、3階】 女子便所	3	①改 2-SD	【北舎 西 1階】 【北舎 西 2、3階】 男子便所・PS	3	①改 2-WD	【北舎 西 1階】 【北舎 西 2、3階】 男子便所	6	①改 2-TB	【北舎 西 1階】 【北舎 西 2、3階】 男子便所	3	②改 2-TB	【北舎 西 1階】 【北舎 西 2、3階】 女子便所	3
図面																		
形式・見込	(既設) 7&S2連引違い窓			(既設) 7&S2連引違い窓			スチール片開きフラッシュ7 (点検口扉)			FIX付片開きフラッシュ7			トレブ-ス			トレブ-ス		
硝子	(既設) 透明ガラス t=3			(既設) 透明ガラス t=3			—			透明ガラス t=3			—			—		
金物	(既設) 引手、クレント			(既設) 引手、クレント			レバーハンドル錠、付属金物一式			握玉、ドアカーブ、付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式		
仕上	(既設) 電解着色			(既設) 電解着色			鋼板 t=0.8 OP			*リ化粧板			*リ化粧板			*リ化粧板		
備考	改修: ガラス目隠しフィルム貼 新設 木額縁 下地調整 (RB種) + SOP塗替			改修: ガラス目隠しフィルム貼 新設 木額縁 下地調整 (RB種) + SOP塗替			—			木三方枠 SOP			—			—		
記号・個数	①改 7-AW	【特別教室棟】 男子便所・女子便所	1	①改 7-SP	【特別教室棟】 男子便所・女子便所	1	①改 7-WW	【特別教室棟】 男子便所・女子便所	1	①改 7-TB	【特別教室棟】 男子便所・女子便所	2	②改 7-TB	【特別教室棟】 女子便所	1	③改 7-TB	【特別教室棟】 男子便所	1
図面																		
形式・見込	(既設) 7&S2連引違い窓			ステンレススクリーン			FIX窓			トレブ-ス			トレブ-ス			トレブ-ス		
硝子	(既設) 透明ガラス t=3			型板ガラス t=4			透明ガラス t=3			—			—			—		
金物	(既設) 引手、クレント			付属金物一式			—			付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式		
仕上	(既設) 電解着色			SUS			—			*リ化粧板			*リ化粧板			*リ化粧板		
備考	改修: 清掃程度 木額縁 下地調整 (RB種) + SOP塗替			—			木枠 SOP			—			—			—		

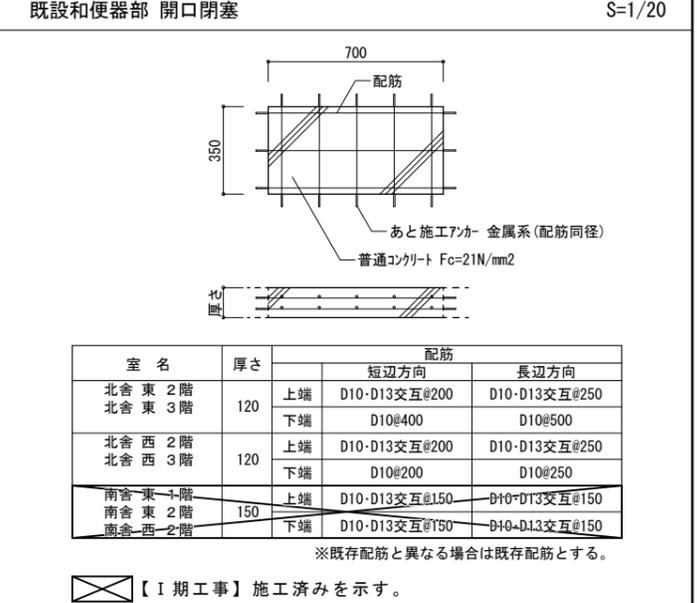
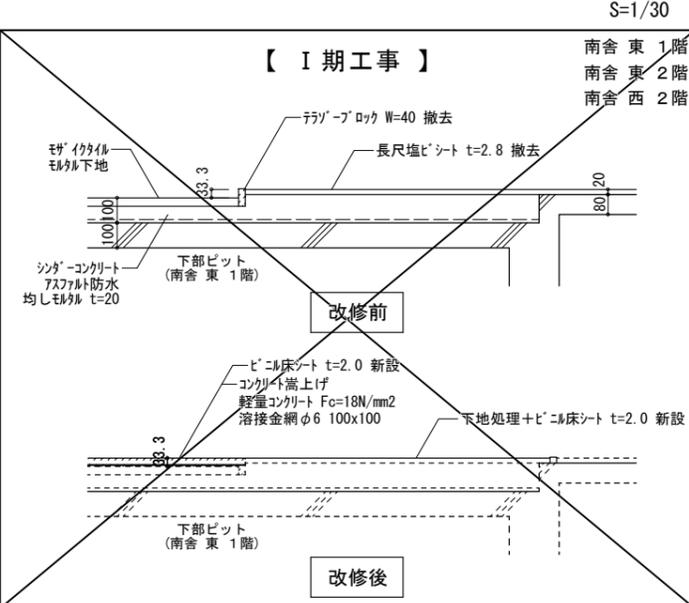
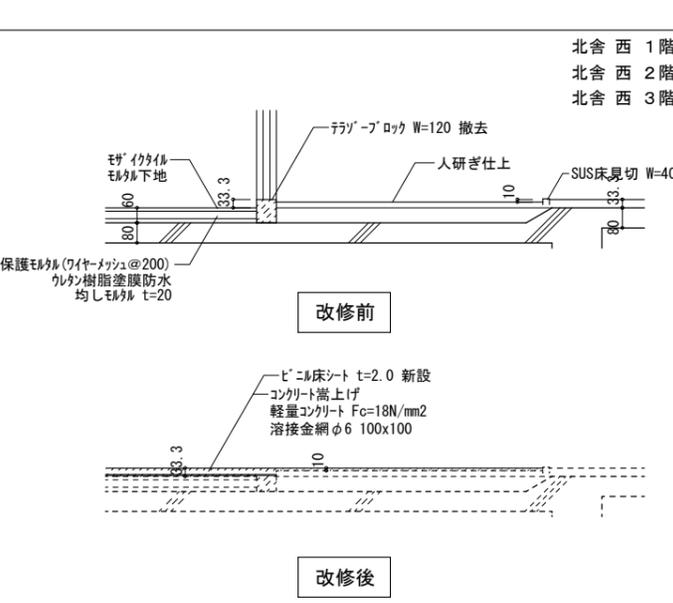
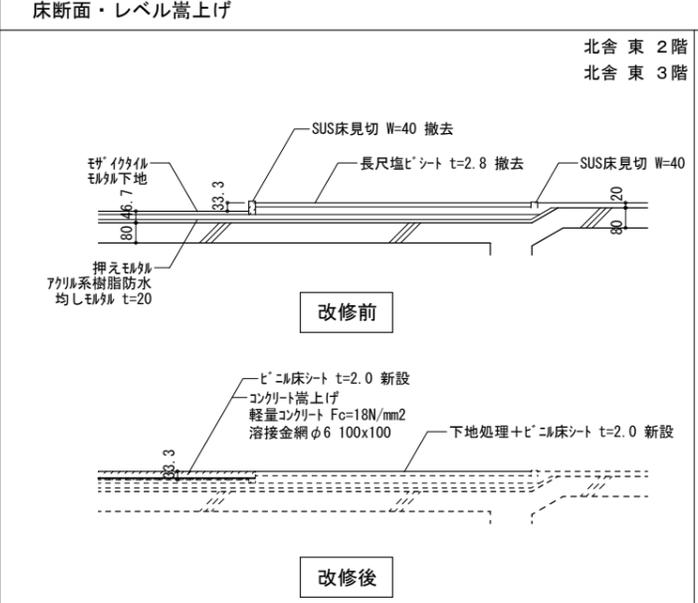
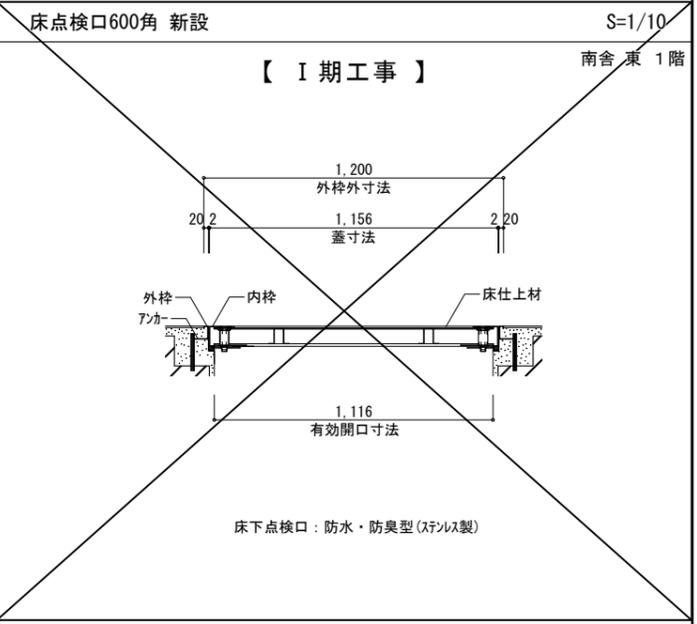
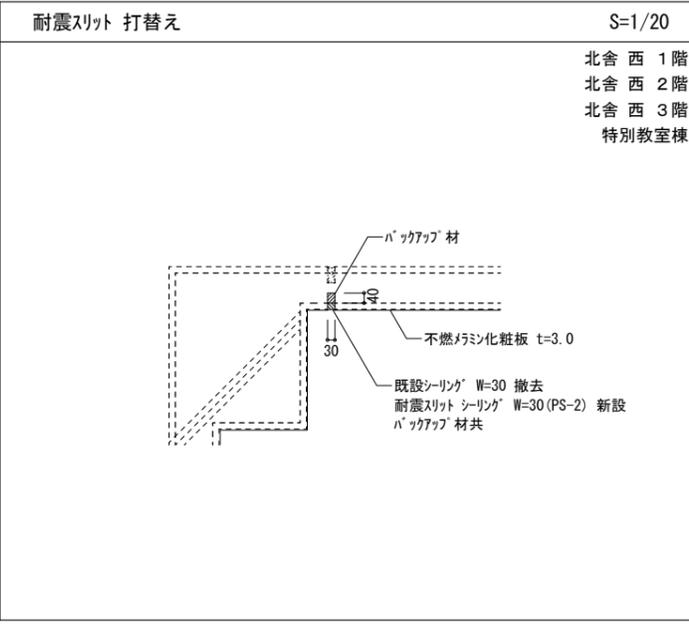
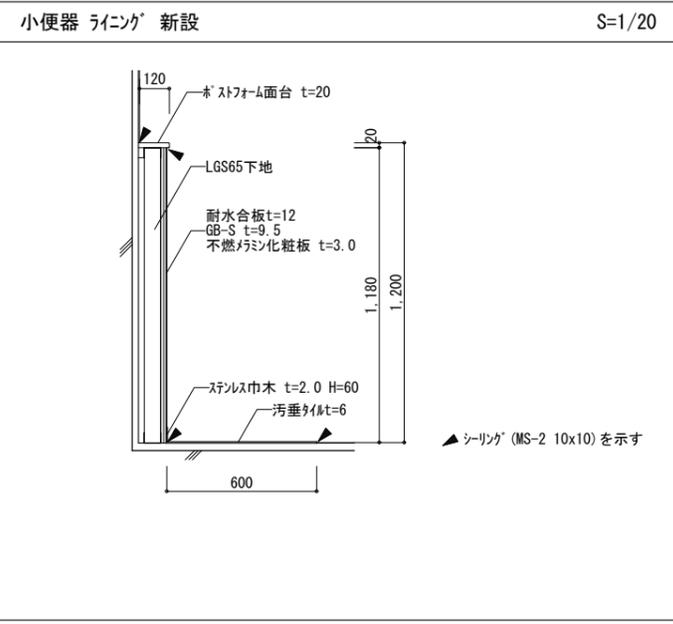
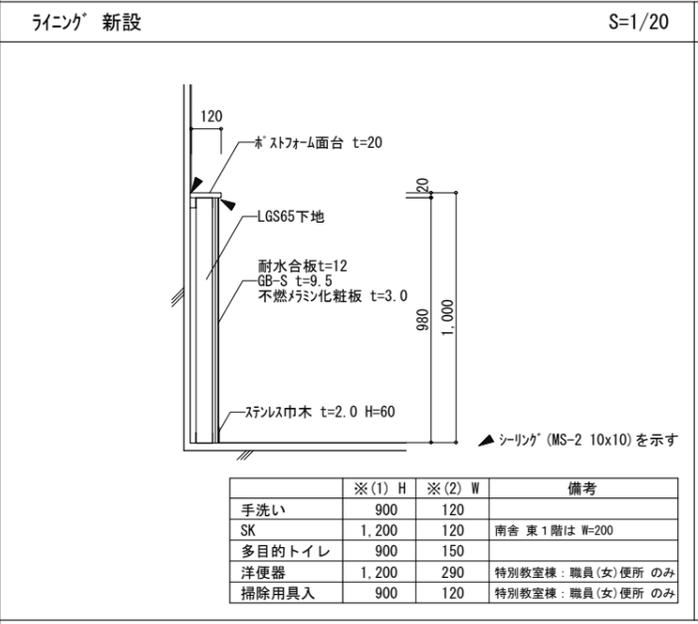
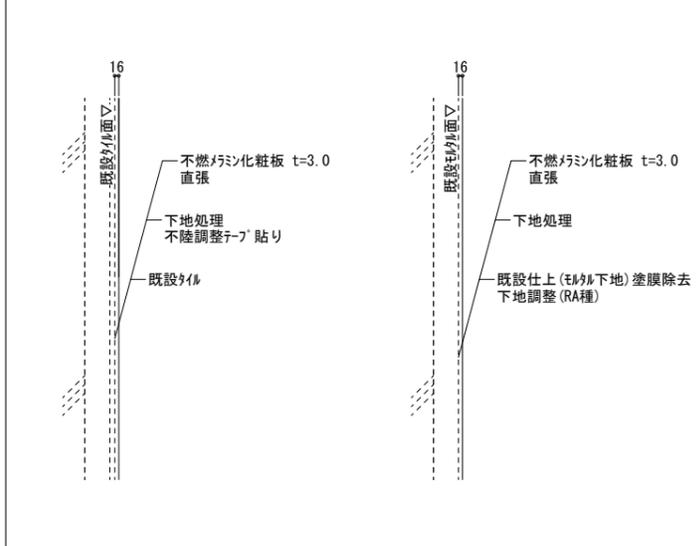
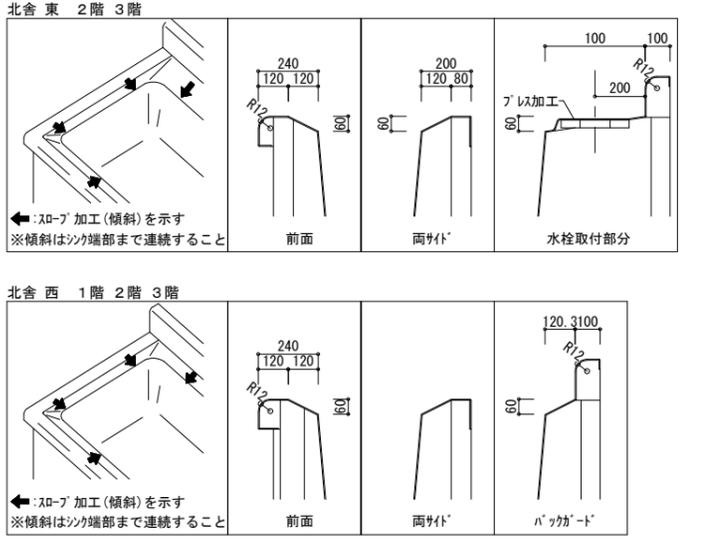
記号・個数	① 9-TB	【屋外トイレ1】 女子便所	1	② 9-TB	【屋外トイレ1】 女子便所	1															
図			< 撤去 >			< 撤去 >															
形式・見込	トイレース		40	トイレース		40															
硝子	—			—																	
金物	附属金物一式			附属金物一式																	
仕上	珪藻土化粧板			珪藻土化粧板																	
備考	—			—																	
記号・個数	① 6-AW	【屋外トイレ2】 便所	1	② 6-AW	【屋外トイレ2】 便所	1	① 6-AD	【屋外トイレ2】 便所	1	① 6-TB	【屋外トイレ2】 便所	1									
図			< 既設のまま >			< 既設のまま >			< 既設のまま >			< 撤去 >									
形式・見込	(既設) 7㄃引違い窓		70	(既設) 7㄃引違い窓		70	(既設) 7㄃片開きドア		70	トイレース		40									
硝子	(既設) 型板ガラス t=4			(既設) 型板ガラス t=4			(既設) 型板ガラス t=4 (500×670)、ガラス (500×670)			—											
金物	(既設) 引手、クレット			(既設) 引手、クレット			(既設) 握り玉付シングル錠、ドアカギ、付属金物一式			附属金物一式											
仕上	(既設) 電解着色			(既設) 電解着色			(既設) 電解着色			珪藻土化粧板											
備考	改修：清掃程度 木額縁 下地調整 (RB種) + SOP塗替			改修：清掃程度 木額縁 下地調整 (RB種) + SOP塗替			改修：清掃程度 木額縁 下地調整 (RB種) + SOP塗替			—											
記号・個数		【南舎 新設多目的トイレ】 プレイングルーム																			
図																					
形式・見込																					
硝子																					
金物																					
仕上																					
備考																					

記号・個数	① 1-WD 【北倉 東 2階】 【北倉 東 3階】 男子便所・女子便所	4	① 1-TB 【北倉 東 2階】 【北倉 東 3階】 女子便所	2	② 1-TB 【北倉 東 2階】 【北倉 東 3階】 男子便所	2	③ 1-TB 【北倉 東 2階】 【北倉 東 3階】 男子便所	2												
図		<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>												
形式・見込	両開きフラットド7	36	トレブース	40	トレブース	40	トレブース	40												
硝子	—		—		—		—													
金物	ハンドル取手、マグネットキャッチ、付属金物一式		マグネティック、表示錠、戸当り帽子掛け、7ö笠木、SUS製巾木 H=60、付属金物一式		マグネティック、表示錠、戸当り帽子掛け、7ö笠木、SUS製巾木 H=60、付属金物一式		7ö笠木、SUS製巾木 H=60、付属金物一式													
仕上	珪藻土化粧板		珪藻土化粧板 (芯材:ハ^v-ハ^{-v}-コア)		珪藻土化粧板 (芯材:ハ^v-ハ^{-v}-コア)		珪藻土化粧板 (芯材:ハ^v-ハ^{-v}-コア)													
備考	木三方枠 SOP		指挟み込み防止		指挟み込み防止		—													
記号・個数	① 2-SD 【北倉 西 1階】 【北倉 西 2、3階】 男子便所・PS	3	① 2-LSD 【北倉 西 1階】 【北倉 西 2、3階】 男子便所	3	② 2-LSD 【北倉 西 1階】 【北倉 西 2、3階】 女子便所	3	② 2-TB 【北倉 西 1階】 【北倉 西 2、3階】 男子便所	3	② 2-TB 【北倉 西 1階】 【北倉 西 2、3階】 女子便所											
図		<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>												
形式・見込	スチール片開きド7 (点検口扉)	50	軽量スチール上吊式片引き戸	40	軽量スチール片開きド7	40	トレブース	40												
硝子	—		型板ガラス t=4 (150×850)、7ö笠ガリ (150×850)		型板ガラス t=4 (150×850)、7ö笠ガリ (150×850)		—													
金物	ケースドール錠、付属金物一式		吊戸装置一式、引棒、戸当り、付属金物一式		押し手、ドアローザ、付属金物一式		マグネティック、表示錠、戸当り帽子掛け、7ö笠木、SUS製巾木 H=60、付属金物一式													
仕上	亜鉛メッキ鋼板 t=1.6 SOP		亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 (枠共)		亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装 (枠共)		珪藻土化粧板 (芯材:ハ^v-ハ^{-v}-コア)													
備考	特定防火設備		SUS沓摺 (W=40)		SUS沓摺 (W=40)		指挟み込み防止													
記号・個数	① 7-TB 【特別教室棟】 職員(女)便所	1	② 7-TB 【特別教室棟】 職員(女)便所	1																
図		<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>	<p>< 新設 ></p>																
形式・見込	トレブース	40	トレブース	40																
硝子	—		—																	
金物	マグネティック、表示錠、戸当り帽子掛け、7ö笠木、SUS製巾木 H=60、付属金物一式		マグネティック、表示錠、戸当り帽子掛け、7ö笠木、SUS製巾木 H=60、付属金物一式																	
仕上	珪藻土化粧板 (芯材:ハ^v-ハ^{-v}-コア)		珪藻土化粧板 (芯材:ハ^v-ハ^{-v}-コア)																	
備考	指挟み込み防止		指挟み込み防止																	
		 株式会社 山田建築事務所 YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊和		<table border="1"> <tr> <td>CHECK</td> <td>DESIGN</td> <td>DRAW</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		CHECK	DESIGN	DRAW				<table border="1"> <tr> <td>SCALE</td> <td>A2 : S=1/50</td> </tr> <tr> <td>DATE</td> <td>令和6年10月</td> </tr> </table>		SCALE	A2 : S=1/50	DATE	令和6年10月	可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期) 改修後 建具表 (1)		SHEET NO. A-34
CHECK	DESIGN	DRAW																		
SCALE	A2 : S=1/50																			
DATE	令和6年10月																			

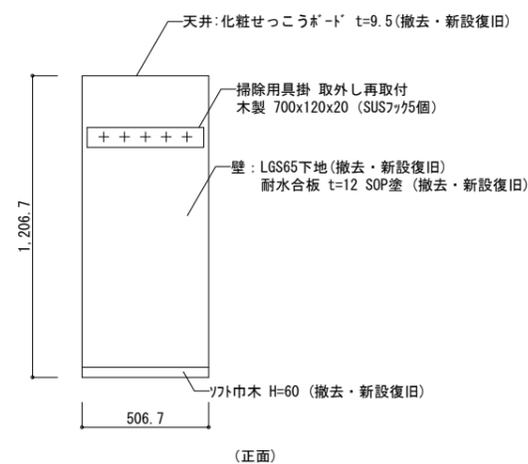


名称	材質・仕様
流し	SUS304 t=1.0 (正面R加工・全周XP加工)
本体	t=20 両面マリニ化粧板「チクルド」F☆☆☆☆
底板・背板	ポリエステル樹脂板 F☆☆☆☆
前板	t=20 両面マリニ化粧板「チクルド」 木口:t=2 セフエッジ (ABS樹脂)
見付	樹脂エッジ (ABS樹脂)
開戸	t=20 両面マリニ化粧板「チクルド」F☆☆☆☆ 木口:t=2 セフエッジ (ABS樹脂) 通気孔付取手 (ABS樹脂製 抗菌処理) スライド 丁番、マグ ネットキャッチ
台輪	t=20 両面マリニ化粧板 F☆☆☆☆ 角部:セフエッジ-27L (ABS樹脂)

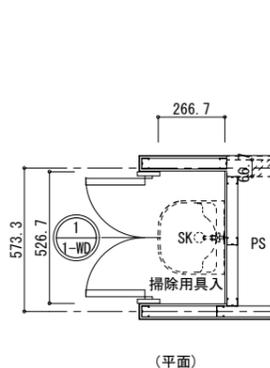
※ 排水トラップ、排水管接続は機械設備工事



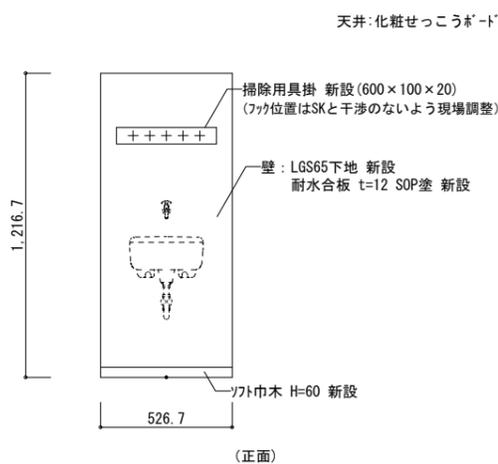
掃除用具入・PS 新設



【北舎 東 1階】 男子便所、女子便所

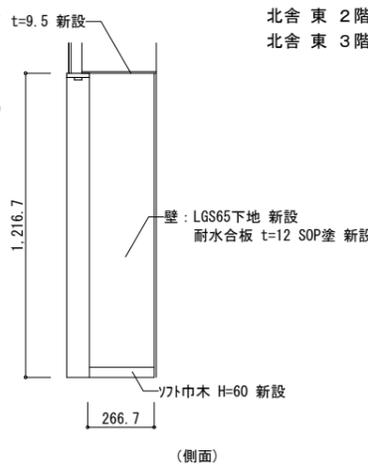


(平面)



(正面)

【北舎 東 2階】 男子便所、女子便所
【北舎 東 3階】 男子便所、女子便所

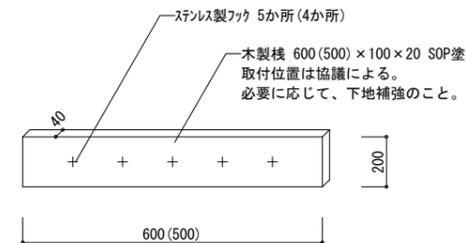


(側面)

S=1/30

掃除用具掛 新設

S=1/10

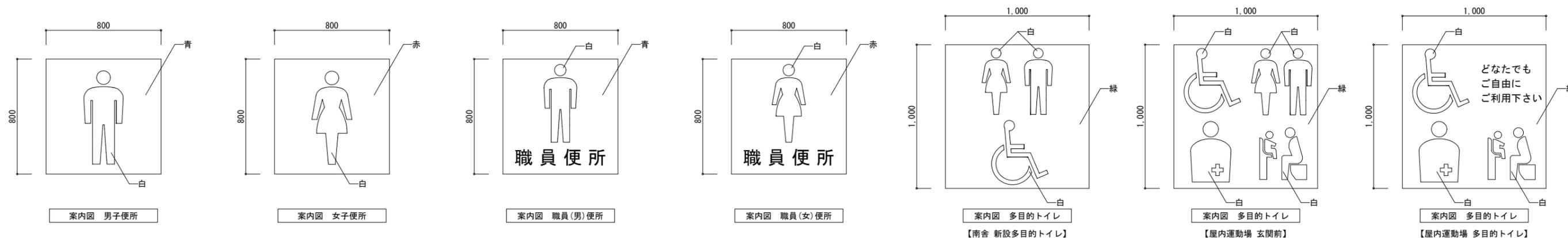


掃除用具掛	寸法	数量
北舎 東 2階	600×100×20	2
北舎 東 3階	600×100×20	2
北舎 西 1階	500×100×20	2
北舎 西 2階	500×100×20	2
北舎 西 3階	500×100×20	2
南舎 東 1階	600×100×20	1
南舎 東 2階	600×100×20	1
南舎 西 2階	600×100×20	1
特別教室棟	600×100×20	1
屋外トイレ2	600×100×20	1
屋外トイレ1	600×100×20	1
プール棟	600×100×20	2

【I期工事】施工済みを示す。

サイン 新設・サイン姿図

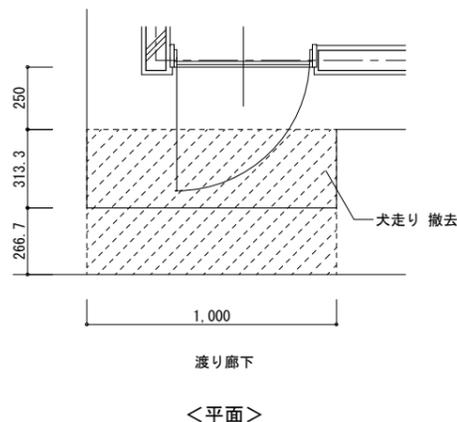
S=1/5



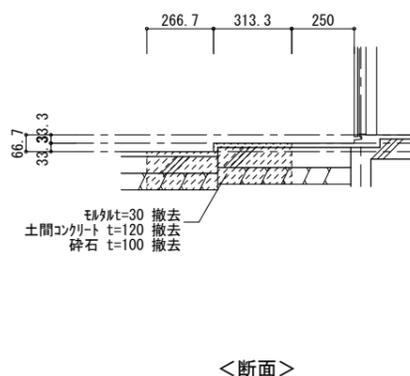
本体: 7mm板 厚5.0 つや消し
表示: インジェット印刷
枠材: 7mm型材 (シルバー)
※ 表示する案内用記号はJIS Z 8210による。
※ 案内用記号の色彩はJIS Z 9101-1995による。
※ 図案、取付位置は協議のうえ決定すること。

屋外トイレ2 スロープ新設

S=1/30

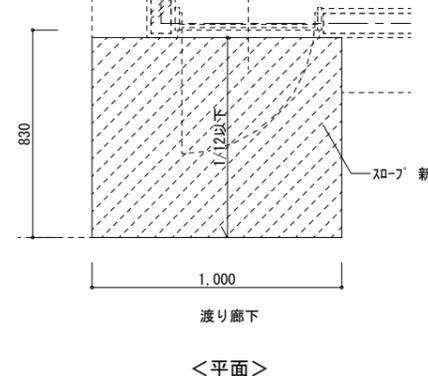


<平面>

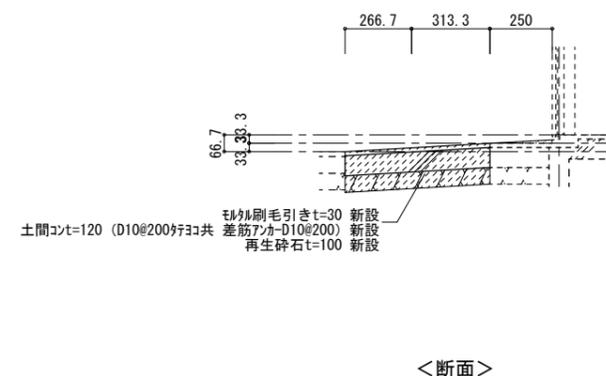


<断面>

改修前

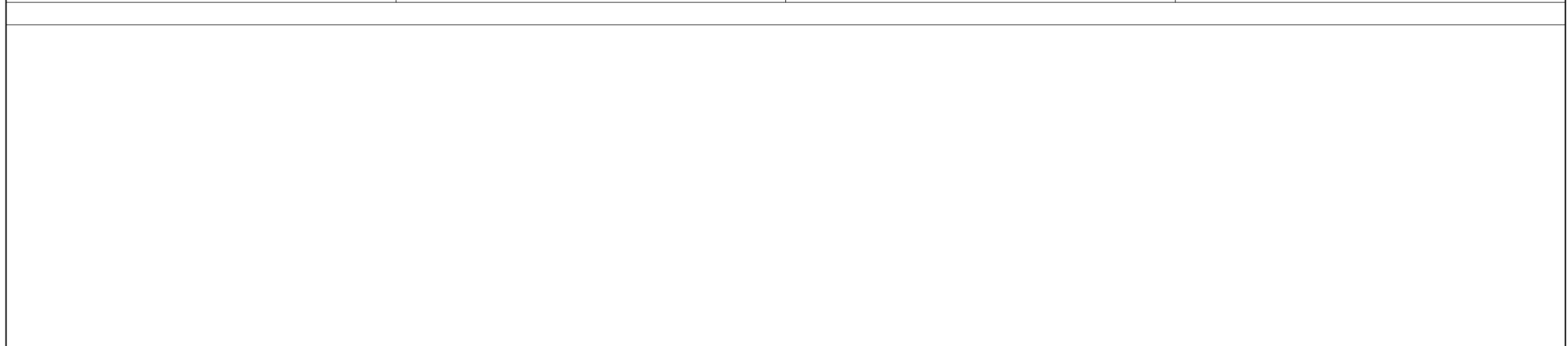
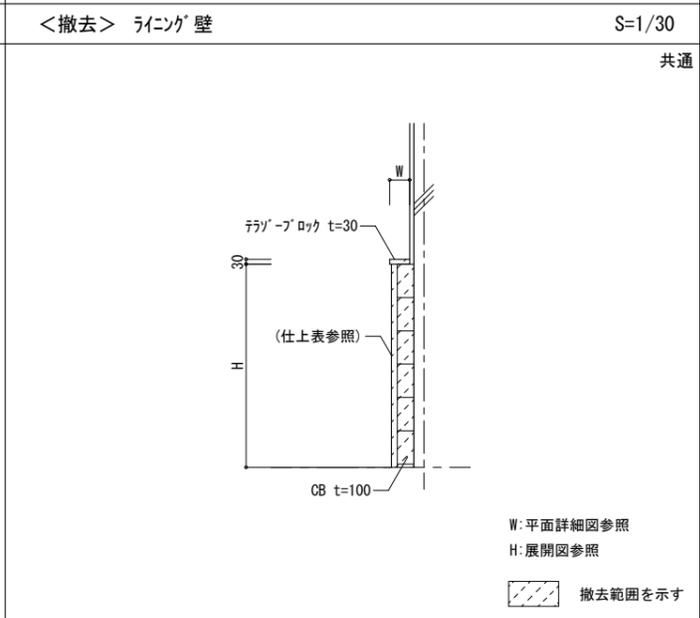
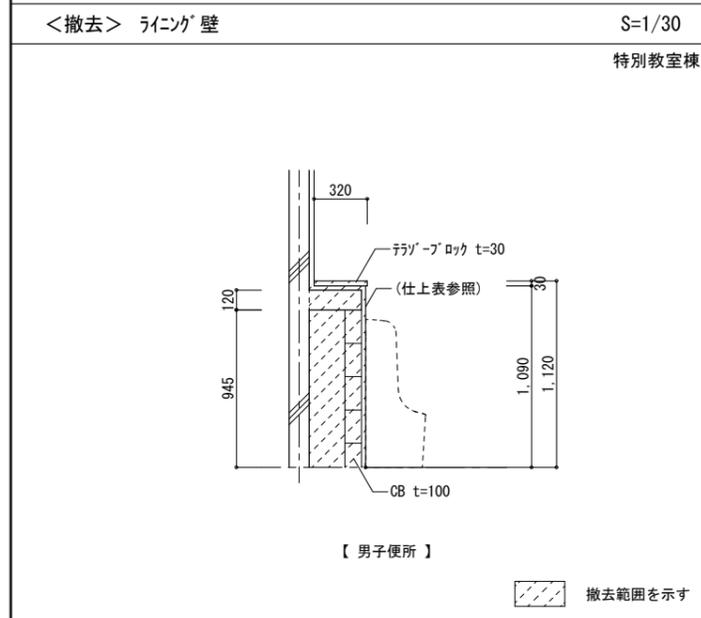
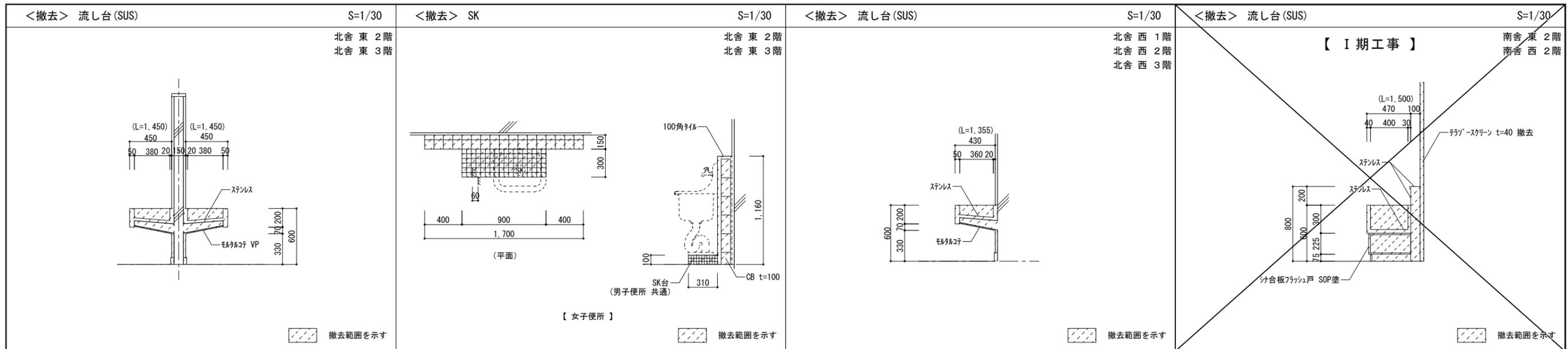


<平面>



<断面>

改修後



電気設備工事仕様書

- I. 工事概要
 1. 工事名称 可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）
 2. 工事場所 可児市広見94番地
 3. 建物概要

建物名称	構造・階数	延面積 (m2)	消防法施行令別表第一	備考
北舎	RC造・3階建て	2,808.95	第7項（－）	改修
南舎	RC造・2階建て	1,845.15	第7項（－）	改修
特別教室棟	RC造・2階建て	417.94	第7項（－）	改修
屋内運動場	RC造・2階建て	904.92	第7項（－）	改修
屋外トイレ1	CB造・1階建て	14.25	第7項（－）	改修
屋外トイレ2	RC造・1階建て	6.62	第7項（－）	改修
プール棟	RC造・1階建て	164.96	第7項（－）	改修

4. 工事項目（○印内に番号記入のもの及び印のみ適用する）

工事項目	北舎	南舎	特別教室棟	屋内運動場	屋外トイレ1	屋外トイレ2	プール棟	多目的トイレ
○ 高圧受変電設備	○							
○ 自家発電設備								
○ 幹線設備	○	○						
○ 動力設備								
○ 電灯設備								
○ 照明設備	○	○	○	○	○	○	○	○
○ コンセント設備	○	○	○			○		○
○ 電気暖房設備								
○ 放送、電気時計設備								
○ 館内放送設備								
○ 設備								
○ 電気時計設備								
○ 電話設備								
○ 電話用配線設備								
○ LAN用配線設備								
○ 表示、警報設備								
○ トイレ呼出表示設備								
○ 警備保障会社用配管設備								
○ ITV設備								
○ インターホン設備								
○ テレビ共聴設備								
○ 防災設備								
○ 自動火災報知設備								○
○ 自動閉鎖装置設備								
○ ガス漏れ警報設備								
○ 誘導灯設備								
○ 非常用照明設備								
○ 非常警報設備								
○ 漏電火災警報設備								
○ 避雷針設備								
○ 構内配電線路（強電）								
○ 構内配電線路（弱電）								
○ 太陽光発電設備								

5. 別途工事
 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事

II. 工事仕様

1. 共通仕様（○印のみ適用する）
 特記仕様及び図面に記載なき事項は、全て下記仕様による。
 ○ 工事請負契約書
 ○ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工編） 最新版（国土交通大臣官庁官庁営繕部監修）
 ○ 公共建築設備工事標準図（電気設備工編） 最新版（国土交通大臣官庁官庁営繕部監修）
 ○ 公共建築改修工事標準仕様書 最新版（国土交通大臣官庁官庁営繕部監修）
 ・ 公共住宅建設工事共通仕様書 最新版（公共住宅事業者等連絡協議会監修）
 ○ 可児市建築工事共通仕様書 最新版（可児市）
 ○ 内線規程 最新版（電気技術基準調査委員会編集）
 ○ 放送機器、通信機器、その他弱電機器等の仕様は、各機材メーカー標準と読み替える。

2. 特記仕様（項目は番号に○印記入のもの、選択式の特記事項は印のみ適用する）

項目	特記事項
① 適用範囲（1）	この特記仕様書、図面及び現場説明書（質疑応答書を含む）に記載されていない事項は全て国土交通大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（最新版）による。設計図書間等に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。 1) 質疑応答書 2) 現場説明書 3) 工事仕様書 4) 標準特記仕様書（添付された場合に限る） 5) 図面 6) 公共建築改修工事標準仕様書 7) 公共建築工事標準仕様書 8) 可児市建築工事共通仕様書 本工事に関係する法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。 受注者は、公共建築工事標準仕様書に基づき施工するものとする。 公共建築工事標準仕様書 第1編 第1章 1-1-1-4 工事実績情報の登録により、工事受注代金額500万円以上の工事について「CORINS」を作成、登録することとする。
② 適用範囲（2）	
③ 法規等の事項	
④ 工事実績情報の作成・登録	
⑤ 提出書類	本工事の施工に関して提出書類は、可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき作成し提出または提示とする
⑥ 完成時の提出書類	工事完成時には可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき書類を整理し完成図書としてまとめ監督員に提出とする。完成図は施工図も含め完成製本（A3二つ折り）2部提出とする。 また、CADデータ（JWW又はDXF及びPDF）を提出とする。 提出・指示書類は可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示・協議・承諾は除く）、材料確認簿、段階確認簿、確認・立会願、夜間・休日作業届の書類を提出する場合は、所定様式に基づき電子メールにて提出するものとし、書面には署名又は押印する必要は無いものとする。これらに定めない事項については、監督員と協議とする。
⑦ 工事書類の簡素化	
⑧ 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。
9 建設工事保険（火災保険含む）	工事にあたり建設工事保険または相当する保険に加入し、加入を証する書面の写しを工事着手後14日以内に提出すること。加入期間は工事着手より、完成検査引渡しまでの期間を満足すること。
10 損害保険	工事中出来高部分と工事現場に搬入した工事材料・建築設備の機器などに火災保険または建設工事保険を付し、その証券の写しを監督職員に提出する。
⑩ 質疑	本工事の設計図書に関する質疑は、工事着手前に確かめておかなければならない。設計図書に記載がなくとも、外観上、構造上、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い施工しなければならない。 発注者の希望、その他により設計変更が生じる時は、原則として当該工事の見積書を予め提出し、承認を受けた後変更工事に着手する。尚この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、本工事施工において工術上必要な微細なる工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工する。
⑫ 設計変更	
⑬ 軽微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない
⑭ 実施状況の提出について	受注者は、工事施工において自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について工事完了時まで所定の様式により提出することが出来る。
⑮ 立会検査	下記の項目については、監督員の立会検査を受け、検査立合記録書に監督員の了承を得るものとする。 ○各種製品検査 ○各種仕上検査 ○工事中間検査及び竣工検査 ○本工事使用資材については、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。 ○上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。
⑯ 材料試験	本工事に使用する材料の内、監督員より指示あるものに関してはその成績表を提出するか、又は監督員の承認する試験所で試験を行い、承認を受けなくてはならない。尚試験に要する費用は全て受注者の負担とする。
⑰ 既存との取合い	本工事施工に伴う既存設備の軽微な加工、改造は、本工事とする。
⑱ 撤去工事	撤去及び取壊し工事は、事前に既存設備の概要を把握し、他に影響が及ばないよう充分検討した上で着手する。 撤去した後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。 引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上施設管理者へ引渡す。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の産業廃棄物適正処理の項及び関係法令等に従い適正に処理する。
⑳ 再利用機器	
㉑ 発生材の処理	

㉒ 産業廃棄物の適正処理	受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い産業廃棄物関連書類の提出並び確認及び処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されている事を確認しなければならない。 廃棄物マニフェストE票を一覧に提出する。 処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「岐阜県産業廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。 混合物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。 工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出とする。 ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・木屑 ・繊維屑 ・プラスチック屑 ・石膏ボード ・鉄・アルミ・ステンレス屑 ・ガラス・陶磁器屑 建設工事リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事完了後に同計画書の実施報告書を提出とする。 下記の資材については再生資材を使用する。																																																										
23 新築時廃棄物																																																											
㉔ 再資源化施設への搬出																																																											
㉕ 再生資材計画書及び再生資源利用促進計画書（COBRIS）																																																											
㉖ 再生資材の利用																																																											
㉗ 残土処分																																																											
㉘ はつり	場外処分とする。 はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督員に報告を行うこと。 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。 調査の結果、開口予定部分に鉄筋がかかる場合は、監督員と協議する。なお、貫通部の補強については、穴の径が配筋ピッチ未満かつ100mm以下の場合は不要とする。																																																										
㉙ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 1) 設計用水平地震力 機器の重量[kg f]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。 設計用標準水平震度 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">特定の階数</th> <th colspan="2">一般の階数</th> </tr> <tr> <th>2.0</th> <th>1.5</th> <th>2.0</th> <th>1.0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上階階層 屋上及び塔屋</td> <td>機架</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水櫃類（※1）</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中間階層</td> <td>機架</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水櫃類（※1）</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地下・1階</td> <td>機架</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水櫃類（※1）</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> 【備考】（※1）：水櫃類には、オイルタンク等を含む。 重量機架 ・配電盤 ・発電装置 ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 上階階層の定数は次による。 2～6階層の場合は最上階、7～9階層の場合は上層2階、10～12階層の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。	設置場所	機器種別	特定の階数		一般の階数		2.0	1.5	2.0	1.0	上階階層 屋上及び塔屋	機架	2.0	2.0	2.0	1.5	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水櫃類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6	中間階層	機架	1.5	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6	水櫃類（※1）	1.0	0.6	0.6	0.4	地下・1階	機架	1.0	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水櫃類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			特定の階数		一般の階数																																																					
		2.0	1.5	2.0	1.0																																																						
上階階層 屋上及び塔屋	機架	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水櫃類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
中間階層	機架	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	水櫃類（※1）	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
地下・1階	機架	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水櫃類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
㉚ 配線器具																																																											
㉛ フラッシュプレート																																																											
32 別途工事																																																											
㉜ 工事方法	・ 電力、電話等の引込方法、位置については、関係会社等と打合せの上、監督員の指示に従う。 ・ 建築基準法及び消防法で定められた非常用電源回路には、赤色で用途を明記する。 ・ 分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器が4個以下の場合はPF-S22を1本、5個以上の場合は2本以上天井裏まで立上げる。（露出配管の場合は屋内：E-25、屋外：G-22とする） ・ 配管工事のみで電線を入線しない場合は、導入線（1.2m/mピニル被覆鉄線）を挿入する。 ○ 鋼製電線管の露出部分の塗装箇所は、監督員の指示による。（エッチングプライマー下処理の後、指定色OP2回塗り） ○ 位置ボックスは、原則としてアウトレットボックスとする。 ○ 建物内で、配管の1区間が30m以上となる場合は、途中でブルボックス又はジョイントボックスを設ける。 ・ F P板（スタイロフォーム等）打込みの部分に取付ける位置ボックスには、保温及び結露防止措置を施す。（外壁部のみ） ○ ジョイントボックス等、配線器具を塗装しない位置ボックスに取付けるプレートには、用途を明記する。 ○ 分電盤、制御盤及び端子盤には、盤名称を記したネームプレート（樹脂製、エッチング文字）を設ける。																																																										

㉝ 照明器具の吊ボルト	○ 防火区画貫通部の耐火処置の仕様は下記とする。 (イ) 建築基準法 告示 第3183号に準拠 (ロ) (財) 日本建築センター（BCJ）防災評定品の使用 (イ) 吊りボルトを必要とする機種及び施工方法は「公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）」及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工編）」によりものとする。 改修工事に於いて吊りボルト用あと施工用アンカーは本工事とする。 (ロ) その他の照明器具は、上記による他、位置ボックスにネジ止め、又はフィックスチュアスタッド等を使用し支持する。 (ハ) 特殊な照明器具は、上記による他、監督員の指示による。 建築竣工引渡し後、原則として5年以内（特に指定のある工程を除く）において、工事不良の発生したと認められる損害等については、受注者の費用負担にて迅速丁寧に改修しなければならない。ただし工事不良が故意又は重大な過失により生じた場合は10年間とする。 建築竣工引渡し後1年が経過した時点において監督員立会のもとで1年検査を行い、工事不良の発生したと認められる損害等についても、監督員の指示に従い改修しなければならない。尚、その費用については受注者の負担とする。 ○ 事前調査（ ・ 本工事 ・ 別途 ） ○ 調査項目（ ・ 既存資料調査 ・ 既設配線ルート ） ○ 調査範囲（ ・ 図示 ・ 工事範囲 ） ○ 調査方法（ ・ 図示 ・ 目視 ）
㉞ 工事保証	
㉟ 経年検査	
㊱ 施工調査	
㊲ 工事着手前協議	1) 本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。 2) 協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。 3) 協議に当たって、発注者側は監督員及び係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。 4) 協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人（主任技術者）が受け取ること。
39 ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について	1) ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。 2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。
㊴ 改修工事注記事項	○ 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態と既存図面との間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従う。 ○ 撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。 ○ 図記明記無き場合でも建築工事又は機械設備工事に於いて、天井張替え、壁張替え及び機器取り外し一再取付等に伴う既設電気設備機器の取外し一再取付、配線の再接続等は本工事とする。 ○ 図面明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。 ○ 不要となる隠蔽部既設配管を利用し、新設配線を施工出来る部分については積極的に利用とする。 ○ 図面上、配管及び線路施工表記の部分も調査の上、ケーブル隠蔽施工が可能な場合はケーブル隠蔽施工とする。 ○ 上記、2項目に於いて金額の増減は無いものとする。 ○ 既設配管は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。 建築工事において天井撤去、壁撤去に伴い一緒に撤去される配管は建築工事に於いて処分とする。 ○ 既設配線は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。 建築工事において天井撤去、壁撤去に伴い一緒に撤去される配線は建築工事に於いて処分とする。 ○ 上記に於いて廃止となる配線は端末処理の上、「未使用」表記を行うものとする。 ○ 上記配管配線撤去は隠蔽部における注記事項であり、露出配管及び露出配線は本工事にて全て撤去とする。 ○ 工事範囲外の部屋は工事期間内も使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の電気設備に影響が有無を確認の事とする。 既設電気設備に影響が有る場合は監督員と協議の上、配線迂回、仮電源の準備等の必要と思われる仮設備工事を行う事とする。 ○ 別途機器への接続は、本工事とする。 ○ 姿図の寸法、形状は参考とする。
㊵ 撤去工事注記事項	
㊶ 工事中の既設設備	
㊷ その他	

着色部は「I期工事」施工済みを示す。

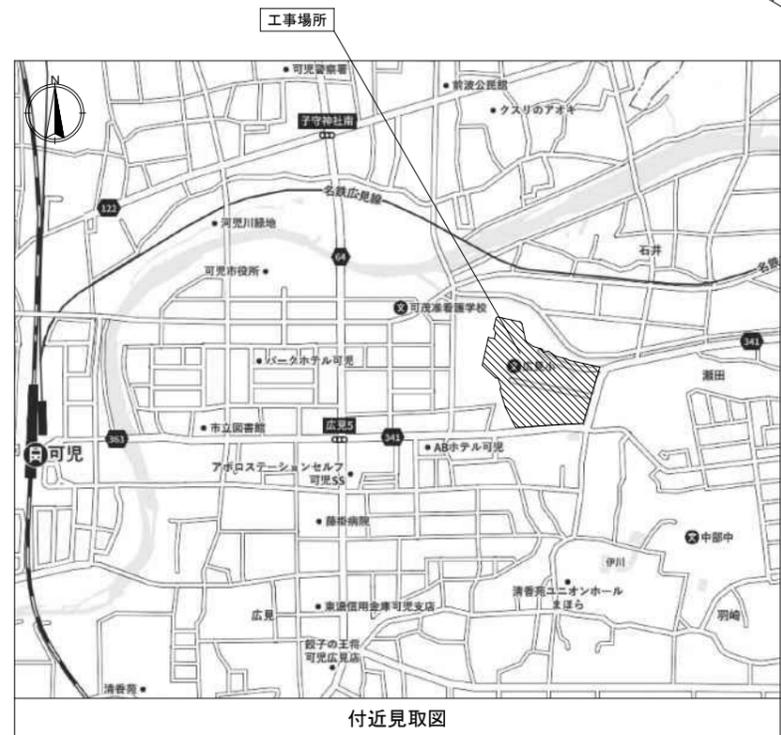
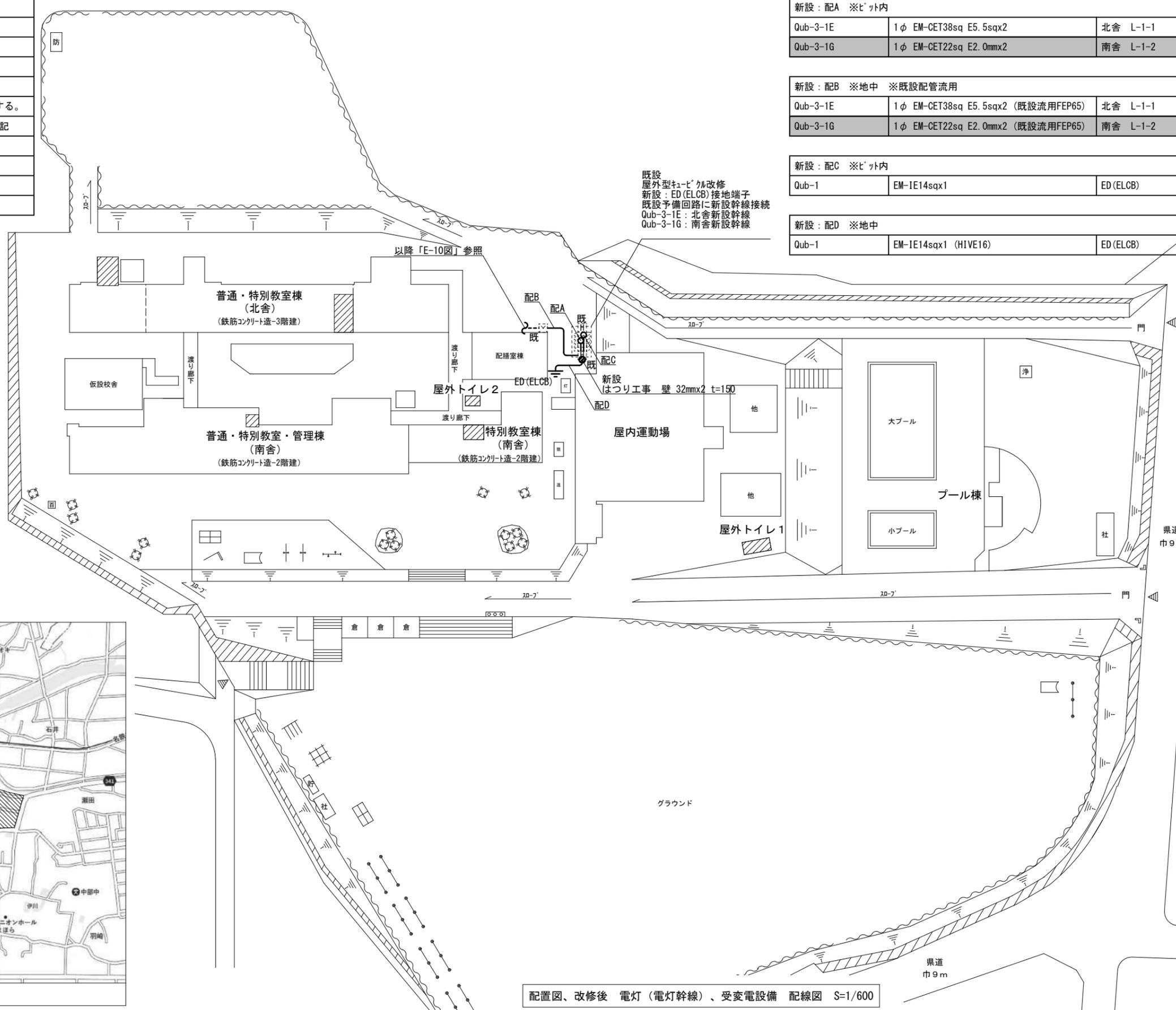
(改修後) 電灯 (電灯幹線)、受変電設備	
凡 例	
シンボル	
記号	名称
■	新設 ※コンクリート内の位置ボックスは流用とする。
≡E	接地工事 各種 ※接地埋設標 (接地抵抗測定を含む) を要する。
⊙	はつり工事 壁又は床 t=120~150 32mm 他サイズ等は図中明記 貫通後の配線保護又は粘土詰めを含むものとする。
—	既設流用
—	既設を示す。
---	既設流用機器類を示す。

新設: 配A ※レフト内			
Qub-3-1E	1φ EM-CET38sq E5.5sqx2	北舎 L-1-1	(II期)
Qub-3-1G	1φ EM-CET22sq E2.0mmx2	南舎 L-1-2	(I期)

新設: 配B ※地中 ※既設配管流用			
Qub-3-1E	1φ EM-CET38sq E5.5sqx2 (既設流用FEP65)	北舎 L-1-1	(II期)
Qub-3-1G	1φ EM-CET22sq E2.0mmx2 (既設流用FEP65)	南舎 L-1-2	(I期)

新設: 配C ※レフト内		
Qub-1	EM-IE14sqx1	ED (ELCB)

新設: 配D ※地中		
Qub-1	EM-IE14sqx1 (HIVE16)	ED (ELCB)

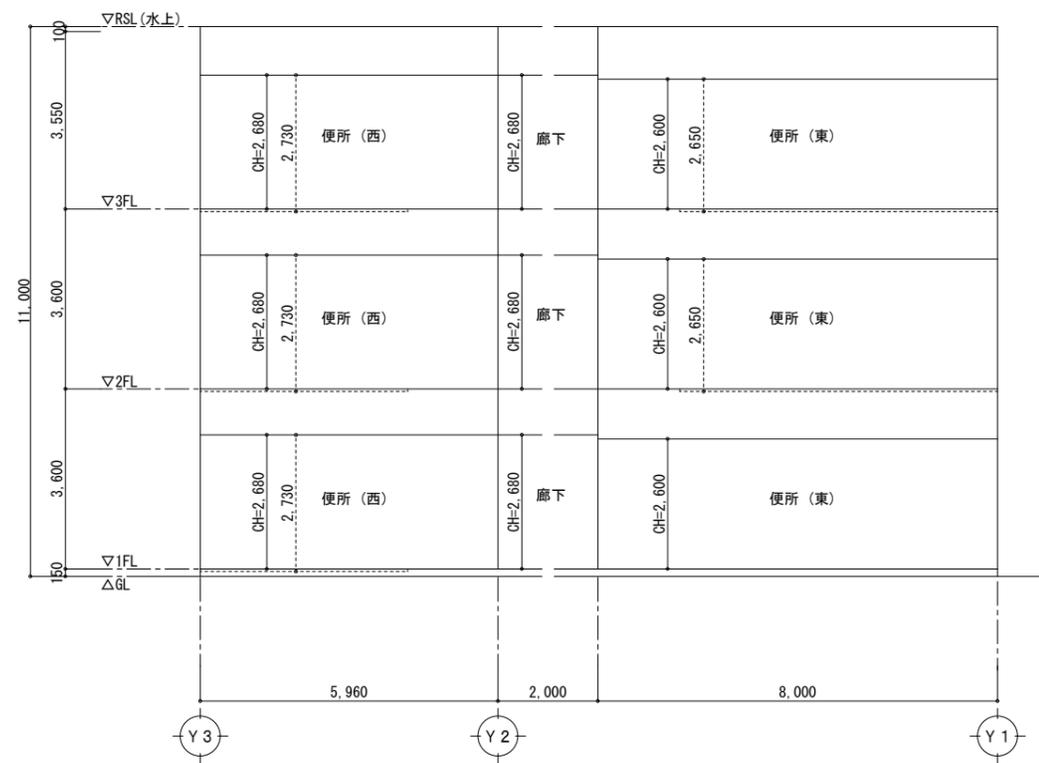


配置図、改修後 電灯 (電灯幹線)、受変電設備 配線図 S=1/600

株式会社 山田建築事務所
YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士77890号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW	SCALE A2: S=1/600
			DATE 令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事 (II期)
配置図、案内図
改修後 電灯 (電灯幹線)、受変電設備 配線図



改修後 断面図 S=1/100

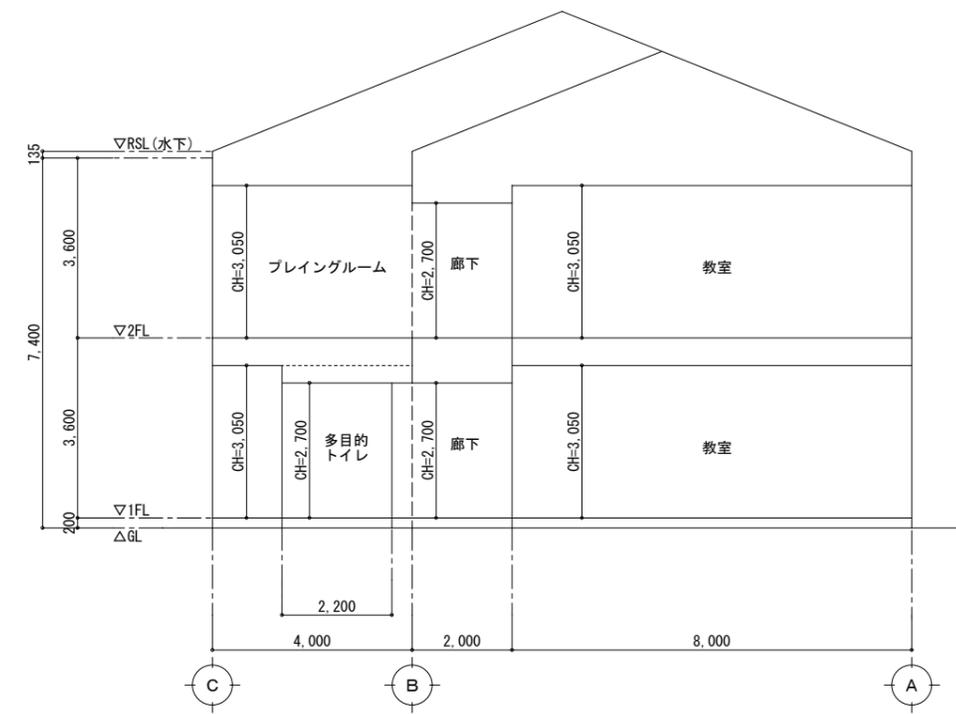
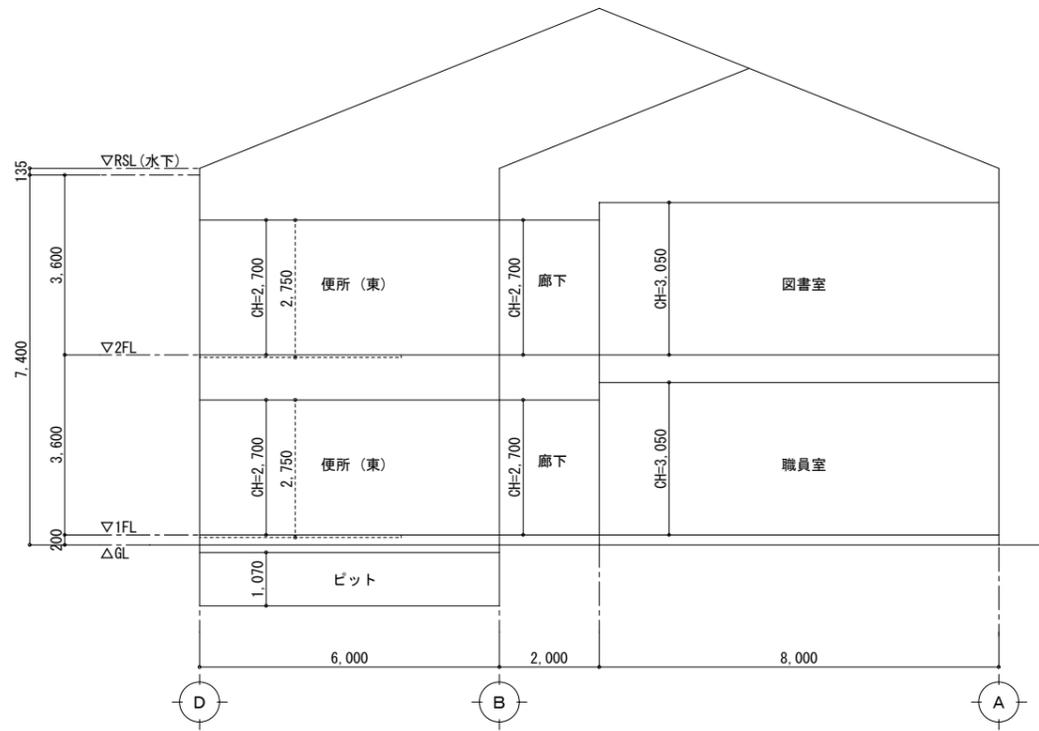
株式会社 山田建築事務所
YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士77890号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW

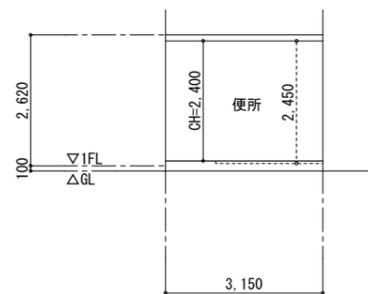
SCALE
A2 : S=1/100
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (II期)
 階高図-1 (北舎) (参考図)

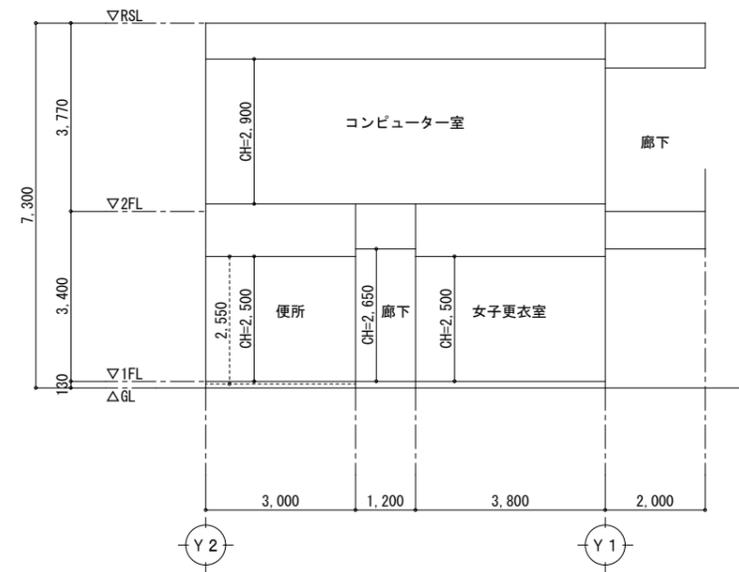
SHEET NO.
E-03



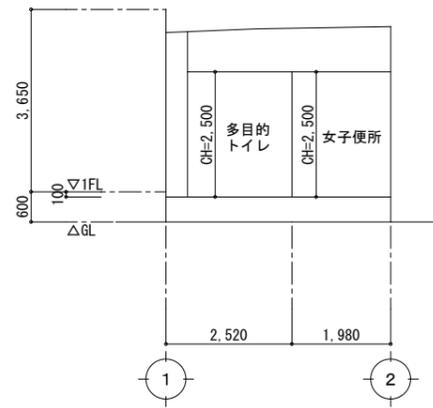
改修後 断面図 S=1/100



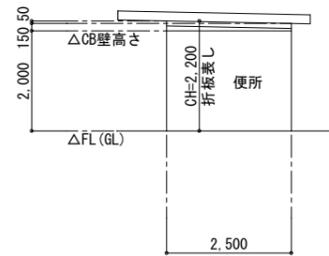
改修後 断面図 S=1/100
【屋外トイレ2】



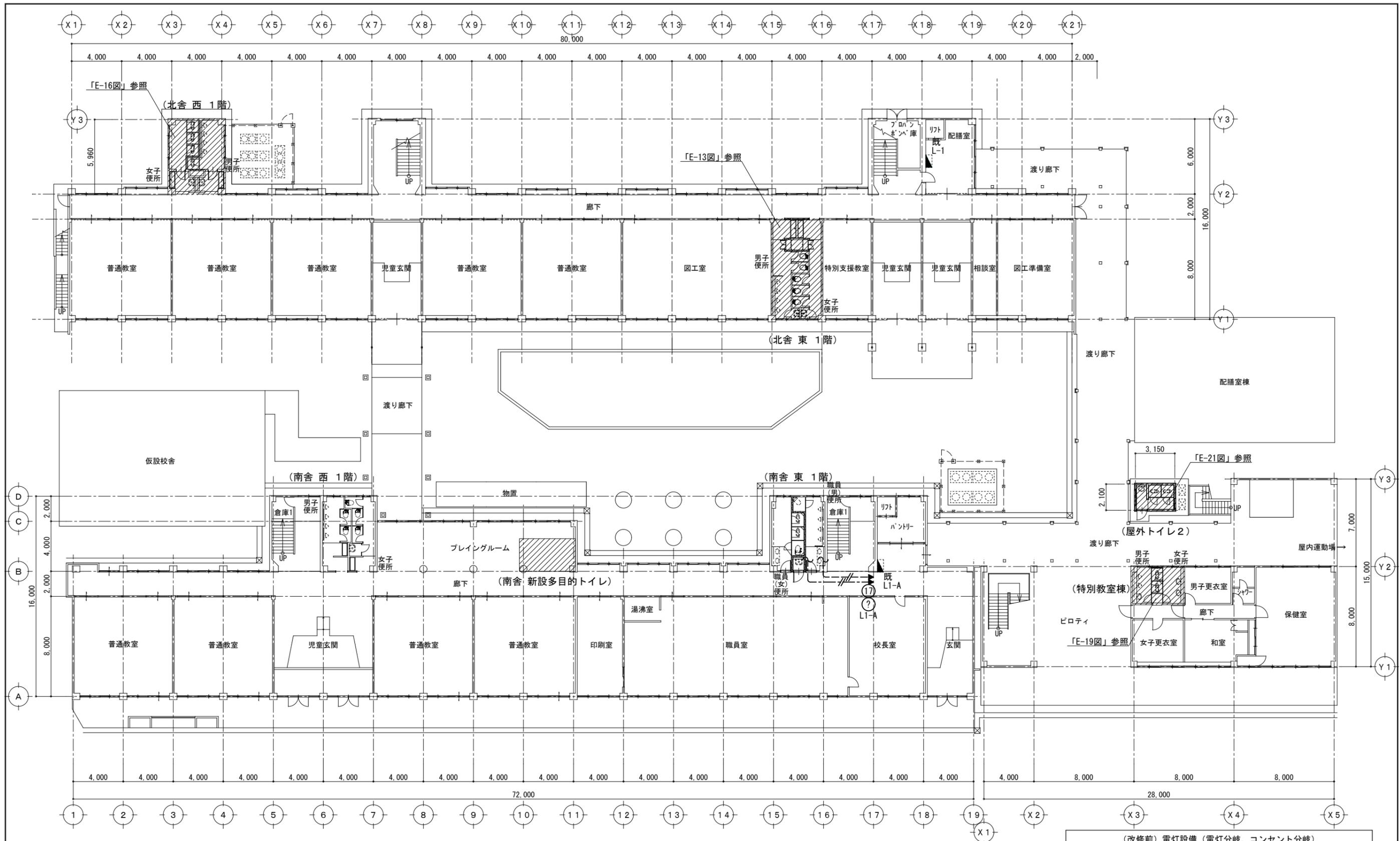
改修後 断面図 S=1/100
【特別教室棟】



改修後 断面図 S=1/100
【屋内運動場】



改修後 断面図 S=1/100
【屋外トイレ1】



改修前 北舎、南舎 1階 電灯設備（電灯分岐、コンセント分岐）配線図 S=1/200

（改修前）電灯設備（電灯分岐、コンセント分岐）
 ※上記設備の凡例については、「E-09」図参照とする。

（改修前）電灯設備（電灯分岐、コンセント分岐）
 ※その他特記事項内容については、「E-09」図参照とする。



株式会社 山田建築事務所

YAMADA ARCHITECT OFFICE

管理技術者 一級建築士77890号 大嶽 俊和

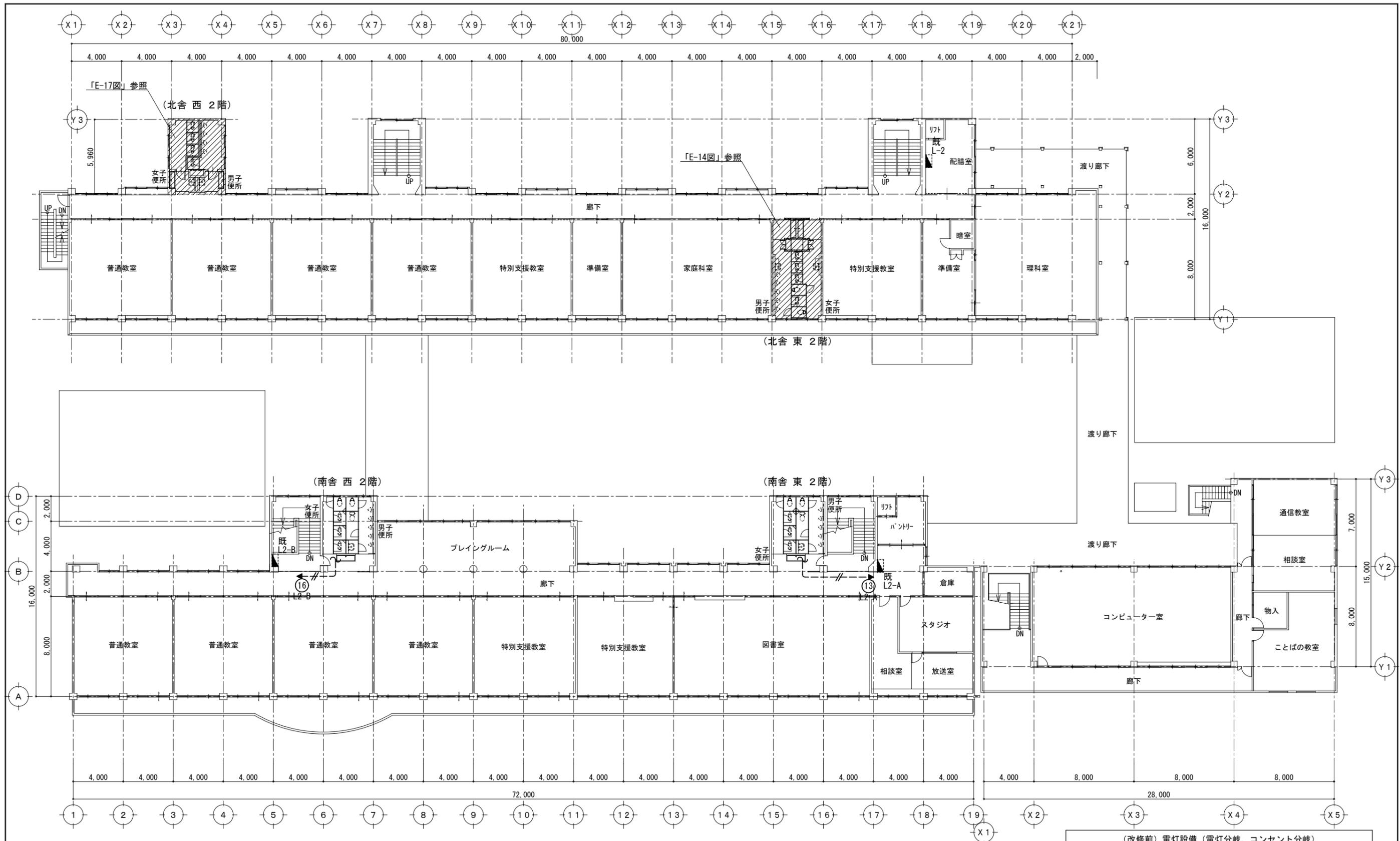
CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE
A2 : S=1/200
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）

改修前 北舎、南舎 1階
 電灯設備（電灯分岐、コンセント分岐）配線図

SHEET NO.
E-07



改修前 北舎、南舎 2階 電灯設備 (電灯分岐、コンセント分岐) 配線図 S=1/200

(改修前) 電灯設備 (電灯分岐、コンセント分岐)
 ※上記設備の凡例については、「E-09」図参照とする。

(改修前) 電灯設備 (電灯分岐、コンセント分岐)
 ※その他特記事項内容については、「E-09」図参照とする。



株式会社 山田建築事務所

YAMADA ARCHITECT OFFICE

管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW

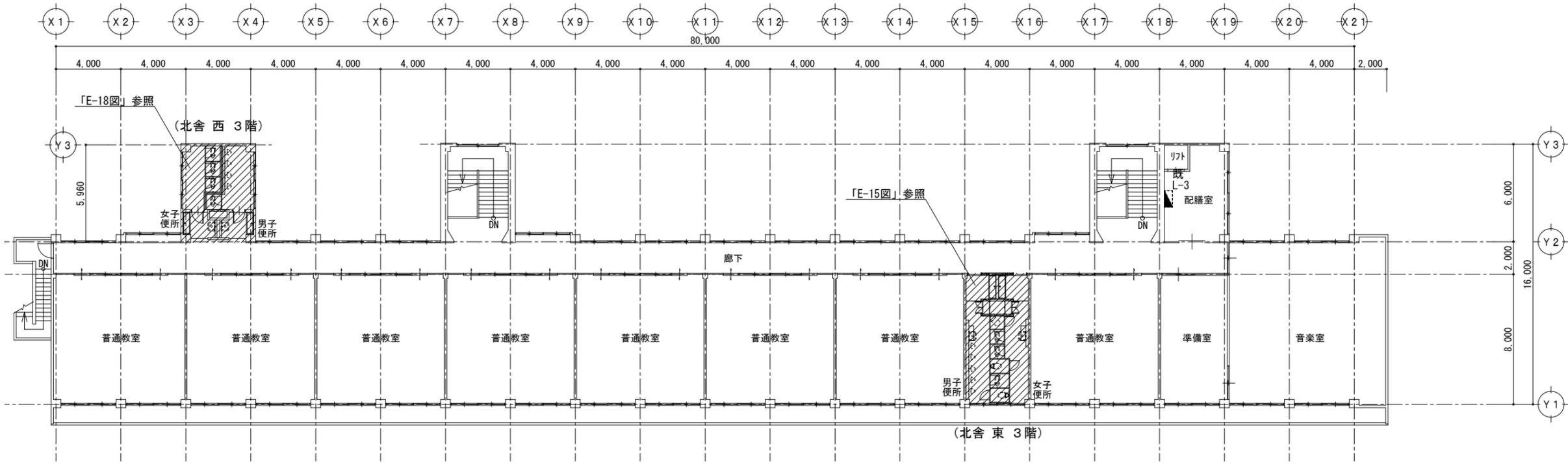
SCALE	A2 : S=1/200
DATE	令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (I期)

改修前 北舎、南舎 2階
 電灯設備 (電灯分岐、コンセント分岐) 配線図

SHEET NO.

E-08



(改修前) 電灯設備 (電灯分岐、コンセント分岐)	
凡 例	
シンボル	
記号	名称
既	既設残置
既	既設を示す。
-----	既設残置機器類を示す。
配管配線	
記号	名称
---	撤去 ※コンクリート内の配管は残置とする。
-//-	IV2.0mmx2 (既設残置PF16) 床隠蔽
-//-	VVF2.0mm-2C 天井内 (壁面保護管(MM1-A)露出) 又は (盤配線スペース内)
○	回路番号
○	一般回路 100V回路
既	既設残置
-----	既設残置配管配線を示す。

その他特記事項内容
1. 事前調査
・既設配管配線等の現況設備について、調査を実施して写真等を用いて監督職員へ報告する。

改修前 北舎 3階 電灯設備 (電灯分岐、コンセント分岐) 配線図 S=1/200



株式会社 山田建築事務所

YAMADA ARCHITECT OFFICE

管理技術者 一級建築士77890号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW

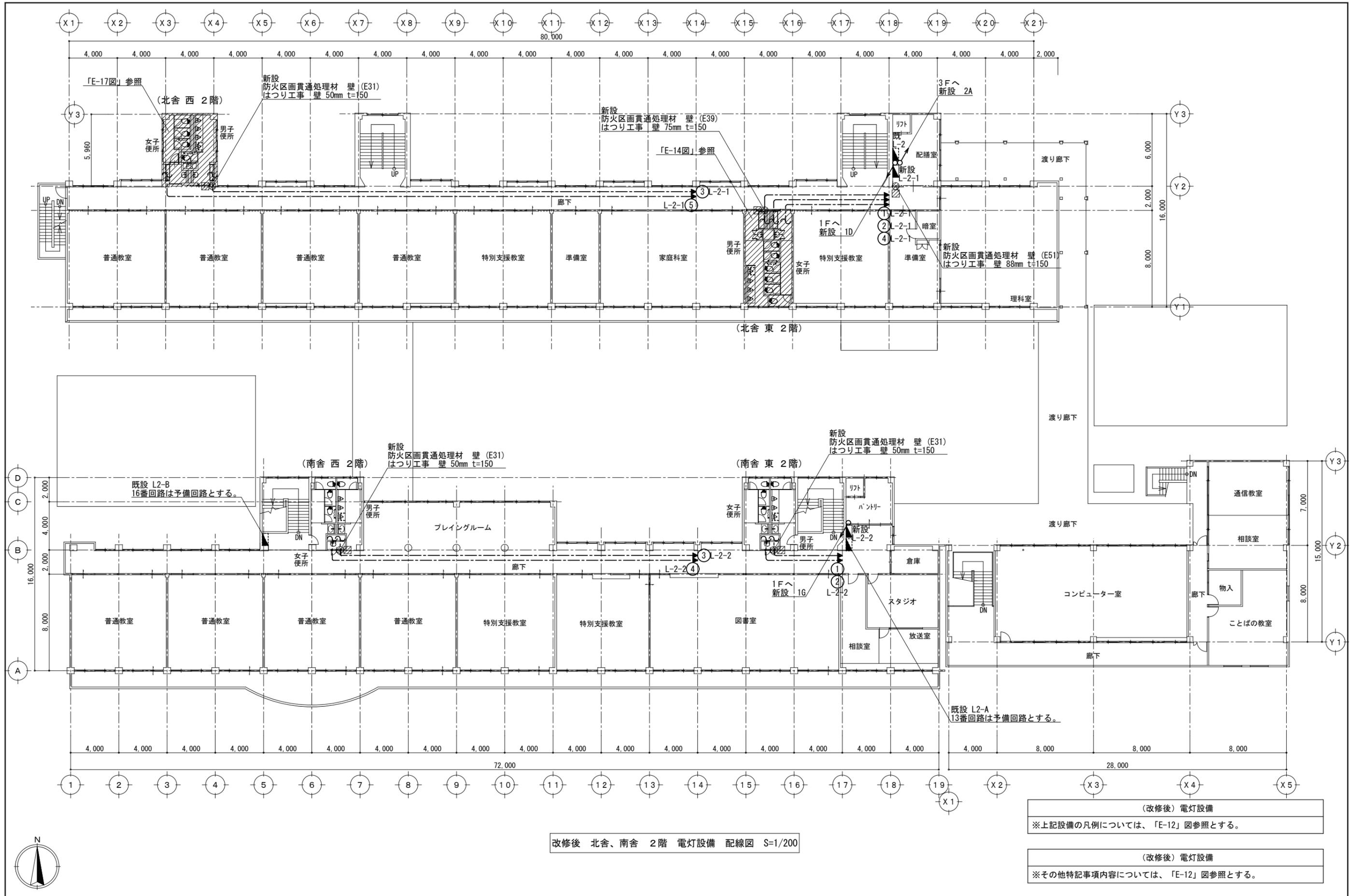
SCALE
A2 : S=1/200
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (II期)

改修前 北舎 3階 電灯設備 (電灯分岐、コンセント分岐) 配線図

SHEET NO.

E-09



株式会社 山田建築事務所

YAMADA ARCHITECT OFFICE

管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊和

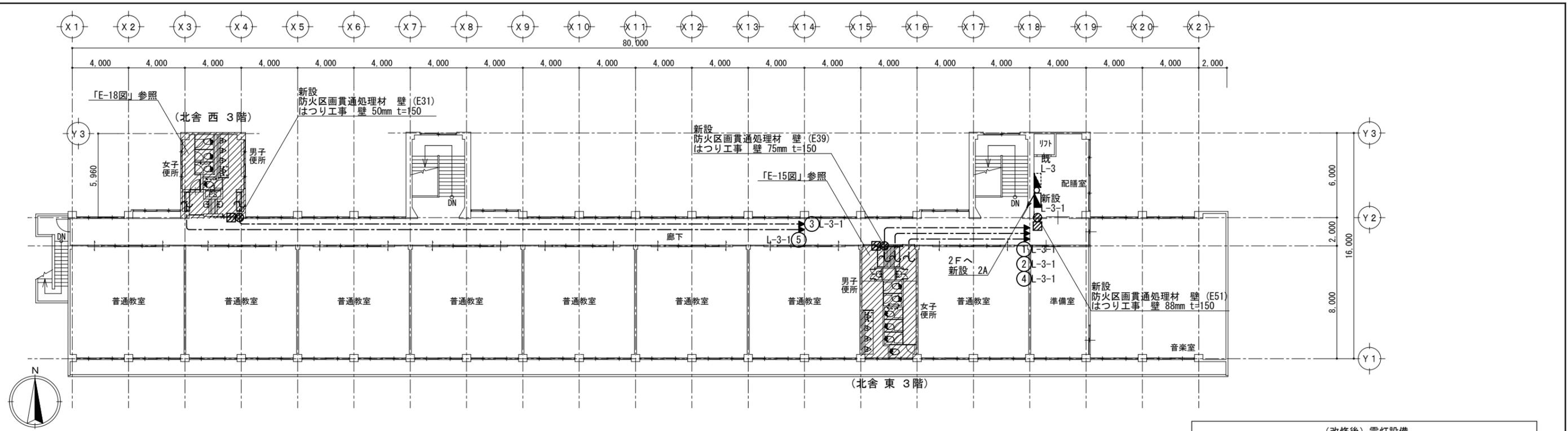
CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE	A2: S=1/200
DATE	令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (II期)

改修後 北舎、南舎 2階 電灯設備 配線図

SHEET NO.
E-11



新設：1A ※屋外露出		
Qub-3-1E	1φ EM-CET38sq E5.5sqx2 (G54-Z35)	北舎 L-1-1
Qub-3-1G	1φ EM-CET22sq E2.0mmx2 (G42-Z35)	南舎 L-1-2

新設：1B ※屋外露出		
Qub-3-1E	1φ EM-CET38sq E5.5sqx2 (G54-Z35)	北舎 L-1-1

新設：1C ※天井内 ※盤配線ス^ -ス内		
Qub-3-1E	1φ EM-CET38sq E5.5sqx2	北舎 L-1-1

新設：1D ※隠蔽		
北舎 L-1-1 1E1	1φ EM-CE8sq-3C E2.0mmx2 (E31)	北舎 L-2-1
北舎 L-1-1 1E2	1φ EM-CE8sq-3C E2.0mmx2 (E31)	北舎 L-3-1
防火区画貫通処理材 床 (E31)x2、はつり工事 床 50mmx2 t=150		

新設：1E ※屋外露出		
Qub-3-1G	1φ EM-CET22sq E2.0mmx2 (G42-Z35)	南舎 L-1-2

新設：1F ※天井内 ※盤配線ス^ -ス内		
Qub-3-1G	1φ EM-CET22sq E2.0mmx2	南舎 L-1-2

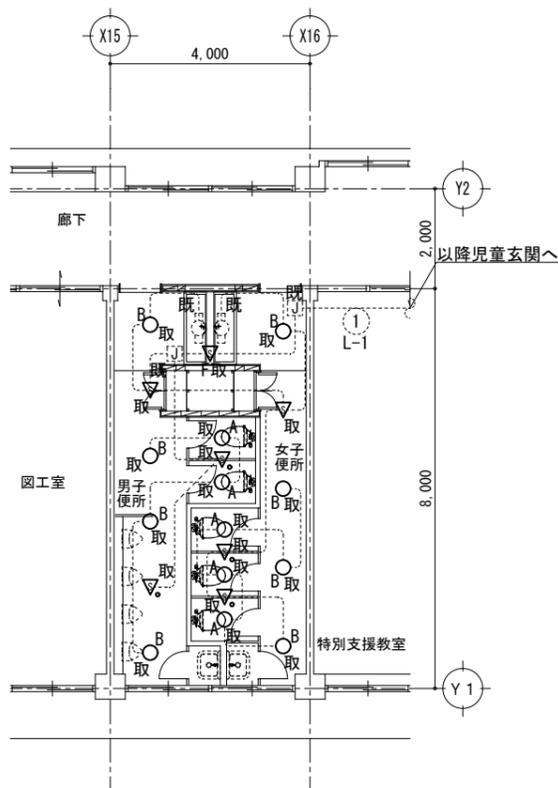
新設：1G ※隠蔽		
南舎 L-1-2 1G1	1φ EM-CE5.5sq-3C E1.6mmx2 (E31)	南舎 L-2-2
防火区画貫通処理材 床 (E31)、はつり工事 床 50mm t=150		

新設：2A ※隠蔽		
北舎 L-1-1 1E2	1φ EM-CE8sq-3C E2.0mmx2 (E31)	北舎 L-3-1
防火区画貫通処理材 床 (E31)、はつり工事 床 50mm t=150		

改修後 北舎 3階 電灯設備 配線図 S=1/200

(改修後) 電灯設備	
凡 例	
シンボル	
記号	名称
新設 ※コンクリート内の位置ホックスは流用とする。	
■	分電盤
☒	ホックス SS a00xb00xc00
▨	防火区画貫通処理材 壁 (E25) 他サイズ等は図中明記
⊙	はつり工事 壁又は床 t=120~150 32mm 他サイズ等は図中明記 貫通後の配線保護又は粘土詰めを含むものとする。
—	既設流用
既	既設を示す。
-----	既設流用機器類を示す。
配管配線	
記号	名称
新設 ※コンクリート内の配管は流用とする。	
..IE2E..	EM-IE2.0mmx2 E2.0mm (G16-Z35) 屋外露出
..IE4E..	EM-IE2.0mmx4 E2.0mm (G22-Z35) 屋外露出
---	EM-EEF2.0mm-3C(1CE) 天井内(盤配線ス^ -ス内)
..2F4E..	EM-EEF2.0mm-2C+3C(1CE) 天井内(盤配線ス^ -ス内)
回路番号	
Ⓝ	一般回路 100V回路
—	既設流用
-----	既設流用配管配線を示す。

その他特記事項内容	
1. 既設隠蔽配管流用	
・既設配線撤去後の既設隠蔽配管流用については、 新設配線の再入線が可能であれば、流用出来るものとし、 調査を実施して、監督職員へ報告する。	

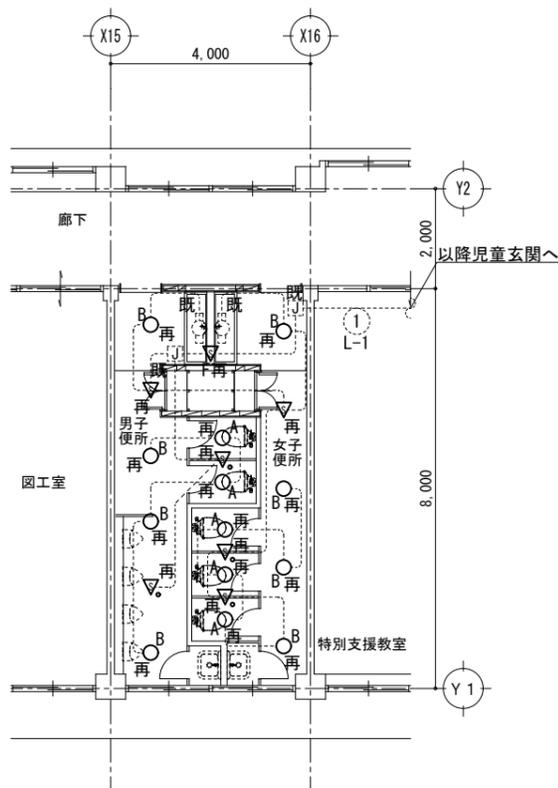


改修前 北舎 1階 東便所 電灯設備（電灯分岐） 配線図 S=1/100

男子便所			
LED照明器具	天井付 (LRS1-05-LN相当)	A	2 取外し
LED照明器具	天井付 (LRS1-17-LN相当)	B	4 取外し
女子便所			
LED照明器具	天井付 (LRS1-05-LN相当)	A	3 取外し
LED照明器具	天井付 (LRS1-17-LN相当)	B	4 取外し

その他特記事項内容	
1. 事前調査	・ 既設配管配線等の現況設備について、調査を実施して写真等を用いて監督職員へ報告する。
2. PCB含有調査	・ (一社)日本照明工業会は、昭和52年(1977年)3月までは、対象器具として扱うことが望ましいと明記しているため、銘板確認等の調査を実施して、写真等を用いて監督職員へ報告する。
3. PCB含有試験について	・ (一社)日本照明工業会の推奨で、昭和52年(1977年)3月までに製造された器具は対象機器として取り扱う事が望ましいと有るため試験は本工事とし、写真等を用いて監督職員へ報告する。

(改修前) 電灯設備 (電灯分岐)	
凡 例	
シンボル	
記号	名 称
○	撤去 ※コンクリート内の位置マークは残置とする。
○	照明器具 天井付 「J」明記はジョイントボックスを示す。
○	照明器具 壁付
○	照明器具 壁付
●	ランプスイッチ 1P15Ax1
●	ランプスイッチ 3W15Ax1
●	ランプスイッチ 1P15Ax1 確認表示灯付
●	確認表示灯
Ⓜ	壁付コンセント 2P15Ax1
Ⓜ	天井付コンセント 2P15Ax1
Ⓜ	壁付タイマー 24時間、週間
⊗	換気扇 (機械設備工事)
⊗	換気扇 (機械設備工事)
Ⓜ	ランプスイッチによる照明器具の点滅区分を示す。取外し
取	既設機器取外しを示す。
○	照明器具 天井付 「J」明記はジョイントボックスを示す。
○	照明器具 天井付
▽	照明制御装置 親機 人感センサ内蔵形
F▽	照明制御装置 親機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用
▽	照明制御装置 子機 人感センサ内蔵形
F▽	照明制御装置 子機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用
RA	照明制御装置 熱線式自動スイッチ 1P2Ax1 センサ別置形 OFF・自動・連続切替スイッチ付
Ⓜ	壁付コンセント 2P15Ax1
ⓂET	壁付コンセント 2P15Ax1 E. ET付
Ⓜ	カバープレート
⊗	換気扇 (機械設備工事)
⊗	換気扇 (機械設備工事) 再取付
再	既設機器再取付を示す。
○	照明器具 天井付 「J」明記はジョイントボックスを示す。
○	照明器具 天井付
▽	照明制御装置 親機 人感センサ内蔵形
F▽	照明制御装置 親機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用
▽	照明制御装置 子機 人感センサ内蔵形
F▽	照明制御装置 子機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用
RA	照明制御装置 熱線式自動スイッチ 1P2Ax1 センサ別置形 OFF・自動・連続切替スイッチ付
既	既設を示す。
-----	既設残置機器類を示す。
配管配線	
記号	名 称
	撤去 ※コンクリート内の配管は残置とする。
—	IV1.6mmx2 (既設残置C19) 隠蔽 ※南舎は、(既設残置PF16)とする。
—//	IV1.6mmx3 (既設残置C19) 隠蔽 ※南舎は、(既設残置PF16)とする。
—///	IV1.6mmx4 (既設残置PF22) 隠蔽
—////	IV1.6mmx5 (既設残置PF22) 隠蔽
—/////	IV1.6mmx6 (既設残置C25) 隠蔽
—//	IV2.0mmx2 (既設残置PF16) 隠蔽
—F5	EM-EEF1.6mm-2C+3C 天井内(壁内保護管(既設残置PF22) 隠蔽)
◆	電線管 C ※立下箇所を示す。
	回路番号
Ⓜ	一般回路 100V回路
	既設残置
-----	既設残置配管配線を示す。

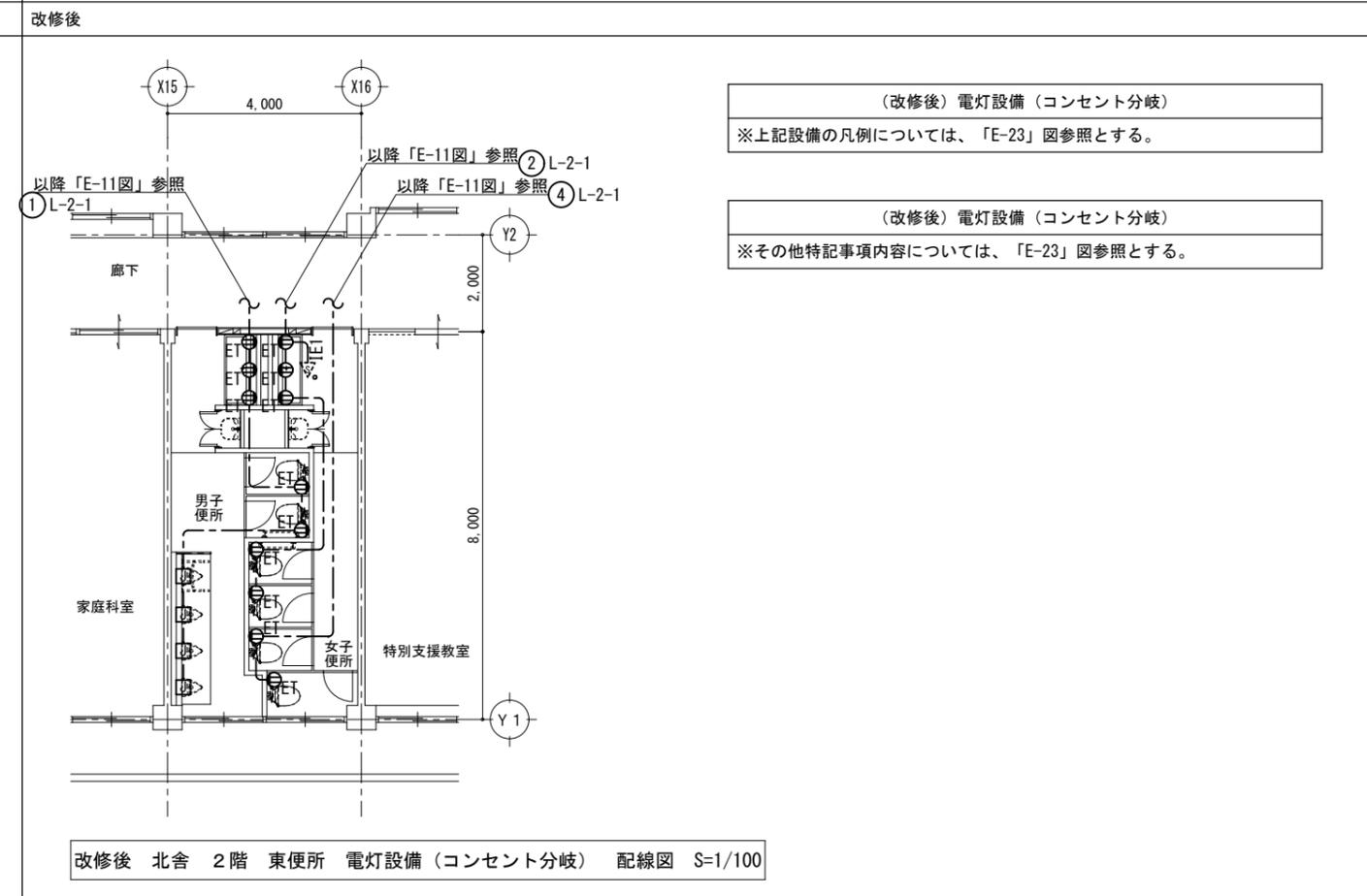
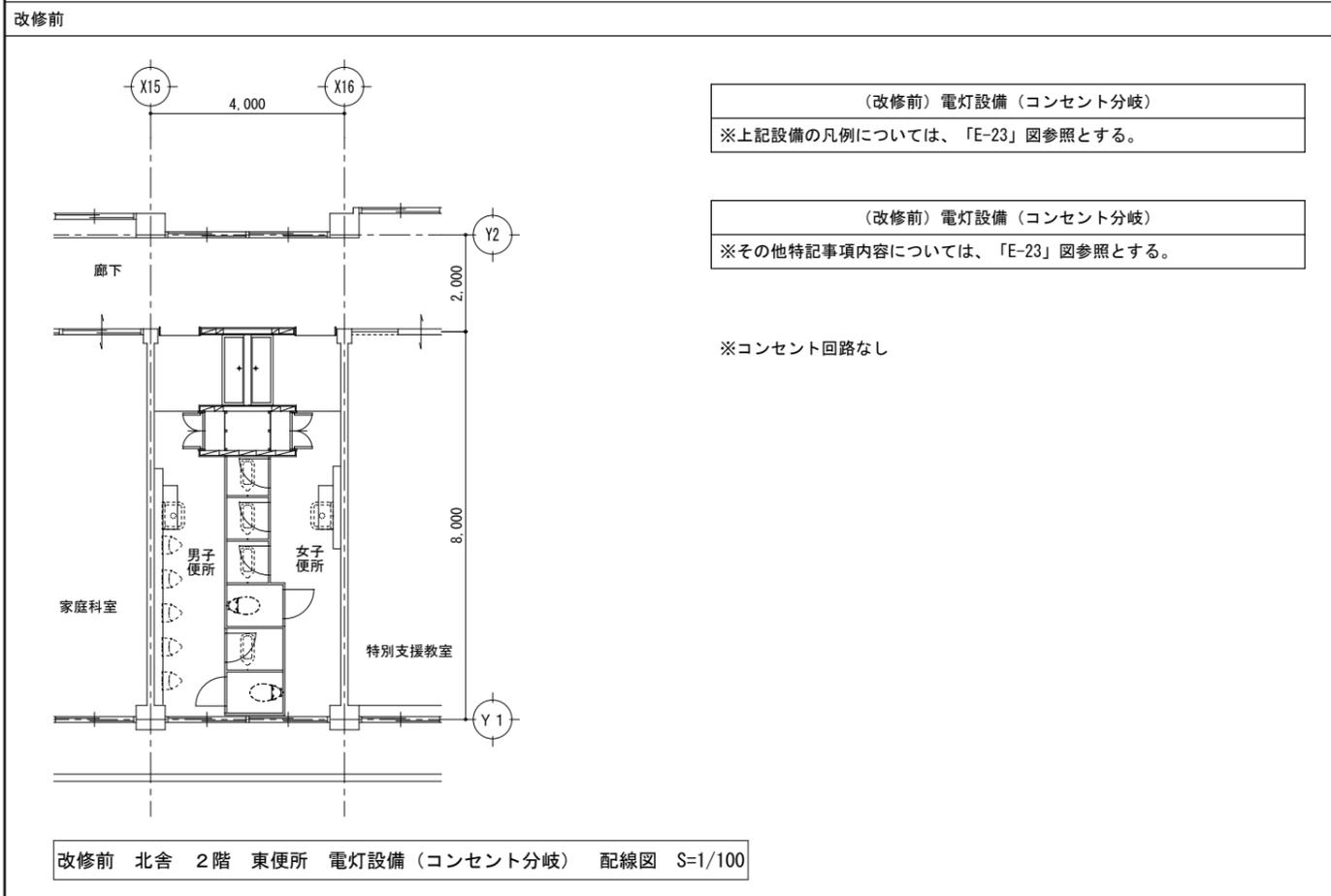
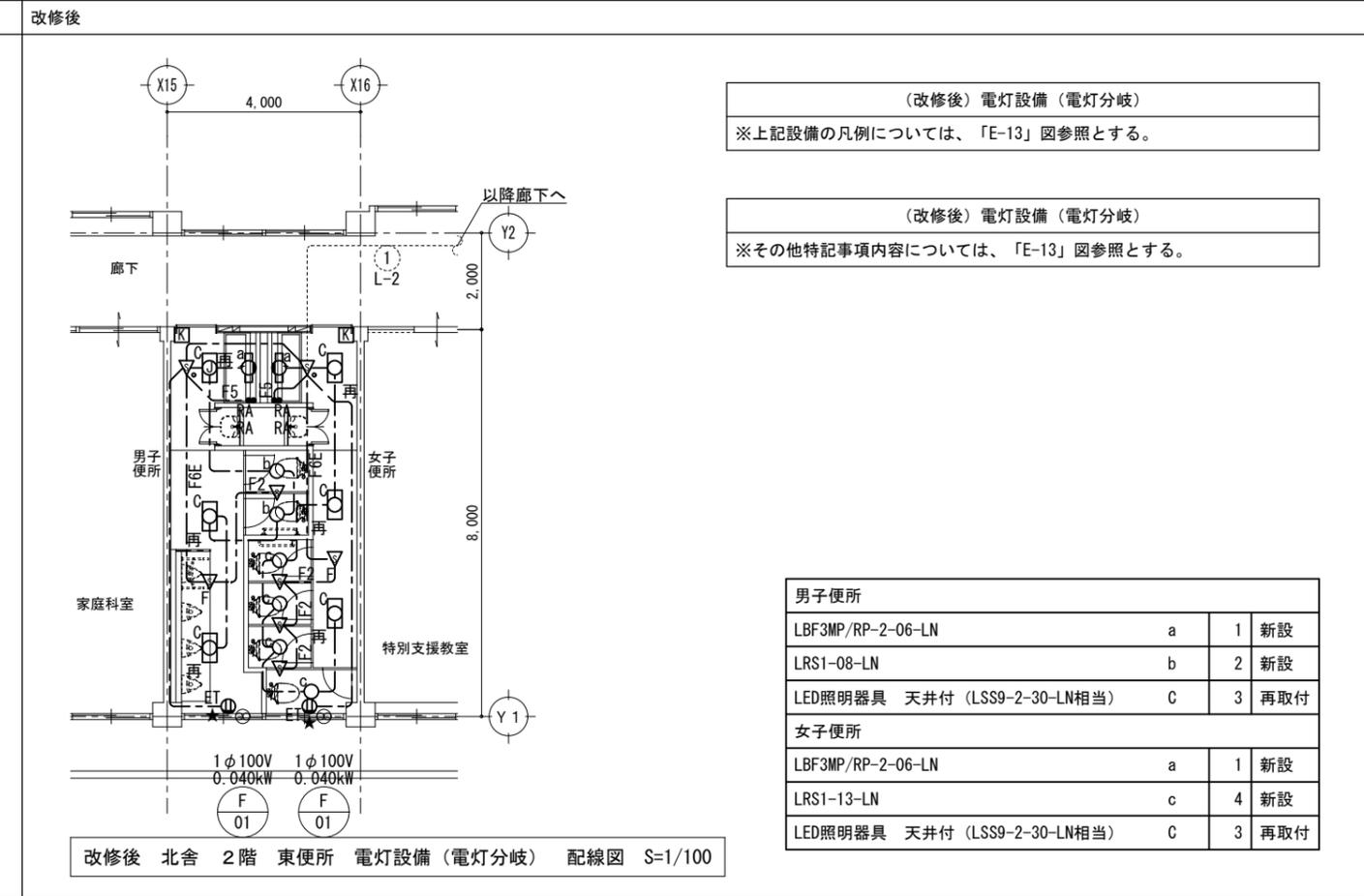
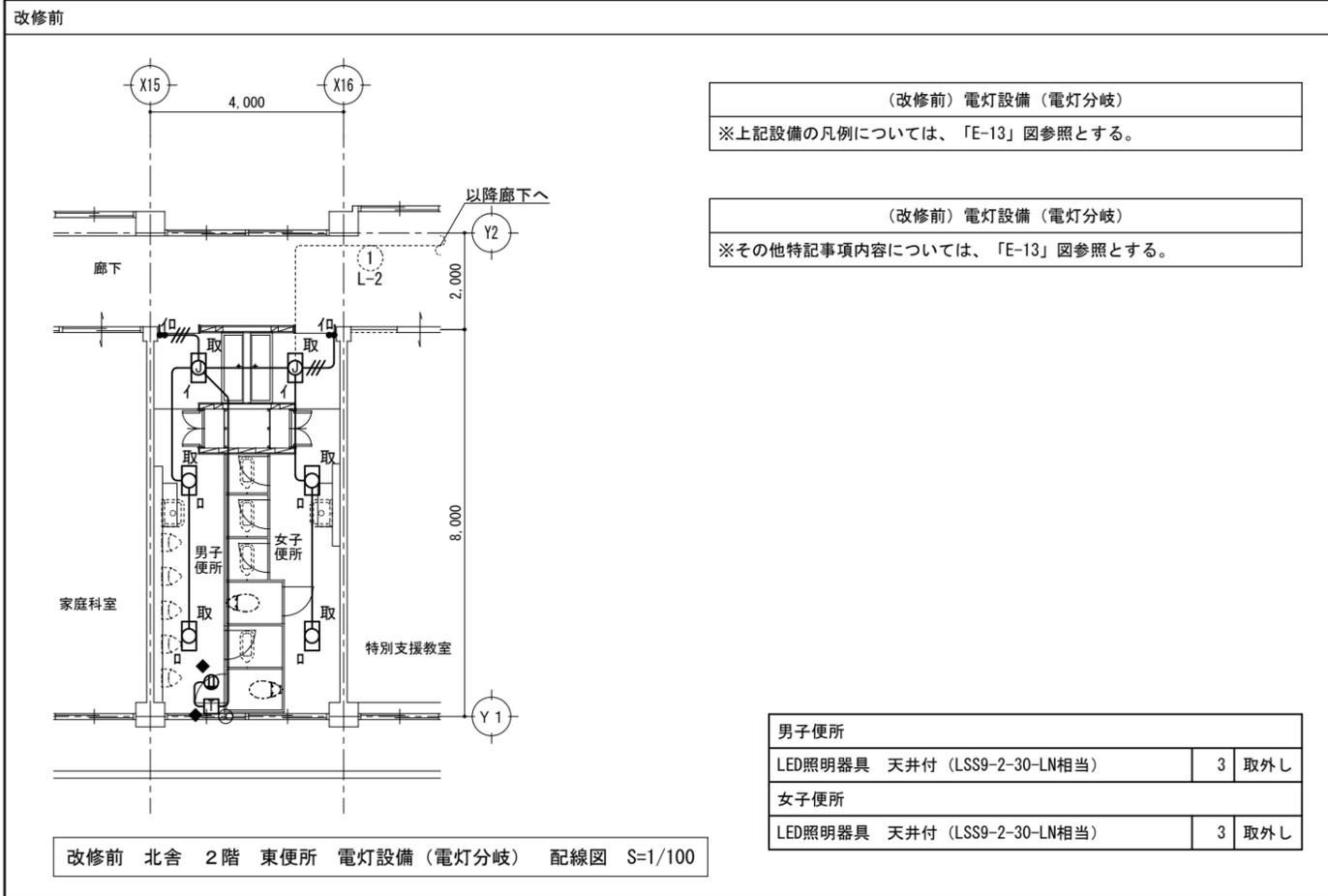


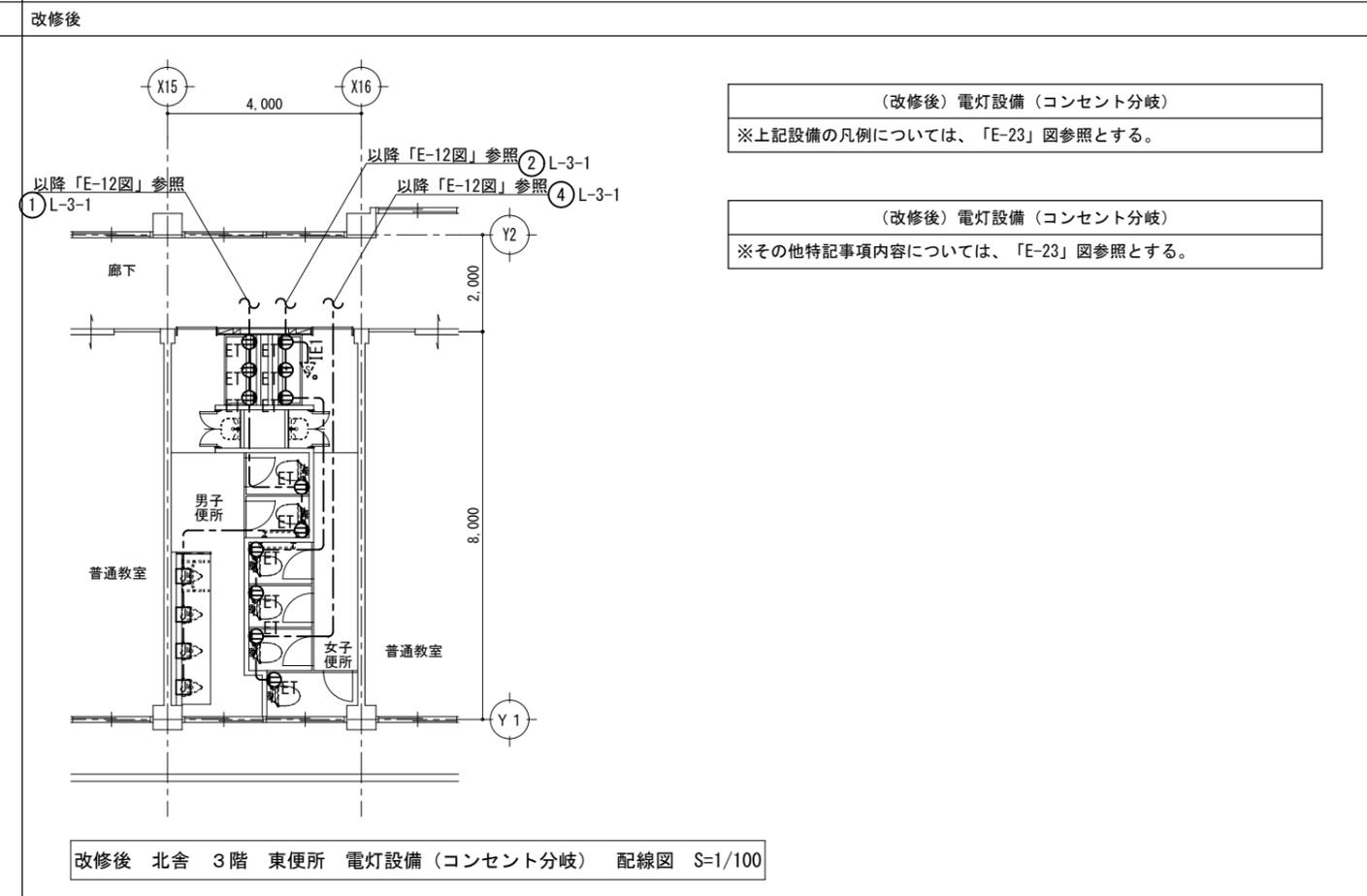
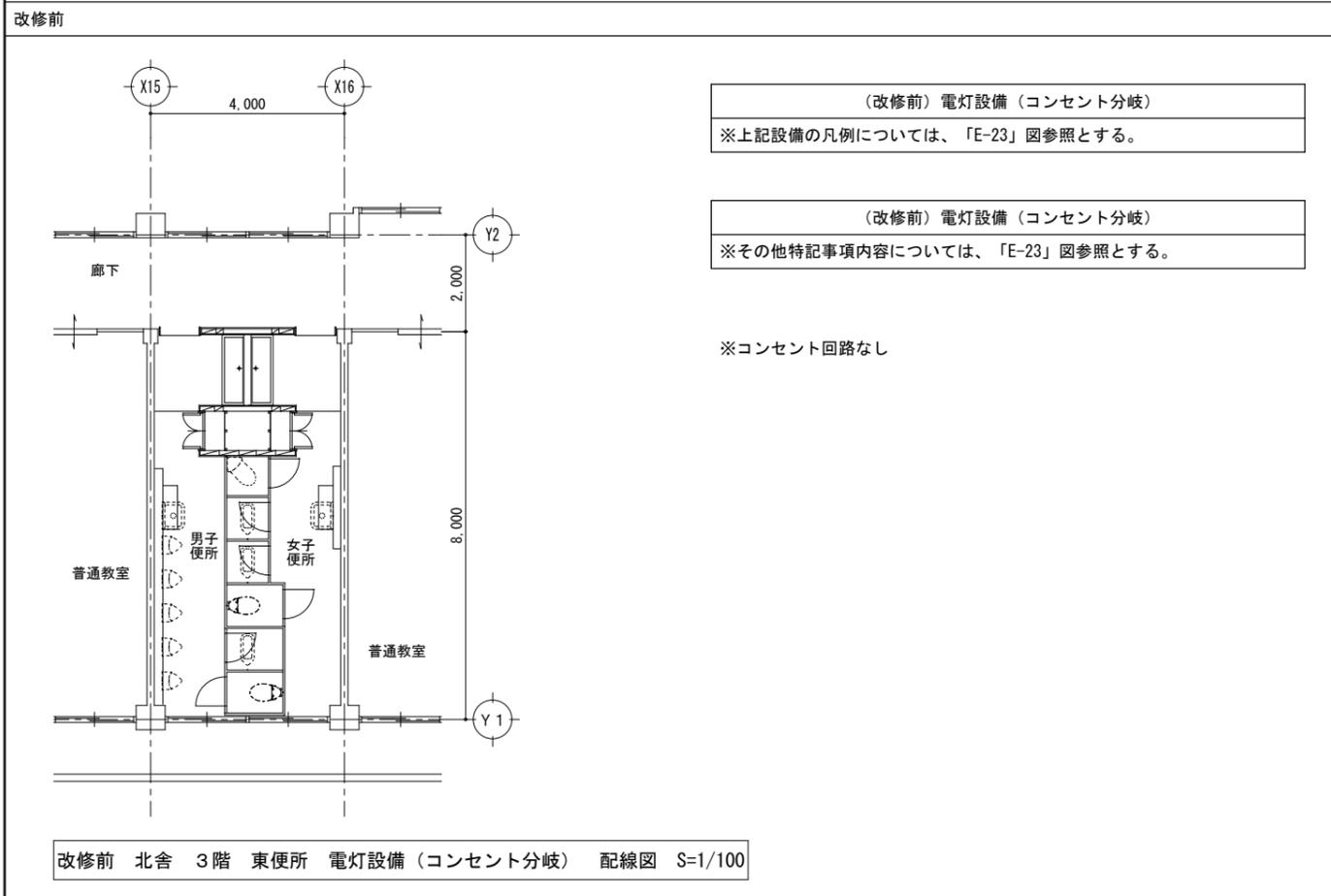
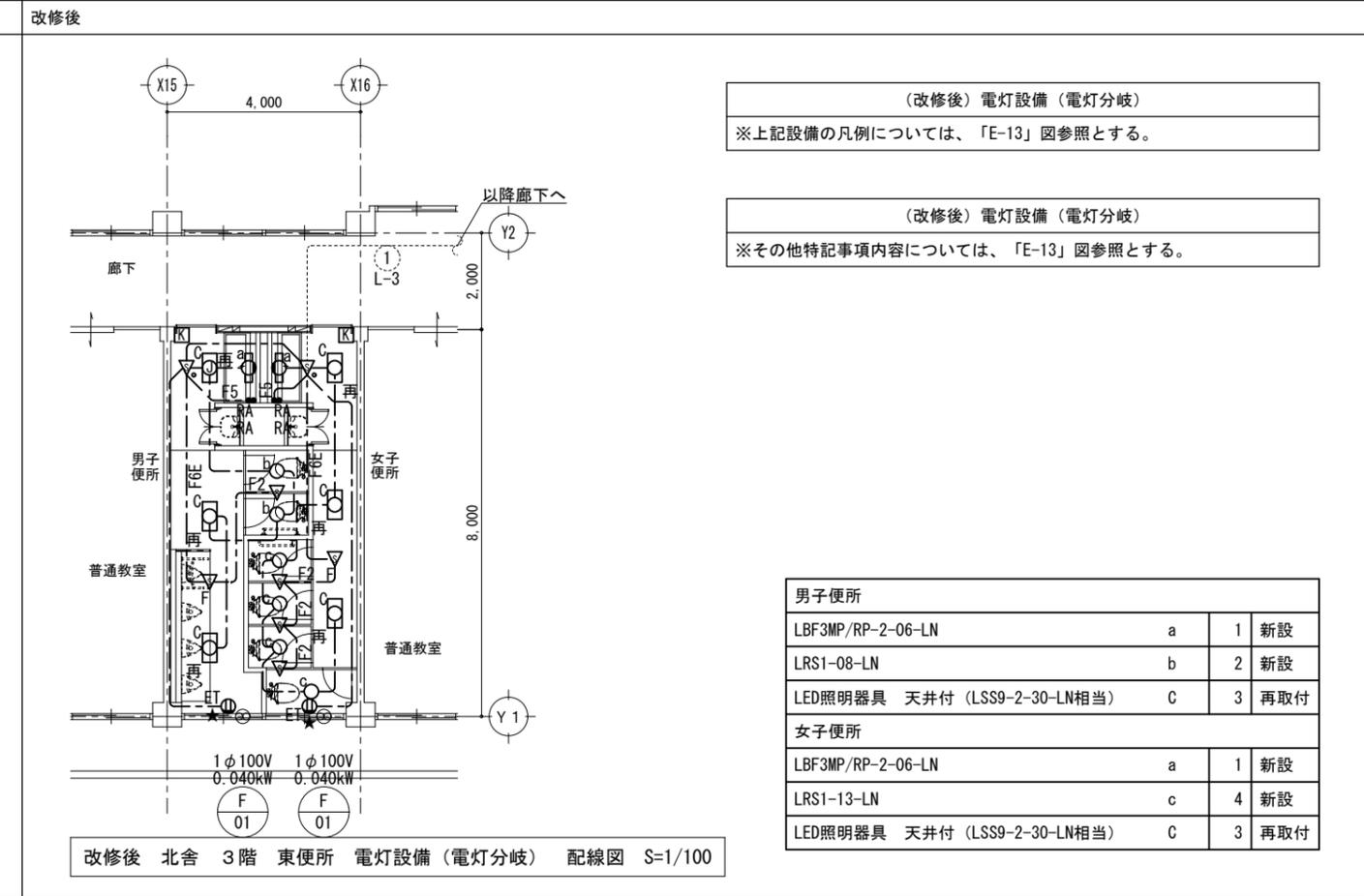
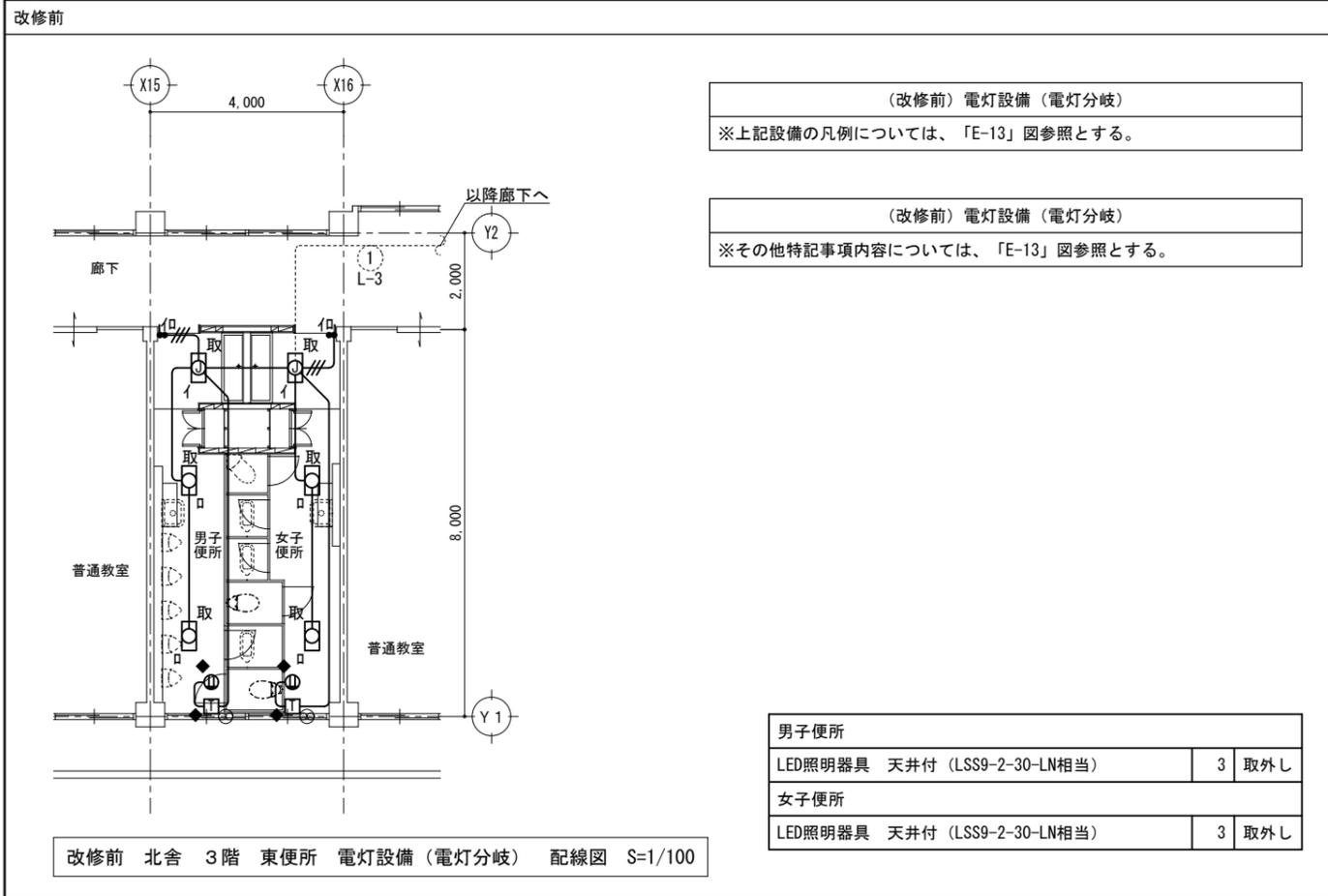
改修後 北舎 1階 東便所 電灯設備（電灯分岐） 配線図 S=1/100

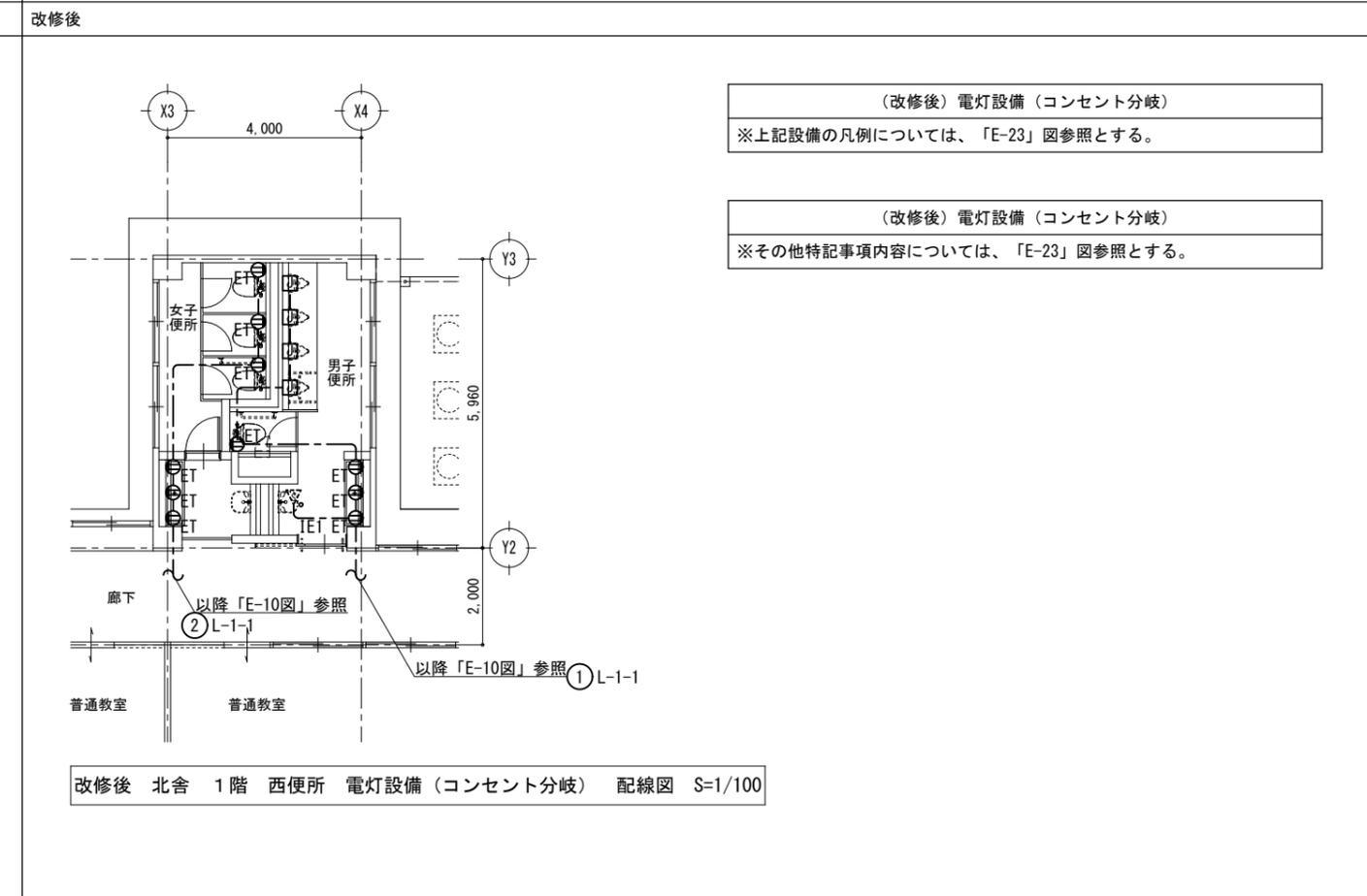
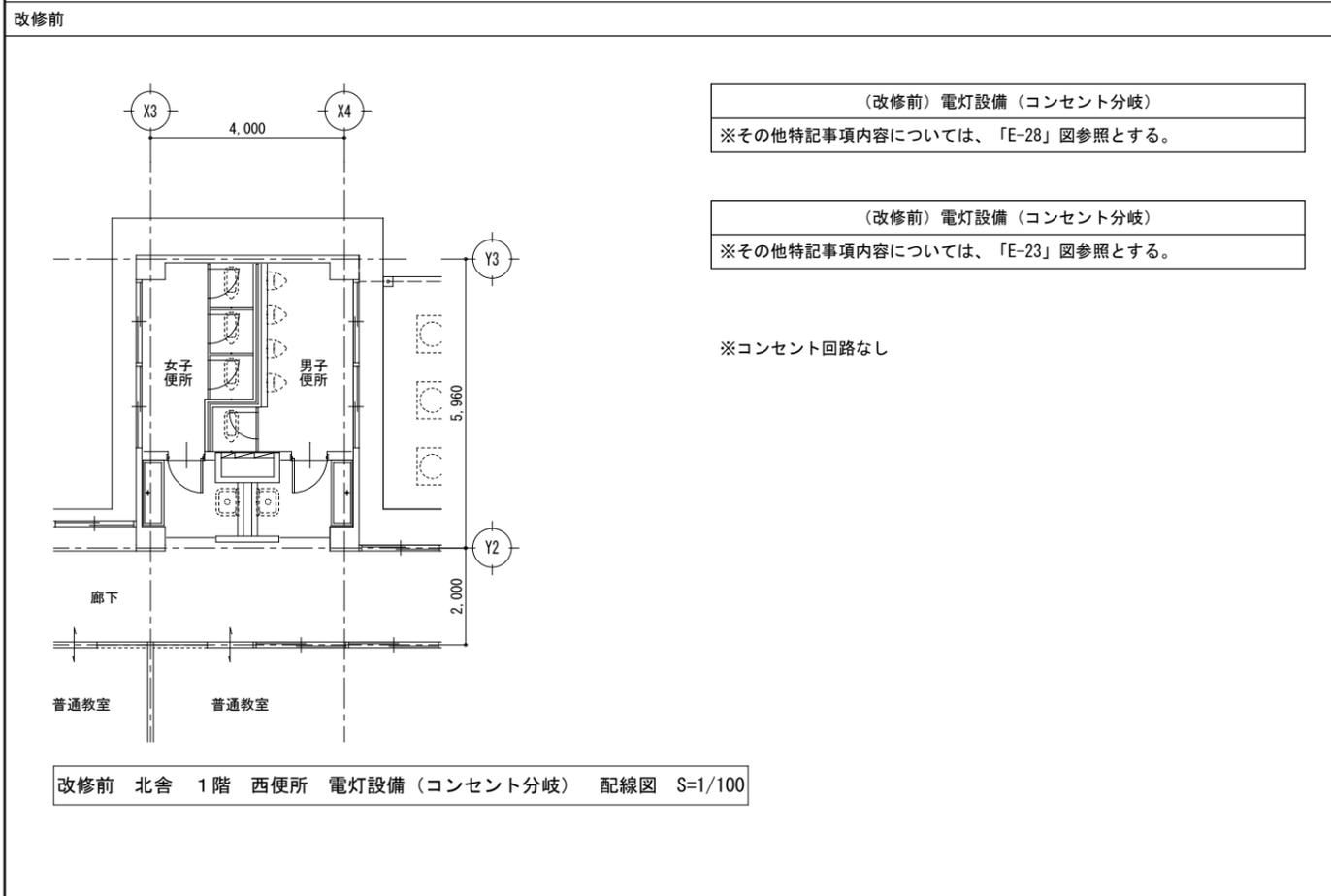
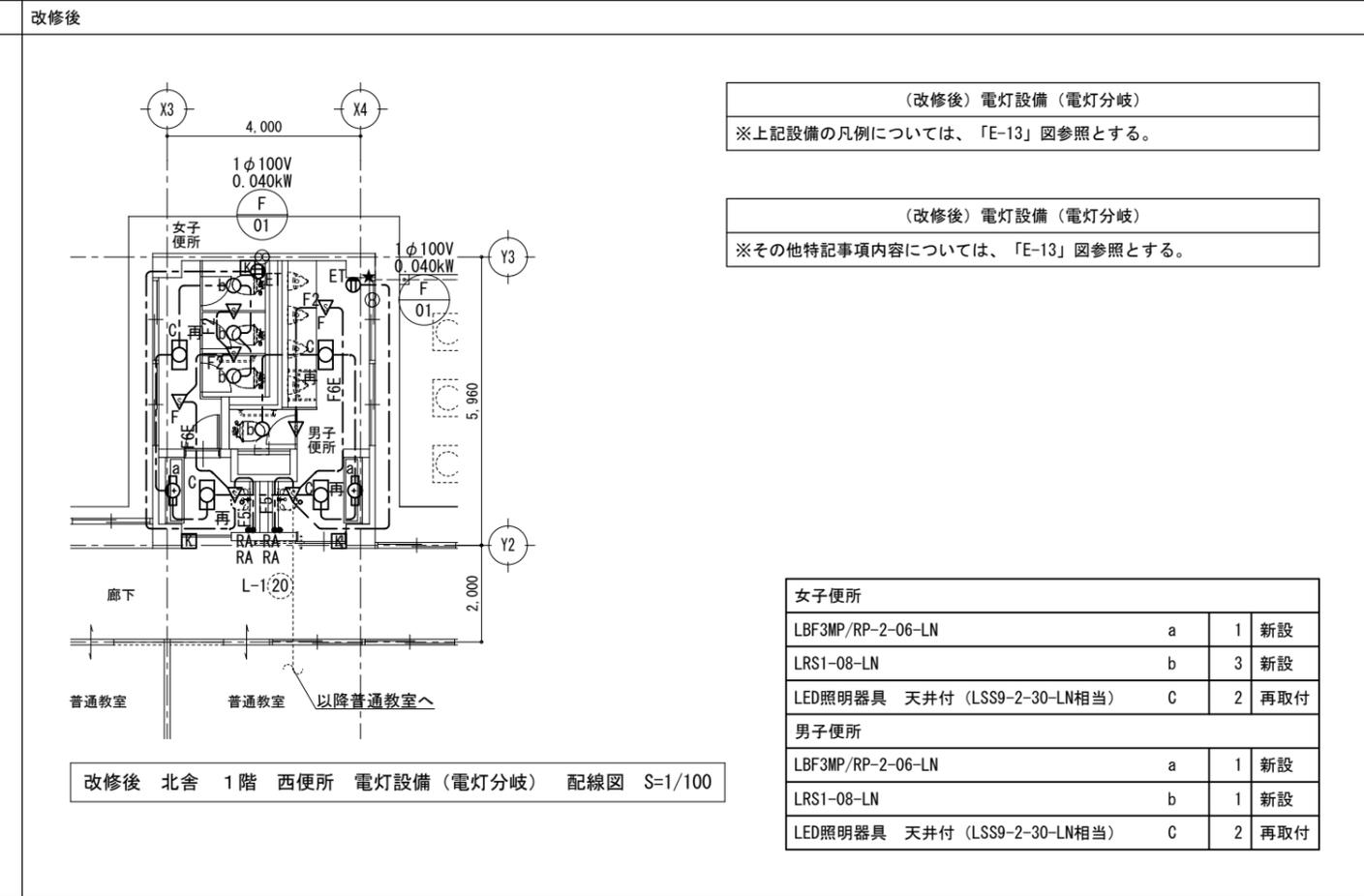
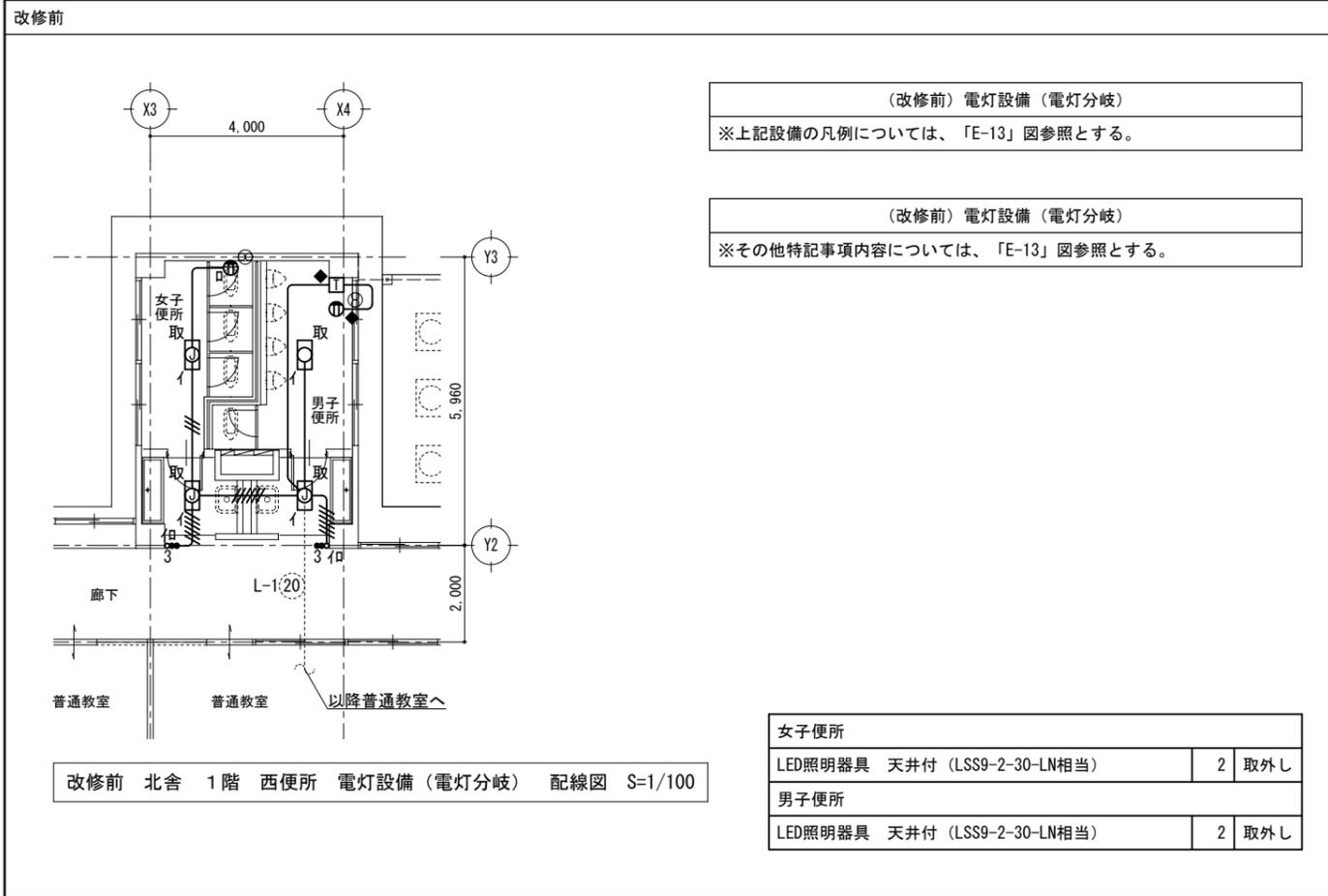
男子便所			
LED照明器具	天井付 (LRS1-05-LN相当)	A	2 再取付
LED照明器具	天井付 (LRS1-17-LN相当)	B	4 再取付
女子便所			
LED照明器具	天井付 (LRS1-05-LN相当)	A	3 再取付
LED照明器具	天井付 (LRS1-17-LN相当)	B	4 再取付

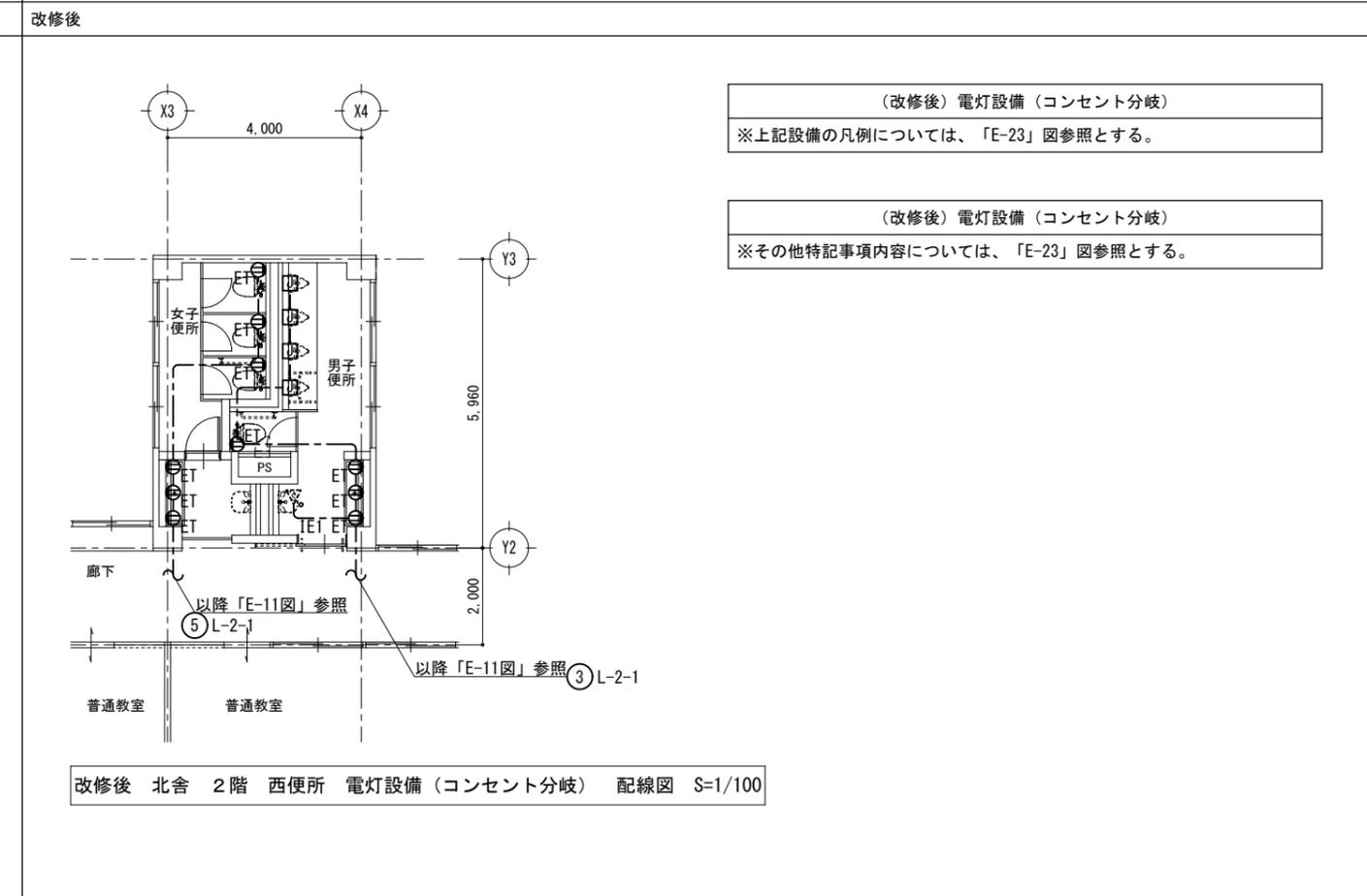
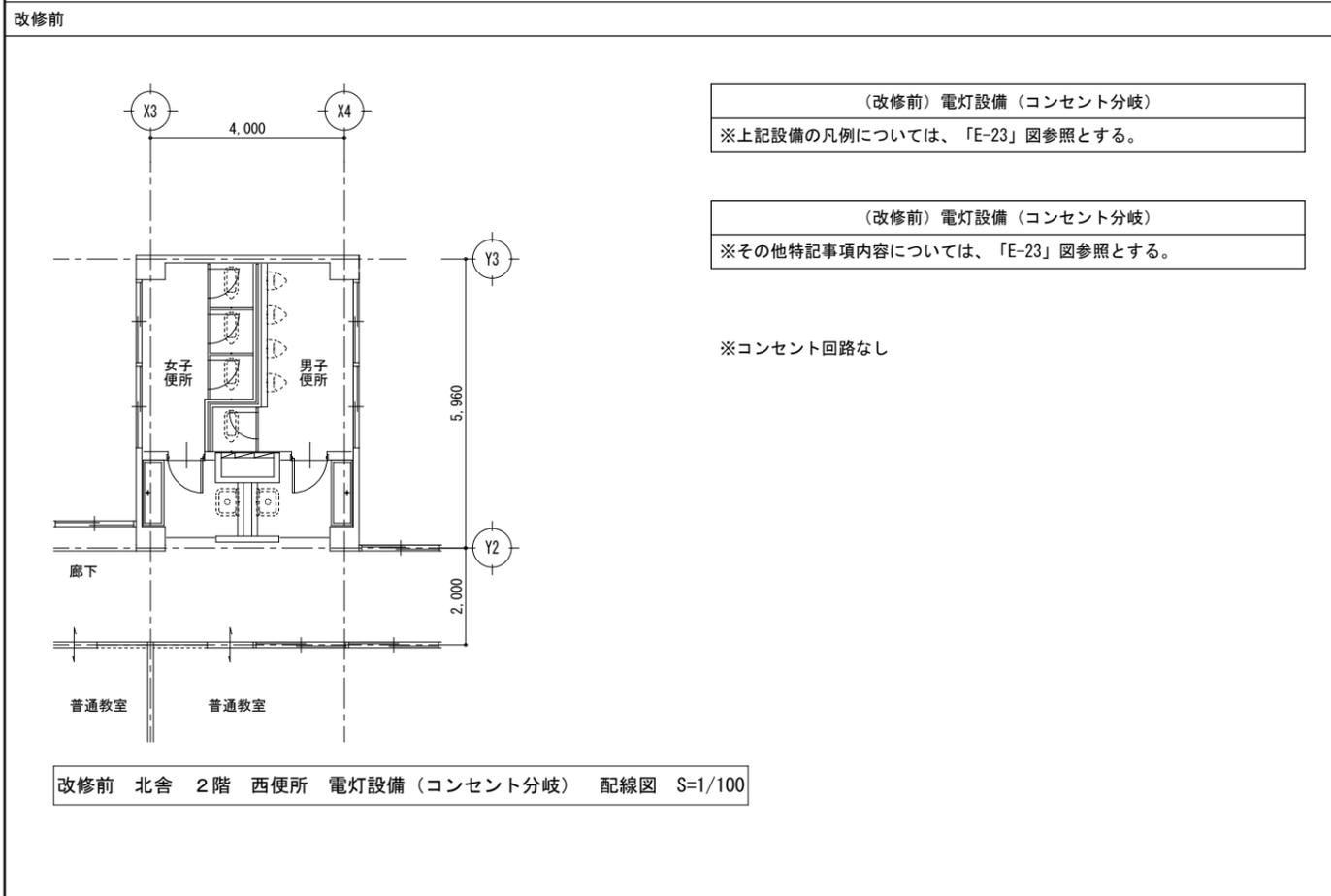
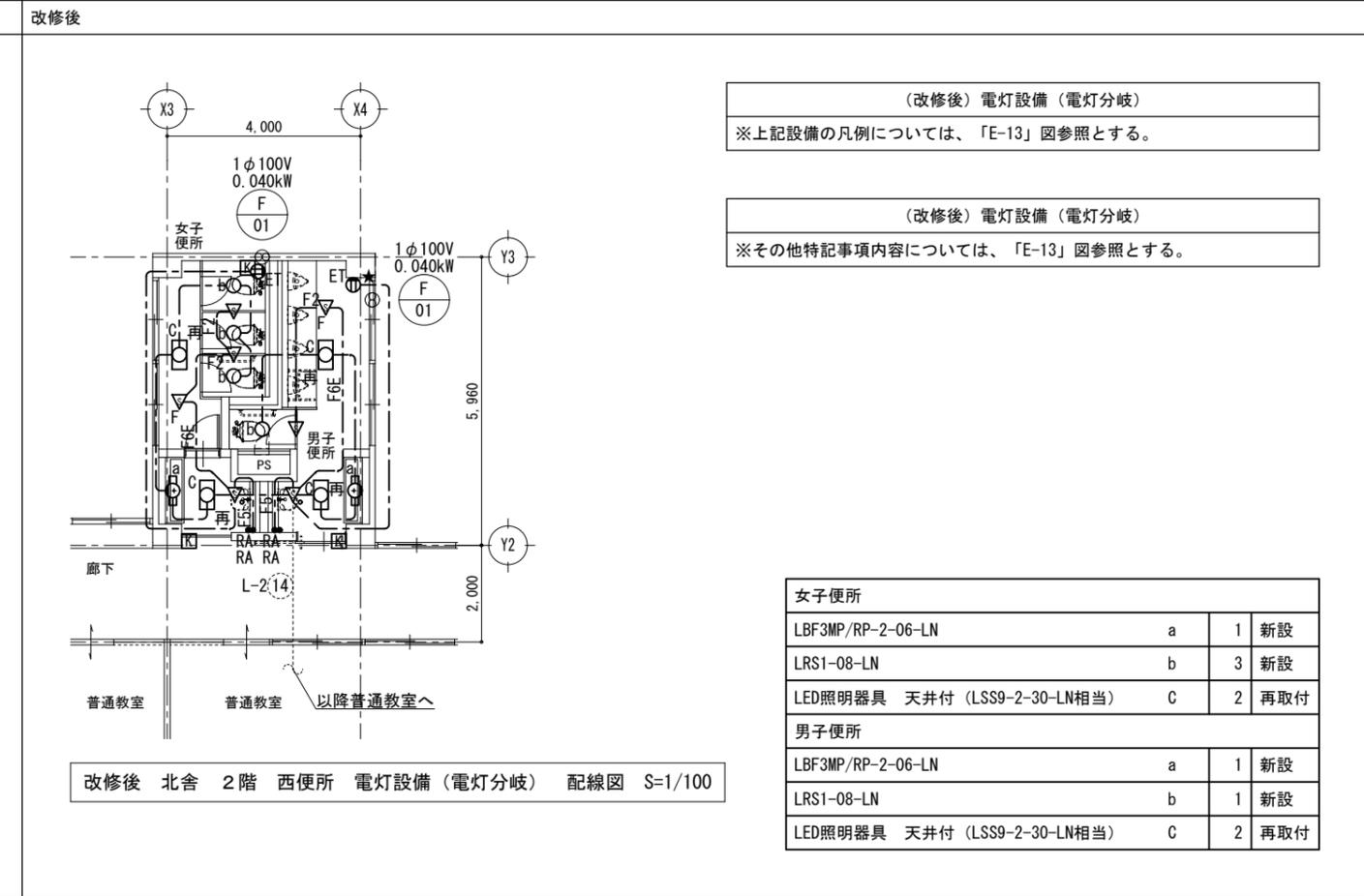
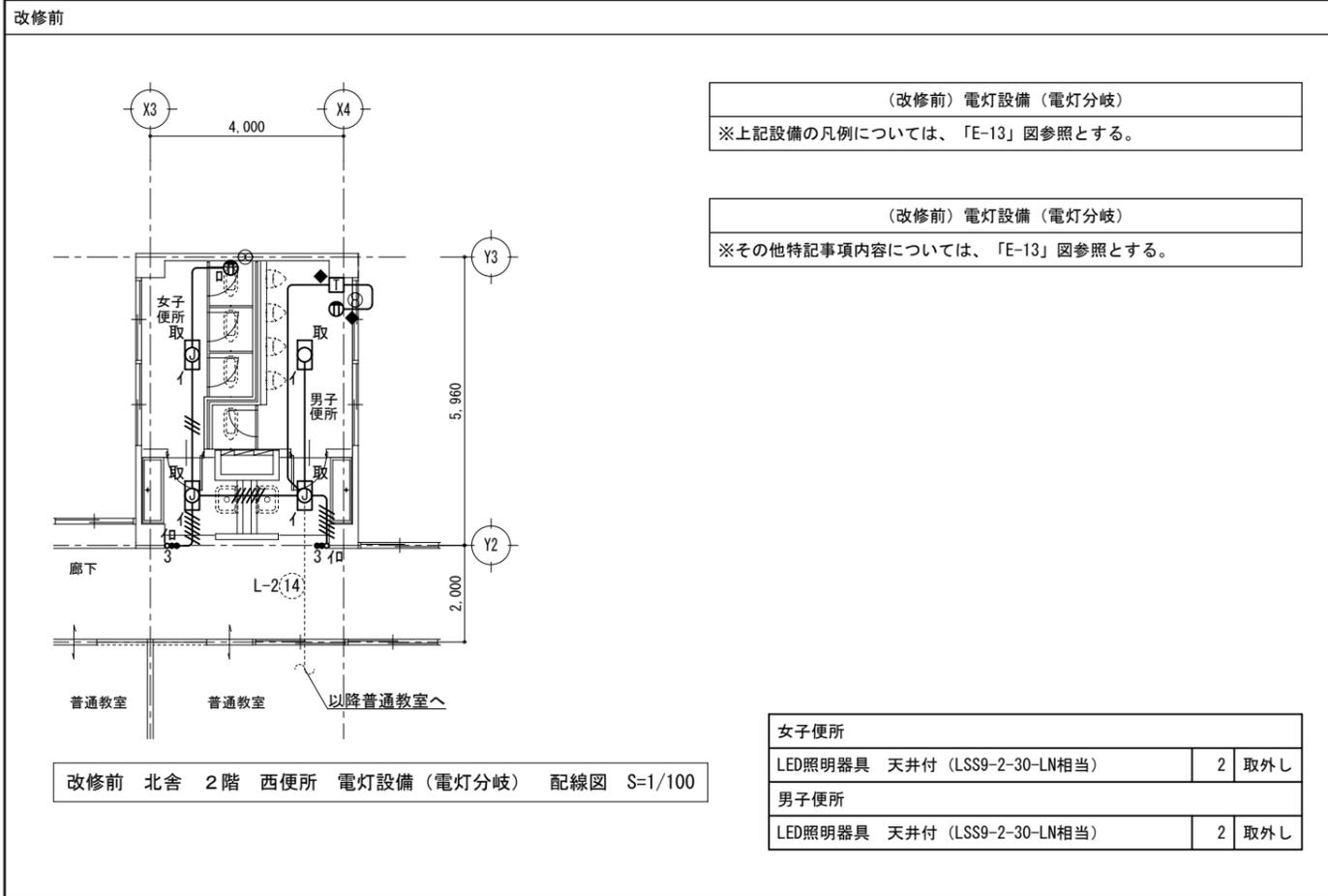
その他特記事項内容	
1. 既設隠蔽配管流用	・ 既設配線撤去後の既設隠蔽配管流用については、新設配線の再入線が可能であれば、流用出来るものとし、調査を実施して、監督職員へ報告する。

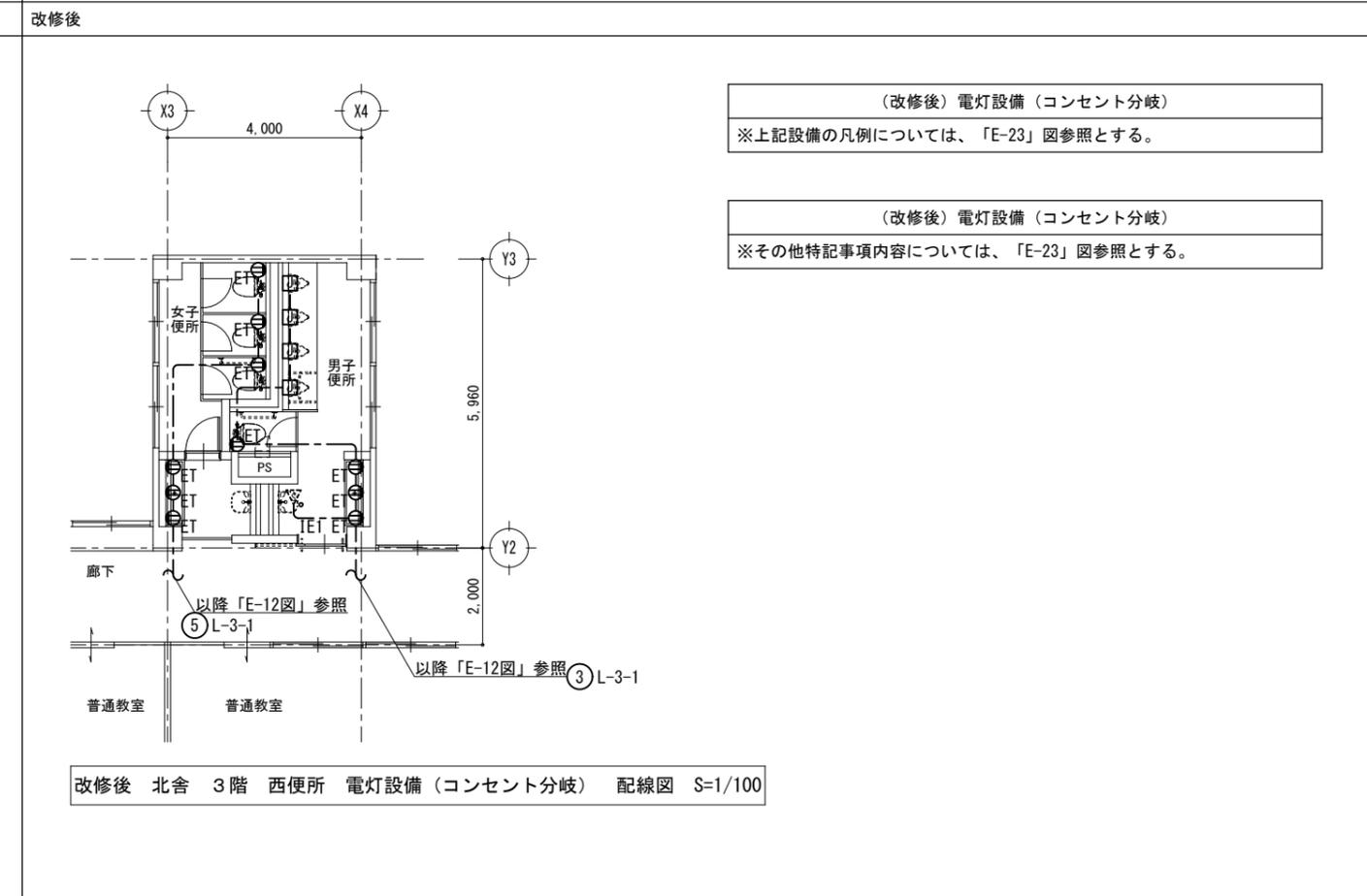
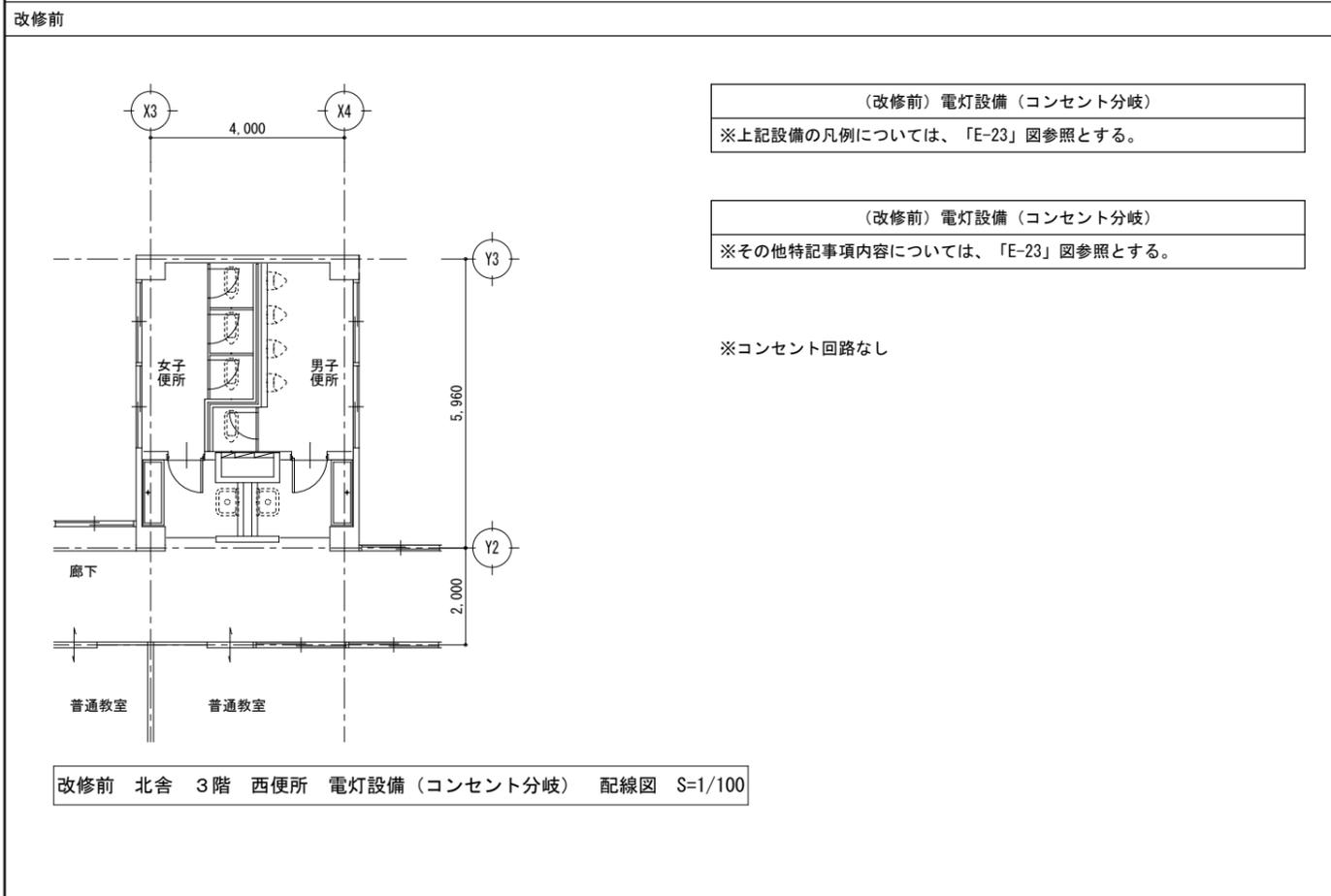
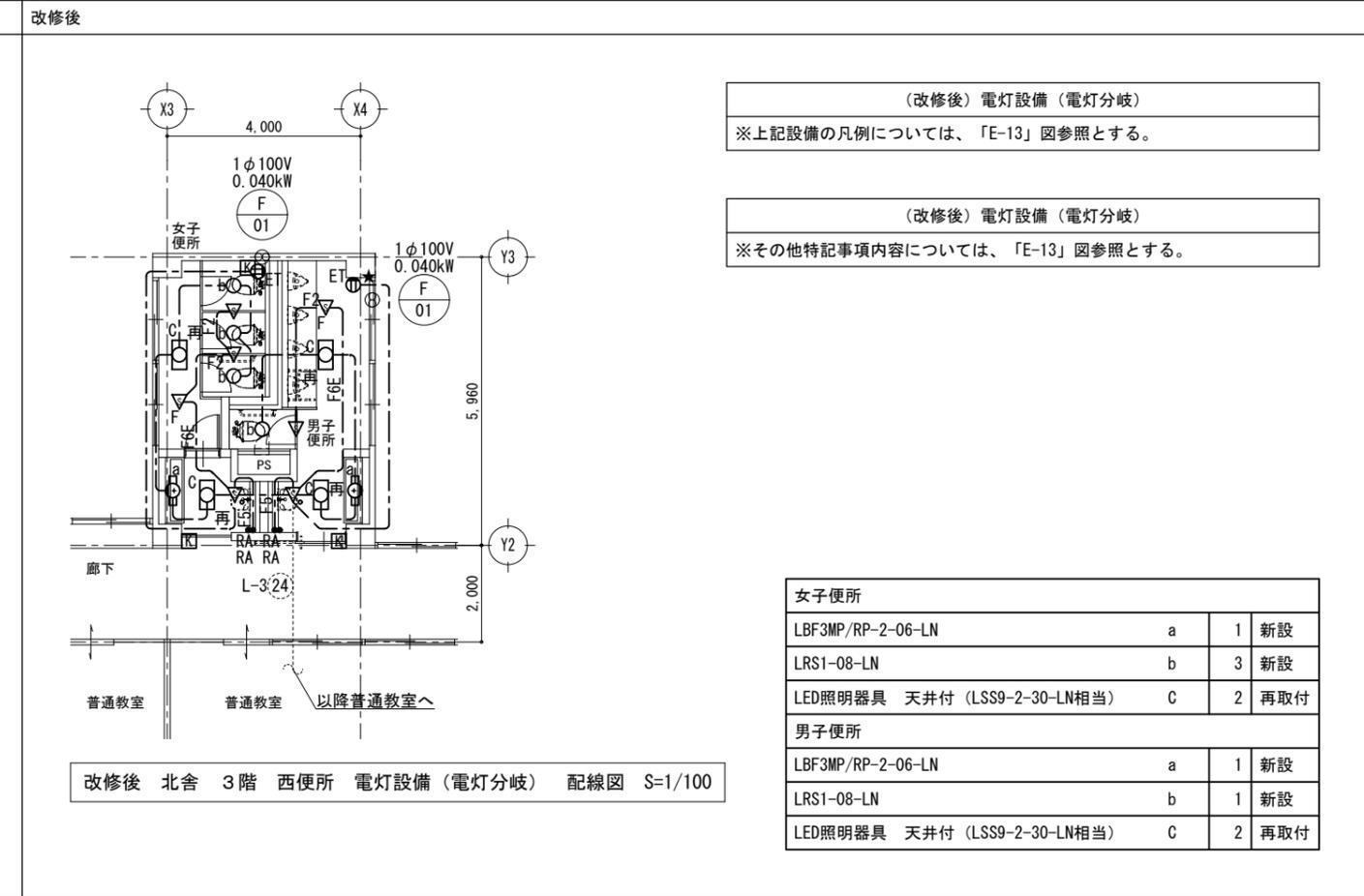
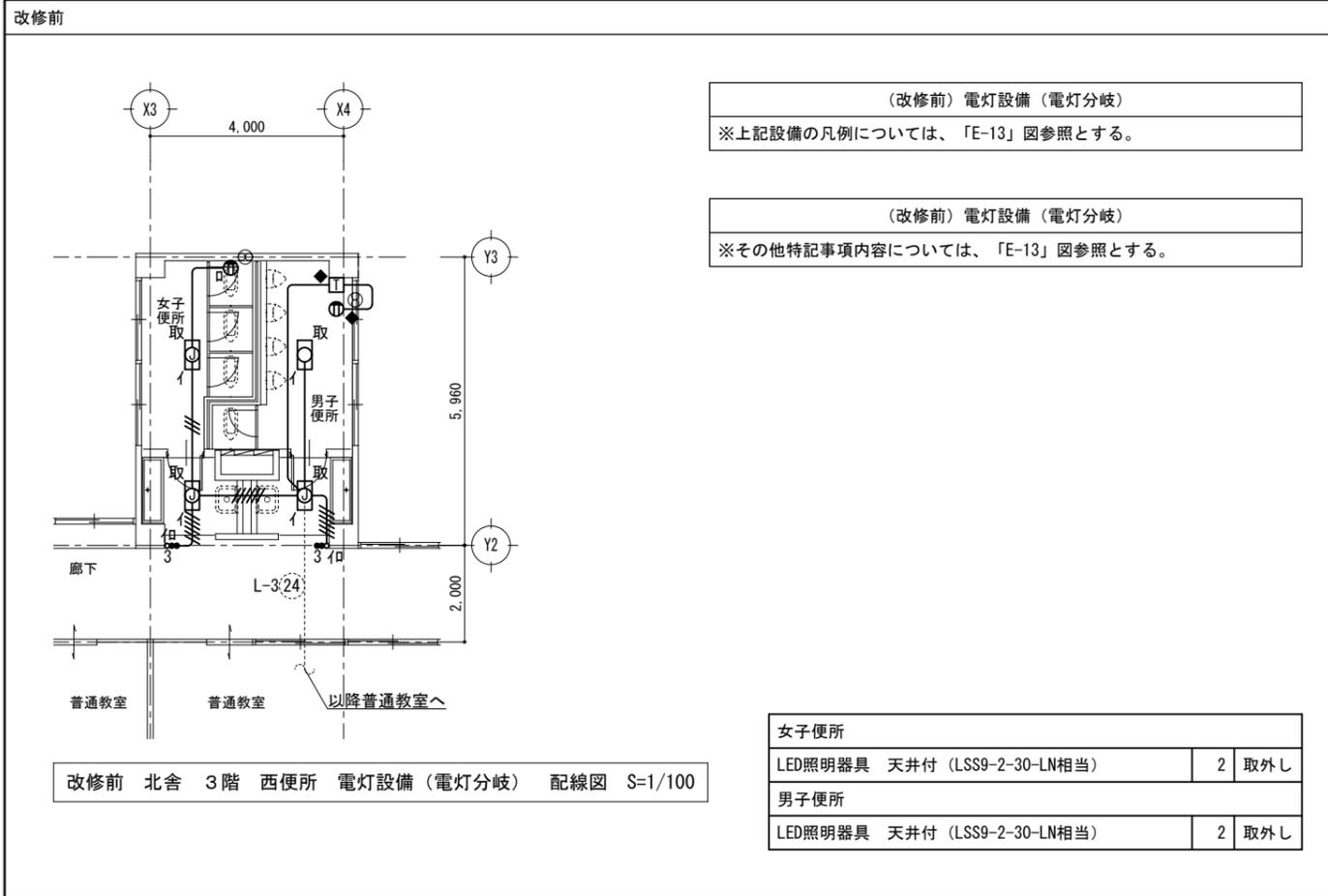
(改修後) 電灯設備 (電灯分岐)	
凡 例	
シンボル	
記号	名 称
	新設 ※コンクリート内の位置マークは流用とする。
○	照明器具 天井付 「J」明記はジョイントボックスを示す。
○	照明器具 壁付
○	照明器具 天井付
▽	照明制御装置 親機 人感センサ内蔵形
F▽	照明制御装置 親機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用
▽	照明制御装置 子機 人感センサ内蔵形
F▽	照明制御装置 子機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用
RA	照明制御装置 熱線式自動スイッチ 1P2Ax1 センサ別置形 OFF・自動・連続切替スイッチ付
Ⓜ	壁付コンセント 2P15Ax1
ⓂET	壁付コンセント 2P15Ax1 E. ET付
Ⓜ	カバープレート
⊗	換気扇 (機械設備工事)
⊗	換気扇 (機械設備工事) 再取付
再	既設機器再取付を示す。
○	照明器具 天井付 「J」明記はジョイントボックスを示す。
○	照明器具 天井付
▽	照明制御装置 親機 人感センサ内蔵形
F▽	照明制御装置 親機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用
▽	照明制御装置 子機 人感センサ内蔵形
F▽	照明制御装置 子機 人感センサ内蔵形 換気扇連動用
RA	照明制御装置 熱線式自動スイッチ 1P2Ax1 センサ別置形 OFF・自動・連続切替スイッチ付
既	既設を示す。
-----	既設流用機器類を示す。
配管配線	
記号	名 称
	新設 ※コンクリート内の配管は流用とする。
-----	EM-IE1.6mmx2 E1.6mm (E19) 露出
...IE5	EM-IE1.6mmx5 (E25) 露出
...IE6E	EM-IE1.6mmx6 E1.6mm (E25) 露出
—F2	EM-EEF1.6mm-2C 天井内
---	EM-EEF1.6mm-3C(1CE) 天井内 (壁内保護管(PF16) 隠蔽、又は壁面保護管(MM1-A) 露出)
—F4	EM-EEF1.6mm-2Cx2 天井内(壁内保護管(PF22) 隠蔽)
—F5	EM-EEF1.6mm-2C+3C 天井内(壁内保護管(PF28) 隠蔽)
—F6E	EM-EEF1.6mm-2Cx2+3C(1CE) 天井内
★	MM1 ※立下箇所を示す。
	回路番号
Ⓜ	一般回路 100V回路
	既設流用
-----	既設流用配管配線を示す。

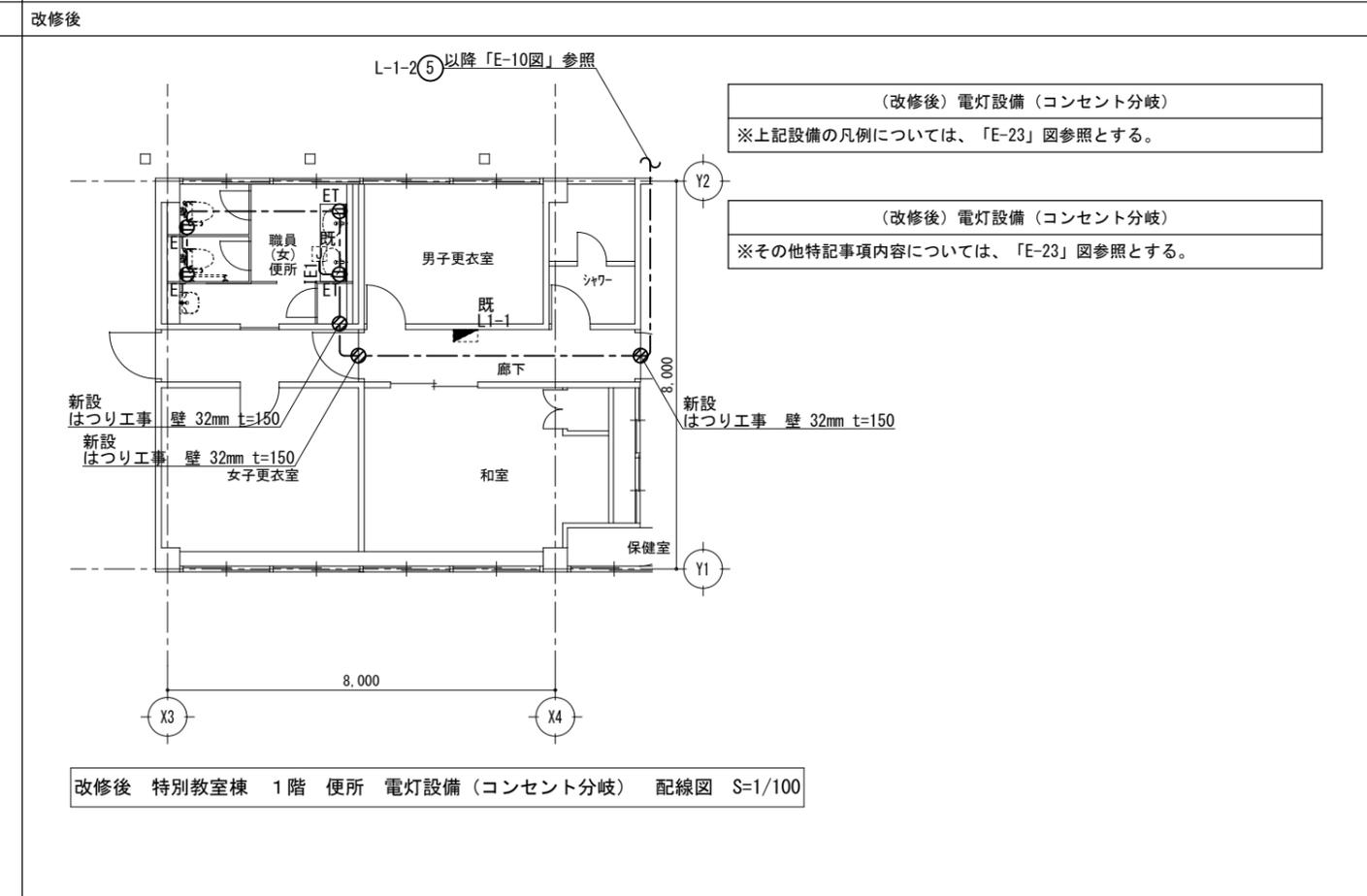
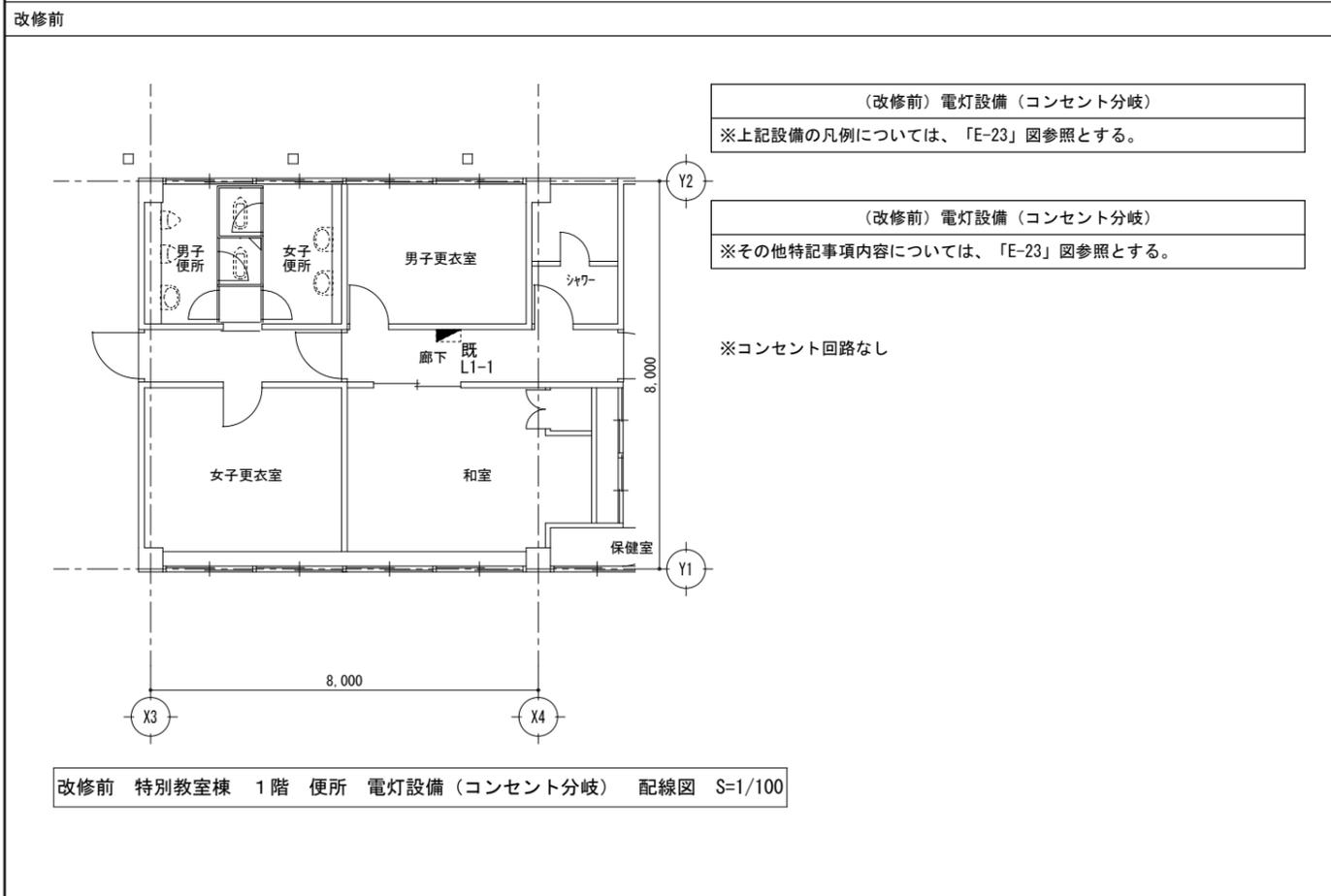
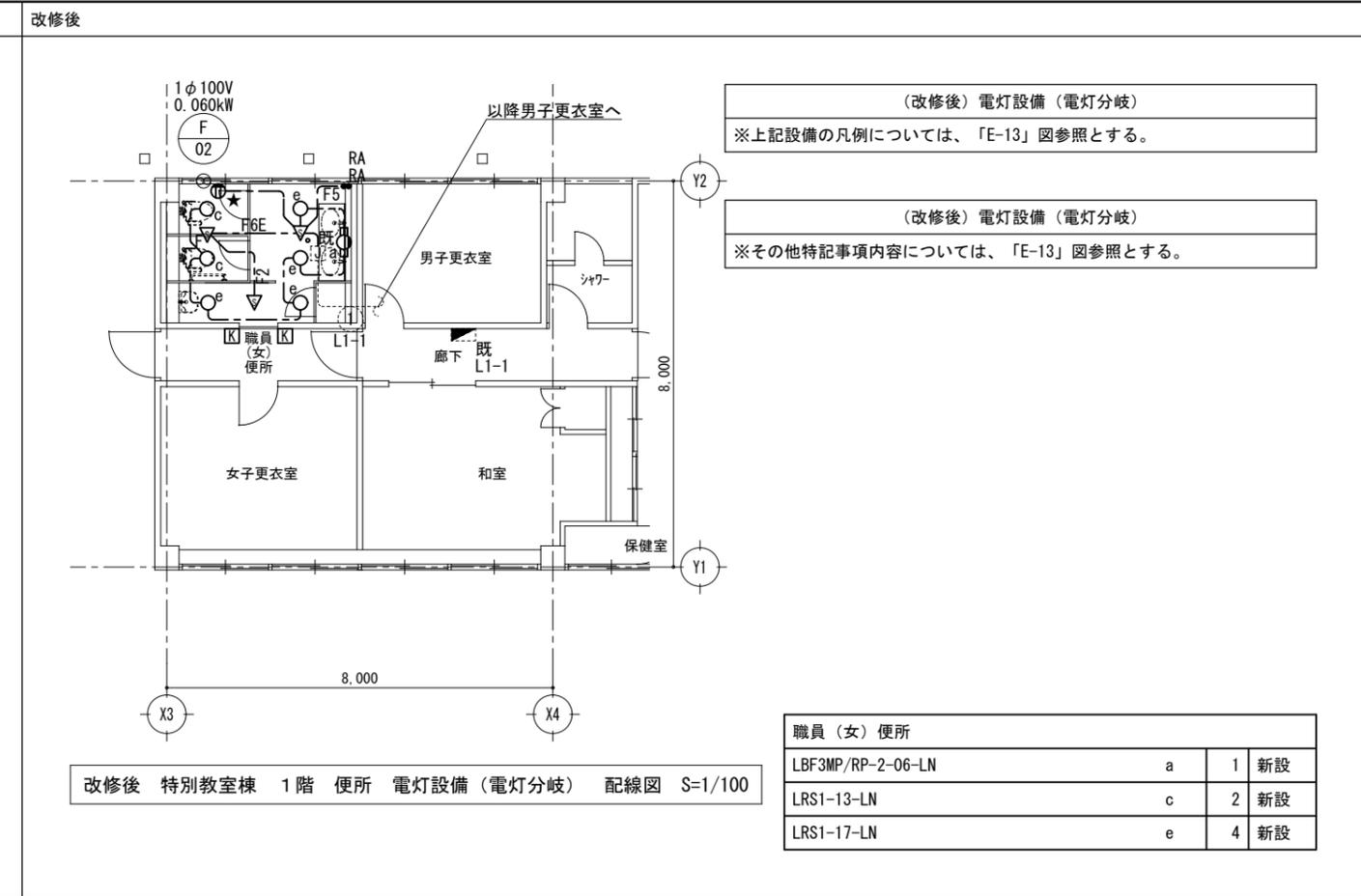
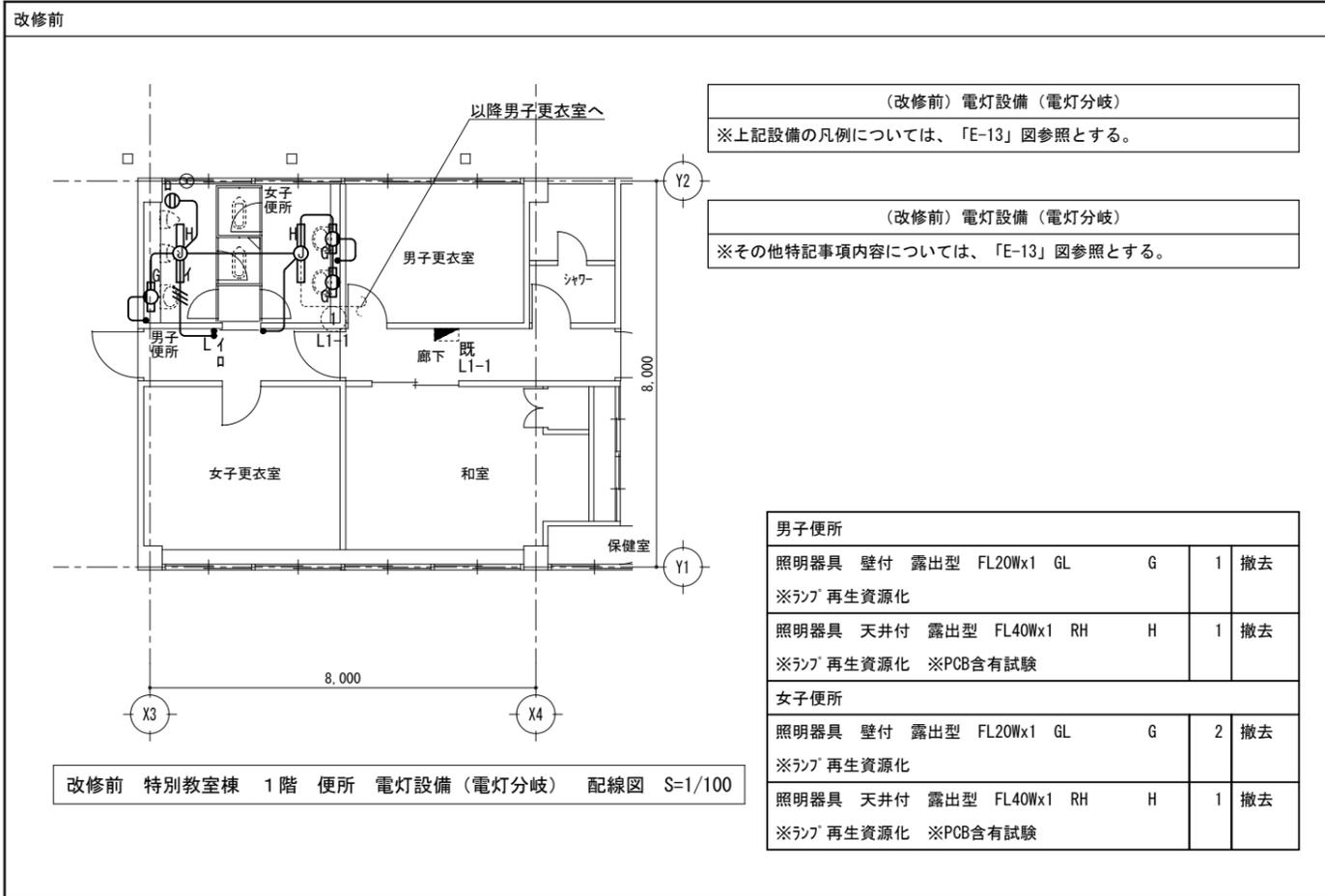












改修前

(改修前) 電灯設備 (電灯分岐)
※上記設備の凡例については、「E-13」図参照とする。

(改修前) 電灯設備 (電灯分岐)
※その他特記事項内容については、「E-13」図参照とする。

改修前 屋外トイレ1 電灯設備 (電灯分岐) 配線図 S=1/100

男子便所	照明器具 壁付 露出型 FDL27Wx1	3	撤去
※ラング 再生資源化			
女子便所	照明器具 壁付 露出型 FDL27Wx1	3	撤去
※ラング 再生資源化			

改修後

(改修後) 電灯設備 (電灯分岐)
※上記設備の凡例については、「E-13」図参照とする。

(改修後) 電灯設備 (電灯分岐)
※その他特記事項内容については、「E-13」図参照とする。

改修後 屋外トイレ1 電灯設備 (電灯分岐) 配線図 S=1/100

男子便所	LBF3MP/RP-2-06-LN	3	新設
女子便所	LBF3MP/RP-2-06-LN	3	新設

改修前

(改修前) 電灯設備 (コンセント分岐)
※上記設備の凡例については、「E-23」図参照とする。

(改修前) 電灯設備 (コンセント分岐)
※その他特記事項内容については、「E-23」図参照とする。

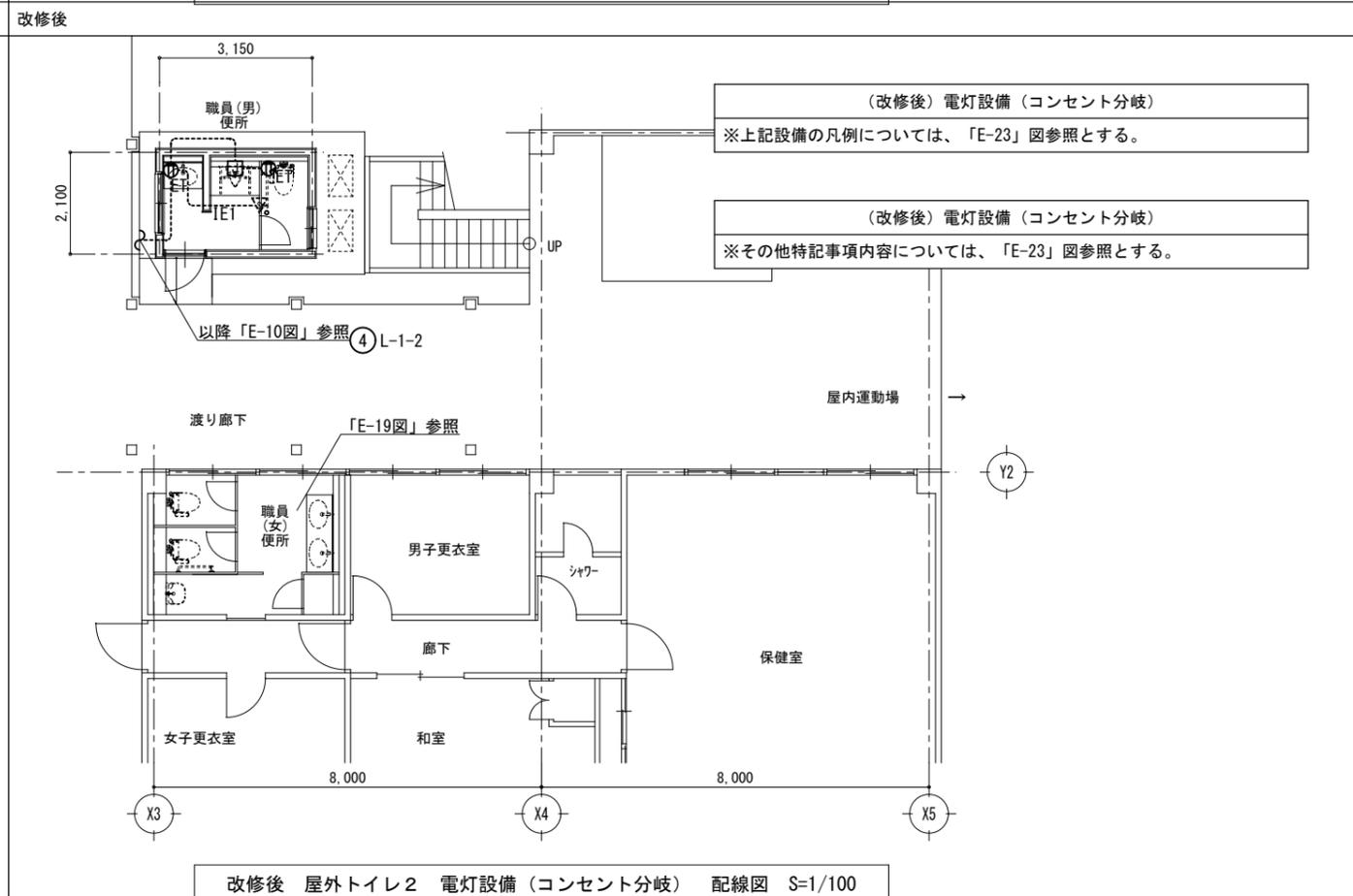
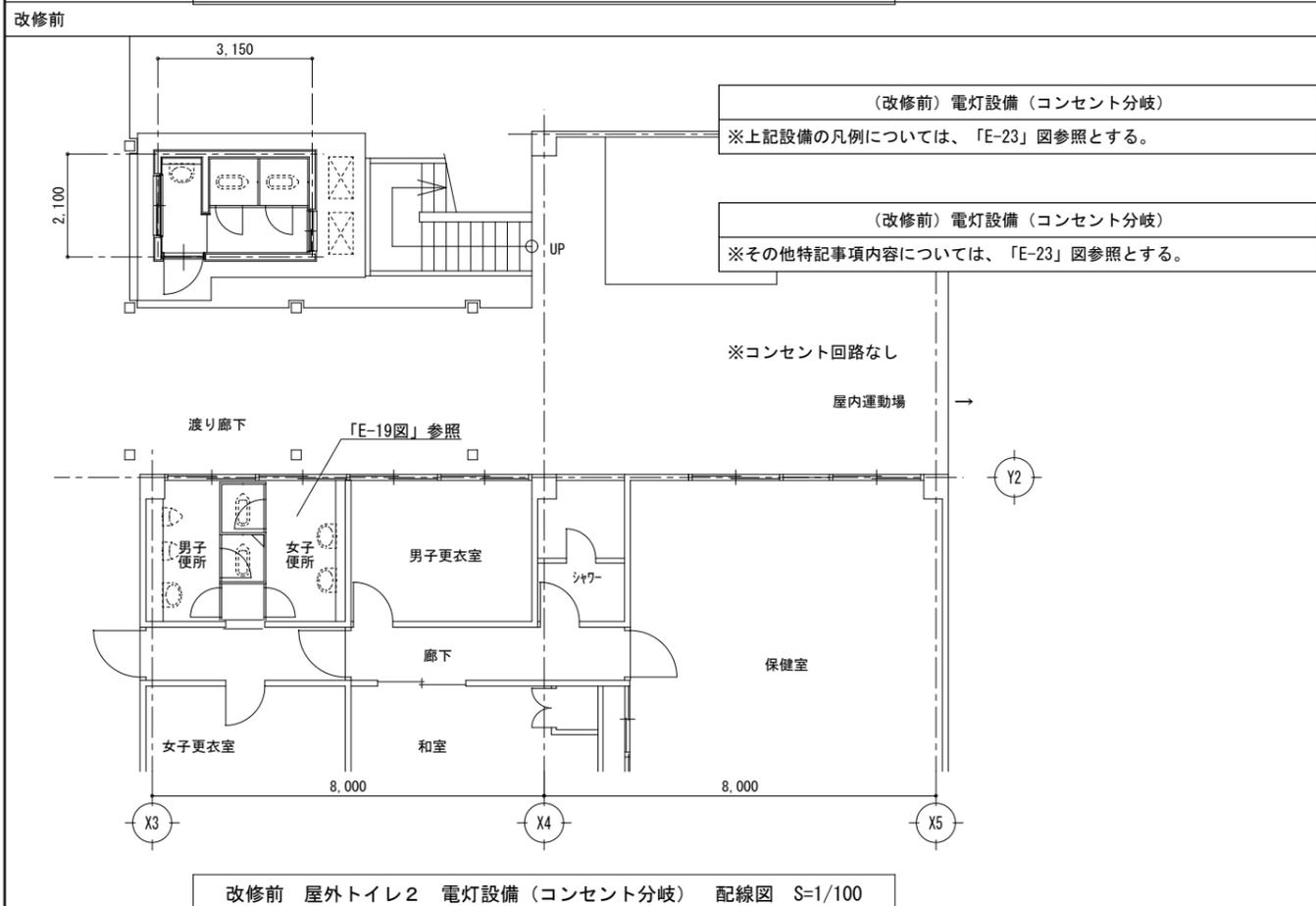
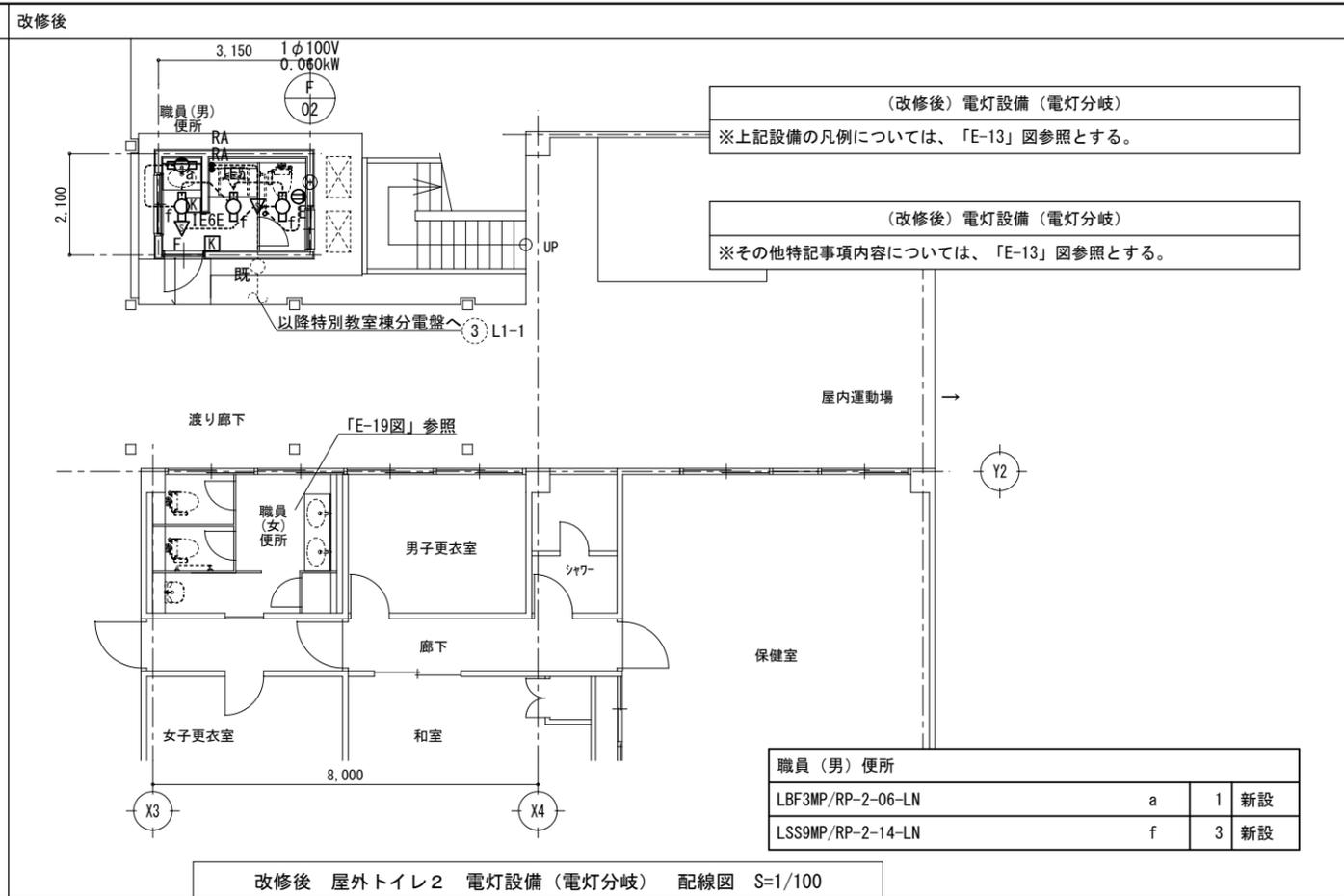
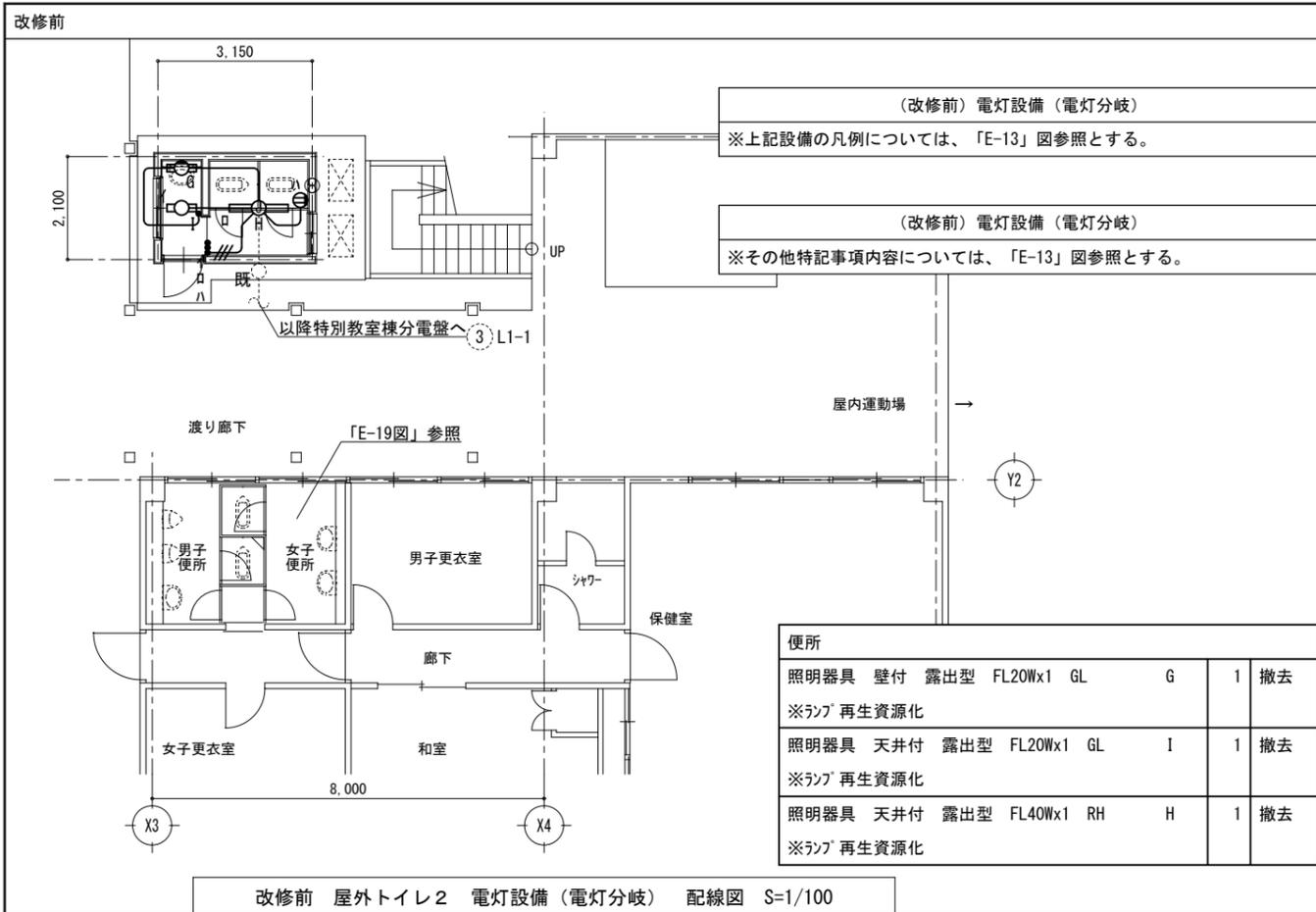
改修前 屋外トイレ1 電灯設備 (コンセント分岐) 配線図 S=1/100

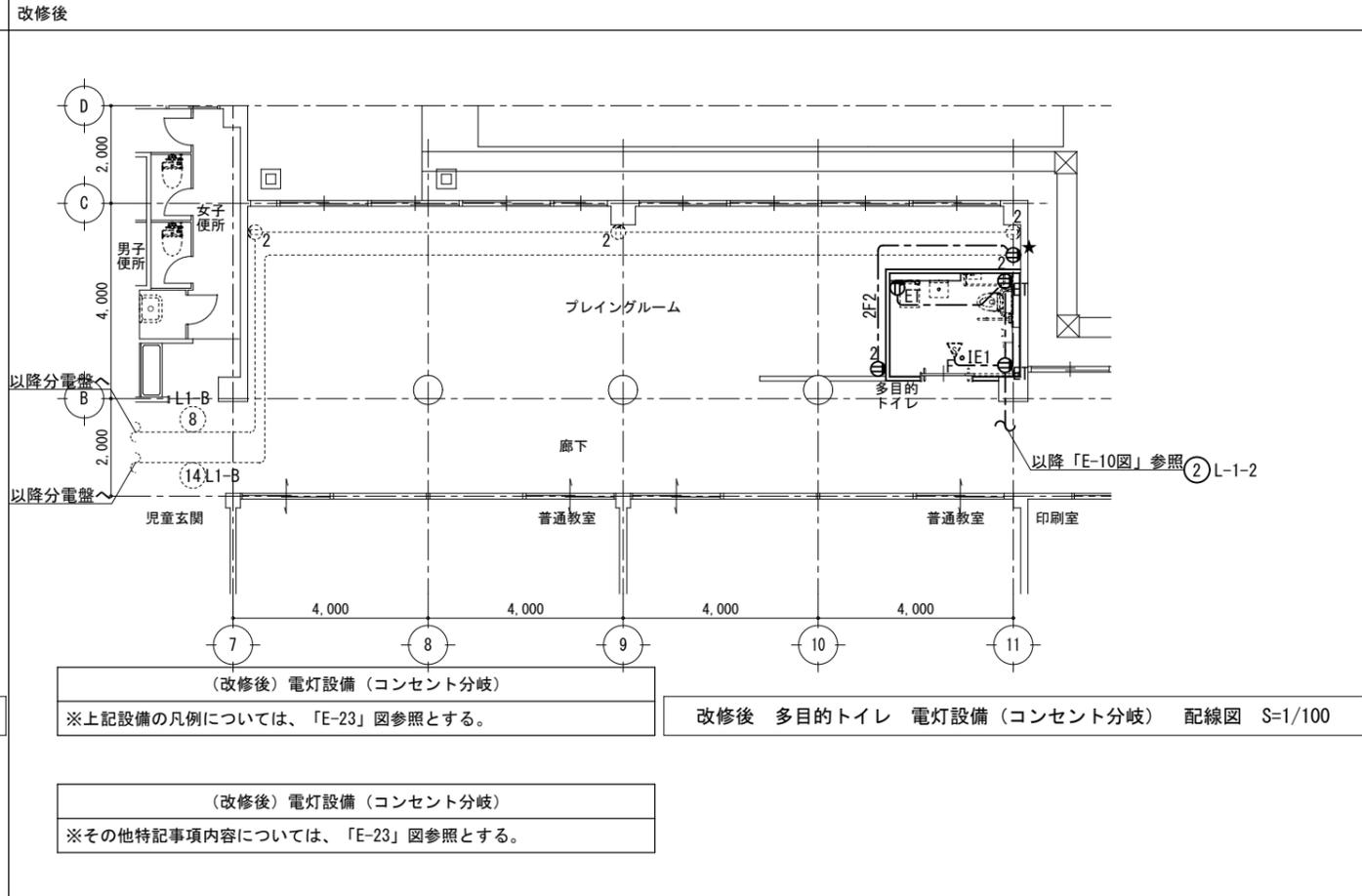
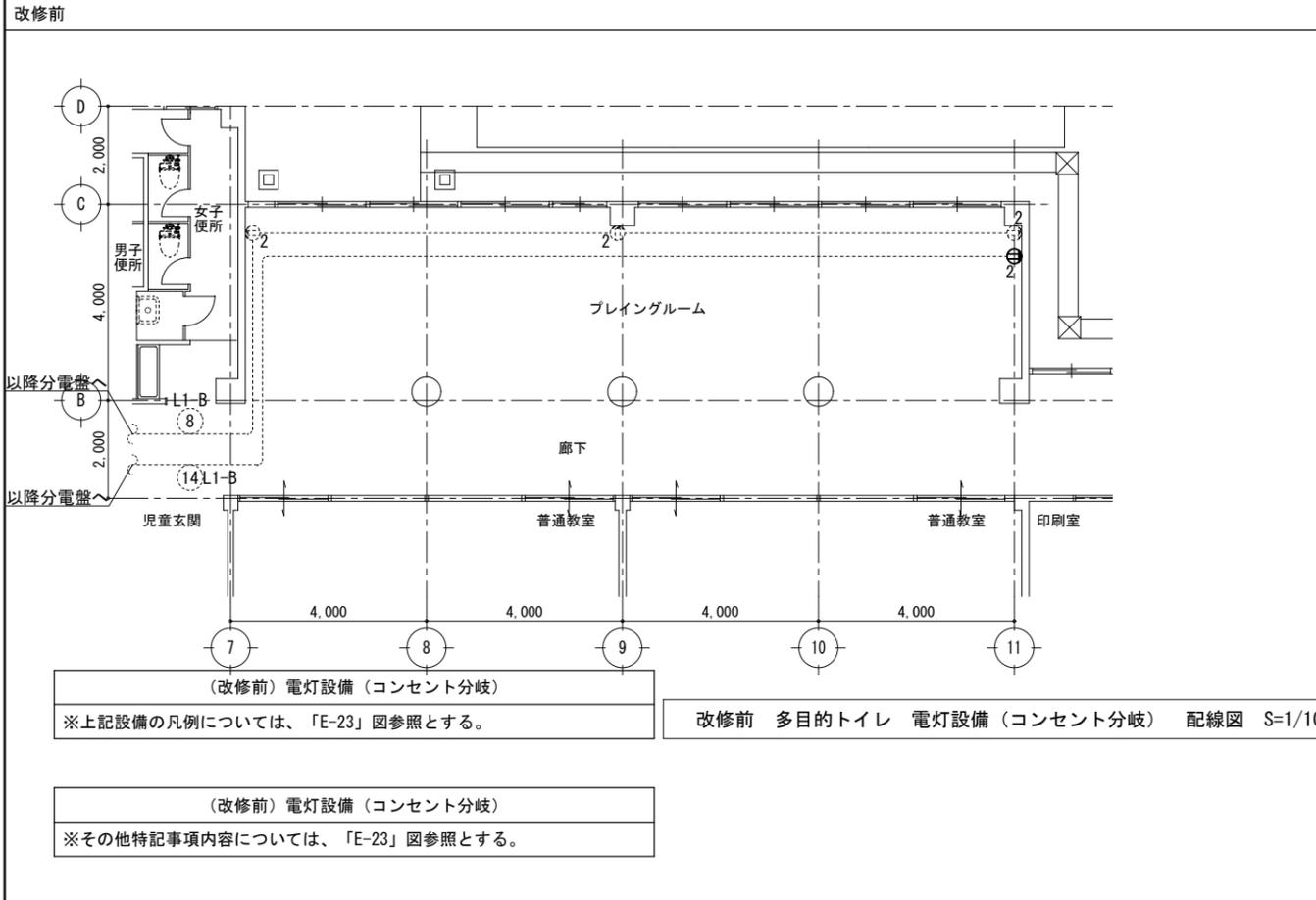
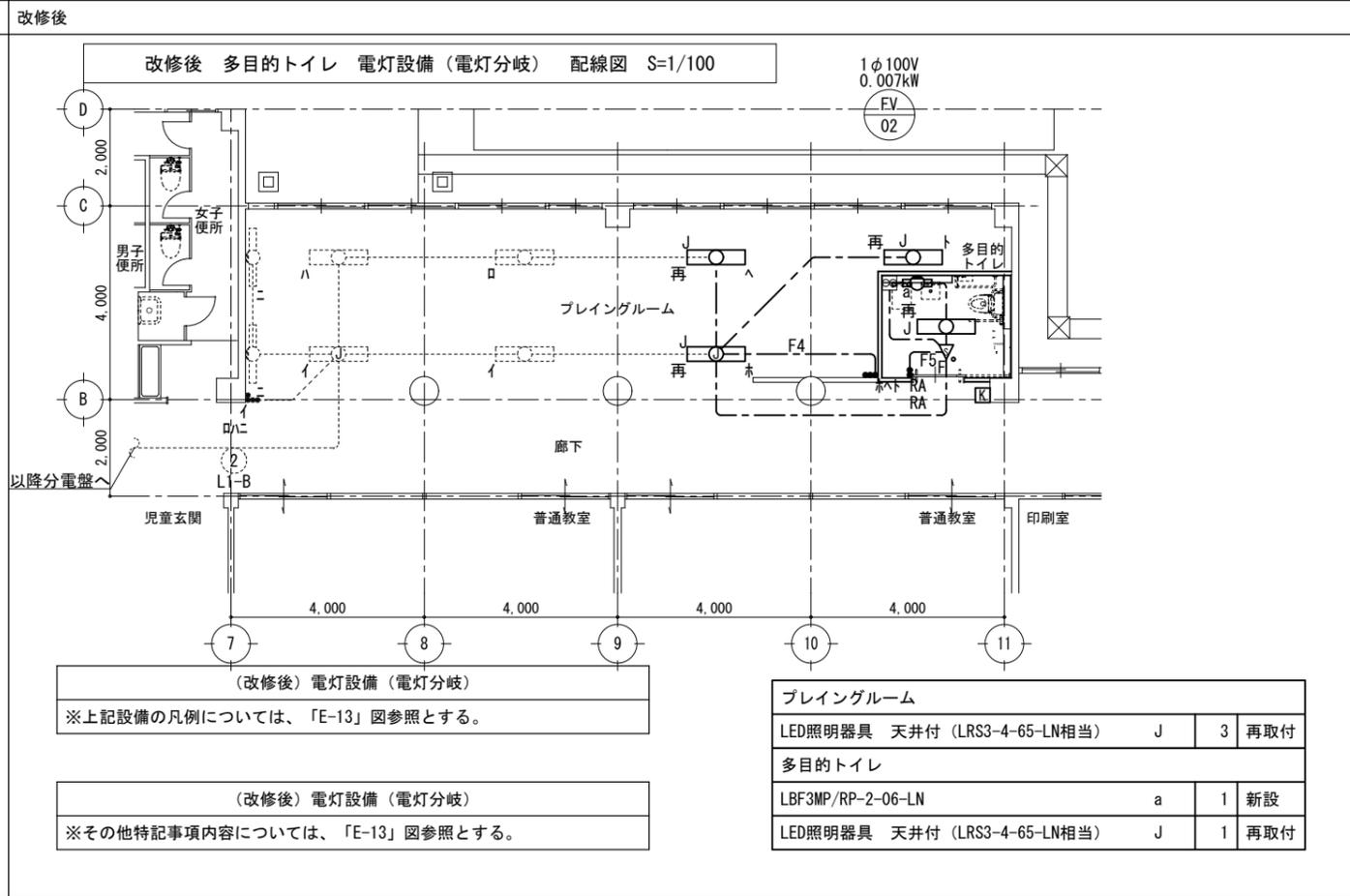
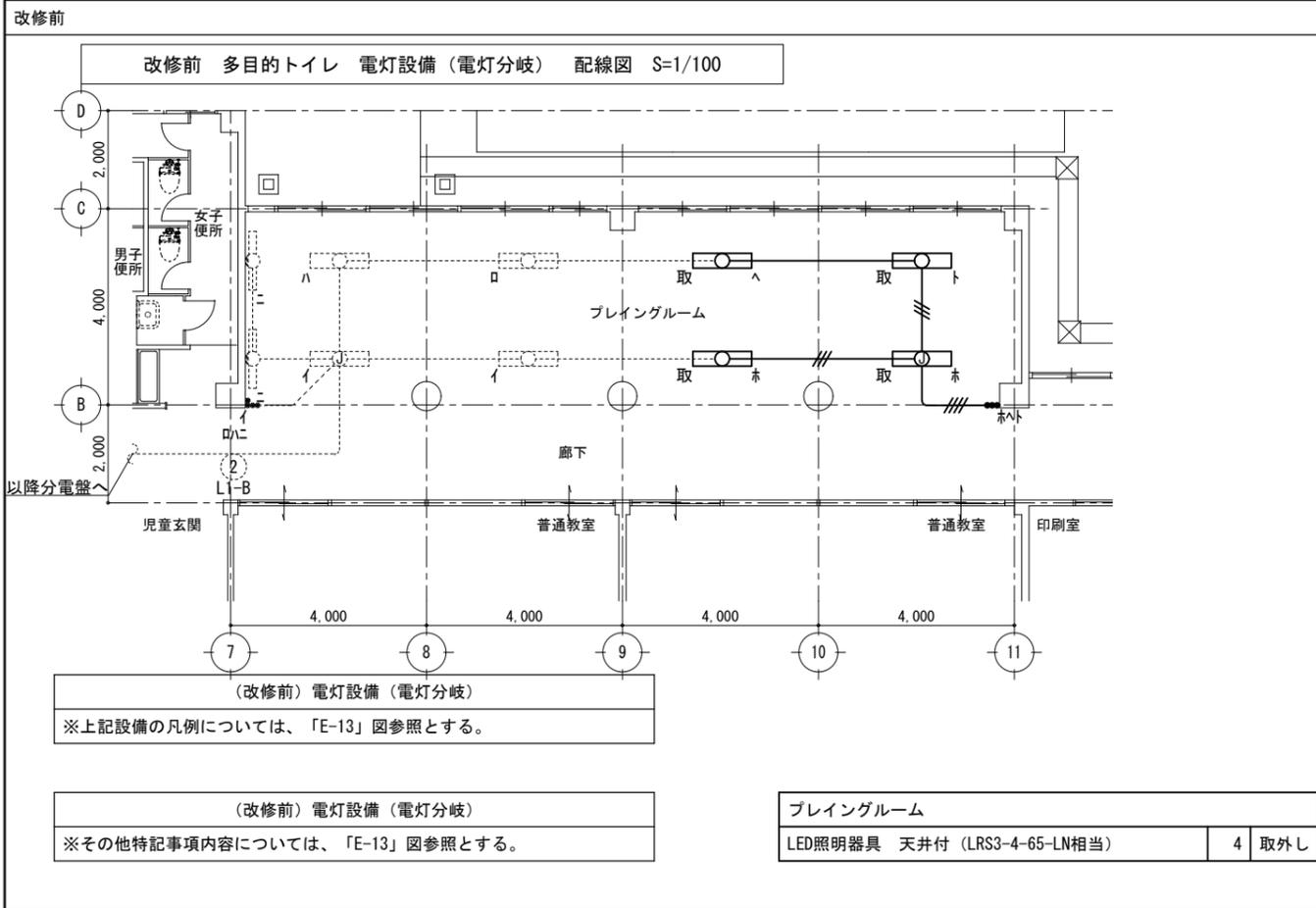
改修後

(改修後) 電灯設備 (コンセント分岐)
※上記設備の凡例については、「E-23」図参照とする。

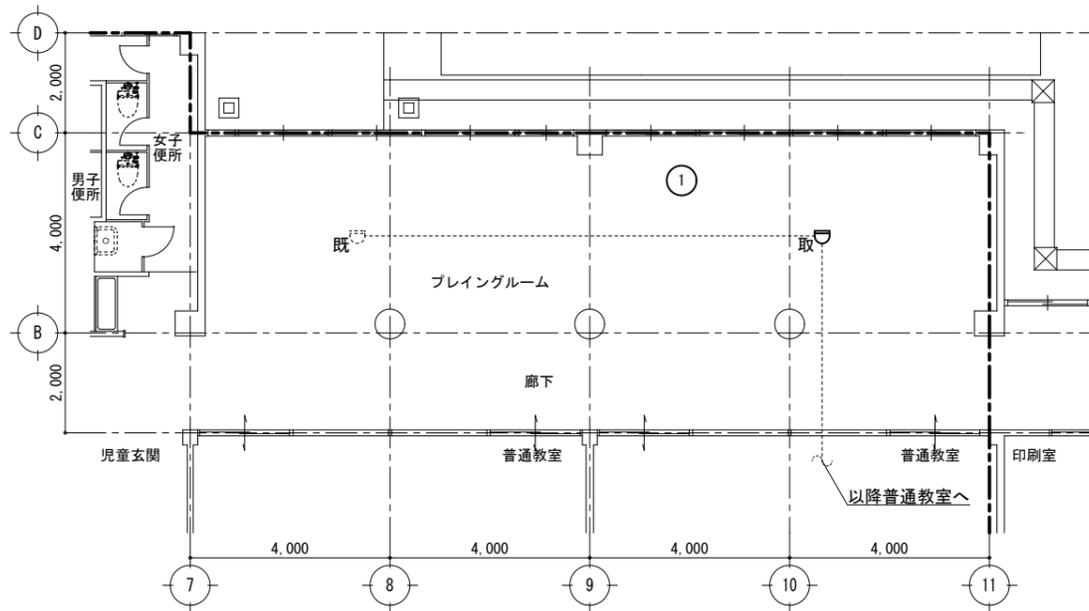
(改修後) 電灯設備 (コンセント分岐)
※その他特記事項内容については、「E-23」図参照とする。

改修後 屋外トイレ1 電灯設備 (コンセント分岐) 配線図 S=1/100



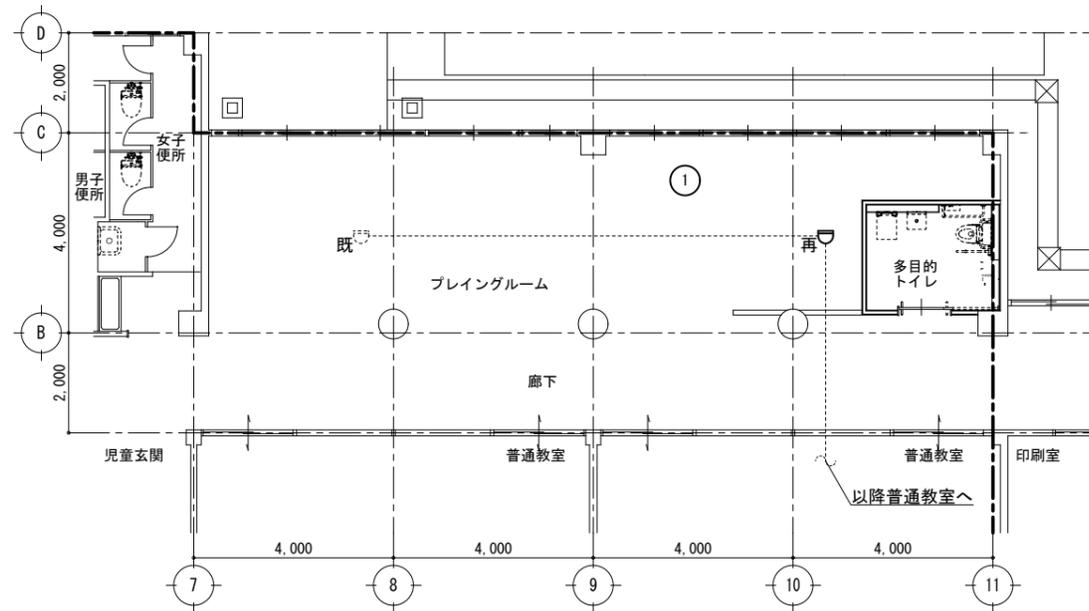


改修前



改修前 多目的トイレ 火災報知設備（自動火災報知） 配線図 S=1/100

改修後



改修後 多目的トイレ 火災報知設備（自動火災報知） 配線図 S=1/100

(改修前) 電灯設備 (コンセント分岐)	
凡 例	
シンボル	
記号	名 称
	撤去 ※コンクリート内の位置は残置とする。
ⓐ	壁付コンセント 2P15Ax1
ⓑ	壁付コンセント 2P15Ax2
	既設残置
既	既設を示す。
-----	既設残置機器類を示す。
配管配線	
記号	名 称
	撤去 ※コンクリート内の配管は残置とする。
--//--	IV2.0mmx2 (既設残置PF16) 床隠蔽
-//-	VVF2.0mm-2C 天井内(壁面保護管(MM1-A)露出)
...MM1...	VVF2.0mm-2C (MM1-A)露出
★	MM1 ※立下箇所を示す。
	回路番号
(No)	一般回路 100V回路
	既設残置
-----	既設残置配管配線を示す。

その他特記事項内容	
1. 事前調査	・既設配管配線等の現況設備について、調査を実施して写真等を用いて監督職員へ報告する。

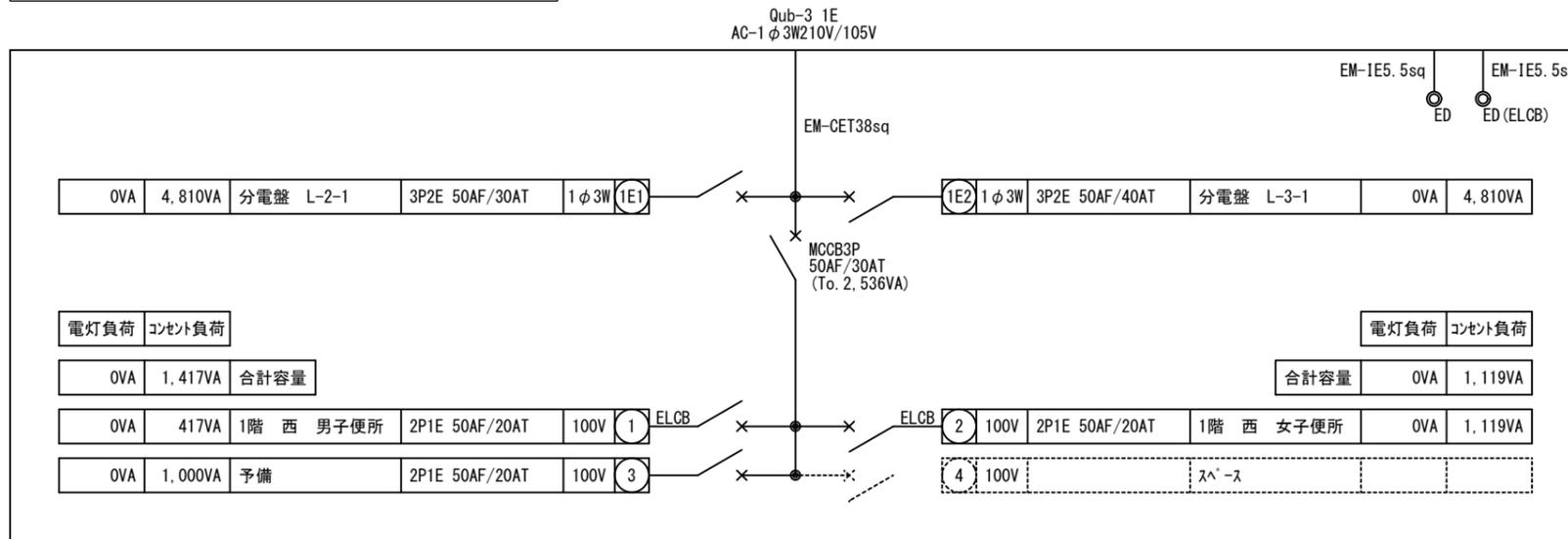
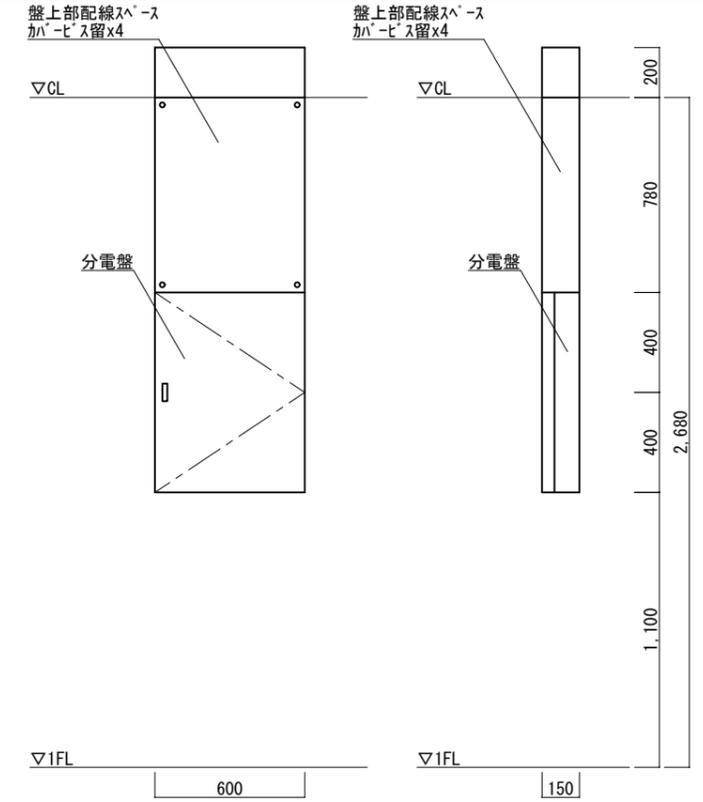
(改修前) 火災報知設備 (自動火災報知)	
凡 例	
シンボル	
記号	名 称
	取外し
取	既設機器取外しを示す。
☐	スポット型感知器 差動式 2種 露出
---	火災報知設備警戒区域境界線
(No)	火災報知設備警戒区域番号
	既設残置
既	既設を示す。
-----	既設残置機器類を示す。
配管配線	
記号	名 称
	既設残置
-----	既設残置配管配線を示す。

(改修後) 電灯設備 (コンセント分岐)	
凡 例	
シンボル	
記号	名 称
	新設 ※コンクリート内の位置は流用とする。
ⓐ	壁付コンセント 2P15Ax1
ⓑ	壁付コンセント 2P15Ax2
ⓐET	壁付コンセント 2P15Ax1 E.ET付
☒	カバープレート
☐	ジョイントボックス
☉	はつり工事 壁又は床 t=120~150 25mm 他サイズ等は図中明記 貫通後の配線保護又は粘土詰めを含むものとする。
	既設流用
既	既設を示す。
-----	既設流用機器類を示す。
配管配線	
記号	名 称
	新設 ※コンクリート内の配管は流用とする。
JE1	EM-IE1.6mmx1 天井内(壁内保護管(PF16)隠蔽)
IE1	EM-IE1.6mmx1 (E19)露出
IE2	EM-IE2.0mmx2 E1.6mm (E19)露出
EF2	EM-EEF2.0mm-2C 天井内 (壁内保護管(PF22)隠蔽、又は壁面保護管(MM1-A)露出)
EF3	EM-EEF2.0mm-3C(1CE) 天井内(壁内保護管(PF22)隠蔽)
★	MM1 ※立下箇所を示す。
	回路番号
(No)	一般回路 100V回路
	既設流用
-----	既設流用配管配線を示す。

(改修後) 火災報知設備 (自動火災報知)	
凡 例	
シンボル	
記号	名 称
	再取付
再	既設機器再取付を示す。
☐	スポット型感知器 差動式 2種 露出
---	火災報知設備警戒区域境界線
(No)	火災報知設備警戒区域番号
	既設流用
既	既設を示す。
-----	既設流用機器類を示す。
配管配線	
記号	名 称
	既設流用
-----	既設流用配管配線を示す。

その他特記事項内容	
1. 既設隠蔽配管流用	・既設配線撤去後の既設隠蔽配管流用については、新設配線の再入線が可能であれば、流用出来るものとし、調査を実施して、監督職員へ報告する。

盤名称		L-1-1	
キャビネット形式		T	
分電盤部	電気方式	種別	常用
		相数	単相3線式
		電圧	210V/105V
負荷容量		12,156VA	-
主幹器具	種類	MCCB3P	-
	定格電流	30AT	-
	定格遮断電流	13.9kA以上	-
電力幹線	種別	EM-CET38sq	-
	入線方向	上方より	-
※1 盤一括警報用接点(無電圧a接点)を設ける。			
※2 主回路導体接続部は、ねじ締付確認が出来るものとする。			
※3 225AF以上の主幹MCCBの一次側には端子を設ける。			
※4 分岐配線用遮断器は協約形1P用とする。			
2P1E100V, 2P2E200V			



- ELCB2P1E 50AF/20AT x 2
- MCCB2P1E 50AF/20AT x 1
- MCCB3P2E 50AF/30AT x 2
- MCCB3P2E 50AF/40AT x 1

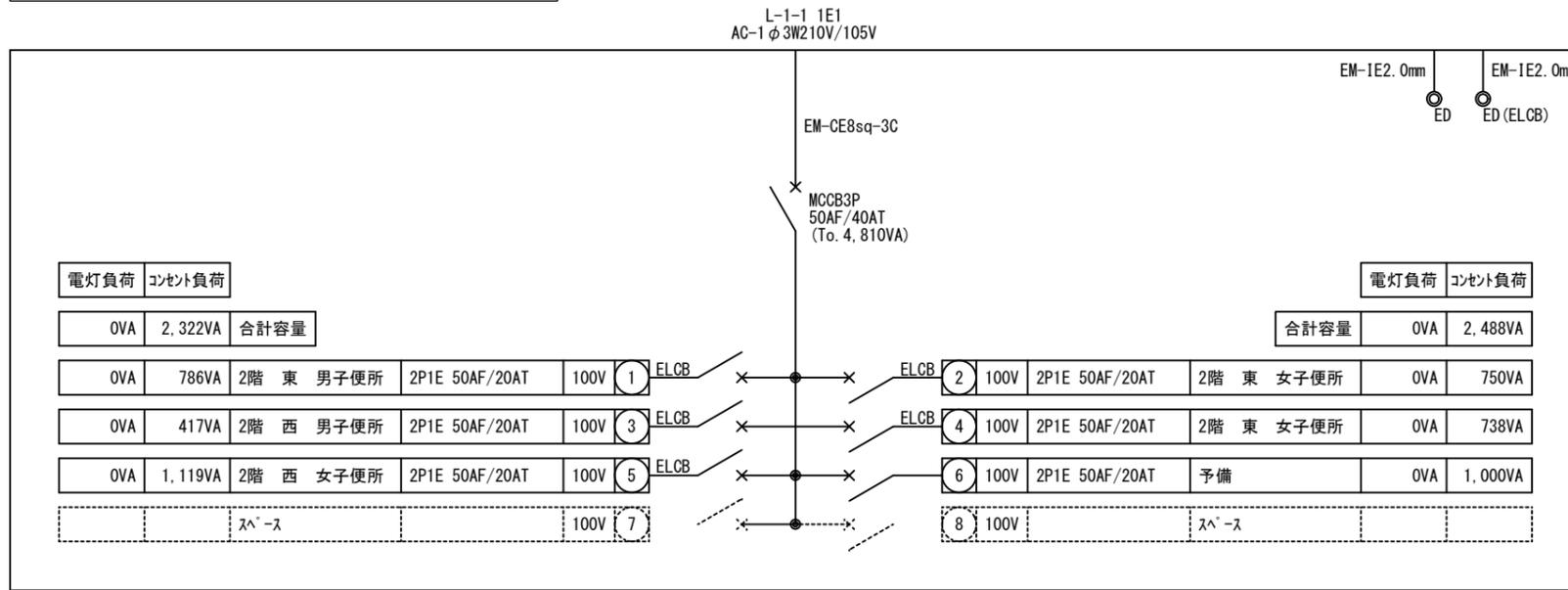
CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE	A2: S=1/20
DATE	令和6年10月

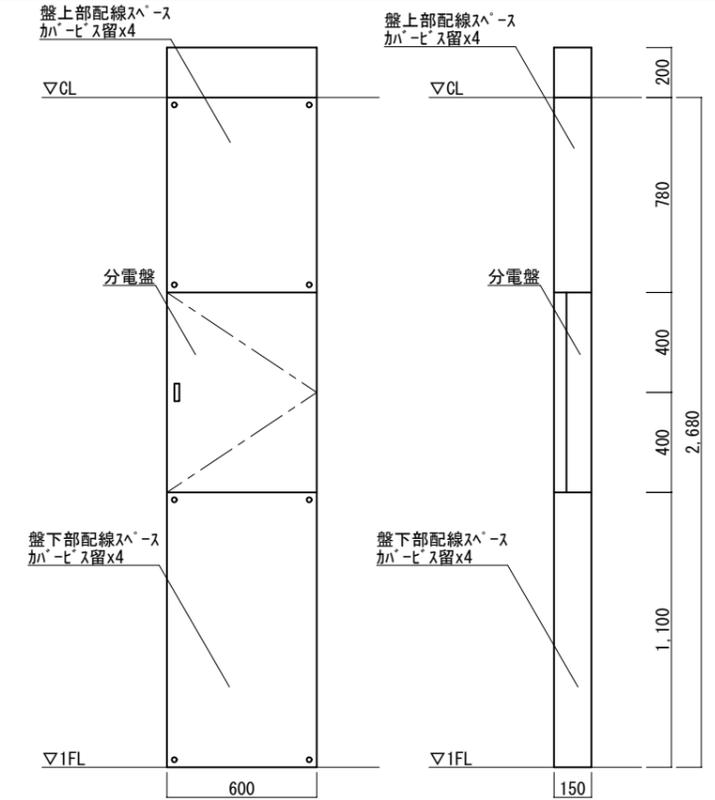
盤名称		L-2-1	
キャビネット形式		T	
分電盤部	電気方式	種別	常用
		相数	単相3線式
		電圧	210V/105V
負荷容量		4.810VA	-
主幹器具	種類	MCCB3P	-
	定格電流	40AT	-
	定格遮断電流	9.7kA以上	-
電力幹線	種別	EM-CE8sq-3C	-
	入線方向	下方より	-

※1 盤一括警報用接点(無電圧a接点)を設ける。
 ※2 主回路導体接続部は、ねじ締付確認が出来るものとする。
 ※3 225AF以上の主幹MCCBの一次側には端子を設ける。
 ※4 分岐配線用遮断器は協約形1P用とする。

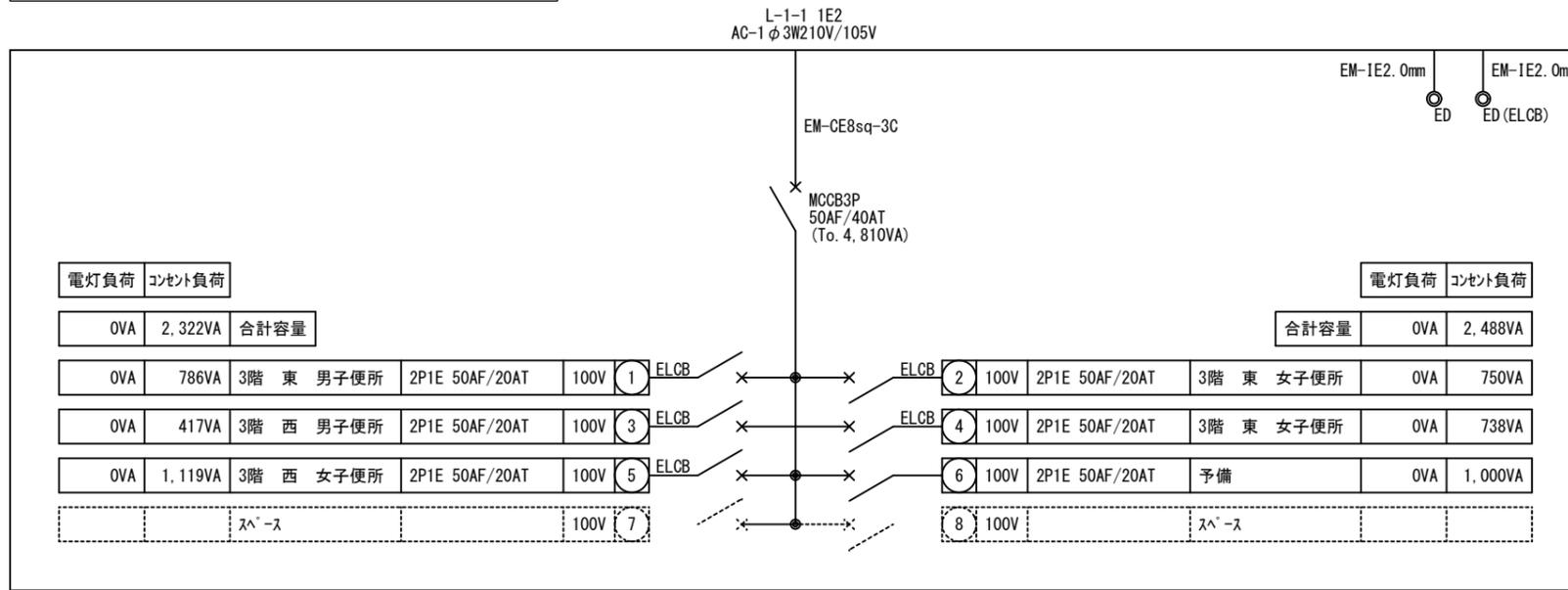
2P1E100V, 2P2E200V



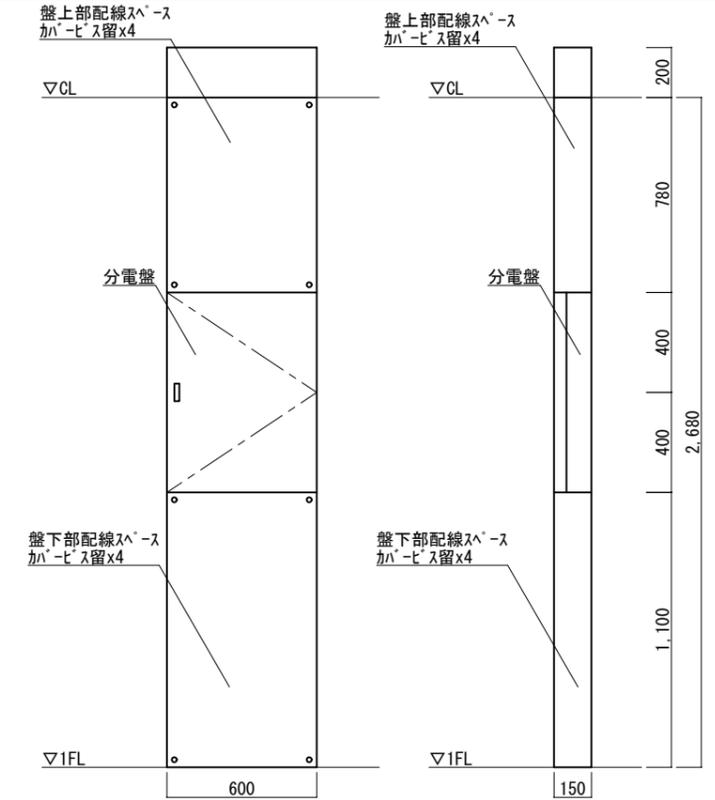
ELCB2P1E 50AF/20AT x 5
 MCCB2P1E 50AF/20AT x 1
 MCCB3P2E 50AF/40AT x 1



盤名称		L-3-1	
キャビネット形式		T	
分電盤部	電気方式	種別	常用
		相数	単相3線式
		電圧	210V/105V
負荷容量		4.810VA	-
主幹器具	種類	MCCB3P	-
	定格電流	40AT	-
	定格遮断電流	9.7kA以上	-
電力幹線	種別	EM-CE8sq-3C	-
	入線方向	下方より	-
※1 盤一括警報用接点(無電圧a接点)を設ける。			
※2 主回路導体接続部は、ねじ締付確認が出来るものとする。			
※3 225AF以上の主幹MCCBの一次側には端子を設ける。			
※4 分岐配線用遮断器は協約形1P用とする。			
2P1E100V, 2P2E200V			



ELCB2P1E 50AF/20AT x 5
MCCB2P1E 50AF/20AT x 1
MCCB3P2E 50AF/40AT x 1



--	--

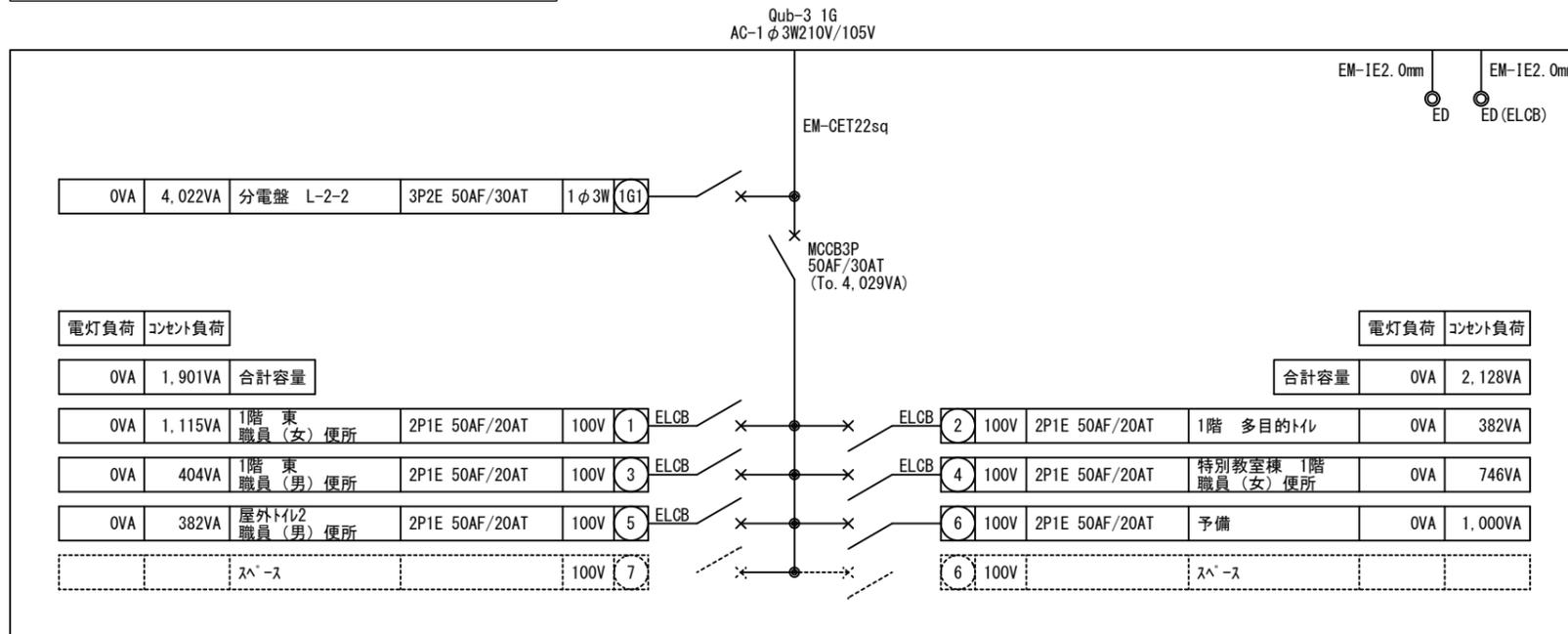
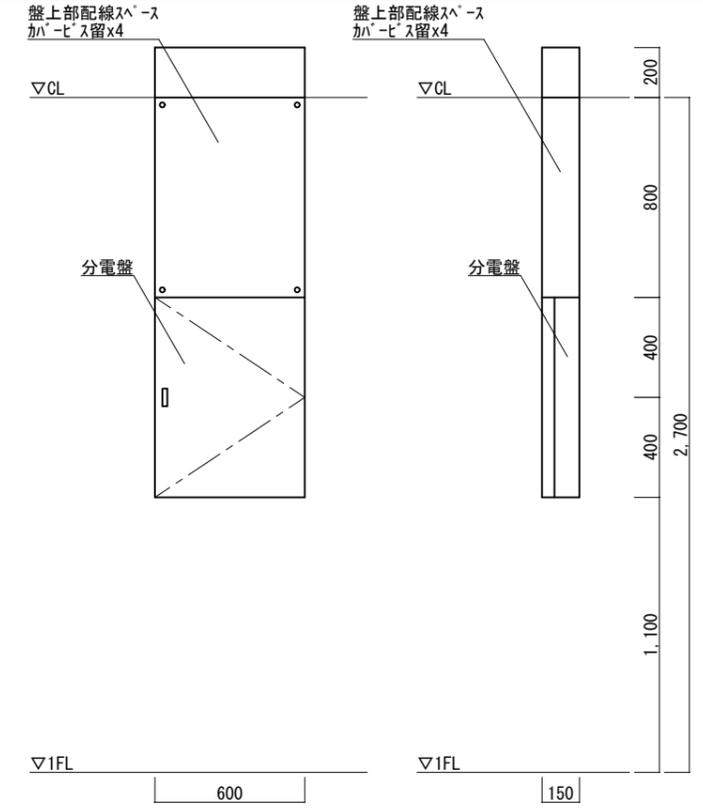
CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE	A2: S=1/20
DATE	令和6年10月

盤名称		L-1-2	
キャビネット形式		T	
分電盤部	電気方式	種別	常用
		相数	単相3線式
		電圧	210V/105V
負荷容量		8,051VA	-
主幹器具	種類	MCCB3P	-
	定格電流	30AT	-
	定格遮断電流	9.7kA以上	-
電力幹線	種別	EM-CET22sq	-
	入線方向	上方より	-

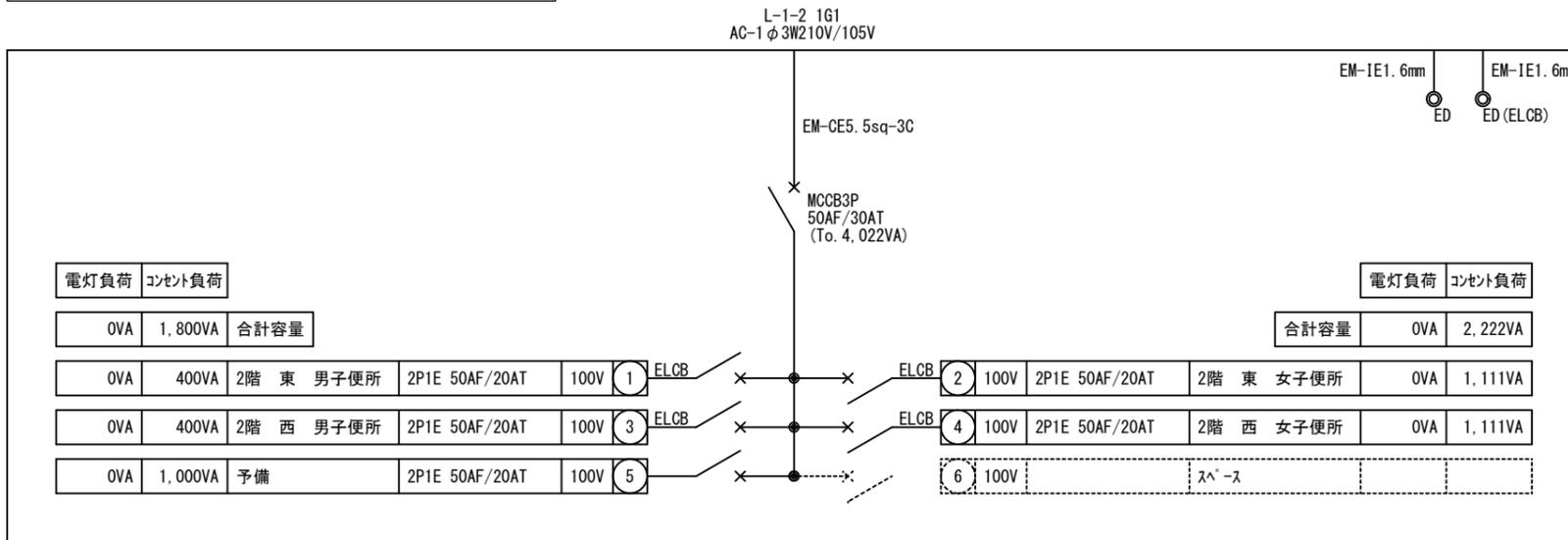
※1 盤一括警報用接点(無電圧a接点)を設ける。
 ※2 主回路導体接続部は、ねじ締付確認が出来るものとする。
 ※3 225AF以上の主幹MCCBの一次側には端子を設ける。
 ※4 分岐配線用遮断器は協約形1P用とする。

2P1E100V, 2P2E200V

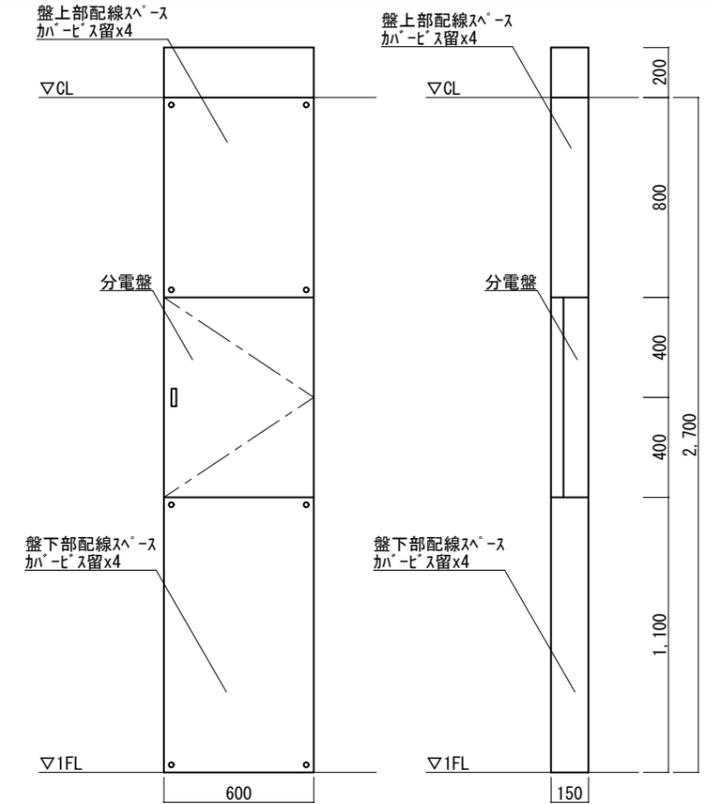


ELCB2P1E 50AF/20AT x 5
 MCCB2P1E 50AF/20AT x 1
 MCCB3P2E 50AF/30AT x 2

盤名称		L-2-2	
キャビネット形式		T	
分電盤部	電気方式	種別	常用
		相数	単相3線式
		電圧	210V/105V
負荷容量		4,022VA	-
主幹器具	種類	MCCB3P	-
	定格電流	30AT	-
	定格遮断電流	9.7kA以上	-
電力幹線	種別	EM-CE5.5sq-3C	-
	入線方向	下方より	-
※1 盤一括警報用接点(無電圧a接点)を設ける。			
※2 主回路導体接続部は、ねじ締付確認が出来るものとする。			
※3 225AF以上の主幹MCCBの一次側には端子を設ける。			
※4 分岐配線用遮断器は協約形1P用とする。			
2P1E100V, 2P2E200V			



ELCB2P1E 50AF/20AT x 4
 MCCB2P1E 50AF/20AT x 1
 MCCB3P2E 50AF/30AT x 1



CHECK	DESIGN	DRAW	SCALE
			A2: S=1/20
			DATE 令和6年10月

機械設備工事 特記仕様書

A. 工事概要

1. 工事名称	可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）
2. 工事場所	可児市広見94番地
3. 用途地域等	都市計画区域 ○ 都市計画区域内（ ・ 市街化区域 ・ 市街化調整区域 ○ その他 ） ・ 都市計画区域外 用途地域 ・ 第一種低層住居専用地域 ・ 第二種低層住居専用地域 ○ 第一種中高層住居専用地域 ・ 第二種中高層住居専用地域 ・ 第一種住居地域 ・ 第二種住居地域 ・ 準住居地域 ・ 近隣商業地域 ・ 商業地域 ・ 準工業地域 ・ 工業地域 ・ 工業専用地域 用途地域の指定のない区域 防火地域 ・ 防火地域 ・ 準防火地域 ○ 指定なし その他の指定 ・ 建築基準法第22条指定区域内 ○ 建築基準法第22条指定区域外 ・ 指定なし
4. 建物概要	

建物名称	構造及び階数	消防法施行令の適用	備考
北舎	RC造・3階建て	7項	改修
南舎	RC造・2階建て	7項	改修
特別教室棟	RC造・2階建て	7項	改修
屋内運動場	RC造・2階建て	7項	改修
屋外トイレ1	CB造・1階建て	7項	改修
屋外トイレ2	RC造・1階建て	7項	改修
プール棟	RC造・1階建て	7項	改修

5. 工事項目	（ ○ 印が付いたものが対象）							
工事項目	建物別及び屋外							
	東舎	南舎	特別教室棟	屋内運動場	屋外トイレ1	屋外トイレ2	プール棟	屋外
・ 冷暖房設備								
○ 換気設備	○	○	○			○		
・ 排煙設備								
・ 自動制御設備								
○ 衛生器具設備	○	○	○		○	○		
○ 給水設備	○	○	○		○	○		
○ 排水通気設備	○	○	○		○	○		
・ 給湯設備								
・ ガス設備								
・ 消火設備								
・ 厨房設備								
・ 浄化槽設備								
・ 昇降機設備								

6. 設備概要	（ ○ 印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。）							
方式及び種別	設備概要							
・ 空調方式	・ ダクト方式（ ・ 各階ユニット ・ 中央 ） ・ パッケージ方式（ ・ マルチ ・ 個別 ）							
・ 暖房方式	・ ファンコイルユニット・ダクト方式 ・ ガスエンジンヒートポンプ方式 ・ 灯油エンジンヒートポンプ方式							
・ 自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 中央監視制御							
○ 給水方式	・ 水道直結方式 ○ 高置タンク方式 ・ 圧力タンク方式 ・ ポンプ直送方式 ・ 増圧給水直結方式							
○ 排水方式	建物内汚水、雑排水（ ○ 合流式 ○ 分流式 ） ポンプ排水 ・ 有（ ・ 汚物 ・ 雑排水 ・ 湧水 ） ・ 無 建物外放流先 汚水（ ○ 下水管直放流 ・ ） 雑排水（ ○ 下水管直放流 ・ ）							
・ 消火設備の種類	・ 屋内消火栓設備 ・ スプリンクラー設備 ・ 泡消火設備 ・ 連結散水設備 ・ 連結送水管 ・ 不活性ガス消火設備（ ・ ）							
・ ガスの種類	・ 都市ガス（種別： 発熱量 MJ/m ³ (N) 供給事業者名 ） ・ 液化石油ガス（ ・ ポンプ ・ バルクタンク ・ ）							

B. 工事仕様

- 一般仕様
 - 新設工事共通仕様書
 - 特記仕様、図面及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）による。
 - 電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。
 - 改修工事共通仕様書
 - 特記仕様書、図面及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）による。
 - 電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。
- 可児市共通仕様書
上記仕様書の他、可児市建築工事共通仕様書（最新版）による。
- 設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の（1）～（5）の順番と取りとする。
 - 質疑回答書（2）現場説明書（3）特記仕様（4）図面（5）標準仕様書及び標準図
- 提出書類等
本工事の施工に関して提出書類は、可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき作成し提出又は提示する。
また、工事着工時に工事用製本（A3二つ折り）3部を提出する。
- 完成時の提出書類
工事完成時には可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき書類を整理し完成図書としてまとめ監督員に提出すること。完成図は施工図も含め完成製本（A2二つ折り、A3二つ折り）各2部を提出すること。
また、CADデータ（JWW又はDXF）を提出すること。
- 工事書類の簡素化
提出・指示書類は可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき実施するものとする。また、工事工事打合簿（指示・協議・承諾は除く）、材料確認簿、段階確認簿、確認・立会願、夜間・休日作業届の書類を提出する場合は、所定様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。
これらに定めのない事項については、監督員と協議する。

- 特記事項
この仕様書は下記の要領により適用する。
 - 章は●印の付いたものを適用し、項目は○印内に数字のあるものを適用する。
 - 特記事項は○ 印だけを利用する。
 - 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事については「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措置を講ずるとともに、工事中断などの措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条（臨機の措置）によって処理されるものとする。

章	項目	特記事項
● 一般共通事項	① 法令その他	本工事は工事に関する法令・条例及び規定等に基づいて施工する。 官公署の検査を必要とするものについては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により、CORINS（工事実施情報サービス）への登録を原則とする。
	② 工事実績情報の登録	
	③ 機材等	1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に定める品質および性能を有する新品とする。ただし、仮設工事材料・その他特に指定したものは新品でなくともよい。また、これらの機器・機材は監督員の承諾を受け施工する。 2) 主要材料については、速やかに主要機材の製作所名等一覧表を提出し、監督員の確認を受ける。 3) 設計図書に記載してあるもの及び監督員の指示する材料、仕上げの程度、色合い等については、あらかじめ見本を提出して確認を受ける。
	④ 環境への配慮	使用資材については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・ステレン・エチルベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。 上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。 ・ 要 ・ 不要 基準以下であることを指定検査センターにて検査確認し、工期内に引渡しを行うこと。又ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の濃度が基準以上だった場合は、直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用の全ては受注者の負担とする。
	⑤ 室内汚染物質の測定	1) 引き渡しを要するもの（○ レバー式給水栓 ・ ） 2) 特別管理産業廃棄物（ ・ ） 3) 再生資源化を図るもの（ ・ ） 4) 石綿含有品（ ・ 配管用成形保温材 ・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管 ・ ダクト ・ ボイラー本体 ））
	⑥ 発生材の処理	撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理をする。配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。 処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。 混合物の処理については管理最終処分場に持ち込むものとする。 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了後に同計画書の実施報告書（COBRIS）を提出すること。
	⑧ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書	
	⑨ 残土処分	建設発生土（建設工事に伴い発生する土砂等）を搬出又は搬入する場合は「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」（平成19年4月1日施行）を遵守すること。またその実施に際しては事前に計画書を作成し監督員へ提出、承認を得ること。 ・ 土壌検査（ ・ 実施する ・ 実施しない ・ 実施済み ） ・ 構内敷均し ○ 建築工事にて処分

- ⑩ 足場その他
○ 本工事で設置する。
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。
改修標準仕様書第1編2.2.1より足場の種別は以下による。
・ 内部足場（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種 ）
・ 外部足場（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種 ）
使用する機材について、自主検査記録（任意様式）を作成すること。ただし、主要な機材については監督員の検査を受ける。
なお、監督員検査の結果、合格とされた機材と同じ種別の機材は、以後原則として抽出検査とする。
また、製造工場等における検査を行う機材については、監督員の指示による。
○ 配管（建築配管作業） ○ 熱絶縁施工（保温保冷工作業） ・ 建築板金（ダクト板金作業）
・ 冷凍空調調機器施工（冷凍空調調機器施工作業） ・ 空気圧縮装置組立て（空気圧縮装置組立て作業）
・ 塗装 ・ さく井（ ・ パーカッションさく井工事作業 ・ ローター式さく井工事作業）
・ 鉄工（ ・ 製缶作業 ・ 構造物鉄工作業）
中間検査 ・ 対象工事（対象部分： ） ・ 対象外工事
工事施工途中における技術検査の対象箇所・実施回数等は監督員の指示による。
総合運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。
工事施工中、火災保険又は、それに代わる請負賠償責任保険等に加入し、証書の写しを提出する。
1) 総合施工計画書（仮設含む）
2) 工種別施工計画書
施工図等の著作権にかかる使用権は、発注者に移譲するものとする。
1) 本仕様書・設計図に明記なき事項でも本工事完成の為機能上・構造上・外観上当然施工を要する事項は請負金額の増減なく完全に施工のこと。
2) 本設計図書内明記の既設配管は、既設図面及び所轄支所担当課指示に基づき作成されている為、既設の状況と図面との間に差異が生じ、本設計書による事が困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従い施工する。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（平成24年版）・同解説 工事写真の撮り方（建築設備編）」による他、監督員の指示により撮影し提出する。
現場説明書による。
・ 設けない ・ 設ける（ ・ 既設建物を使用 ・ 構内に新設）
本工事に必要な工事用電力・水等及び諸手続きなどに要する費用はすべて受注者の負担とする。
・ 要 ・ 不要
構内につくることが（ ○ できる ・ できない ）。
○ 本工事として下記の測定表を提出する。
総合調整の項目
・ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内外空気温度測定 ・ 室内空気流じんあいの測定
・ 騒音の測定 ・ 振動調整 ○ 初期運転状態の記録 ○ 飲料水の水质の測定（26項目）
耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。
1) 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数 ○ 1.0 ・ 1.2 及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度

部位	機器種別	特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上・及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器 水槽類	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器 水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器 水槽類	1.0	1.0	1.0	0.6

上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
重要機器は次のものを示す。
・ 給水機器（受水槽） ・ 排水機器（ ）
・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災設備
・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備
・ 避難経路上に設置する機器
2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする。
機器システム図及び重要な定期点検項目等を記載した案内板を設備機械室に設ける。
1) 呼び径60SU以下のステンレス鋼管の継手は、下記による。
メカニカル形管継手（○ 拡管式 ・ プレス式）
2) 建物導入部配管の変位吸収方法は標準図施工4・5（建築物導入部の変位吸収配管要領）による。
・ (a) フレキブルジョイントを使用 ・ (b) ボルジョイントを使用 ○ (c) スリークッション
3) 溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要（ ）
- ⑪ 機材（工事材料）の検査等
- ⑫ 技能士
- ⑬ 検査
- ⑭ 概成工期
- ⑮ 火災保険等
- ⑯ 施工計画書
- ⑰ 施工図等
- ⑱ 軽微な変更等
- ⑲ 工事写真
- 20 完成図書
- 21 監督員事務所
- ⑳ 工事用水・電力等
- 23 電気保安技術者
- ㉑ 工事用仮設備
- ㉒ 総合調整
- ㉓ 耐震措置

<p>● 一般共通事項</p> <p>③4. 保温工事</p> <p>35. 塗装</p> <p>③6. はつり</p> <p>37. 天井仕上区分</p> <p>③8. 他工事又は他工程とのとりあい</p> <p>39. 電線類</p> <p>④0 その他</p>	<p>標準仕様書第2編3章1節によるほか次による。ただし各工事項目で別に指定されたものは除く。</p> <p>・ 多湿箇所 室名： ・ 共同溝内 ダクト： 配管： ・ 保温無し屋内露出の配管及びダクトは塗装を行う。（ただし、機械室内及び屋上は除く） ・</p> <p>既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。穴開けを行う際は、電磁誘導等の機器で鉄筋探査を行う。鉄筋探査の結果、穴開け予定部分に鉄筋がかかる場合は、監督員と協議する。なお、貫通部の補強については、穴の径が配筋ピッチ未満かつ100mm以下の場合は不要とする。 （ ）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。</p> <p>電線及びEMケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1.1による。電線類は、EMケーブルを使用する。（機器、盤類を除いてもよい） 屋外設置のマンホール類には用途名を入れる。 屋外で使用する鋼材等は、（ ・溶融亜鉛めっき仕上げ ○ステンレス鋼材 ）とする。</p>	<p>○ 空気調和設備</p> <p>1. 設計温湿度</p> <p>2. ばいじん量測定口</p> <p>3. ばい煙濃度計取付座</p> <p>4. ダクト</p> <p>5. チャンバー</p> <p>6. ダンパー</p> <p>7. 風量測定口</p> <p>8. 配管材料</p> <p>9. 弁類</p> <p>10. 温度計・圧力計</p> <p>11. 瞬間流量計</p> <p>12. 油面制御装置</p> <p>13. 保温及び消音内貼</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2">凍結防止系統</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>34.4 °C</td> <td>45.1 %</td> <td>°C</td> <td>%</td> <td>28.0 °C</td> <td>(50) %</td> <td>°C</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-7.6 °C</td> <td>82.6 %</td> <td>°C</td> <td>%</td> <td>19.0 °C</td> <td>(40) %</td> <td>5.0 °C</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>設ける（測定口は80mm以上とし、取り付け箇所は煙道の直線部とする）</p> <p>・ 設ける ・ 設けない</p> <p>・ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1.500mm以下の部分） ・ アングルフランジ工法</p> <p>・ 高圧1ダクト（範囲は図示による。）</p> <p>1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼したチャンバーには内貼したチャンバーには点検口を設置し、寸法は図示による。 3) 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。</p> <p>1) 防煙ダンパー 復働方式（ ・ 遠隔（定格入力はDC24V 0.7A以下） ・ ） 2) ピストンダンパー 復働方式（ ・ 遠隔 ・ ）</p> <p>図示の位置に取り付ける。</p> <p>1) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ ・ 架橋ポリエチレン管（20A以下） 2) 冷却水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 3) 空調用排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 4) 冷媒管 ・ 断熱材被覆鋼管（難燃性） 5) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管は配管用炭素鋼鋼管（白）とする。 6) 加温用給水管 ・ ステンレス鋼管 ・ ポリ粉体鋼管（PA又はPB） ・ 塩化ビニル鋼管（VA又はVB） 7) 蒸気管 給気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40 還管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch80 8) 油管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ 灯油用被覆鋼管</p> <p>1) 冷温水コイル廻り（標準図）の弁は（ ・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ）とする。 2) 蒸気加熱コイル廻り（標準図）の弁は仕切弁とする。 3) ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。 また、ファンコイルユニットには、（ ・ 流量調整弁 ・ 定流量弁 ）を設置する。 下記の表に○をつけた箇所を設置する。なお円形指示計は100mmφ以上とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機材名</th> <th rowspan="2">計測部位</th> <th rowspan="2">温度計の種類</th> <th colspan="2">温度計</th> <th colspan="2">圧力計</th> </tr> <tr> <th>入口側</th> <th>出口側</th> <th>入口側</th> <th>出口側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷温水機</td> <td>冷温水</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>冷凍機</td> <td>冷却水</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>パッケージジ</td> <td>サブライチャンパー</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>空気調和機</td> <td>レタンチャンパー</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ユニット形</td> <td>冷温水</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>空気調和機</td> <td>サブライチャンパー</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>レタンチャンパー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>熱交換器</td> <td>防振支持の機器</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ヘッダー</td> <td>水槽類</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>瞬間流量計はビトー管方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。 なお瞬間流量計の形式は、（ ・ 固定式 ・ 着脱式 ）とする。 着脱式の場合、（40A 個 100A 個 ）を付属する。 制御盤には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 漏れい検知警報 ・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。 また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製（油面検出部）とする。 標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。 ・ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。 ・ 建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項により、空気抜き対象管から空気抜き弁までとする。 ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。 ・ 冷媒管の保温外装は下記による。（ただし、天井内、機械室内、PS内は保温外装不要） 屋内露出（ ・ 合成樹脂製カバー ・ 保温化粧ケース（材質： ） ） 屋外露出（ ・ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース（材質： ） ・ カラー亜鉛鉄板 ・ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ） ・ 外気取入れ用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による） ・ 排気用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による） ・ 還気用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による）</p>		外 気				屋内（調整目標値）				一 般 系 統				一 般 系 統		凍結防止系統		温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	34.4 °C	45.1 %	°C	%	28.0 °C	(50) %	°C	%	冬季	-7.6 °C	82.6 %	°C	%	19.0 °C	(40) %	5.0 °C	%	機材名	計測部位	温度計の種類	温度計		圧力計		入口側	出口側	入口側	出口側	冷温水機	冷温水	円形指示計	-	-	-	-	冷凍機	冷却水	円形指示計	-	-	-	-	パッケージジ	サブライチャンパー	円形指示計	-	-	-	-	空気調和機	レタンチャンパー	円形指示計	-	-	-	-	ユニット形	冷温水	円形指示計	-	-	-	-	空気調和機	サブライチャンパー	円形指示計	-	-	-	-		レタンチャンパー						熱交換器	防振支持の機器	円形指示計	-	-	-	-	ヘッダー	水槽類	円形指示計	-	-	-	-	<p>● 換気設備</p> <p>①. ダクト</p> <p>2. 風量測定口</p> <p>3. ダンパー</p> <p>4. シールする排気</p> <p>5. チャンパー</p> <p>⑥. 保温</p> <p>○ 換気設備</p> <p>1. ダクト</p> <p>2. 排気口の形式</p> <p>3. 排気口開放及び復働方式</p> <p>4. 排気風量測定</p> <p>○ 自動制御設備</p> <p>1. 中央監視制御装置</p> <p>2. 中央監視制御装置の構成・機能</p> <p>3. 電気計装用配線</p>	<p>○ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1.500mm以下の部分） ・ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト ・ フレキシブルダクト（ ・ 保温付 ○ 保温無 ）</p> <p>・ 高圧1ダクト（範囲は図示による。） ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト（範囲及び仕様は図示による） ・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編2.2.2のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。（範囲は図示による） 図示の位置に取り付ける。 空気調和設備の当該項目による。 ・ 厨房系統 ・ 浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 ・</p> <p>空気調和設備の当該項目による。 次のダクトは保温を行う。 ・ 外気取入れ用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による） ※取り入れ口より吹き出し口まで全て ○ 排気用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による） ※外壁より1m ・ 多湿箇所のダクトの保温要（保温の厚さ5.0mm、範囲は図示による） ・ 厨房及び湯沸室の排気ダクトの保温要（保温の厚さ5.0mm（RW）、範囲は図示による）</p> <p>・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚1.6mm） ・ 天井取付（ ・ スリット形 ・ パネル形 ） ・ 壁取付（ ・ スリット形 ・ パネル形 ） ・ ・ 電気式（遠隔復働 ・ 要 ・ 不要） ・ ワイヤース</p> <p>建築設備定期検査業務基準書平成20年版（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排気風量の検査方法に準じる。</p> <p>・ あり（ ・ 新設 ・ 既設 ） ・ なし 別図による</p> <p>電線及びEMケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1.1による。 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠べいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p>						
	外 気				屋内（調整目標値）																																																																																																																					
	一 般 系 統				一 般 系 統		凍結防止系統																																																																																																																			
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																																																																		
夏季	34.4 °C	45.1 %	°C	%	28.0 °C	(50) %	°C	%																																																																																																																		
冬季	-7.6 °C	82.6 %	°C	%	19.0 °C	(40) %	5.0 °C	%																																																																																																																		
機材名	計測部位	温度計の種類	温度計		圧力計																																																																																																																					
			入口側	出口側	入口側	出口側																																																																																																																				
冷温水機	冷温水	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																				
冷凍機	冷却水	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																				
パッケージジ	サブライチャンパー	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																				
空気調和機	レタンチャンパー	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																				
ユニット形	冷温水	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																				
空気調和機	サブライチャンパー	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																				
	レタンチャンパー																																																																																																																									
熱交換器	防振支持の機器	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																				
ヘッダー	水槽類	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																				
<p>● 改修関係事項</p> <p>①. 既設との取合い</p> <p>②. 施工調査</p> <p>3. 仮設間仕切</p> <p>4. 養生</p> <p>⑤. 既設ダクトの再利用</p> <p>6. 非破壊検査</p> <p>⑦. 試験</p> <p>⑧. あと施工アンカー</p> <p>⑨. 撤去工事</p> <p>10. 冷媒（フロン類）の回収</p>	<p>1) 本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。 2) 撤去及び取壊し工事は、既存設備の概要を十分に調査・把握・検討した後着工する事。 事前調査 ○ 本工事 ・ 別途 調査項目 ○ 既存資料調査 調査範囲・方法 ・ 図示 ○ 工事範囲</p> <p>仮設間仕切は、改修標準仕様書第1編2.2.3による。種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ） 既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編3章による。 改修標準仕様書第3編2.2.8「既設ダクトの再利用」による。 改修標準仕様書第3編2.2.9「ダクト清掃」を ・ 行う ○ 行わない 放射線透過検査等による埋設物の調査は（ ・ 要 ・ 不要 ）とする。 範囲は監督職員の指示による。なお、検査費は別途とする。 1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。 2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。 改修標準仕様書第2編5.1.3「インサート及びアンカー」による。 下記の試験を行う場合には、範囲は監督員と協議による。 ・ アンカー引抜試験（ ・ 性能確認試験 ・ 施工後確認試験 ） 撤去する配管（断熱材被覆鋼管を含む）、ダクト等の保温は分離する。 撤去する配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。 石綿含有分析調査 ・ 本工事 ○ 別途工事 石綿撤去方法 ・ 本工事（ ・ 図示による ） ・ 別途工事 業務用冷凍空調機器の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により、次の書類の写しを監督員に提出する。 ・ 冷媒充填・回収証明書 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券） 撤去する前にフロンを屋外側ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行う。 パッケージ形空気調和機の移設等により、冷媒の回収・再充填が必要となる場合においては、上記に準じて冷媒の大気中への放出を防止する措置を講じること。</p>																																																																																																																									

- 衛生器具設備
- ① 大便器
- ② 小便器
- ③ 水栓
- ④ 掃除機
- ⑤ 和風大便器
- 耐火カバー

洋風便器の洗浄弁の洗浄水量は8.5L/回以下とする。ただし、タンク式の洗浄水量は6.5L/回以下とする。
 洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。
 ・カウンター取付け形
 ・耐寒水栓(吊コマ) ・湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。
 排水口は(○)目皿 ・鎖付きゴム栓)とする。
 和風大便器の防火区画貫通処理は標準図による。

- 消火設備
- 1 配管材料
- 2 屋内消火栓種別
- 3 屋内消火栓開閉弁
- 4 地中埋設配管の接合
- 5 保温

(1) 屋内消火栓 一般 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)
 地中 ・ ステンレス鋼管 (SUS316)
 ・ 耐震用ポリエチレン管 (消防認定品) (屋外埋設部分)
 (2) 連結送水管 一般 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (白) (Sch40)
 地中 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (白) (Sch40) (外面被覆)
 (3) 連結放水用
 ・ 易操作性1号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓 ・ 1号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ パッケージ型消火設備
 箱内に別途機器 (発信機及び電鈴) 取付用の板を設ける。
 ・ 10K ・
 外面被覆鋼管の呼び径100以下はねじ接合とする。
 屋外露出部分 ・ 有 (標準仕様書第2編3.1.5の給水管の項による。) ・ 無

C. 工事区分表		機械設備	建築	電気設備
部	項目			
開口部	鉄骨部材のはり貫通部	穴開け(補強を含む)	-	-
	鉄骨鉄筋コンクリート部材のはり貫通部	補強	-	-
		スリーブ	-	-
	RC部材のはり貫通部	補強	-	○
		スリーブ	○	-
		スリーブ	○	-
	RC部材の床・壁の貫通部	補強	-	○
		スリーブ	○	-
		型枠(補強の有るもの)	○	-
		型枠	○	-
基礎等	床デッキプレートの貫通部	補強	-	-
		切り込み	-	-
	開口部の穴埋め補修	○	-	○
	天井・軽鉄間仕切りの開口	ボードの切込み及び補強共	-	○
	屋上設置の設備機器の基礎	-	-	-
	大形設備機器の基礎	-	-	-
	防水層に影響する基礎	-	-	-
	上記以外の機器の基礎	-	-	-
	架台、アンカーボルト	○	-	-
	外部取付ガラリ	ダクトチャンバーの接続用フランジを含む	-	-
換気扇の取付枠		-	-	
厨房床貫通部止水処理		-	-	
湯沸室等流し台	排水トラップ共	○	-	
湯沸室等の排気フード	ステンレス製天蓋	-	-	
床、天井点検口		-	○	
防油堤	建物内、油サービスタンの防油堤	-	-	
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の二次側配管配線(接地共)	-	-	-
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	-	-	○
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線	-	-	-
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線	-	-	-
	機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線(接地共)	○	-	○
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線	-	-	-
小便器用節水装置の制御盤以降の二次側の配管配線	-	-	-	
改修工事	コンクリート壁、床など	はつり	○	○
		荒補修	○	○
		仕上げ補修	-	○
	天井、壁などのボード類	撤去(ボード類のみ)	-	○
		撤去(下地開口補強を含む)	-	○
	復旧	-	○	

- 給水設備
- ① 配管材料
- 2 引き込み納付金
- 3 量水器
- 4 量水器柵
- 5 水栓柱
- ⑥ 管の地中埋設深さ
- 7 凍結深度

1) 一般配管 ・ ステンレス鋼管 (SUS304)
 ○ 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 ※地中配管
 ○ 塩ビライニング鋼管 ○ VB ・)
 ・ ポリ粉体鋼管 (PB)
 上記の選択で、ポリ粉体鋼管又は塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房、浴室等のシンダー内配管はPD又はVDとする。
 2) 地中埋設配管 ・ ステンレス鋼管 (SUS316) (建物内 ・ 屋外部分)
 ○ 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管
 3) 水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は、1)及び2)による。
 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要
 親メーター (・ 貸与品 ・) 親メーターの形式 (・ 直読 ・ パルス)
 子メーター (・ 買取り ・) 子メーターの形式 (・ 直読 ・ パルス)
 ・ 水道事業者指定品 (・ 貸与品 ・ 買取り) ・ 標準図MC形(子メーター用)
 ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製
 ○ 埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より(○)600mm ・ mm)以上
 その他の部分では管の上端より(○)300mm ・ 600mm)以上
 屋外配管の凍結深度は 600mm

- ガス設備
- 1 配管材料
- 2 ガス充てん容器
- 3 ガスメーター
- 4 ガス漏れ警報器
- 5 気密試験

・ 都市ガス ガス供給事業者の供給規定による。
 ・ 液化石油ガス 露出部及びコンクリート埋込み部 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)
 地中埋設部 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管
 ・ 借用 ・ 本工事
 親メーター (・ 貸与品 ・) 親メーターの形式 (・ 直読 ・ パルス)
 子メーター (・ 買取り ・) 子メーターの形式 (・ 直読 ・ パルス)
 ・ 本工事 (図示による) 外部出力端子 ・ 有 ・ 無
 ・ 別途工事
 都市ガス ガス供給事業者の供給規定による。
 液化石油ガス 保持時間は、2.4分以上とし記録計による測定表を提出する。

- 排水設備
- ① 配管材料
- ② 洗面器等の排水管
- 3 放流納付金
- ④ 満水試験機手

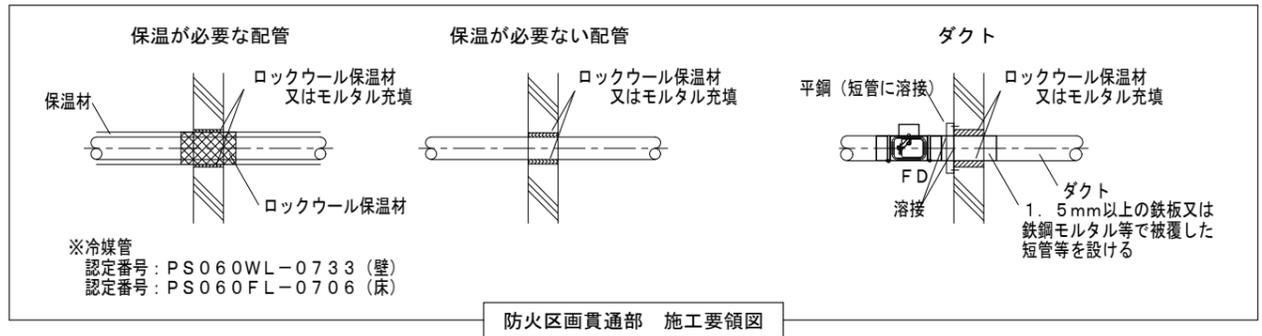
1) 屋内 汚水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・
 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (○ VP ・ VU)
 ・ 耐火二層管 (・ VP ・ VU)
 雑排水管・通気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・
 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (○ VP ・ VU)
 ・ 耐火二層管 (・ VP ・ VU)
 ポンプアップ排水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)
 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (・ VP ・ VU)
 衛生器具廻り ○ ビニル管 ・ 鉛管
 2) 屋外 第1樹以降及び樹間 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (・ VP ○ VU)
 ・
 1) 洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより1サイズアップとする。
 2) 給湯室台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管でもよい。
 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要
 図示の位置に取り付ける。

- 厨房設備
- 1 機器の寸法
- 2 機器の機能等

概略寸法とする。
 図示による。
 ○ 浄化槽設備
 1 形式
 2 測定表
 ・ ユニット形 ・ 現場施工形
 一定期間経過後、放流水質性能等を記入した測定表を提出する。

- 給湯設備
- 1 配管材料
- 2 保温
- 3 その他

給湯管(膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む)
 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ 鋼管 ・ 保温付き被覆鋼管
 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 被覆鋼管 ・ 外層断熱付ポリエチレン管 (温泉パイプ) ※地中配管
 標準仕様書第2編3.1.5によるほか、下記による。
 ・ 湯沸器の給排気筒(二重管)の隠ぺい箇所は表2.3.5のh・(イ)・IXの保温を行う。
 電気式給湯器等の膨張水排水を設ける。



衛生器具表 (撤去)

着色部は「I期工事」施工済み範囲を示す。

品名	北舎										南舎、特別教室棟										屋外、屋内運動場、プール棟					合計	備考					
	1階(東)MWC	1階(東)WWC	2階(東)MWC	2階(東)WWC	3階(東)MWC	3階(東)WWC	1階(西)MWC	1階(西)WWC	2階(西)MWC	2階(西)WWC	3階(西)MWC	3階(西)WWC	1階(東)MWC	1階(東)WWC	2階(東)MWC	2階(東)WWC	1階(西)MWC	1階(西)WWC	2階(西)MWC	2階(西)WWC	1階HWC	屋外トイレ2	特別教室棟MWC	特別教室棟WWC	屋内運動場HWC			屋外トイレ1(男子)	屋外トイレ1(女子)	プール棟MWC	プール棟WWC	
懸掛便器(フラッシュバルブ)			1	1	1	1									1	1			1	1											8	
懸掛便器(ロータンク)						1							1	1	1				1						(1)						5	
和風便器			1	3	1	2	1	3	1	3	1	3	2	3						3		2	1	1			1				32	
壁掛小便器			5		5		4		4		4	4	5						5			2									33	
壁掛洗面器												2	2									1	1	2			1				9	
手洗水栓			3	3	3	3	3	3	3	3	3			3						3											36	
掃除流し			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					1												13	
化粧鏡			3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3							3	1	1	2			1				45	

送風機仕様(新設)

着色部は「I期工事」施工済みを示す。

記号	名称	台数	型式	番手	風量 CMH	静圧 Pa	消費電力 w	電源 φ-V	防振	備考
FV-01	天井扇 (I期)	6	低騒音型	150φ	450	80	22.0	1-100	D	
FV-02	天井扇 (II期)	1	低騒音型	150φ	250	80	7.0	1-100	D	
F-01	有圧扇 (I期)	2	低騒音型	300φ	500	50	40.0	1-100	E	ウエザ-カバー、取付枠、電動シャッター
F-01	有圧扇 (II期)	11	低騒音型	300φ	500	50	40.0	1-100	E	ウエザ-カバー、取付枠、電動シャッター
F-02	有圧扇 (II期)	2	低騒音型	250φ	250	50	60.0	1-100	E	ウエザ-カバー、取付枠、電動シャッター

【備考】 防振仕様：A.ゴムスプリング併用 B.スプリング C.ゴム D.防振吊金具 E.なし

(注記) ※電気容量は参考値とする。

送風機仕様(撤去)

着色部は「I期工事」施工済みを示す。

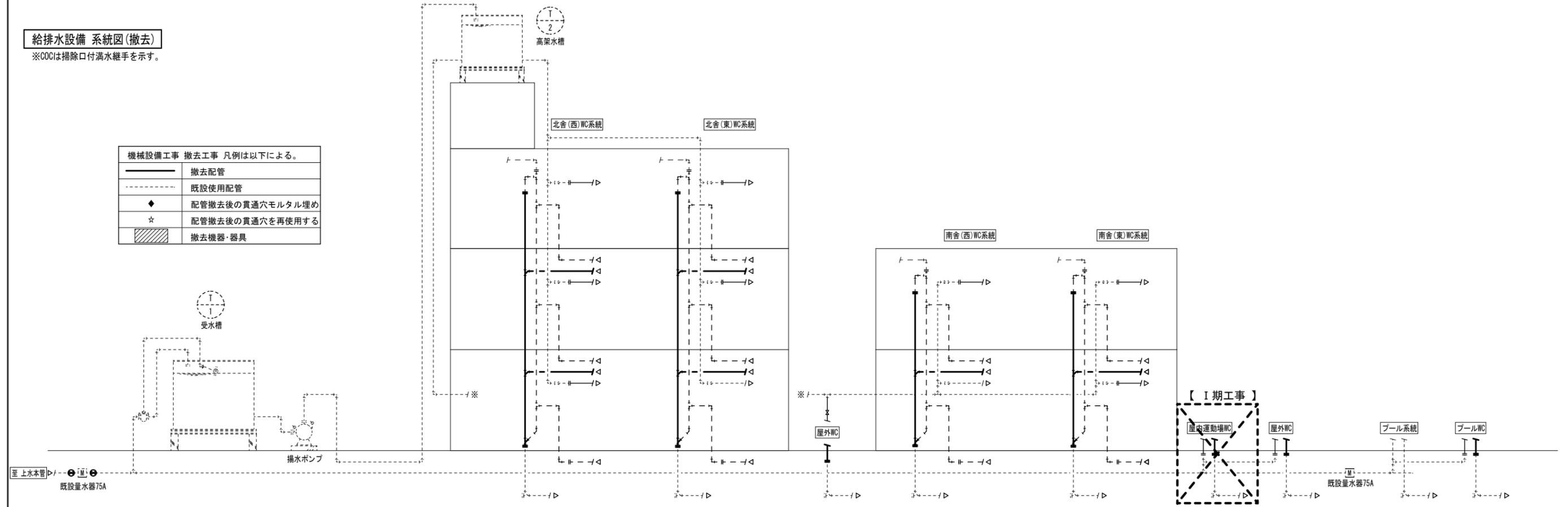
記号	名称	台数	番手	風量 CMH	静圧 Pa	電源 φ-V	備考
FV-01	天井扇 (I期)	6	150φ	450	80	1-100	
F-01	有圧扇 (I期)	2	300φ	500	50	1-100	
F-01	有圧扇 (II期)	9	300φ	500	50	1-100	
F-02	有圧扇 (II期)	2	250φ	250	50	1-100	

【備考】

給排水設備 系統図(撤去)

※COCは掃除口付満水継手を示す。

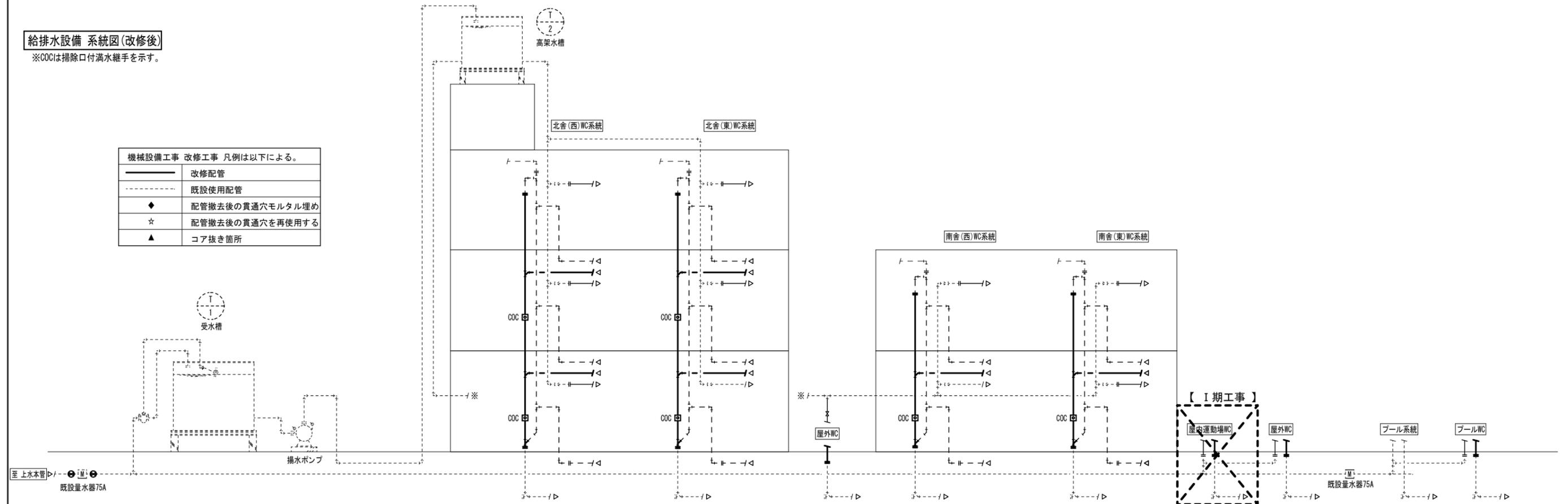
機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。	
—	撤去配管
- - -	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▨	撤去機器・器具

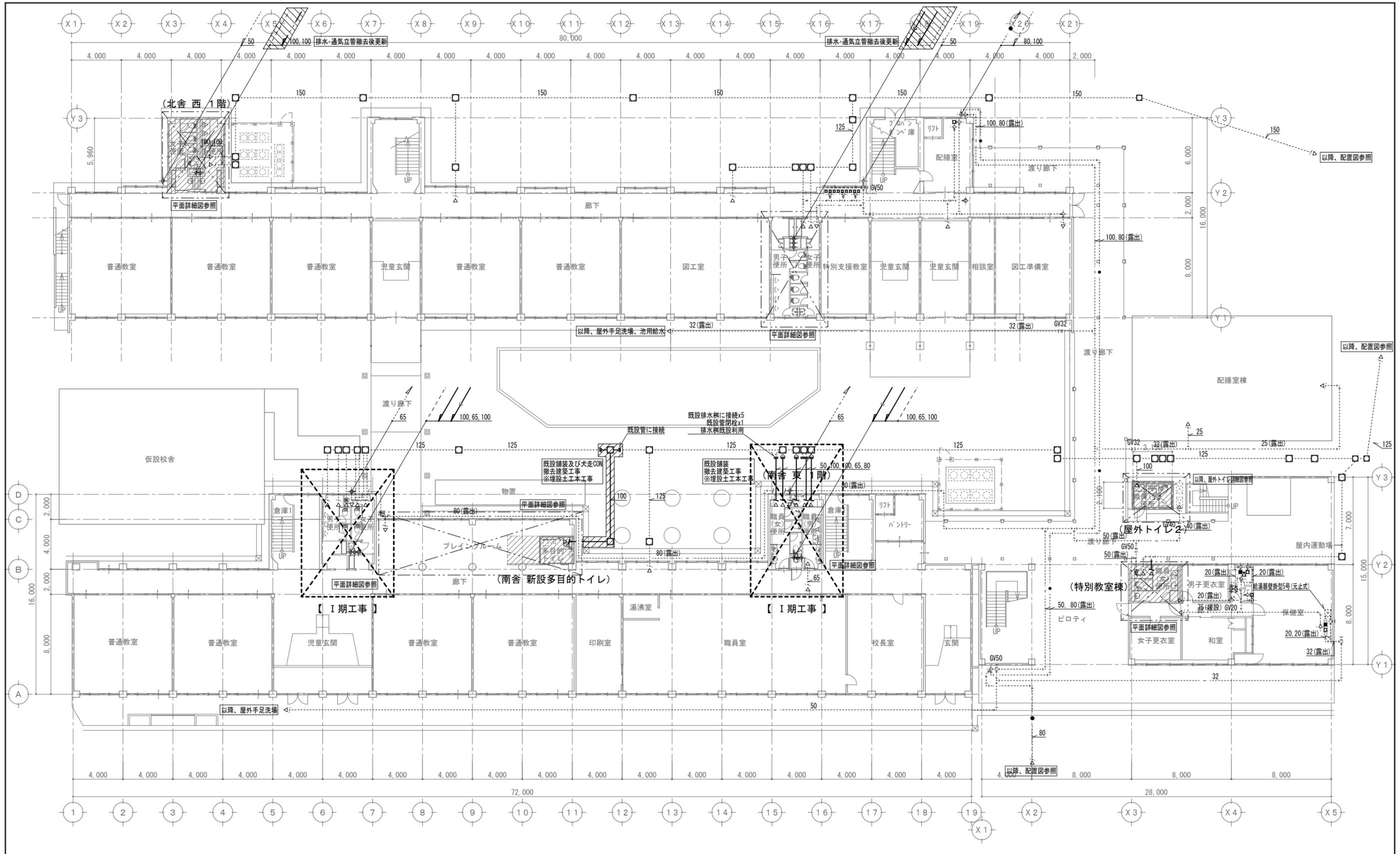


給排水設備 系統図(改修後)

※COCは掃除口付満水継手を示す。

機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。	
—	改修配管
- - -	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所





凡例	
	工事対象箇所を示す

改修後 平面図 S=1/200

機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。	
	改修配管
	既設使用配管

--	--	--	--

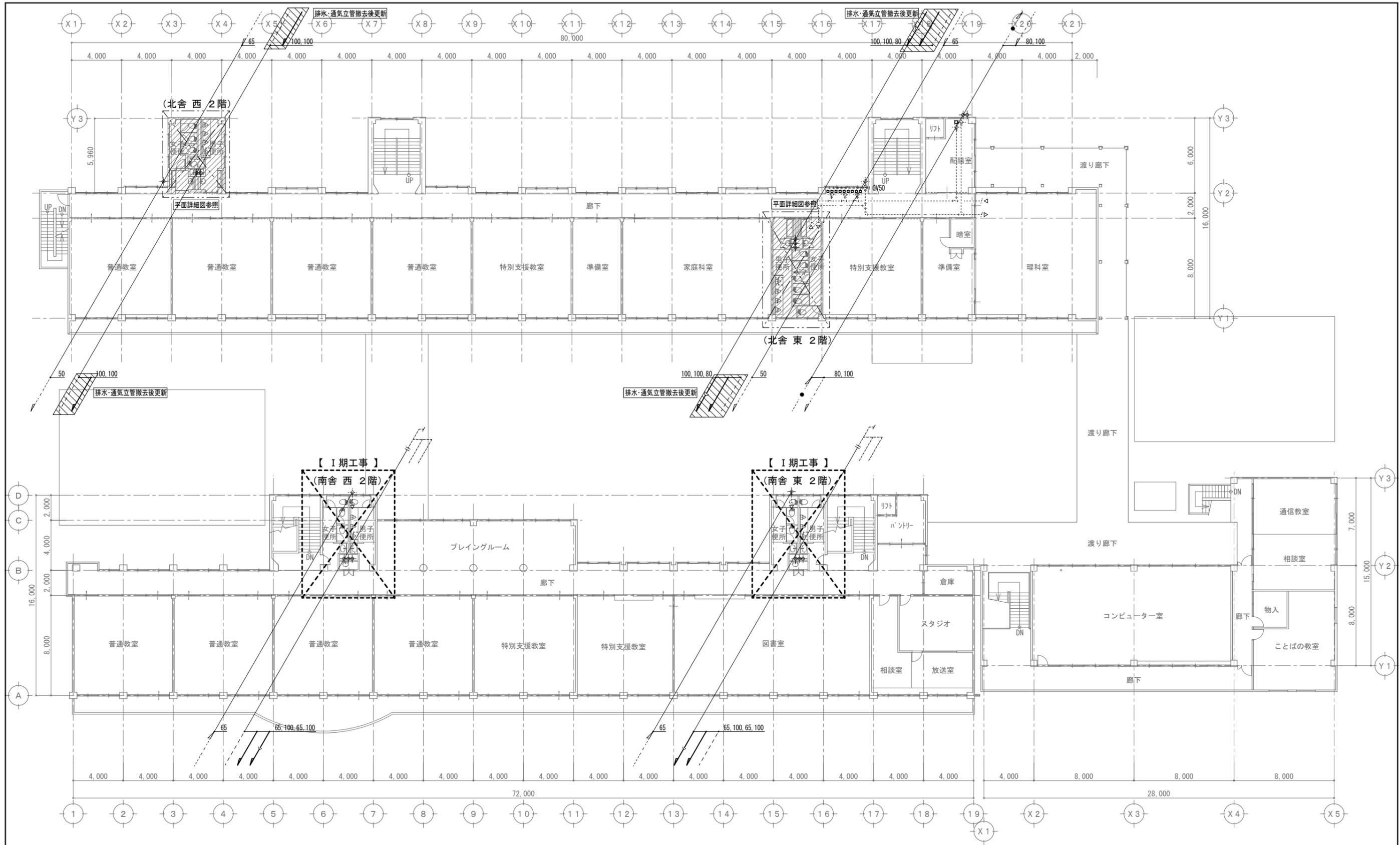
株式会社 山田建築事務所
 YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士77890号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE	A2 : S=1/200
DATE	令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事 (Ⅱ期)
 給排水設備 北舎・南舎 1階 平面図

SHEET NO.	M-08
-----------	------



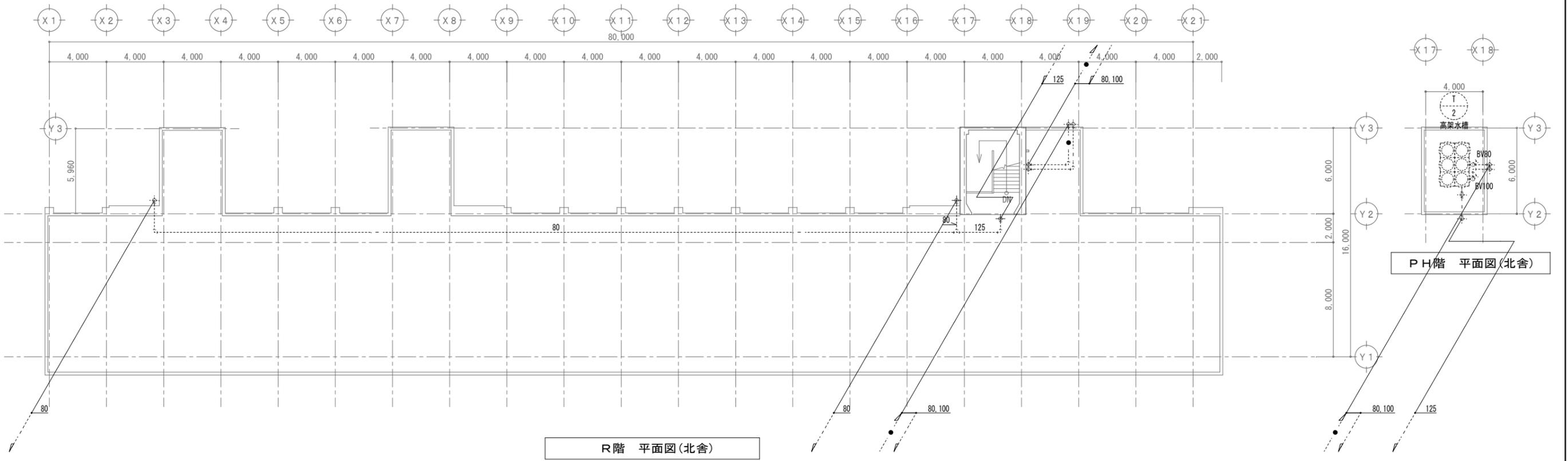
改修後 平面図 S=1/200

※本図面、改修箇所該当無し

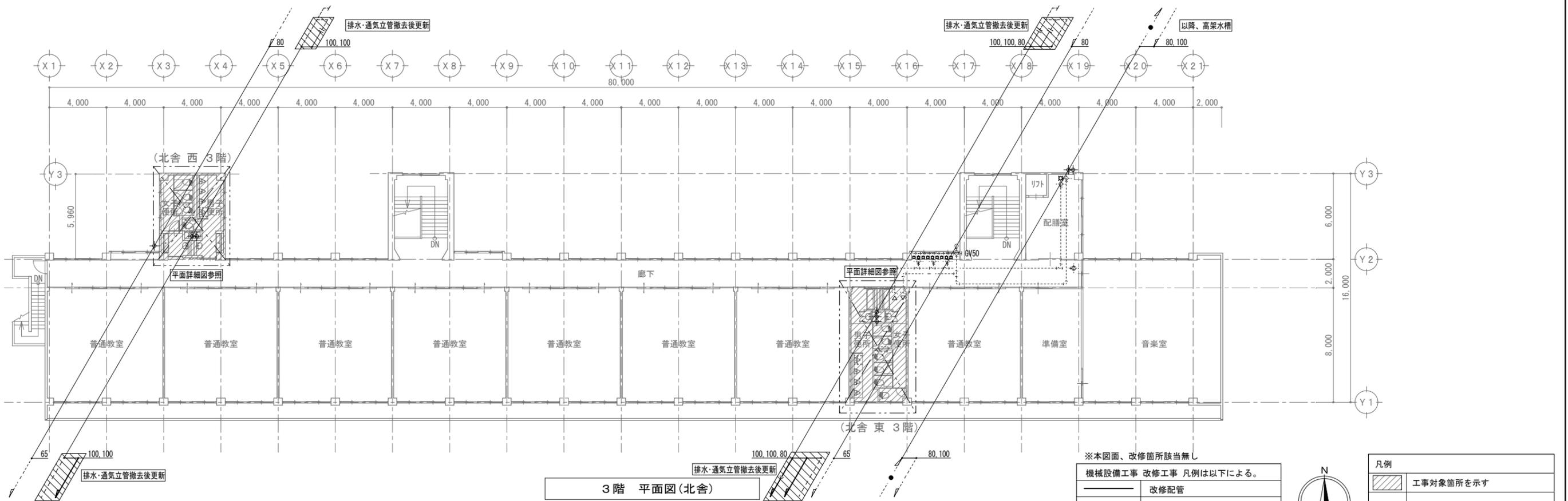
機械設備工事	改修工事	凡例は以下による。
———	———	改修配管
.....	既設使用配管

凡例	
	工事対象箇所を示す





R階 平面図(北舎)



3階 平面図(北舎)

※本図面、改修箇所該当無し
機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。

	改修配管
	既設使用配管



凡例

	工事対象箇所を示す
--	-----------

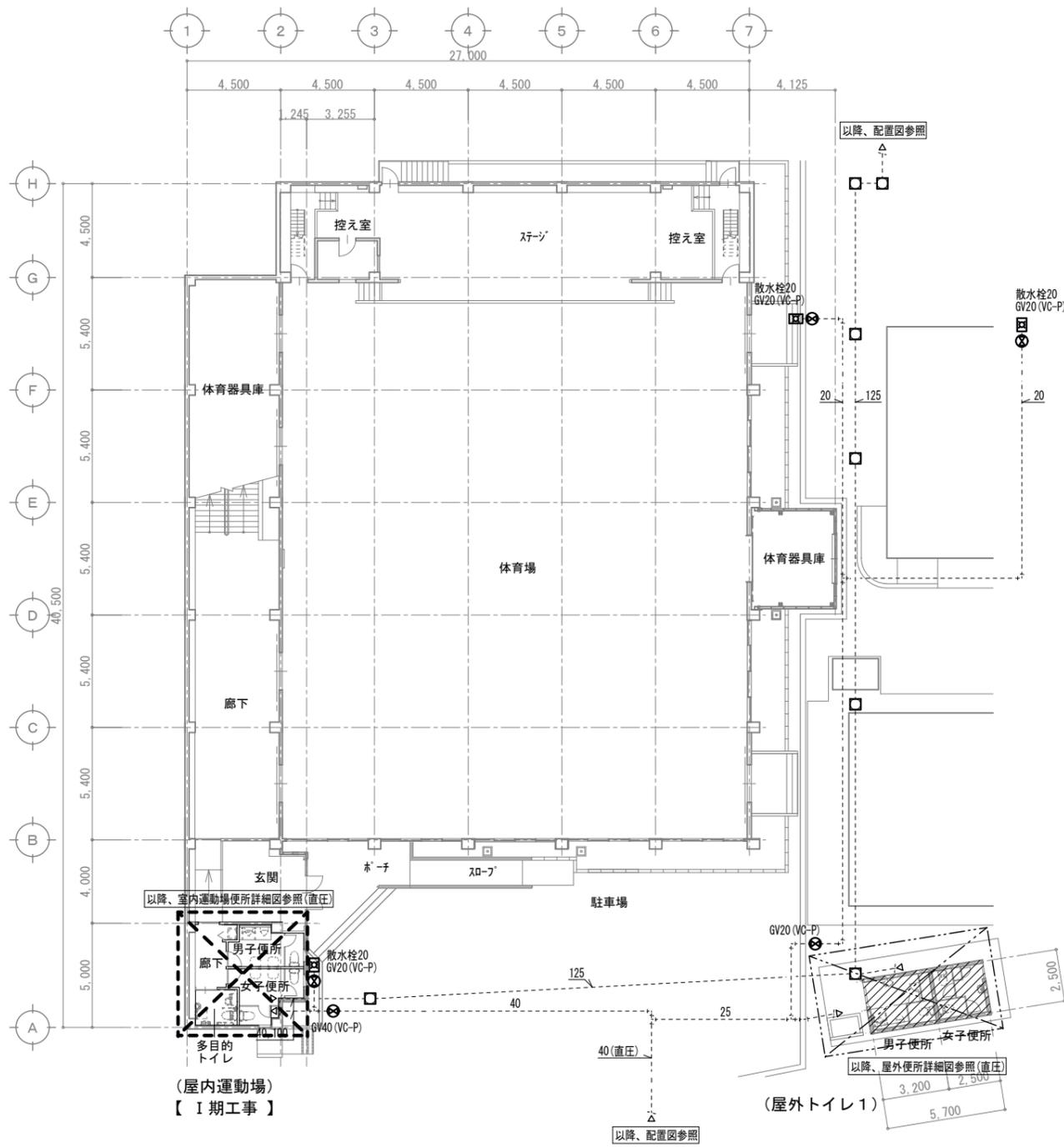
株式会社 山田建築事務所
YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士77890号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE
A2 : S=1/200
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (II期)
給排水設備 北舎 3階・R階 平面図

SHEET NO.
M-10



改修後 平面図 S=1/200

凡例	
	工事対象箇所を示す

※本図面、改修箇所該当無し

機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。	
	改修配管
	既設使用配管

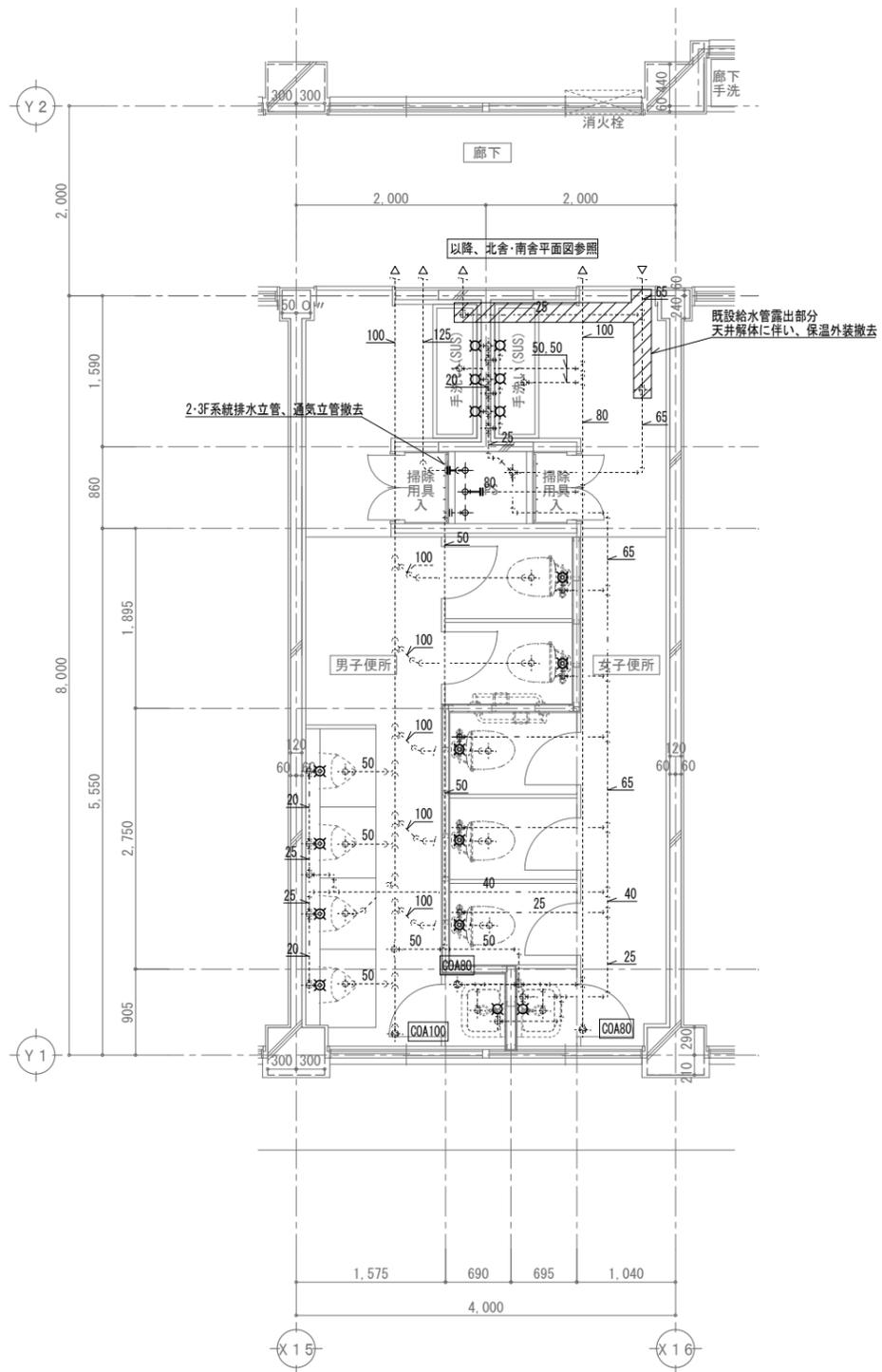
株式会社 山田建築事務所
 YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW

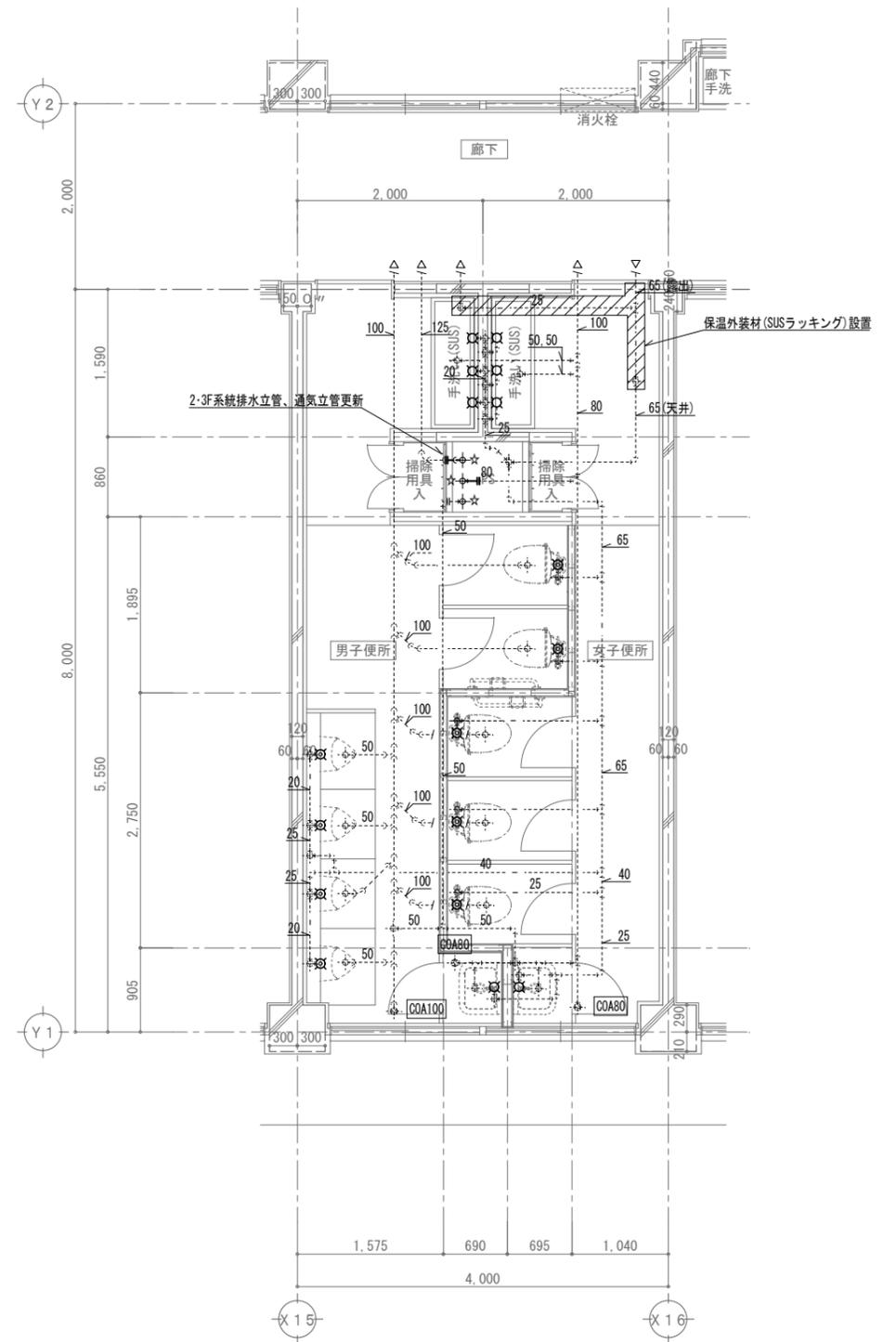
SCALE
 A2 : S=1/200
 DATE
 令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)
 給排水設備 屋内運動場・屋外トイレ1 平面図

SHEET NO.
 M-11



現況 平面詳細図 S=1/50



改修後 平面詳細図 S=1/50

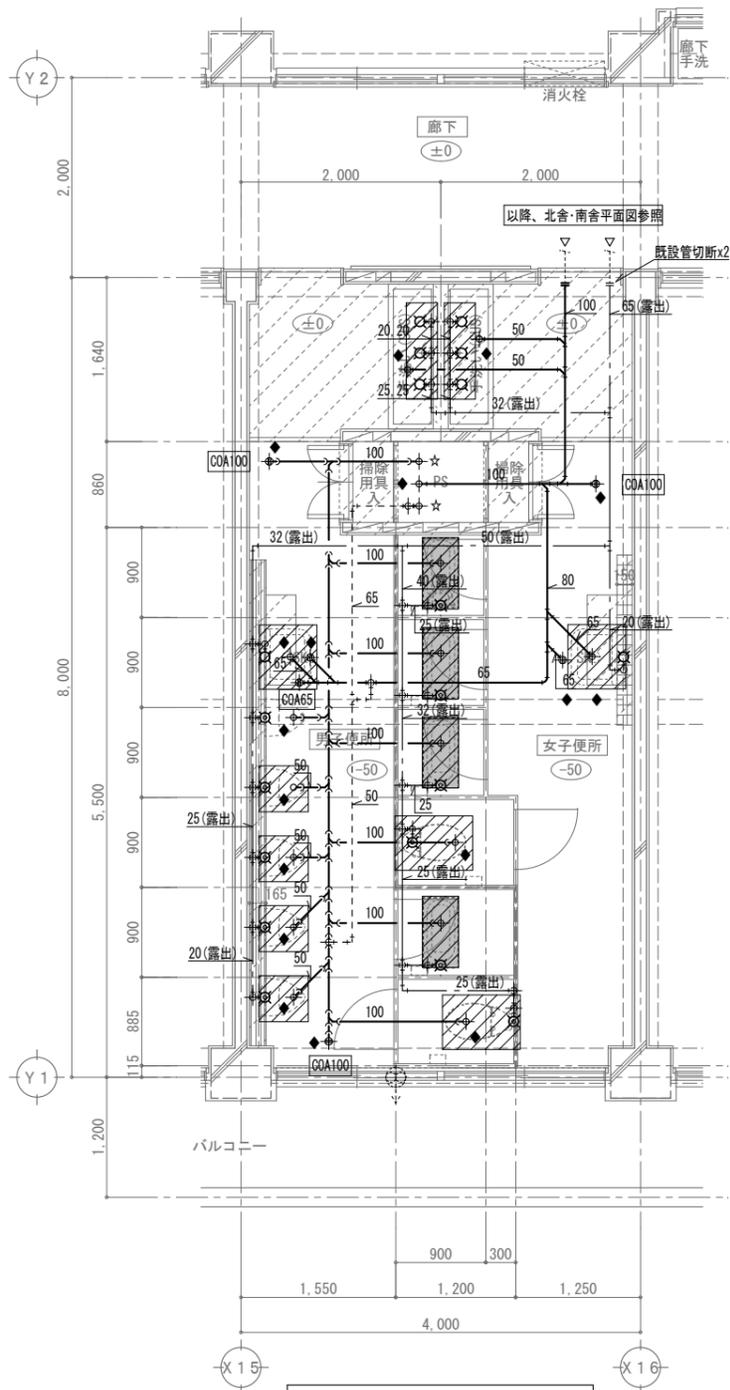
※配管改修済み、天井解体に伴う露出配管保温外装撤去を行う。

機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。	
———	撤去配管
-----	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▨	撤去機器・器具

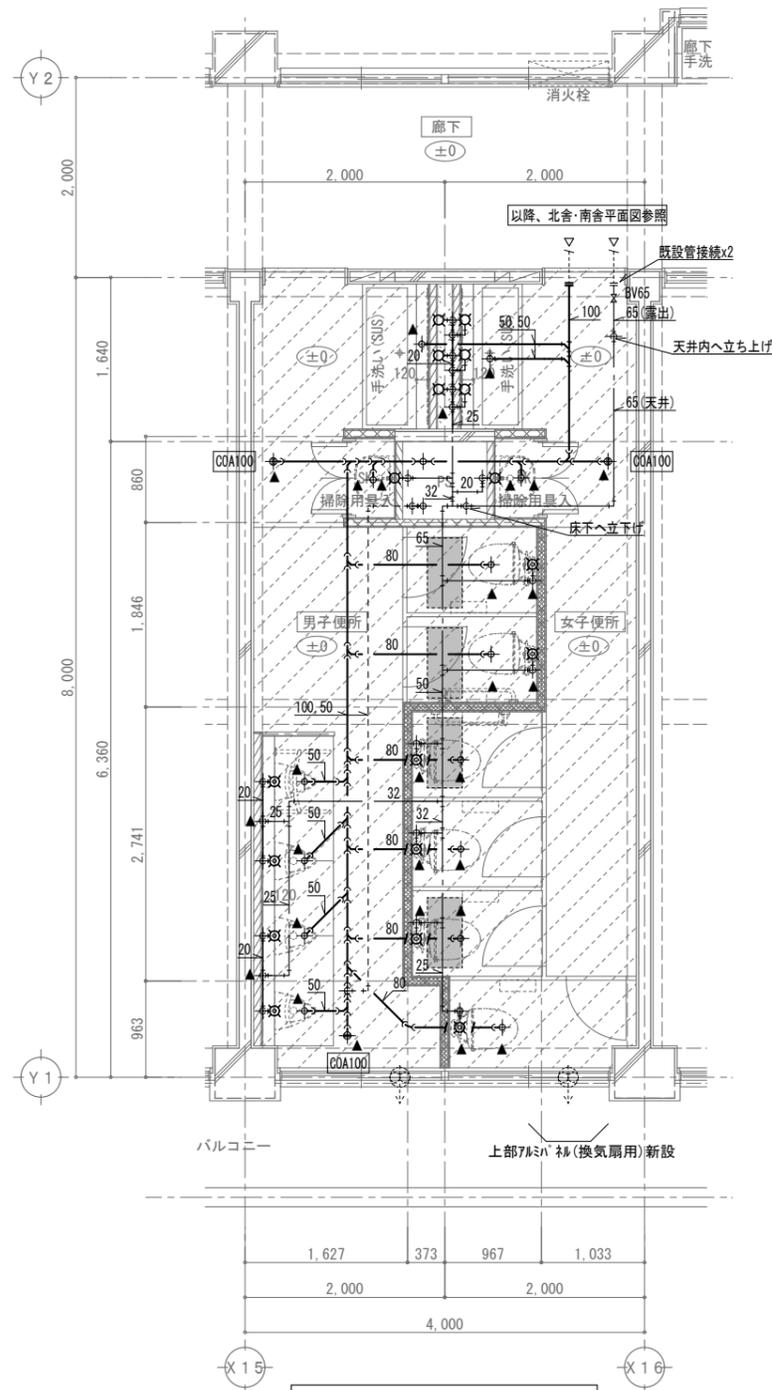
※天井復旧に伴う露出配管保温外装更新を行う。

機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。	
———	改修配管
-----	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所





改修前 平面詳細図 S=1/50



改修後 平面詳細図 S=1/50

機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。

—	撤去配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▨	撤去機器・器具

凡例 改修前

(±0)	FLからの現況レベル高さを示す
---	梁位置を示す
▨	撤去範囲を示す
▨	コンクリート57 撤去範囲を示す(仕上共) 周囲コンクリートカッター 350×700

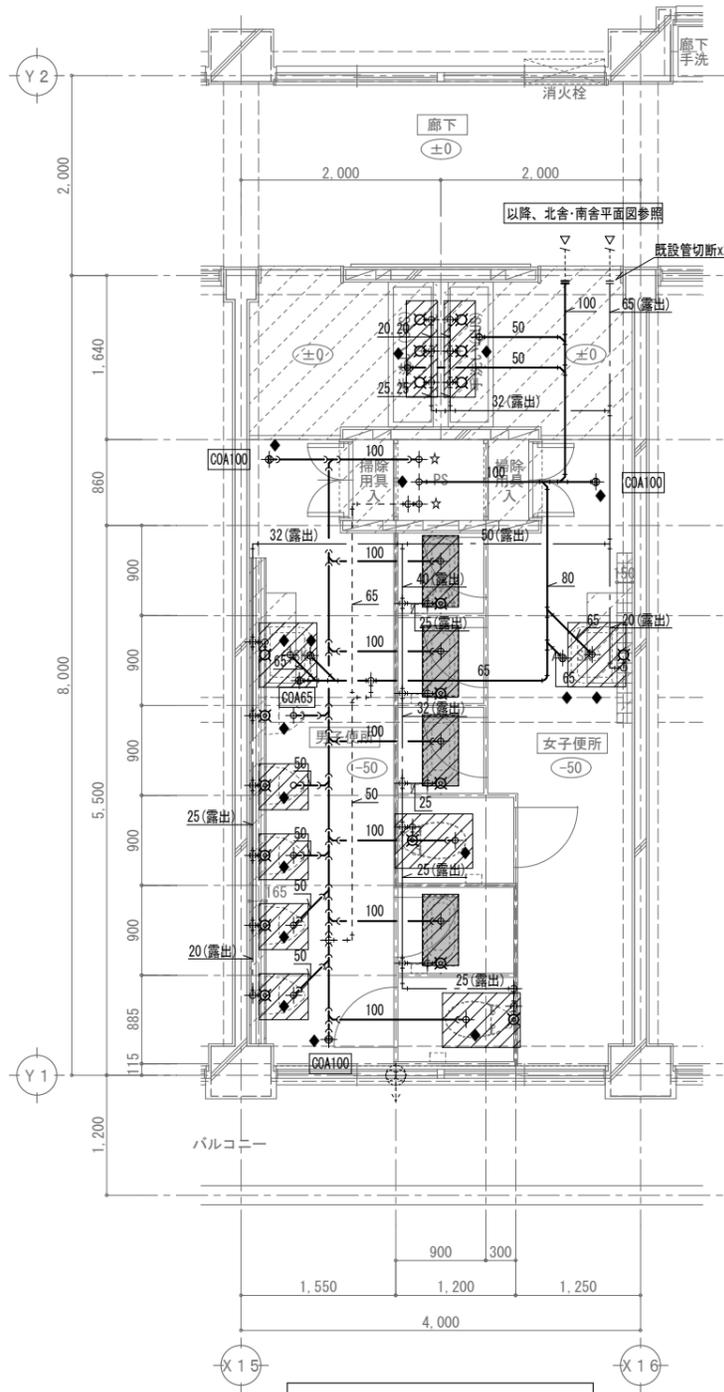
機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。

—	改修配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所

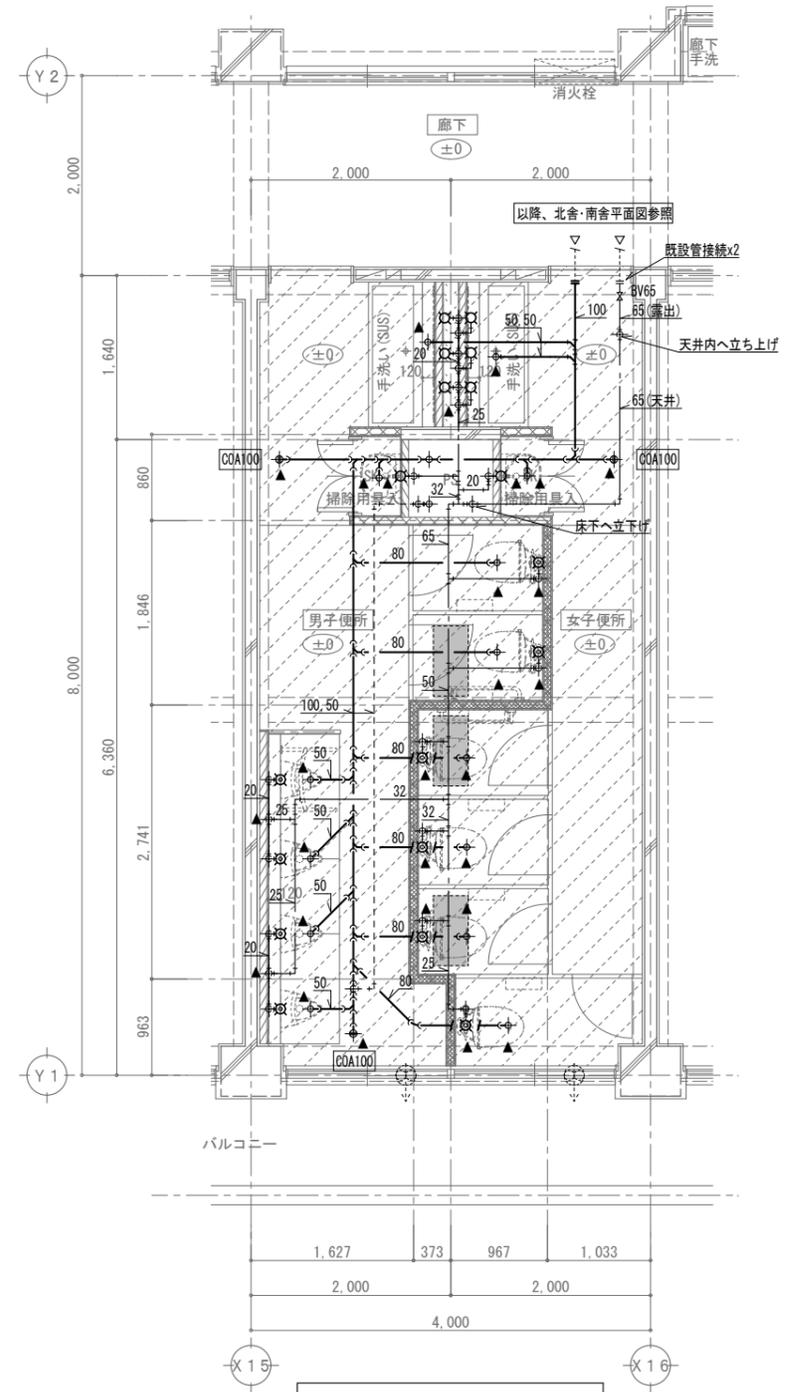
凡例 改修後

(±0)	FLからの改修後レベル高さを示す
---	既設梁位置を示す
▨	新設範囲を示す
▨	既設和便器部 開口閉塞
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃ミネラル化粧板t=3.0両面 : グラスノック(24K)t=50
▨	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃ミネラル化粧板t=3.0





改修前 平面詳細図 S=1/50



改修後 平面詳細図 S=1/50

機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。

—	撤去配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▨	撤去機器・器具



凡例 改修前

(±0)	FLからの現況レベル高さを示す
---	梁位置を示す
▨	撤去範囲を示す
▨	コンクリートスラブ 撤去範囲を示す(仕上共) 周囲コンクリートカッター 350×700

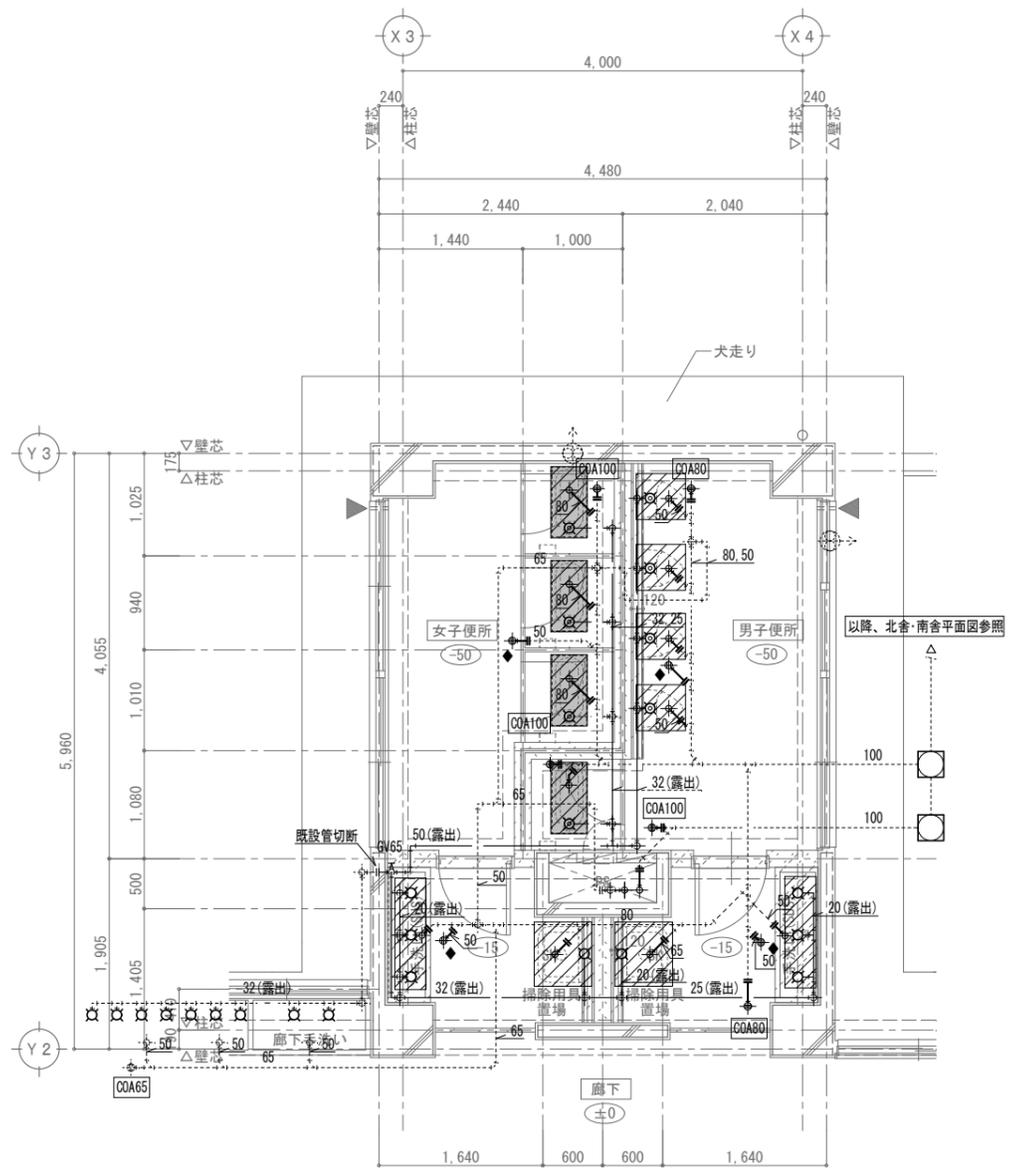
機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。

—	改修配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所

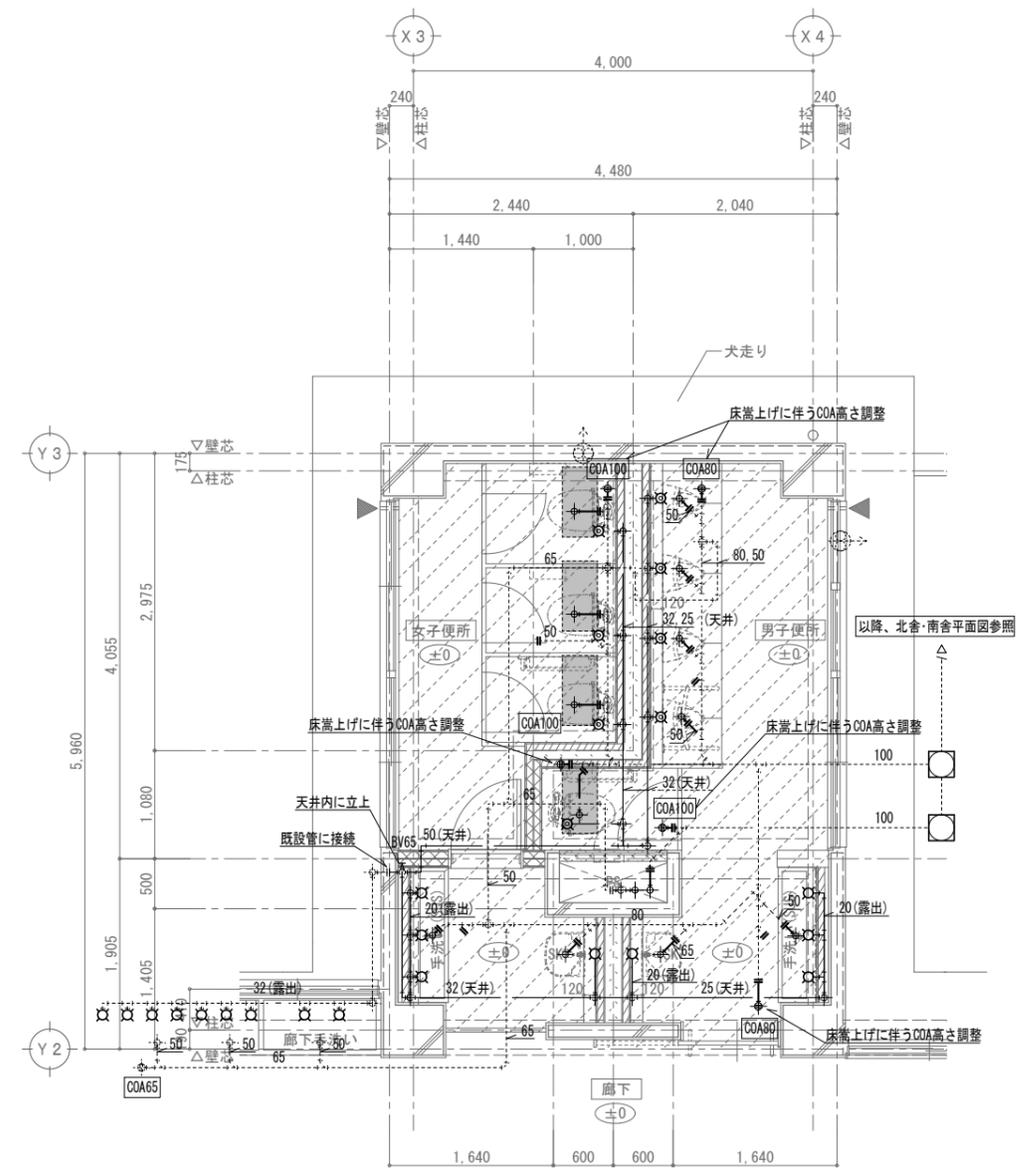


凡例 改修後

(±0)	FLからの改修後レベル高さを示す
---	既設梁位置を示す
▨	新設範囲を示す
▨	既設和便器部 開口閉塞
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃ミネ化化粧板t=3.0両面 ガラスカール(24K)t=50
▨	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃ミネ化化粧板t=3.0



改修前 平面詳細図 S=1/50



改修後 平面詳細図 S=1/50

機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。

—	撤去配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▨	撤去機器・器具

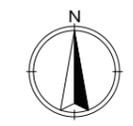


凡例 改修前

(±0)	FLからの現況レベル高さを示す
---	地中梁位置を示す(梁天端GL-100)
▨	撤去範囲を示す
▨	土間コンクリート撤去範囲を示す(仕上共) 周囲コンクリートカット= 350×700
▶	既設耐震スリット位置を示す

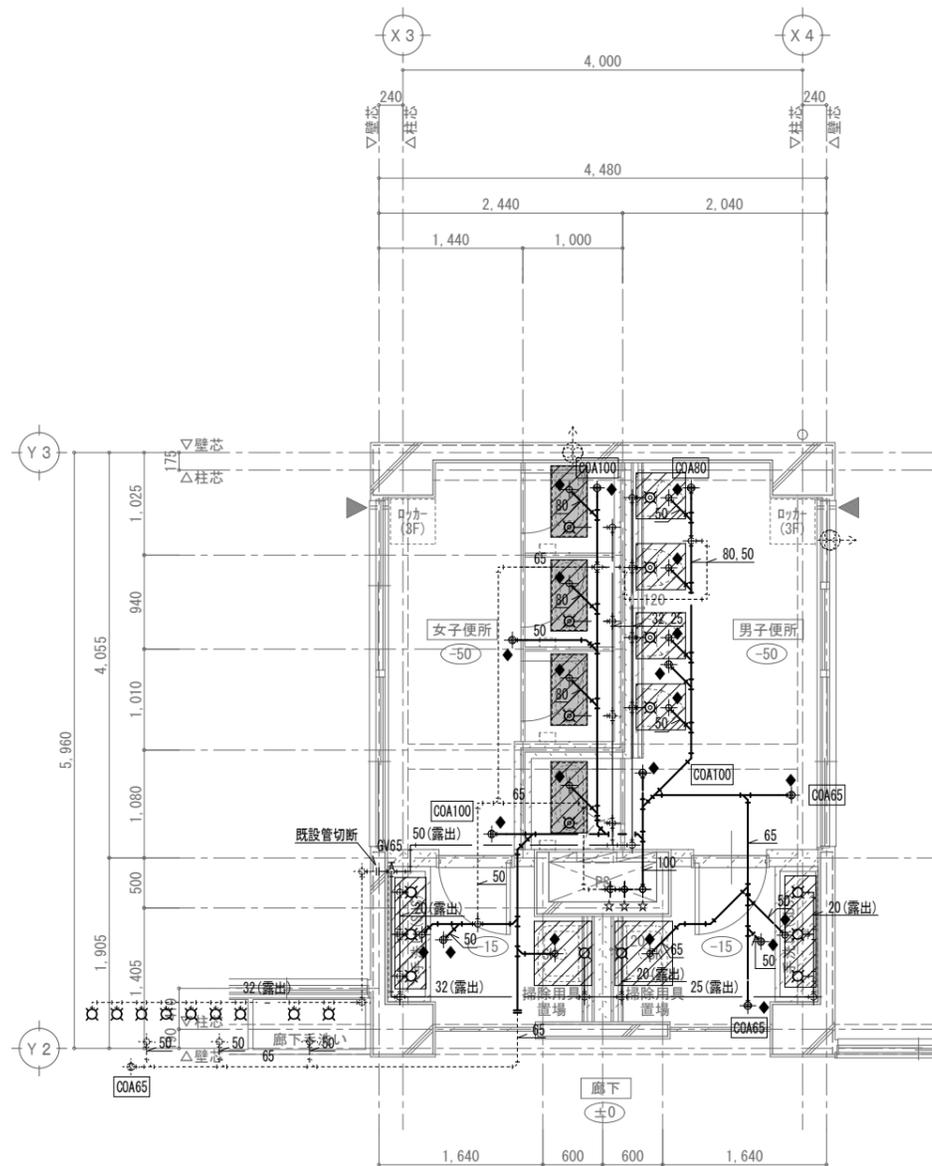
機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。

—	改修配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所

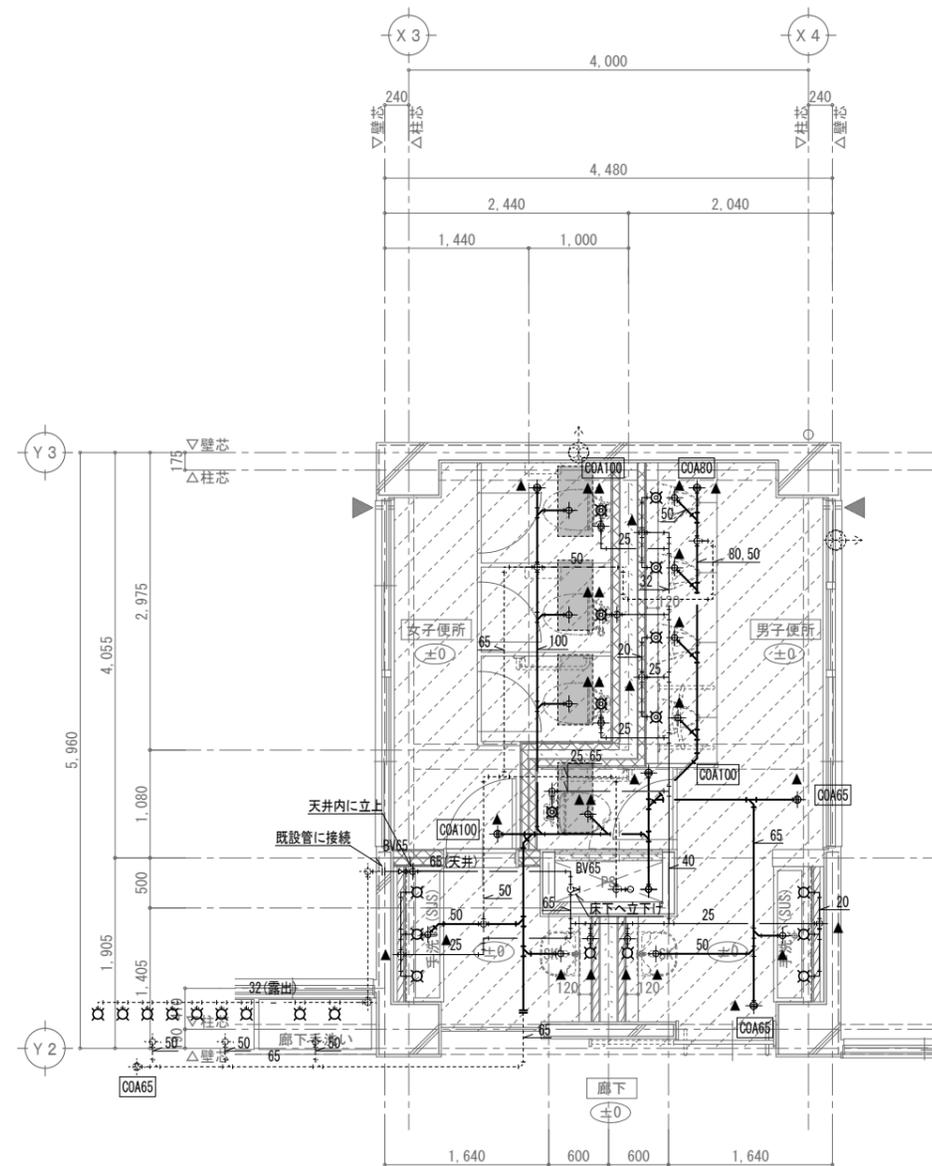


凡例 改修後

(±0)	FLからの改修後レベル高さを示す
---	既設地中梁位置を示す
▨	新設範囲を示す
▨	既設和便器部 開口閉塞 (部分詳細図参照)
▶	耐震スリット 打替え
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃ミネラル化粧板t=3.0両面
▨	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃ミネラル化粧板t=3.0
▨	耐火壁 新設 (LGS65、GB-Ft=21+21片面) 不燃ミネラル化粧板t=3.0片面



改修前 平面詳細図 S=1/50



改修後 平面詳細図 S=1/50

機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。

—	撤去配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▨	撤去機器・器具



凡例 改修前

(±0)	FLからの現況レベル高さを示す
---	梁位置を示す
▨	撤去範囲を示す
▨	コンクリートスラブ 撤去範囲を示す (仕上共) 周囲コンクリートカッター 350×700
▶	既設耐震スリット位置を示す

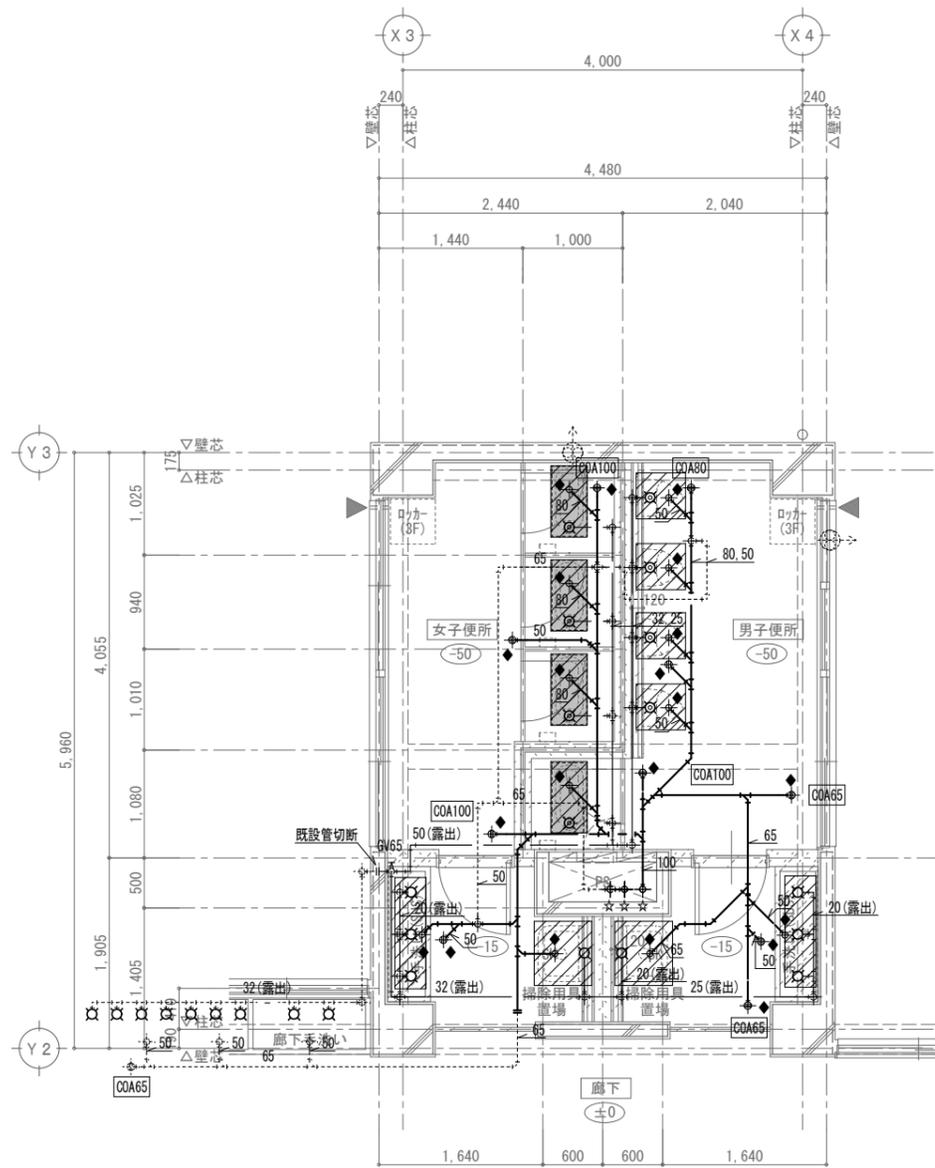
機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。

—	改修配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所

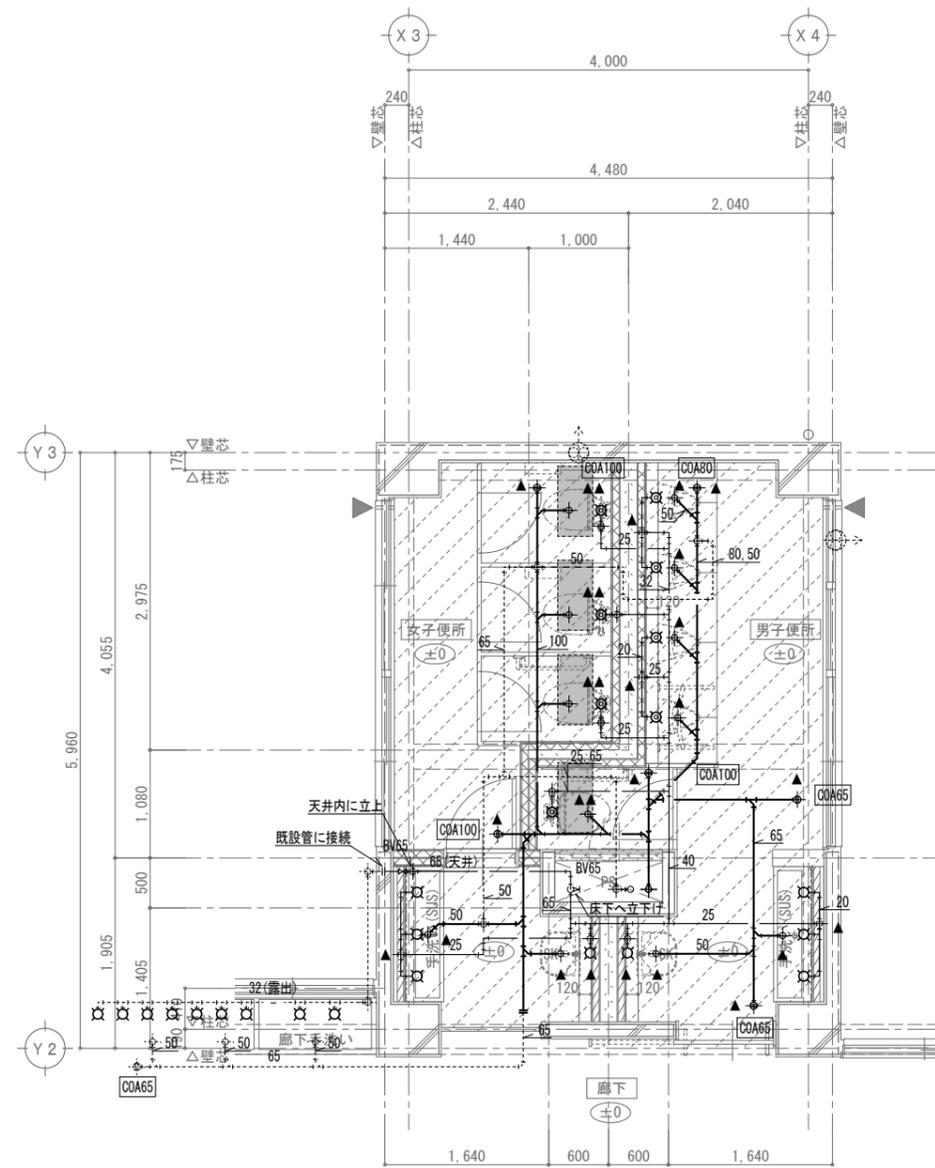


凡例 改修後

(±0)	FLからの改修後レベル高さを示す
---	既設梁位置を示す
▨	新設範囲を示す
▨	既設和便器部 開口閉塞
▶	耐震スリット 打替え
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃Mn化化粧板t=3.0両面
▨	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃Mn化化粧板t=3.0
▨	耐火壁 新設 (LGS65、GB-Ft=21+21片面) 不燃Mn化化粧板t=3.0片面



改修前 平面詳細図 S=1/50



改修後 平面詳細図 S=1/50

機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。

—	撤去配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▨	撤去機器・器具



凡例 改修前

(±0)	FLからの現況レベル高さを示す
---	梁位置を示す
▨	撤去範囲を示す
▨	コンクリートスラブ撤去範囲を示す(仕上共) 周囲コンクリートカッター 350×700
▶	既設耐震スリット位置を示す

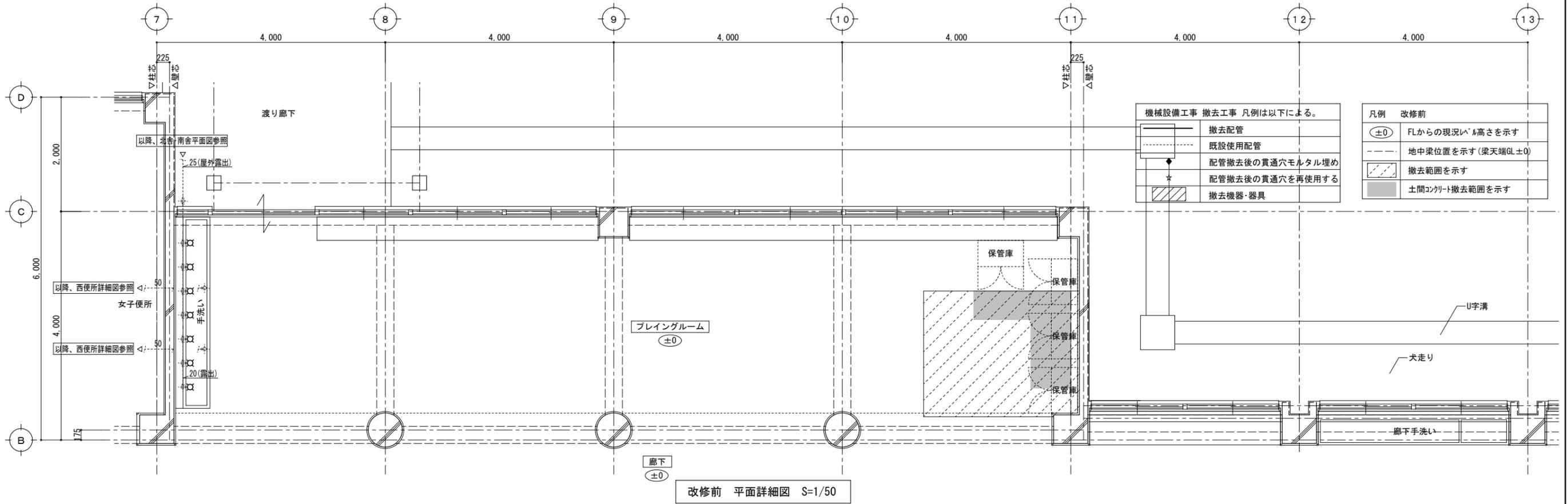
機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。

—	改修配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所



凡例 改修後

(±0)	FLからの改修後レベル高さを示す
---	既設梁位置を示す
▨	新設範囲を示す
▨	既設和便器部 開口閉塞
▶	耐震スリット 打替え
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面) 不燃Mn化化粧板t=3.0両面
▨	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃Mn化化粧板t=3.0
▨	耐火壁 新設 (LGS65、GB-Ft=21+21片面) 不燃Mn化化粧板t=3.0片面



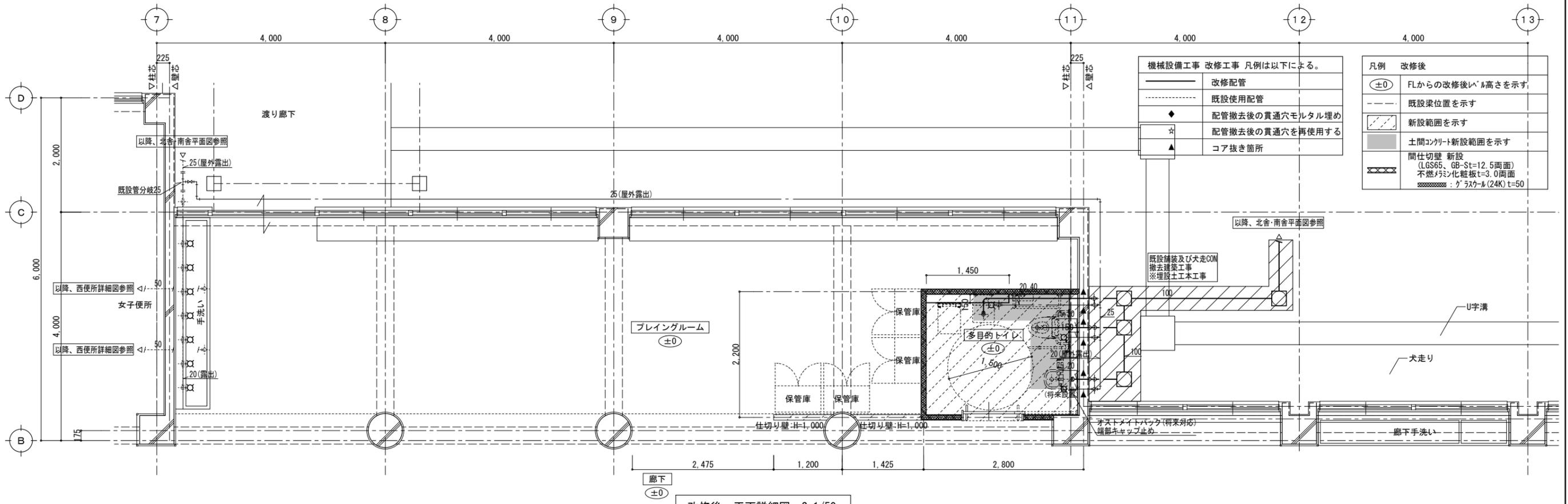
改修前 平面詳細図 S=1/50

機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。

—	撤去配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	撤去機器・器具

凡例 改修前

±0	FLからの現況レベル高さを示す
---	地中梁位置を示す(梁先端GL±0)
▨	撤去範囲を示す
■	土間コンクリート撤去範囲を示す



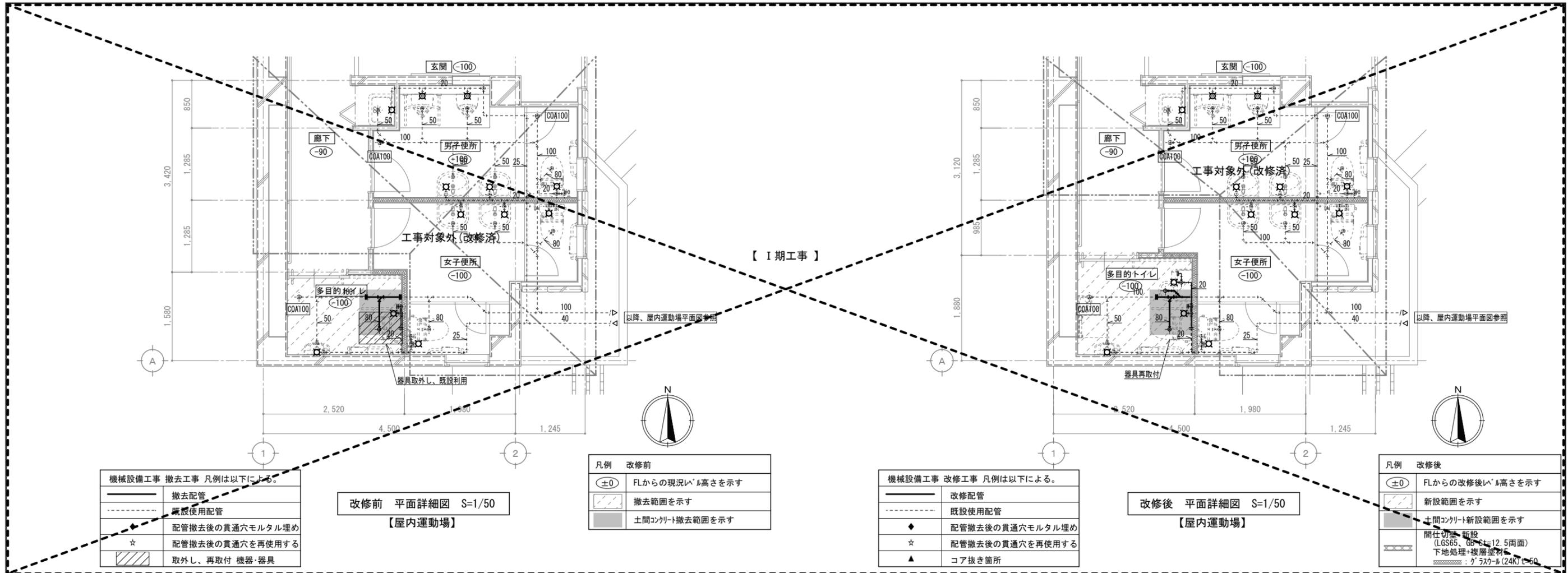
改修後 平面詳細図 S=1/50

機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。

—	改修配管
---	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所

凡例 改修後

±0	FLからの改修後レベル高さを示す
---	既設梁位置を示す
▨	新設範囲を示す
■	土間コンクリート新設範囲を示す
▨	間仕切壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5両面)
▨	不燃ミネラル化粧板 t=3.0両面
▨	クォーツ(24K) t=50



機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。

—	撤去配管
- - -	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▨	取外し、再取付 機器・器具

改修前 平面詳細図 S=1/50
【屋内運動場】

凡例 改修前

○±0	FLからの現況レベル高さを示す
▨	撤去範囲を示す
▩	土間コンクリート撤去範囲を示す

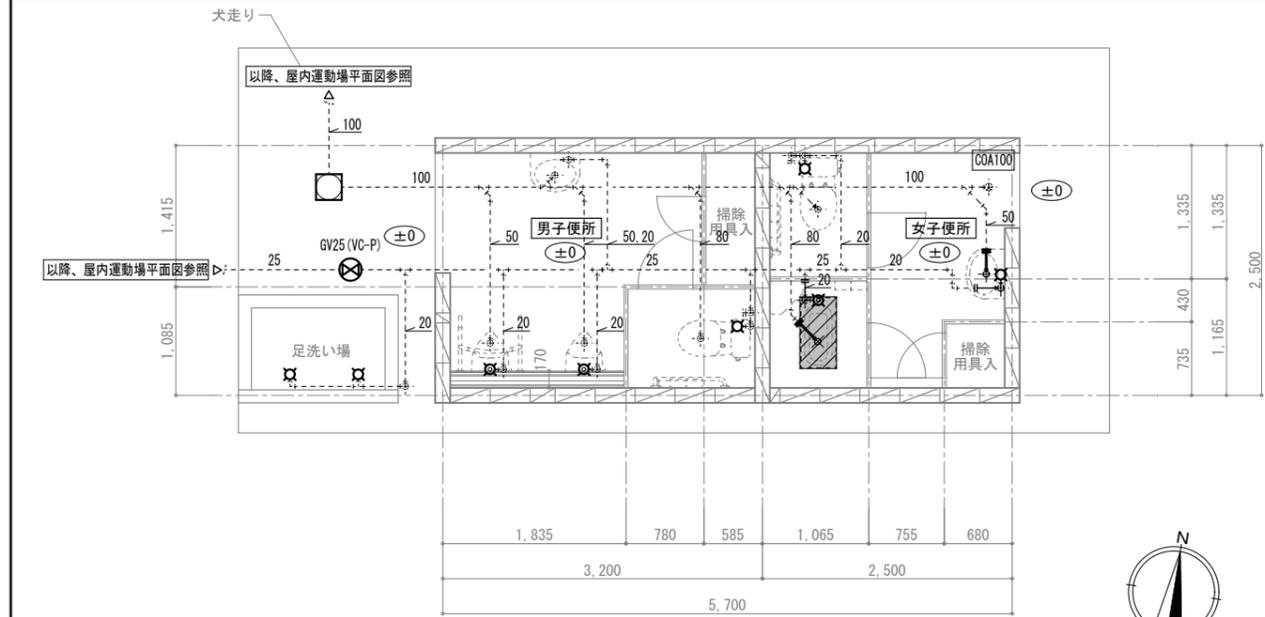
機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。

—	改修配管
- - -	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所

改修後 平面詳細図 S=1/50
【屋内運動場】

凡例 改修後

○±0	FLからの改修後レベル高さを示す
▨	新設範囲を示す
▩	土間コンクリート新設範囲を示す
▨	間仕切り新設 (LGS65、GS-S12.5両面) 下地処理+複層塗料
▨	タイル貼付 (24K) L=60



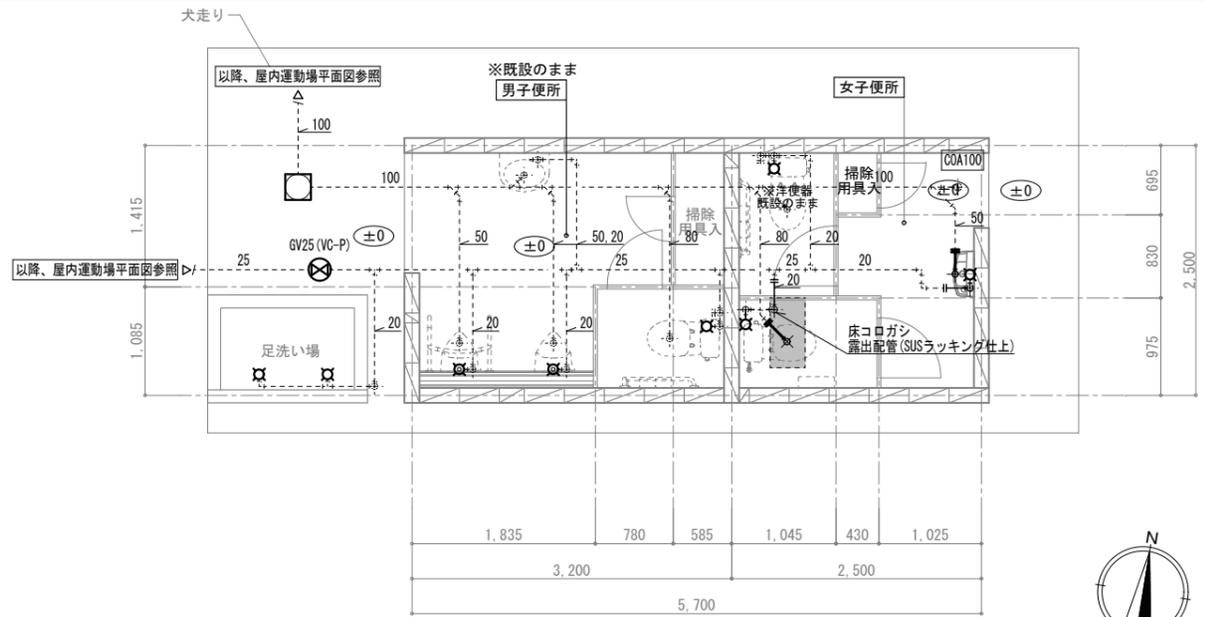
機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。

—	撤去配管
- - -	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▨	撤去機器・器具

改修前 平面詳細図 S=1/50
【屋外トイレ1】

凡例 改修前

○±0	FLからの現況レベル高さを示す
▨	撤去範囲を示す
▩	土間コンクリート撤去範囲を示す(仕上共) 周囲コンクリートカッター 350×700



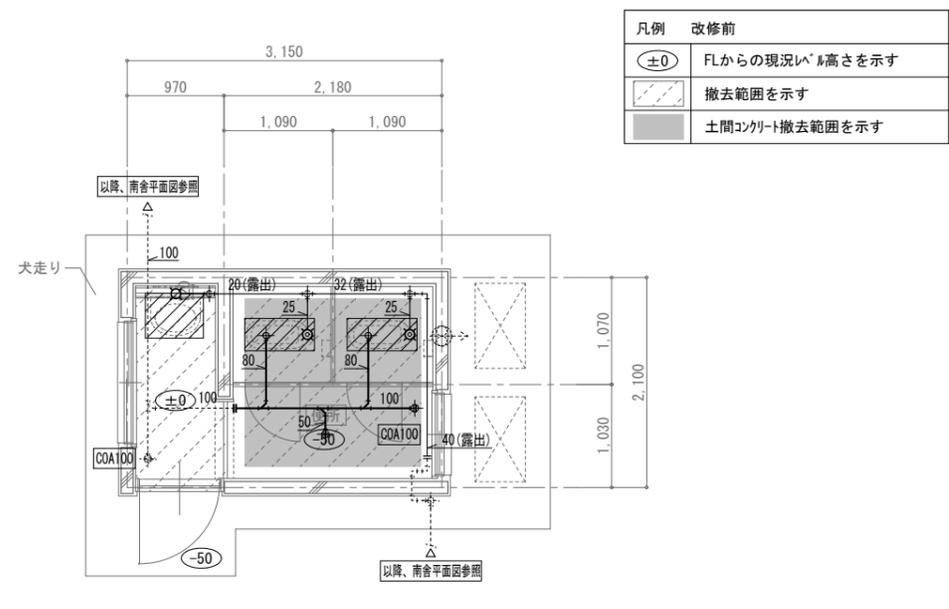
機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。

—	改修配管
- - -	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所

改修後 平面詳細図 S=1/50
【屋外トイレ1】

凡例 改修後

○±0	FLからの改修後レベル高さを示す
▨	新設範囲を示す
▩	既設和便器部 開口閉塞 (部分詳細図参照)

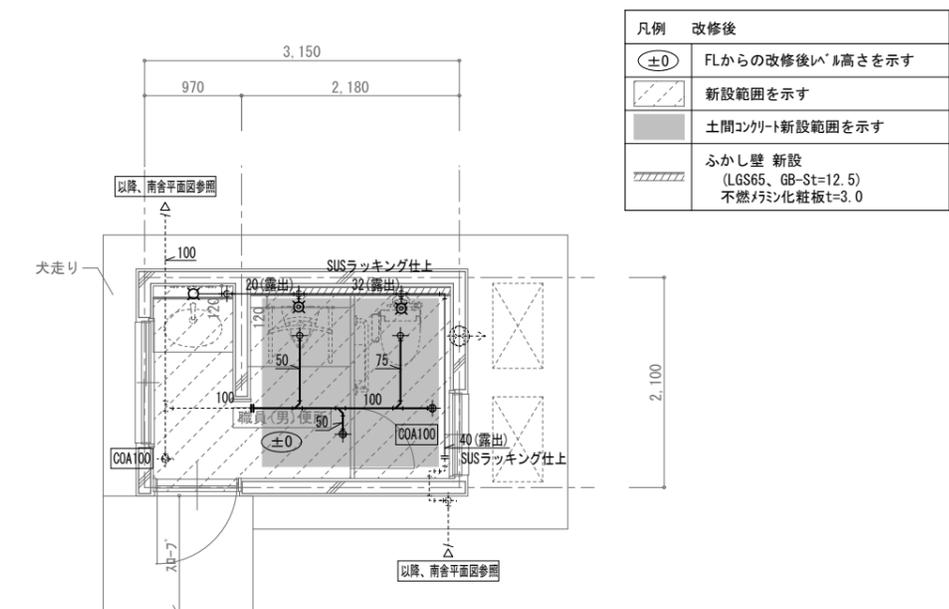


凡例 改修前	
(±0)	FLからの現況レベル高さを示す
	撤去範囲を示す
	土間コンクリート撤去範囲を示す

改修前 平面詳細図 S=1/50
【屋外トイレ2】



機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。	
	撤去配管
	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
	撤去機器・器具

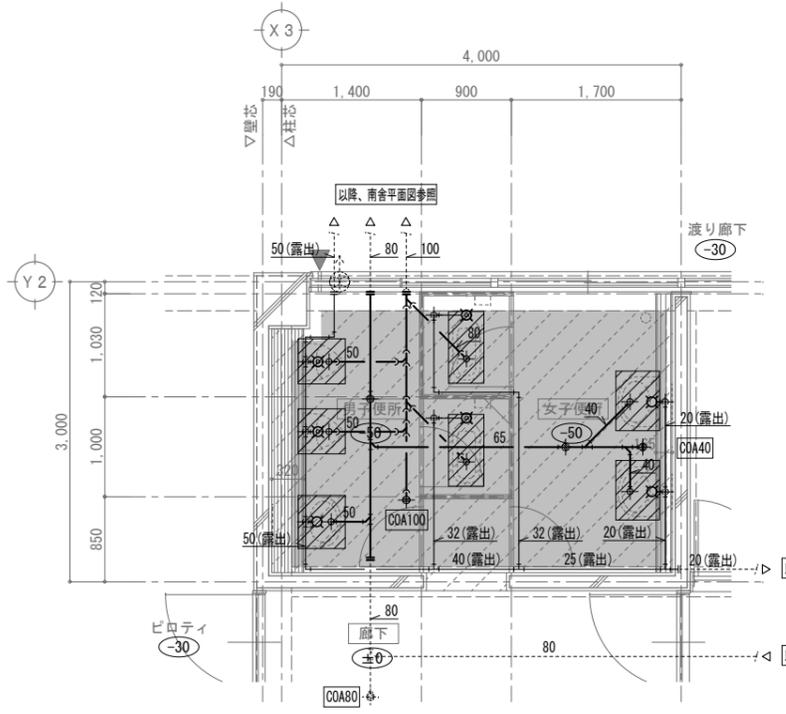


凡例 改修後	
(±0)	FLからの改修後レベル高さを示す
	新設範囲を示す
	土間コンクリート新設範囲を示す
	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃ミネラル化粧板t=3.0

改修後 平面詳細図 S=1/50
【屋外トイレ2】



機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。	
	改修配管
	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所

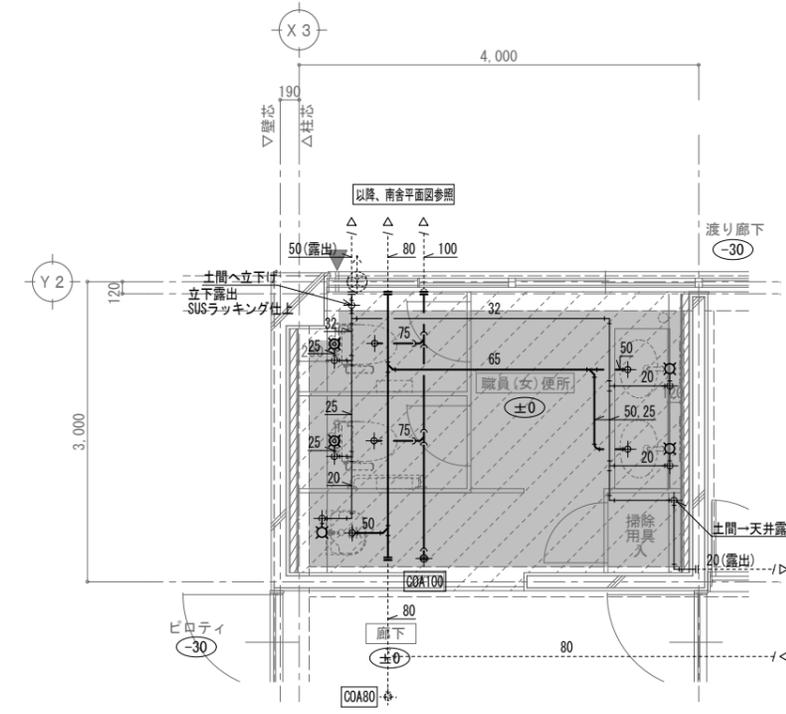


凡例 改修前	
(±0)	FLからの現況レベル高さを示す
	地中梁位置を示す(梁端GL-100)
	撤去範囲を示す
	土間コンクリート撤去範囲を示す
▶	既設耐震スリット位置を示す

改修前 平面詳細図 S=1/50
【特別教室棟】



機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。	
	撤去配管
	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
	撤去機器・器具

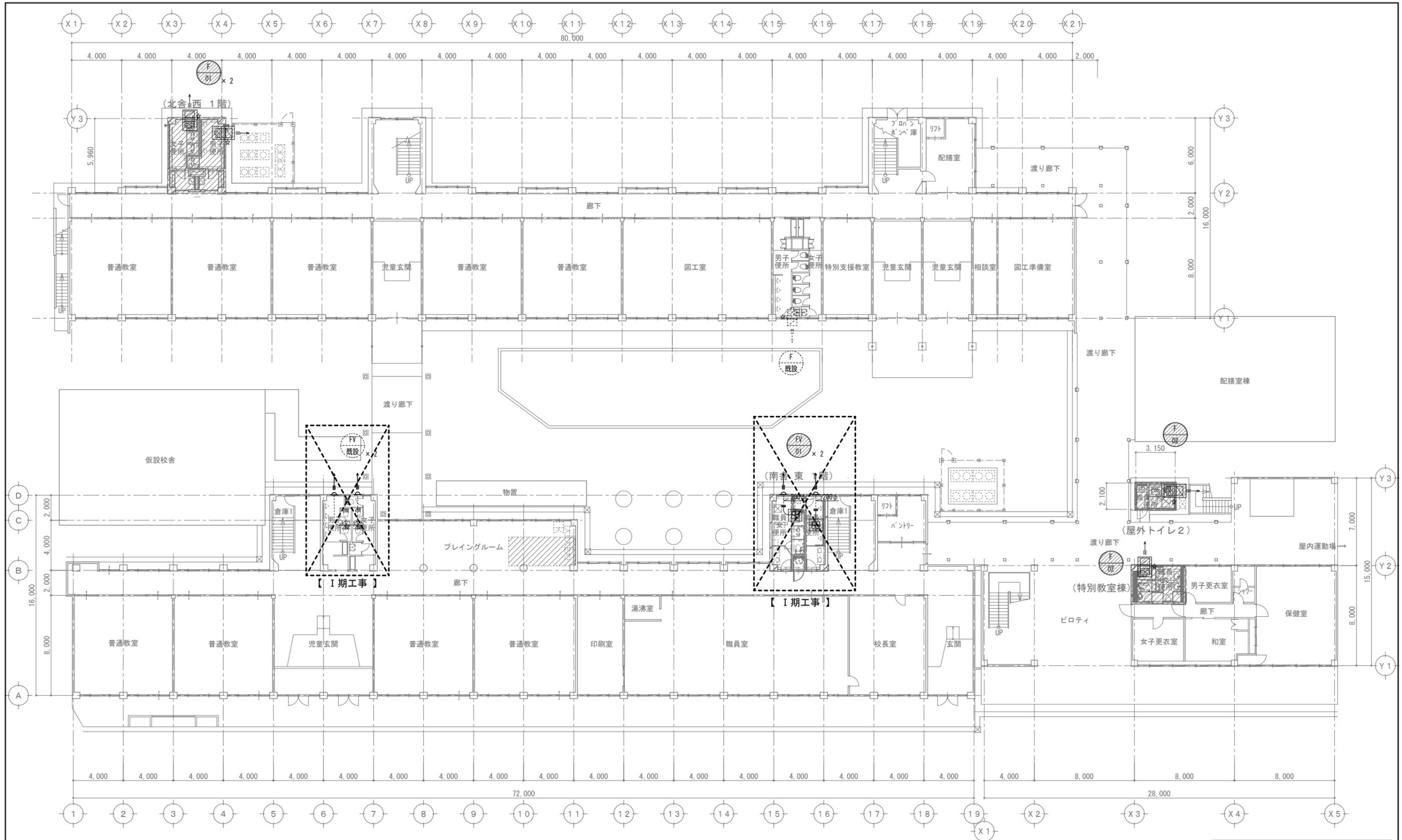


凡例 改修後	
(±0)	FLからの改修後レベル高さを示す
	既設地中梁位置を示す
	新設範囲を示す
	土間コンクリート新設範囲を示す
▶	耐震スリット 打替え
	ふかし壁 新設 (LGS65、GB-St=12.5) 不燃ミネラル化粧板t=3.0

改修後 平面詳細図 S=1/50
【特別教室棟】



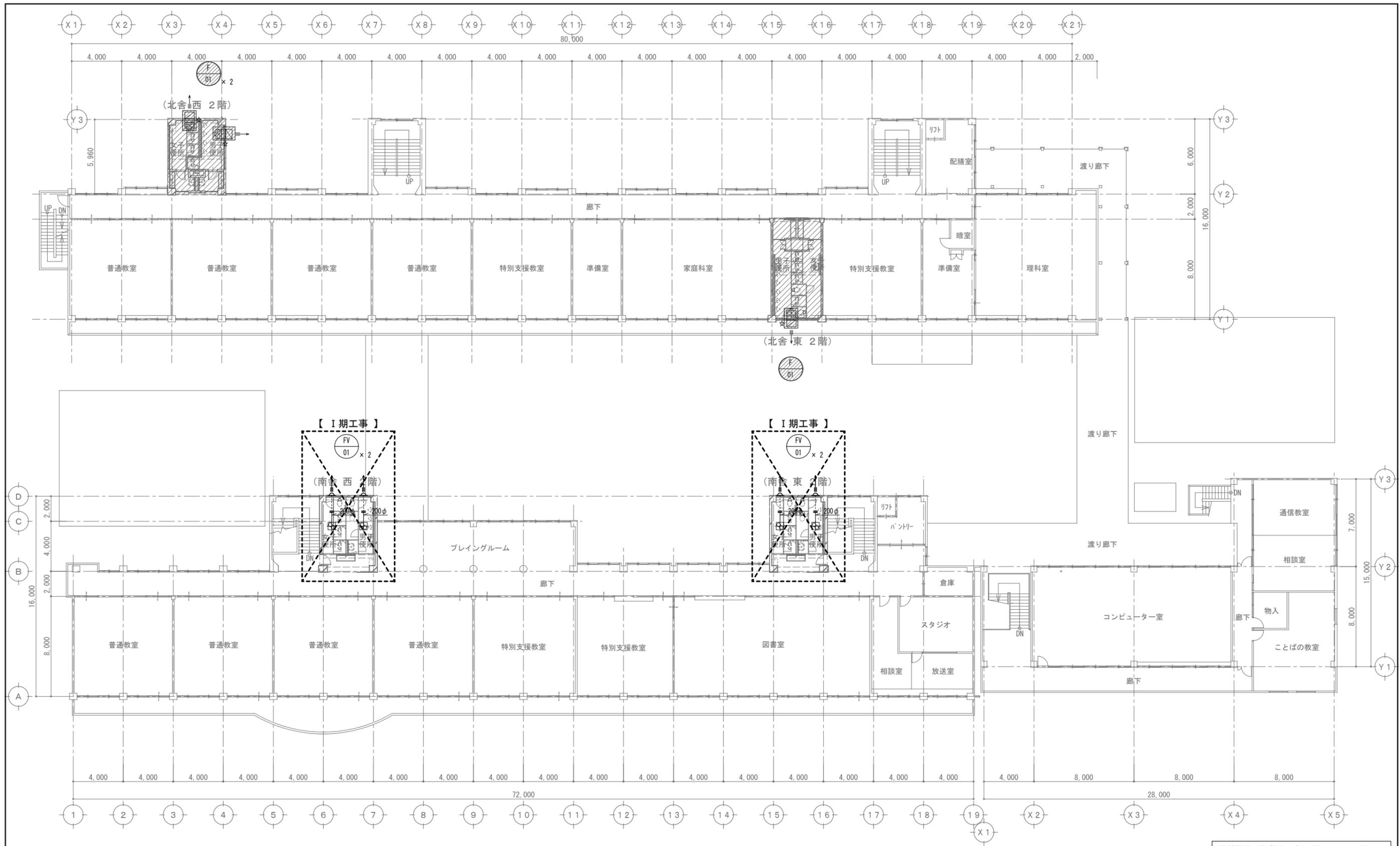
機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。	
	改修配管
	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所



改修前 平面図 S=1/200

機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。	
	撤去配管
	既設使用配管
	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
	配管撤去後の貫通穴を再使用する
	撤去機器・器具

凡例	
	工事対象箇所を示す

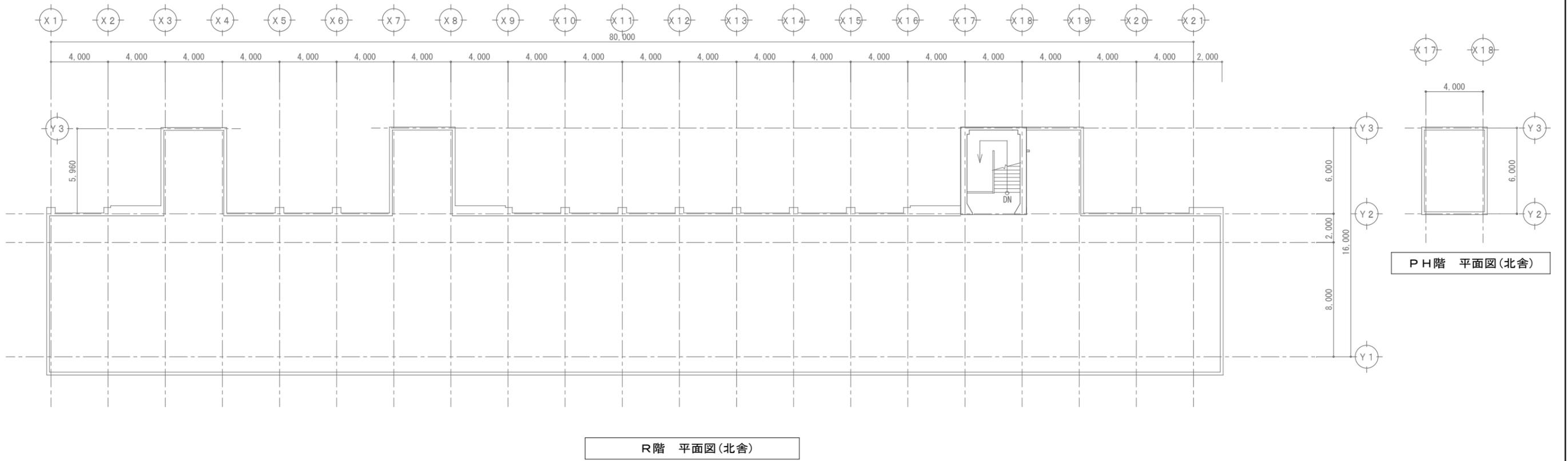


改修前 平面図 S=1/200

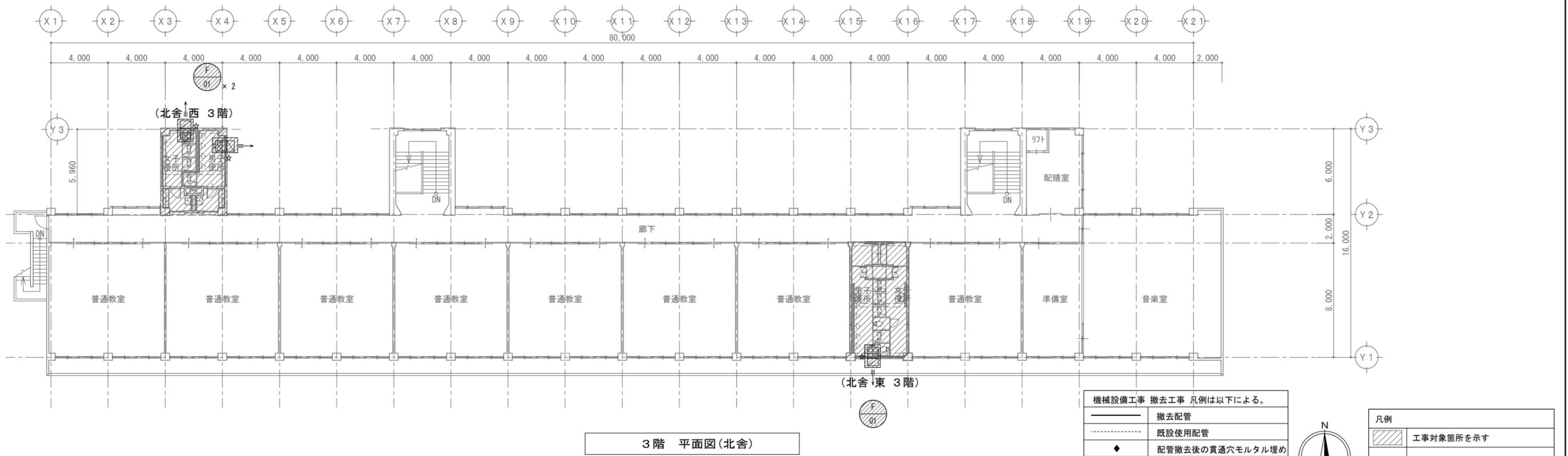
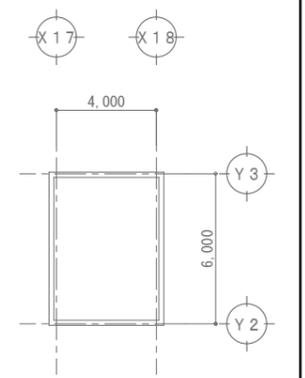
機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。	
	撤去配管
	既設使用配管
	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
	配管撤去後の貫通穴を再使用する
	撤去機器・器具

凡例	
	工事対象箇所を示す





P H階 平面図 (北舎)



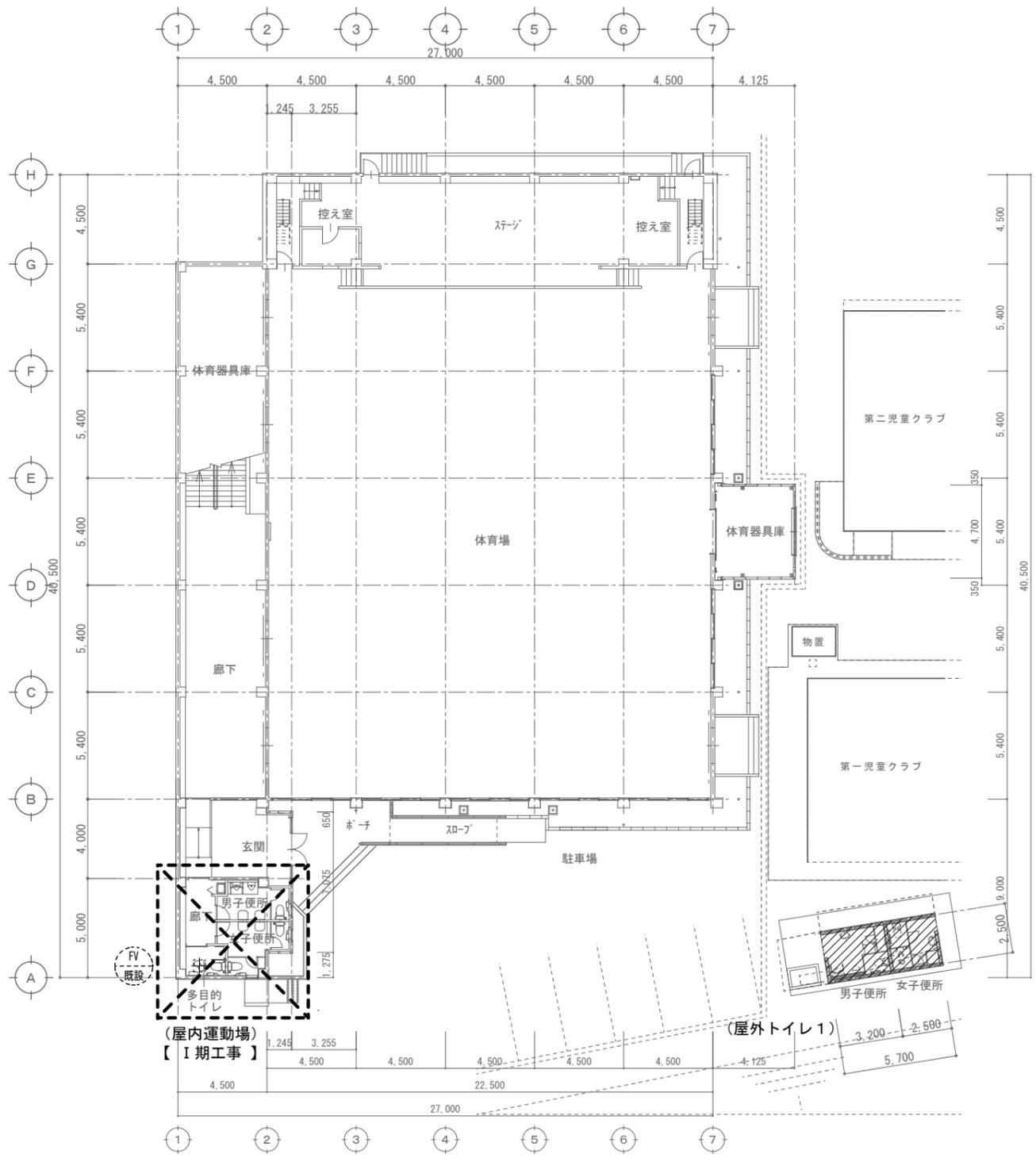
機械設備工事 撤去工事 凡例は以下による。

——	撤去配管
----	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▨	撤去機器・器具



凡例

▨	工事対象箇所を示す



改修前 平面図 S=1/200



凡例	
	工事対象箇所を示す
	既設

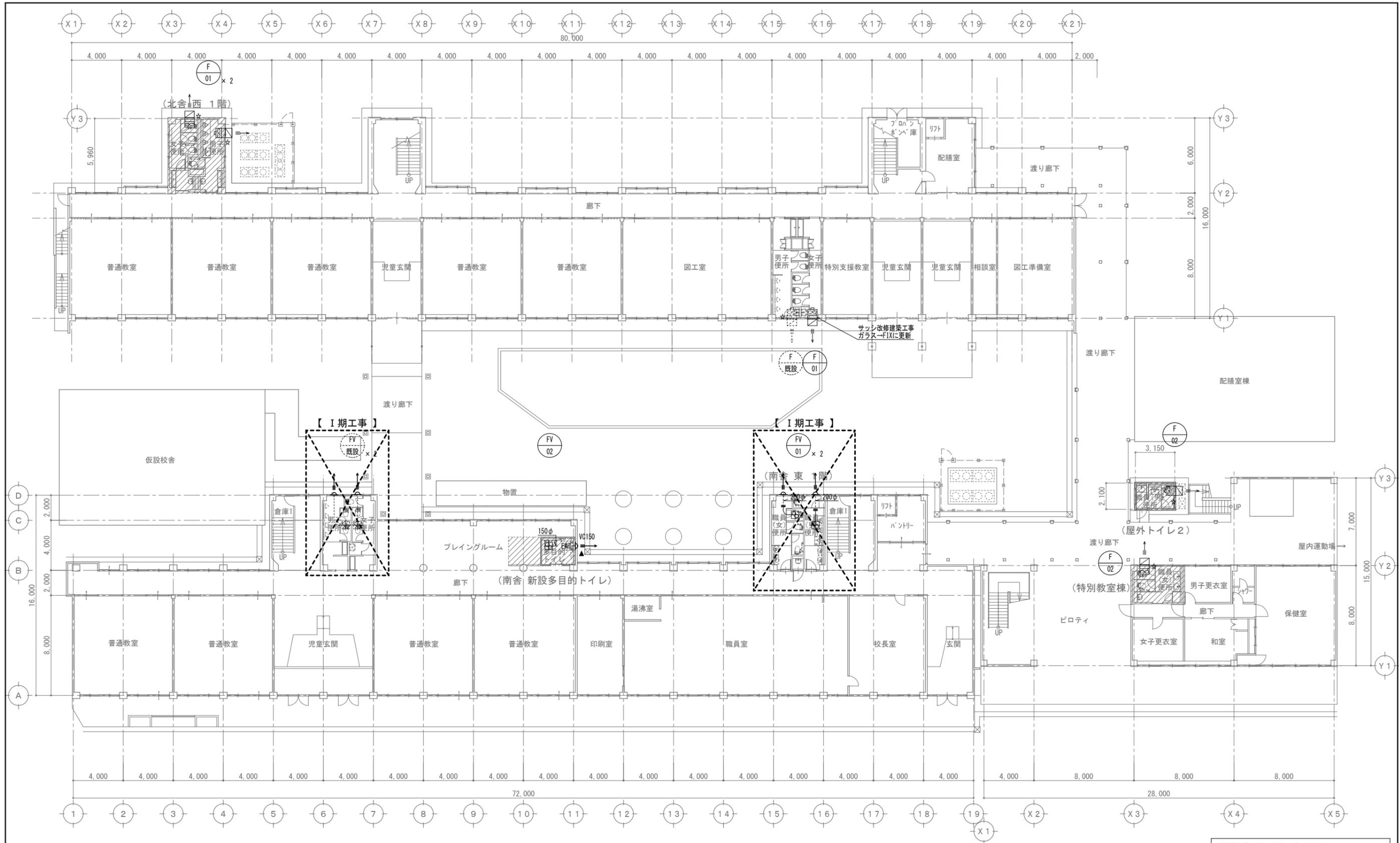
株式会社 山田建築事務所
YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士77899号 大嶽 俊 和

CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE
A2 : S=1/200
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改造工事 (II期)
換気設備 屋内運動場・屋外トイレ1 平面図 (改修前)

SHEET NO.
M-24



改修後 平面図 S=1/200

機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。	
	改修配管
	既設使用配管
	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
	配管撤去後の貫通穴を再使用する
	コア抜き箇所

凡例	
	工事対象箇所を示す

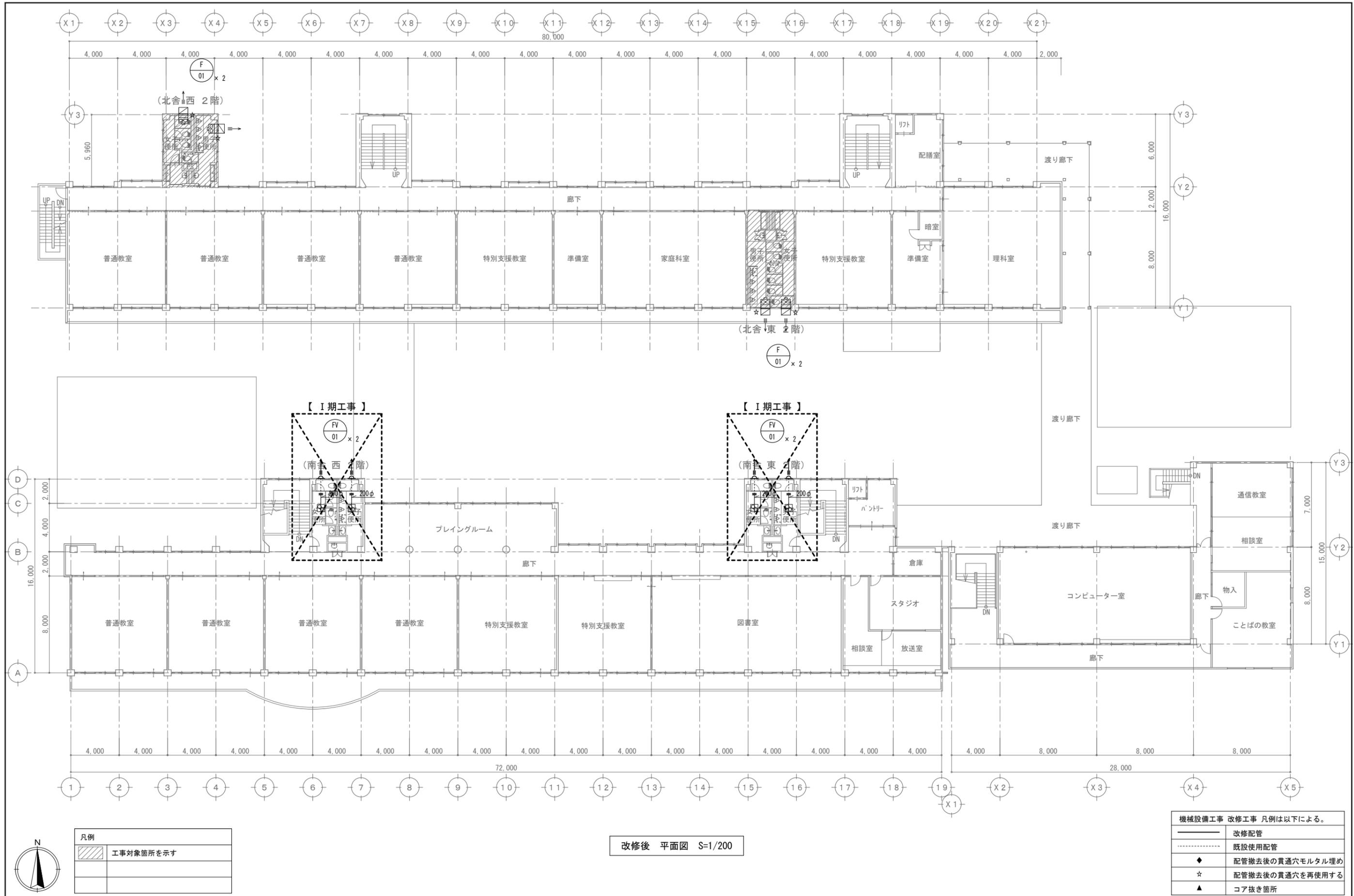


株式会社 山田建築事務所
YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士77890号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW	SCALE A2: S=1/200
			DATE 令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事 (II期)
換気設備 北舎・南舎 1階 平面図(改修後)

SHEET NO.
M-25



改修後 平面図 S=1/200

機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。	
	改修配管
	既設使用配管
	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
	配管撤去後の貫通穴を再使用する
	コア抜き箇所

凡例	
	工事対象箇所を示す



株式会社 山田建築事務所

YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士 77899号 大嶽 俊和

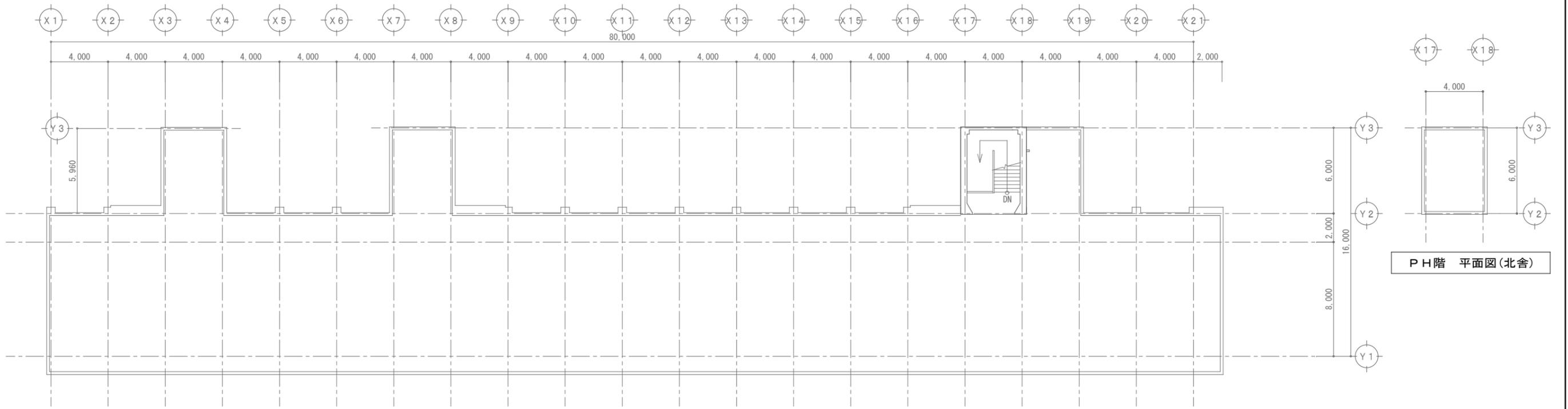
CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE	DATE
A2 : S=1/200	令和6年10月

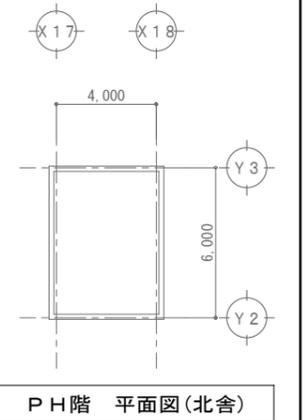
可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事 (II期)

換気設備 北舎・南舎 2階 平面図(改修後)

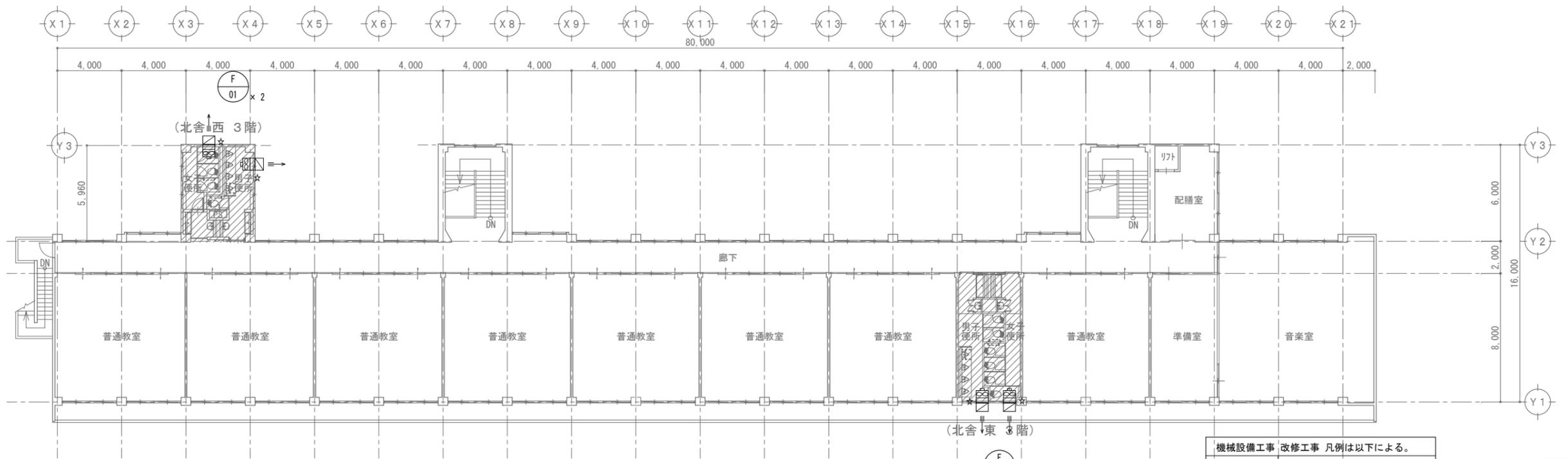
SHEET NO.
M-26



R階 平面図 (北舎)



PH階 平面図 (北舎)



3階 平面図 (北舎)

機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。	
——	改修配管
-----	既設使用配管
◆	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
☆	配管撤去後の貫通穴を再使用する
▲	コア抜き箇所



凡例	
▨	工事対象箇所を示す

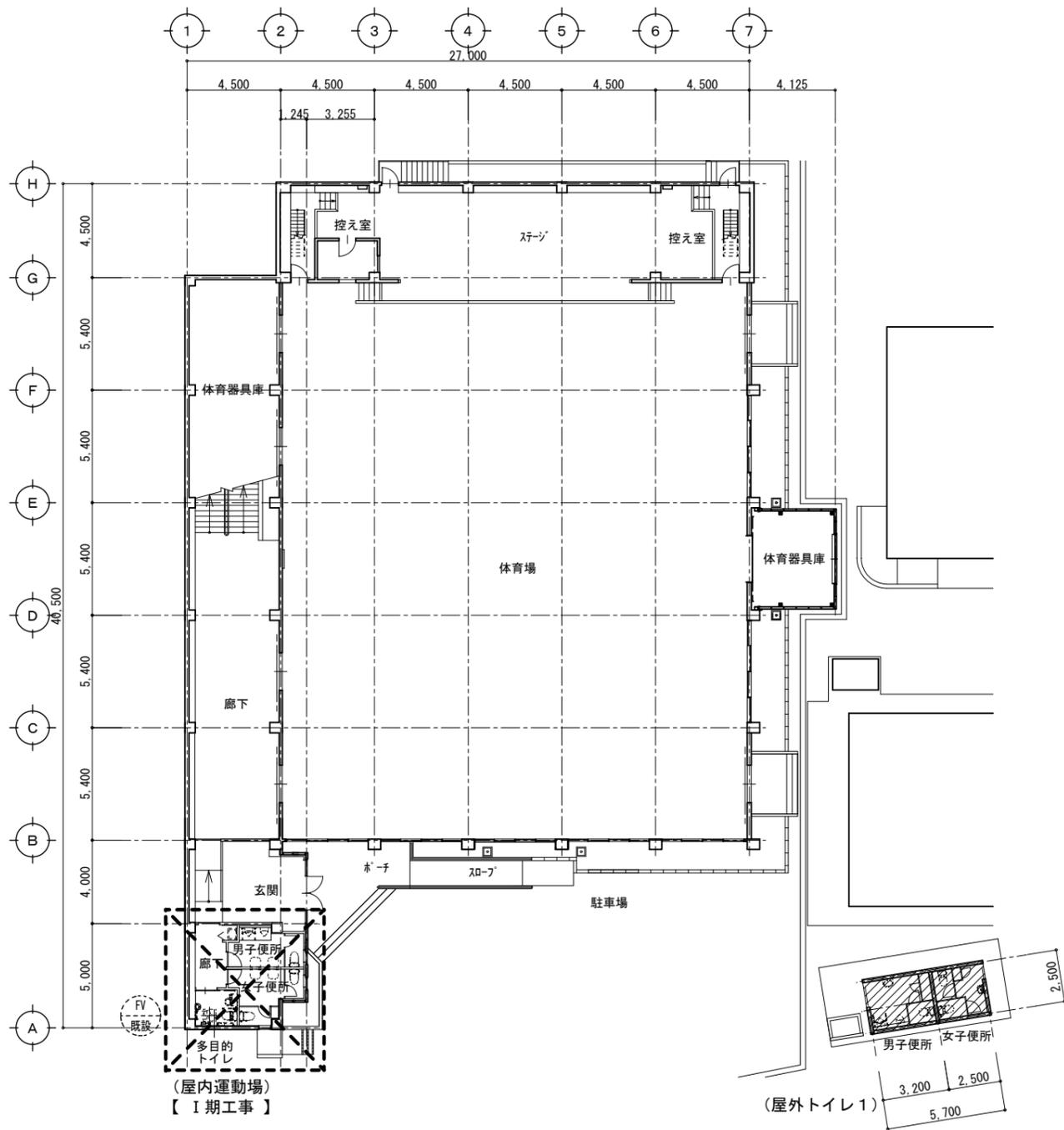
株式会社 山田建築事務所
YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士 778990号 大嶽 俊和

CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE
A2 : S=1/200
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事 (II期)
換気設備 北舎 3階・R階 平面図 (改修後)

SHEET NO.
M-27



改修後 平面図 S=1/200

凡例	
	工事対象箇所を示す

機械設備工事 改修工事 凡例は以下による。	
	改修配管
	既設使用配管
	配管撤去後の貫通穴モルタル埋め
	配管撤去後の貫通穴を再使用する
	コア抜き箇所

株式会社 山田建築事務所
 YAMADA ARCHITECT OFFICE 管理技術者 一級建築士 77890号 大嶽 俊 和

CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE
A2 : S=1/200
DATE
令和6年10月

可児市立広見小学校トイレ大規模改修工事 (Ⅱ期)
 換気設備 屋内運動場・屋外トイレ1 平面図 (改修後)

SHEET NO.
M-28